

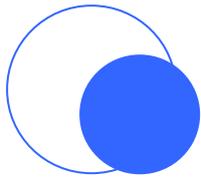
-令和元年度-

館報

2019

vol. 28





はじめに

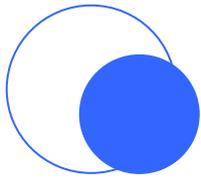
人と自然の博物館（ひとはく）は当年度も、調査・研究、生涯学習支援、地域の活性化、シンクタンク活動など、多方面で精力的に取り組んでまいりました。

調査・研究活動の一環としては、兵庫県丹波市と丹波篠山市に分布する篠山層群から採取された岩砕から化石を取り出す「化石剖出ボランティア」や「石割調査ボランティア」の募集を継続し、人材育成に取り組むとともに恐竜化石関連の研究活動を推進しました。資料・展示については、県内に生息する貴重な動物とその生息環境の自然を紹介する展示特別企画「ひょうごのレッドリスト展 ～哺乳類・爬虫類・両生類・魚類～」や、当館の収蔵資料を活用したコレクション展「石ころズラリ～美しい鉱物から珍しい岩石まで～」を開催したほか、普段は見るできない資料をテーマ毎に蔵出しする収蔵資料スペシャル企画「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」を全8回開催するなど、標本・資料の積極的な活用を図りました。また、自然史系の他館と連携した「自然史レガシー継承・発信事業」による館外企画展「Where Culture Meets Nature ～日本文化を育んだ自然～ JAPAN COLOR」を、ICOM（国際博物館会議）にあわせて京都市にて開催しました。教育普及活動の一環としては、国際花と緑の博覧会記念協会、台湾台北市立動物園、台北動物保育教育基金會とともに「高校生のための生き物調査探検ツアー in 台湾」を実施しました。さらに、エコロジー感覚とふるさと意識を身につけた子どもを育てる県の事業「ふるさと兵庫子ども環境体験推進事業（ひょうごエコロプロジェクト）」の支援を開始し、幼稚園・保育所への研究員の派遣や、県立公園での自然体験プログラムを提供しました。

兵庫県では、少子高齢化の進展や人口減少、東京一極集中の是正等の構造的な課題に対応し、将来にわたり活力ある地域社会を構築していくため、地域創生に向けた取り組みが進んでいます。その中で、ひとはくの果たす役割はますます重要になってきており、地域の自然や文化に関する資料の収集や研究はもちろんのこと、それらを活用した環境学習や地域活性化を支援する組織として、今後も活動を推進してまいります。

新型コロナウイルスの蔓延により、これまでの社会とは異なる状況を迎えようとしています。このような中、開館から28年目を迎えますが、博物館を様々な面で支えていただいた皆様に心からお礼申し上げますとともに、今後とも成熟した博物館として社会に貢献し続けられるよう、厳正なご批判と、有益なご指導をいただければと期待いたします。

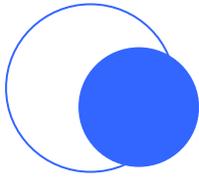
兵庫県立人と自然の博物館
館長 中瀬 勲



目次

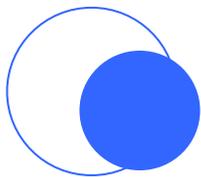
・ はじめに	1
・ 目次	2
■組織及び施設概要	
・ 沿革	4
・ ひととはく将来ビジョン	5
・ 常設展示の概要	6
・ 収蔵標本資料の概要	9
・ 施設の概要	12
・ 組織と職員	14
・ 各研究部の概要	17
■令和元年度事業報告	
・ 令和元年度事業報告	19
・ タスクフォース事業	27
・ プロジェクト	31
■資料および個人別成果	
○博物館概要等に関連する資料	
・ 主な購入資料	37
・ 主な受贈資料	37
・ 令和元年度の受贈資料	38
・ 情報システム	39
・ 条例等	40
・ 博物館協議会委員名簿	47
○個人別成果報告に関する資料	
・ 館長	48
・ 自然・環境評価研究部	51
・ 自然・環境マネジメント研究部	83
・ 自然・環境再生研究部	110
○博物館事業報告に関連する資料	
・ セミナー一覧	133
・ 企画展等一覧	139
・ 生徒・学生等の受け入れ状況	140
・ 学校教育支援プログラム	141
・ 来館一般団体一覧	142
・ 来館学校団体一覧	146
・ 連携事業等	150
・ フロアサービス実績一覧	156
・ 外部資金導入状況	158
利用案内	160

組織及び施設概要



沿革

昭和44年2月26日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和44年6月5日	県議会において請願が採択された。
昭和48年6月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和51年5月	IFHP 兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和59年4月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和61年12月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想（報告）が策定された。
昭和63年8月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年4月1日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館（仮称）設立準備室が設立された。
平成3年12月	研究・収蔵棟が完成した。
平成4年3月25日	本館（ホロンピア館）の様式替え工事が完了した。
平成4年4月1日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成4年6月25日	ジーンファームが完成した。
平成4年9月20日	エントランスホールが完成した。
平成4年9月30日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成4年10月9日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成4年10月10日	開館。
平成9年6月14日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成9年11月4日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成10年3月12日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成11年11月13日	NPO 法人「人と自然の会」（博物館ボランティア）と協力協定を締結した。
平成13年4月	兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成14年4月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成18年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成14年10月	博物館が開館10周年を迎え、10周年記念式典を執り行った。
平成16年4月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成18年6月	猪名川町と協力協定を締結した。
平成18年9月	丹波地域で恐竜化石が発見され、発掘を開始した。
平成19年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本構想を策定した。
平成20年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本計画を策定した。
平成20年4月	「ひとはく恐竜ラボ」がオープンした。
平成21年7月	加東市と協力協定を締結した。
平成21年8月	佐用町昆虫館と連携協定を締結した。
平成22年6月	篠山層群における恐竜・哺乳類化石等に関する基本協定を締結した。
平成24年10月	博物館が開館20周年を迎え、20周年記念式典を執り行った。
平成25年3月	「ひとはく将来ビジョン」を策定した。
平成28年4月	「三田市有馬富士自然学習センター・プログラム運営事業」を開始した。
平成29年10月	博物館が開館25周年を迎えた。
平成30年8月	「新収蔵庫棟 基本構想」を策定した。
平成31年2月	兵庫教育大学と連携協定を締結した。
平成31年3月	湊川短期大学と連携協定を締結した。



ひとはく将来ビジョン

ひとはくは、開館20周年の節目にあたり、これまでの成果を振り返るとともに、変化する社会状況に対応しながら、今、実践すべき戦略を検討し、これからのひとはくが目指すものを示した「ひとはく将来ビジョン」を描き上げました。このビジョンは、ひとはくの今後あるべき姿を描くと同時に、日本の博物館の進むべき方向を示唆するものであると考えます。ひとはくは、これからもみなさまとの協働を通じて博物館と地域の未来について思索し、行動し、提言し続けていきます。

創造と共生の舞台・兵庫で県民のみなさんと共演する生涯学習院

生涯学習院とは、①驚きや喜びを感じ、自発的で自律的な学びを支える／②県民の参画と協働で、知識だけでなく創造性を育む／③年齢や立場などによる、様々な学習のかたちに対応する／④感じるから伝えるまで、トータルな学習プロセスを提供する／これらを実現できる「県民が集い、学び合う参加・交流型の博物館」です。

【実現に向けた5つの行動指針】



■ 5つの行動指針で進める「生涯学習院」

これまでひとはくでは、多彩なセミナーや館外へのアウトリーチ事業などによって、県内外の多くの方々に様々な学習の機会を提供してきました。これまでの展示とは違った、利用者とモノ、利用者と空間との間に人が介在することで、興味を持ってもらったり、参加してもらったりすることができる「演示」という仕掛けを用いて、学びのサイクルを生みだすことを試みてきました。

今後は、このような取り組みをさらに進めていくために、上図の5つの行動指針を定めて、さらなる展開を図ります。

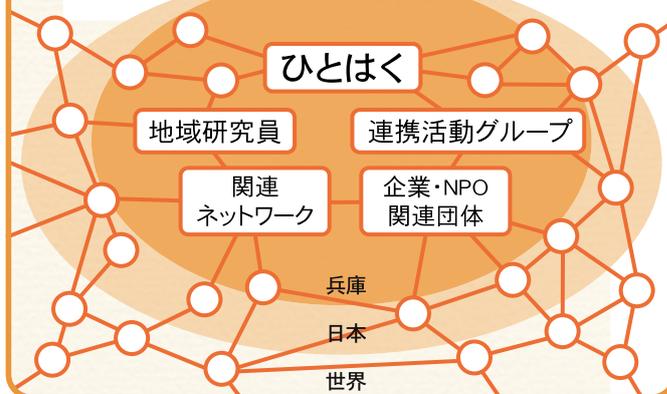
【来館者が主役となるような演示の舞台としてのハード整備】



■ 「演示」による生涯学習プログラムのさらなる実践

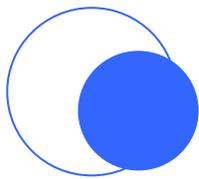
演示の手法を活用した生涯学習プログラムによって目指すべき博物館像を実現していきます。先行して実践を進めてきたソフトだけでなく、未だ実現に至っていないハードについても、博物館の根幹機関である収蔵庫や演示の実践の舞台について整備を進めていきます。

【多様な主体とのネットワークによる組織・マネジメント力の強化】



■ 多様な主体との連携によるマネジメントの仕組みづくり

多様な主体が関われるオープンなネットワークを形成するため、マネジメント組織の設立や民間との連携を図り、ひとはくの活動効果をさらに高めていきます。また、兵庫県立大学と一体となった組織体制をより一層活用し、ひとはくにとっても大学にとっても相乗的な効果があげられるような仕組みを構築していきます。



常設展示の概要

○ 本館3階

■ 兵庫の自然誌

兵庫県は日本海と瀬戸内海・太平洋に面した数少ない県で、北部の多雪地帯から南部の暖温帯まで、多様な自然があります。人々の生活は多様な自然の影響を受けていますが、一方で人々の生活も各地の自然のありように強く影響を与えています。ここでは、但馬、丹波、播磨、摂津、淡路の特色ある自然を標本、映像、ジオラマなどで紹介します。「森に生きる」には、兵庫県の野生動物をはく製で紹介しています。



■ 人と自然

先人達がいかに自然とうまくつきあってきたか、現在その関係が急速に変化していることを、ジオラマ・映像などで紹介するとともに、“モノ”と“ゴミ”が、豊かな暮らしのあり方や環境問題を問いかけます。



■ ナチュラリストの幻郷

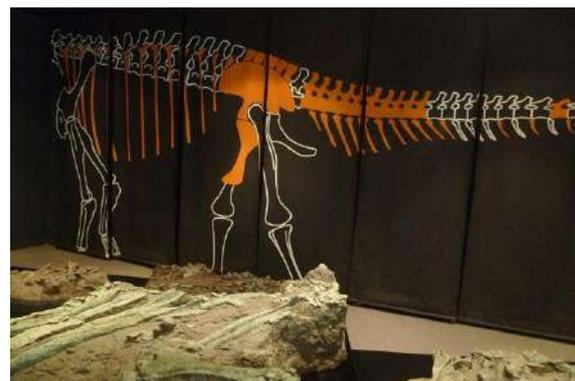
博物館の収蔵庫には多くの方々から寄贈していただいた資料が集められています。

このコーナーでは江田茂氏による27万点に及ぶ昆虫コレクションや小林桂助氏による貴重な鳥類のコレクションをはじめとする、寄贈標本の一部を紹介しています。



■ 丹波の恐竜化石

2006年8月に丹波市山南町で発見された大型植物食恐竜「タンバティタニス・アミキティアエ」の肋骨、尾椎、血道弓などを展示しています。同じ場所で見つかった他の恐竜の歯、小動物の化石なども随時展示しています。





○ 本館 2階

■ 水生生物の世界

川や海といった水中に暮らす生物の食物連鎖や環境への適応を展示しています。淡路のナガスクジラの骨格標本、アオザメの本剥製や川の上中下流の魚類などの標本があります。



■ ひとつはく多様性フロア

～魅せる収蔵庫トライアル～

開館から 20 年間に寄贈された標本や館員が収集してきた標本などの一部を、一般の来館者に見えるように配置しました。これらの標本は、間近で観察することができます。セミナーや講義など、その場で研究員が解説する「演示」の手法で双方向での対話型の学習にも活用されます。



○ 本館 1階

■ 地球・生命と大地

約 40 億年前の生命の誕生から人類誕生までの生物の歴史を多くの化石標本でたどります。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介します。



2015 年には動く大地の一部改修工事を行い、寄贈されたクドウ地科学コレクションの鉱物資料を中心に兵庫県に産する岩石や鉱物を紹介する「ひょうごの岩石・鉱物」コーナーを新設しました。



■ 共生の森

マレーシア国立サバ大学との学術交流協定に基づき、ラフレシアやオランウータンなどボルネオ島の貴重な標本類を展示しています。生物多様性の豊かな熱帯雨林を体感しながら学ぶことができます。

○ 本館4階

■ ひとくサロン

自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「さわれる標本コーナー」「休憩コーナー」などがあります。2014年度末、情報システム更新に伴い一部改修が行われ、博物館の標本や情報によりアクセスしやすい環境が整いました。



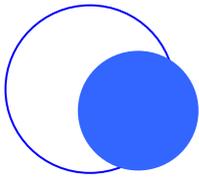
○ ひとく恐竜ラボ

恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひとく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることができます。



※ 移動博物館車『ゆめはく』

ひとく開館20周年にあわせて、2012年に移動博物館専用の2t車「ゆめはく」を導入しました。「ゆめはく」は、車体そのまま展示室になります。これによって、まったく展示施設のないところでも、さまざまな資料を展示できるようになりました。



収蔵標本資料の概要

○ 当館の標本資料—県民の収蔵庫

当館には100万点に及ぶ昆虫標本や60万点に及ぶ植物標本などの膨大な標本資料が保管されています。その多くは、県民のコレクターなどからの寄贈によるものです。例えば、収蔵されている昆虫標本の約7割は、個人が長年収集された標本からなっており、県内にかつてどのような昆虫が生息していたのかを知ることができる貴重な資料になっています(右図)。当館の収蔵庫は、まさに県民の収蔵庫としても大きな役割を果たしています。

○ 主なコレクション

■ 工藤智巳コレクション (岩石・化石)

2015年度受贈 (498点)

工藤氏は但馬の市民研究者で、そのコレクションには貴重な白いヒスイ輝石岩のほか、兵庫県産を中心とした様々な岩石鉱物が収蔵されています。



■ 篠山層群産化石

2006年から (総数約45,000点)

2006年8月に丹波市山南町で地元の地学愛好家により発見された「丹波竜」(竜脚類ティタノサウルス形類)の化石をはじめ、曲竜類、ティラノサウルス類、テリジノサウルス類、トロオドン類などの化石や恐竜の卵殻化石、原始的な哺乳類、カエル類、トカゲ類、植物等の化石のコレクションです。

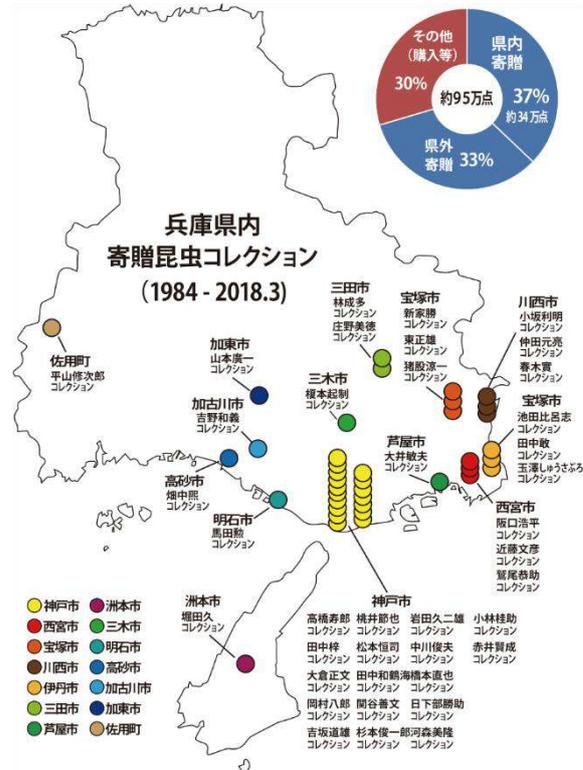


図. 収蔵昆虫コレクションの構成

■ 小林桂助コレクション (鳥類標本)

2001年度受贈 (14,000点)

小林桂助氏は本業の傍ら膨大な鳥類標本を収集し、原色日本鳥類図鑑など多数の著書を著した兵庫県の鳥類研究家です。そのコレクションには日本産をはじめ、欧州産や入手困難なオーストラリア産鳥類標本、さらには絶滅したドーダーの骨格断片、エピオルニスの卵殻破片も収蔵されています。本寄贈により、当館の鳥類標本は山階鳥類研究所に次いで日本で2番目の規模となりました。



■ 頌栄短大植物コレクション (植物標本)

2012年度受贈 (250,000点)

頌栄短期大学の福岡、黒崎、松村氏によって収集された兵庫県産を中心とした維管束植物のコレクションです。膨大な種数と点数から構成されているだけでなく、兵庫県で112年ぶりに発見されたマヤランの標本をはじめ、貴重な標本が数多く収蔵されています。本コレクションの寄贈により、当館が収蔵する植物標本点数は、都道府県立博物館でトップになりました。



■阪口浩平コレクション（昆虫標本）

1984年度受贈（約50,000点）

兵庫県（西宮市）の阪口浩平氏が東南アジアはもとより、アフリカ、南米など世界各地から収集した大型美麗昆虫のコレクションです。その中には、3,819点に及ぶノミのプレパラート標本が含まれています。阪口コレクションは他県の博物館や個人コレクターからの譲渡希望にもかかわらず、県内の公共機関での永久保存と公開を強く希望されたご遺族のご厚意で兵庫県が保管することになり、当館設立の契機となりました。



■常木勝次・岩田久二雄・坂上昭一コレクション（昆虫標本）

常木勝次コレクション

1994年購入・寄贈（2,000点）

岩田久二雄コレクション

1999年度寄贈（8,600点）

坂上昭一コレクション

1999年度寄贈（32,000点）

日本のファールとも称された常木・岩田・坂上氏が研究・収集したハチ類のコレクションです。日

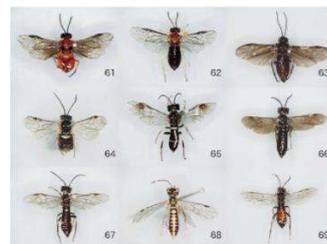
本産のカリバチ3,000点に及ぶタイプ標本が含まれ、当館の収蔵資料を活用して発表された学術論文の8割近くが本コレクションに基づいています。さらに、このコレクションには常木・岩田・坂上氏が書き残したフィールドノートや図版などが含まれ、日本のハチ類研究の貴重な歴史資料にもなっています。これらのコレクションの寄贈を受けたことが礎になり、当館にはハチ類標本の寄贈が続き、14万点に及ぶ、日本で最も多くのハチ類標本を収蔵する博物館になりました。



■猪股涼一コレクション（昆虫標本）

1995年度寄贈（14,000点）

猪俣氏が収集した兵庫県産ハバチのコレクションです。阪神淡路大震災でコレクションを保管されていた自宅が半壊し、標本資料レスキュー活動として寄贈いただくことになりました。コレクションにはハバチ新種のタイプ標本も含まれ、331種にもなる兵庫県ハバチ類の多様性研究に活用されています。



■江田 茂コレクション（昆虫標本）

2000年度購入（272,600点）

江田氏が世界中から集めた蝶類と甲虫類のコレクションです。大型で美麗なものが多く、当館の企画展やキャラバン事業に活用されています。

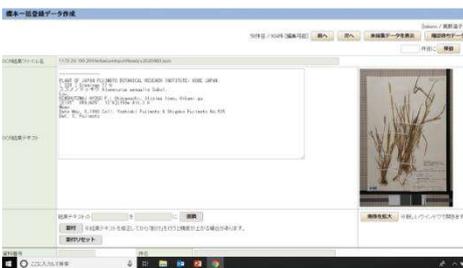


○ 標本管理・保全技術のイノベーション

当館では、世界の博物館に先んじて、標本管理の自動化や低コストで安全な保存技術の開発などにも取り組んでいます。

■植物標本デジタル化技術開発と標本情報の活用促進

標本のデジタル画像化は、破損や劣化を懸念することなく、誰もが標本を利用できるようにする技術です。しかし、従来の植物標本デジタル化の手法では、標本画像の読み込みに膨大なコストと時間がかかります。さらに、採集地などが記載された標本ラベルは人が別途読み込んでデータ化する必要がありました。当館では、植物標本の高精度画像を、1日当たり500から1,000点撮影可能な新規技術と標本ラベルをOCR（光学文字認識）で読み取り、人工知能（AI）を活用してデジタル化する技術を独自に開発しました。この技術開発により、これまでに合計19万点の兵庫県産植物標本をデジタル化し、標本情報の活用を進めています。



■安全・簡便な標本保管技術の開発

これまで収蔵標本の防虫、防カビ管理のために使われてきた燻蒸剤などの化学薬品には、健康被害やオゾン層破壊などの懸念が指摘されており、それに替わる、安全で簡便な標本保全の新規技術の開発が強く望まれています。当館では、天然由来の強力な防虫、殺菌成分である「わさび成分」を防虫剤や燻蒸剤として収蔵庫内の標本保管に使う技術開発を独自に進めています。本技術は、博物館資料だけでなく、侵略的外来生物であるヒアリの忌避剤や殺虫

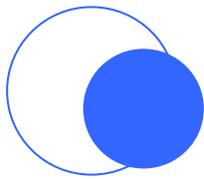
剤としても有効であることも確かめられており、博物館の技術が県民の安全な暮らしを守ることにも活用されています。



■標本の樹脂含浸技術（プラスティネーション）の開発

これまで保存や展示が難しかったキノコや水生動物などの標本保存のために、当館ではシリコン樹脂などを使って標本を含浸するプラスティネーション技術の開発に取り組んでいます。この新技術は、ヒアリの巣がコンテナヤード舗装面にできた亀裂から発見された際に、亀裂を簡便に補修する技術としても活用されました。





施設の概要

(1) 規模

・敷地（設置許可・使用承認面積）：37,988m²、延床面積：18,951 m²

(2) 建物構造

- ・本館（鉄骨4階建） 建面積：4,221 m²、延床面積：12,222 m²
- ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型） 建面積：360 m²、延床面積：360 m²
- ・研究、収蔵庫棟（鉄筋コンクリート3階建） 建面積 2,327 m²、延床面積：5,988 m²
- ・ジーンファーム管理棟（軽量鉄骨平屋） 建面積 121 m²、延床面積：121 m²
- ・ひとはく恐竜ラボ（鉄骨平屋） 建面積 260 m²、延床面積：260 m²

(3) 施設の概要

・本館（鉄骨4階建）

建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。展示関係のスペースをはじめとして、研究部・総務課・生涯学習課を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。



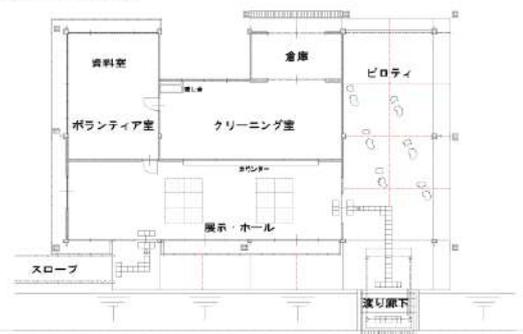
・ひとはく恐竜ラボ

恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置。

・ジーンファーム

ジーンバンク事業を実践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。

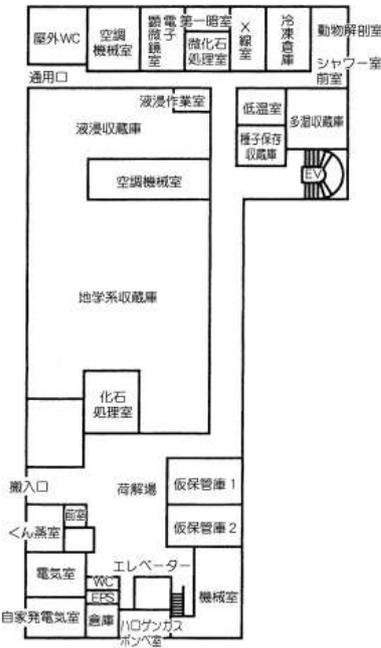
ひとはく恐竜ラボ



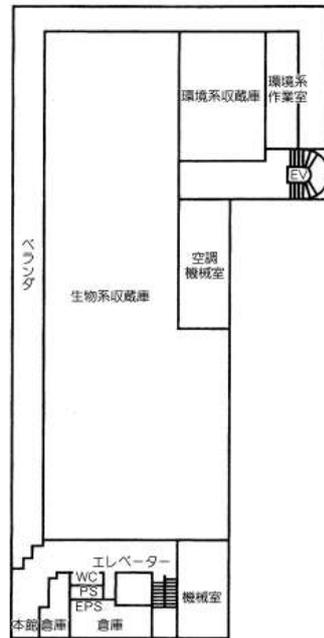
- ・研究、収蔵庫棟（鉄筋コンクリート3階建）

研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。

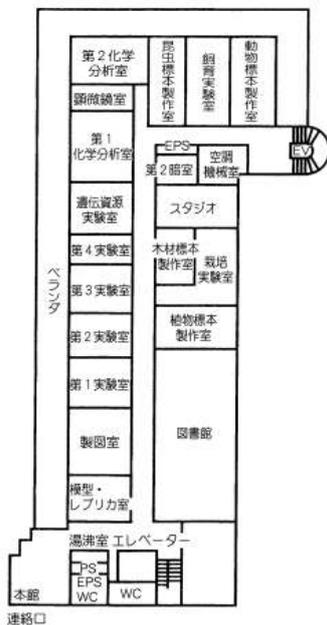
1階



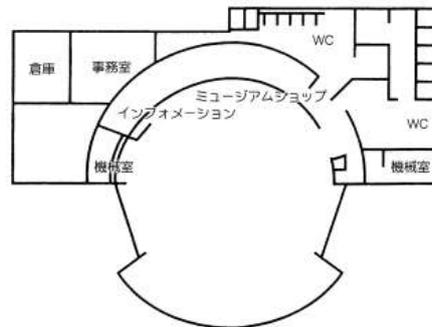
2階



3階



エントランスホール

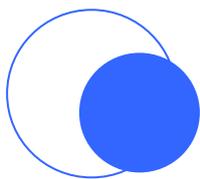


- ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）

博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。

(4) 施設状況

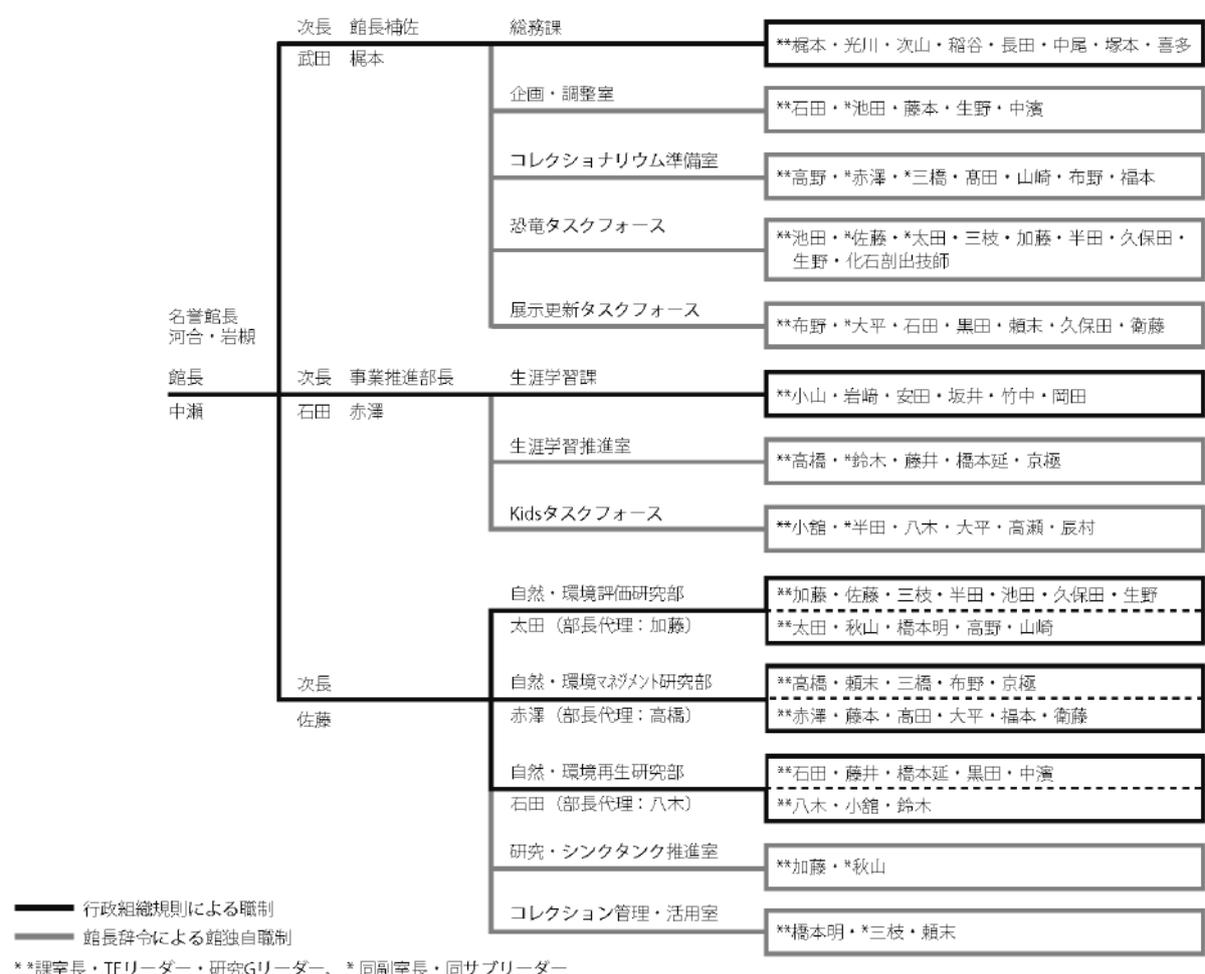
- ・展示関係：4,124 m²
- ・管理関係：349 m²
- ・収蔵関係：2,966 m²
- ・研究関係：2,105 m²
- ・教育普及関係：1,324 m²
- ・エントランス：360 m²
- ・機械、その他：7,723 m²



組織と職員

(1) 組織図

令和2年5月1日現在



(2) 職員数

令和2年5月1日現在

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	8		1	3(館長・名誉館長) +3 ^{※2}	15
生涯学習課	6			5 ^{※2} +1 ^{※9} +1 ^{※10}	13
自然・環境評価研究部		5 (併任 7 ^{※1})		7 ^{※2} +2 ^{※7} +1 ^{※3} +1 ^{※6}	16 (併任 7 ^{※1})
自然・環境マネジメント研究部		4 (併任 7 ^{※1})		1 ^{※2} +3 ^{※7}	8 (併任 7 ^{※1})
自然・環境再生研究部		3 (併任 5 ^{※1})		4 ^{※2} +2 ^{※4} +2 ^{※5} +4 ^{※7} +2 ^{※8}	17 (併任 5 ^{※1})
合計	14	12 (併任 19 ^{※1})	1	42	69 (併任 19 ^{※1})

※1 (併任)は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教員の併任、※2 県政推進員、※3 化石整理技術指導員、※4 科学コミュニケーター、
 ※5 企画運営推進員、※6 主任剖出技師、※7 研究推進員、※8 こども環境体験コーディネーター、※9 ワークセンタースタッフ、
 ※10 ジョブサポーター

(3) 職員配置

(令和2年5月1日現在) ※兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教員(併任)

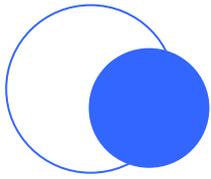
名誉館長	河合 雅雄	■生涯学習推進室(研究員兼務)	
名誉館長	岩槻 邦男	室 長	高橋 鉄美 [※]
館 長	中瀬 勲	副 室 長	鈴木 武 [※]
次 長(事務系)	武田 雅和	主任研究員	藤井 俊夫
次 長(研究系)	佐藤 裕司 [※]	主任研究員	橋本 佳延
次 長(事業系)	石田 弘明 [※]	研 究 員	京極 大助
館長補佐 兼 総務課長	梶本 久美子	■Kids タスクフォース(研究員兼務)	
事業推進部長	赤澤 宏樹 [※]	リーダー	小 舘 誓治 [※]
【マーケティング及びマネジメント部門】		サブリーダー	半田 久美子
■総務課		主任研究員	八木 剛
課 長	梶本 久美子	研 究 員	大平 和弘 [※]
教育事務推進専門員	光川 安則	こども環境体験コーディネーター	高瀬 優子
主 任	次山 知宏	こども環境体験コーディネーター	辰村 絢
事務職員	沖 祐美子	【研究開発部門】	
事務職員	稲谷 岬	■自然・環境評価研究部	
事務職員	長田 智子	研究部長	太田 英利 [※]
事務職員	中尾 圭志	(地球科学研究グループ)	
主任技師	塚本 健司	主任研究員	加藤 茂弘
■企画・調整室(研究員兼務)		次 長(研究系)	佐藤 裕司 [※]
室 長	石田 弘明 [※]	主任研究員	三枝 春生 [※]
副 室 長	池田 忠広 [※]	主任研究員	半田 久美子
主任研究員	藤本 真里 [※]	主任研究員	池田 忠広 [※]
研 究 員	生野 賢司	研 究 員	久保田 克博
研 究 員	中濱 直之 [※]	研 究 員	生野 賢司
■コレクションナリウム準備室(研究員兼務)		(系統分類研究グループ)	
リーダー	高野 温子	研究部長	太田 英利 [※]
サブリーダー	赤澤 宏樹 [※]	主任研究員	秋山 弘之 [※]
サブリーダー	三橋 弘宗 [※]	主任研究員	橋本 佳明 [※]
主任研究員	高田 知紀 [※]	主任研究員	高野 温子
主任研究員	山崎 健史 [※]	主任研究員	山崎 健史 [※]
研 究 員	布野 隆之	■自然・環境マネジメント研究部	
研 究 員	福本 優	研究部長	赤澤 宏樹 [※]
■恐竜タスクフォース(研究員兼務)		(生態研究グループ)	
リーダー	池田 忠広 [※]	主任研究員	高橋 鉄美 [※]
サブリーダー	佐藤 裕司 [※]	主任研究員	頼末 武史 [※]
サブリーダー	太田 英利 [※]	主任研究員	三橋 弘宗 [※]
主任研究員	三枝 春生 [※]	研 究 員	布野 隆之
主任研究員	加藤 茂弘	研 究 員	京極 大助
主任研究員	半田 久美子	(環境計画研究グループ)	
研 究 員	久保田 克博	事業推進部長	赤澤 宏樹 [※]
研 究 員	生野 賢司	主任研究員	藤本 真里 [※]
■展示更新タスクフォース(研究員兼務)		主任研究員	高田 知紀 [※]
リーダー	布野 隆之	研 究 員	大平 和弘 [※]
サブリーダー	大平 和弘 [※]	研 究 員	福本 優
次 長(事業系)	石田 弘明 [※]	研 究 員	衛藤 彬史
主任研究員	黒田 有寿茂 [※]	■自然・環境再生研究部	
主任研究員	頼末 武史 [※]	研究部長	石田 弘明 [※]
研 究 員	久保田 克博	(生物資源研究グループ)	
研 究 員	衛藤 彬史	次 長(事業系)	石田 弘明 [※]
【事業推進部門】		主任研究員	藤井 俊夫
■生涯学習課		主任研究員	橋本 佳延
主任指導主事兼課長	小山 恵介	主任研究員	黒田 有寿茂 [※]
指導主事	安田 英生	研 究 員	中濱 直之 [※]
指導主事	坂井 貴行	(コミュニケーション・デザイン研究グループ)	
教育事務推進専門員	岩崎 晃一	主任研究員	八木 剛
社会教育推進専門員	竹中 敏浩	研 究 員	小 舘 誓治 [※]
社会教育推進専門員	岡田 出	研 究 員	鈴木 武 [※]

■研究・シンクタンク推進室(研究員兼務)

室 長 加藤 茂弘
副 室 長 秋山 弘之*

■コレクション管理・活用室(研究員兼務)

室 長 橋本 佳明*
副 室 長 三枝 春生*
主任研究員 頼末 武史*



各研究部の概要

■自然・環境評価研究部

自然環境保全の基盤となる地形学や地質学、過去と現在の生物（とりわけ脊椎動物、昆虫をはじめとする節足動物、軟体動物、維管束植物、蘚苔類、藻類など）を対象とした系統分類学や体系学、形態学、進化生物学、生物地理学等の分野の調査研究と資料収集活動に取り組んでいます。

またこれらの成果に基づき、過去から現在、兵庫県内から地球全域にいたる時空間的な自然環境の変異変遷史、地域の生物相の形成史、そして生物多様性創出の原動力である生物間相互作用のさまざまな過程の解明を進め、さらに自然環境保全のための有効な提案も行っていきます。

■自然・環境マネジメント研究部

人間の生活は、農山村はもちろんのこと、都市においても自然と深く結びついて成立しています。人間による自然へのインパクトが強力になっている現在、自然と環境のマネジメントが不可欠になっているのは、このことによります。

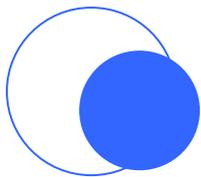
本研究部では、人間と野生動物の共存、自然と調和した地域づくり、都市の再生などに関する資料収集・調査・研究を行い、未来の人と自然のあり方を探求します。

■自然・環境再生研究部

植生・植物に関する保全生態学や保全生物学の研究を行っています。現在、さまざまな要因によって自然が破壊され、里山林や半自然草原などの植生やフジバカマ、エビネ、カザグルマなどの植物が危機的な状況にいたっています。

本研究部では、そのような状況にある植生や植物の保全・復元・創出活動を積極的に進めています。このような活動を通じて、県下の植生・植物の生態情報の収集や貴重種のジーンファーム（ジーンバンク機能を果たす圃場）における増殖などの事業も展開しています。

令和元年度事業報告



令和元年度事業報告

人と自然の博物館では、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けています。中期目標はいわば博物館の行動の指針となる大項目であり、それぞれに達成を目指すべき目標値（指標）が設定されています。さらに中期目標各項目の下位項目として「措置」を設定し、博物館活動の活性化に資する取組を数値で把握するよう努めています。

- 第 1 期中期目標 平成 14 年度（2002 年度）～18 年度（2006 年度）
- 第 2 期中期目標 平成 19 年度（2007 年度）～24 年度（2012 年度）
*開館 20 周年にあたって策定した「ひとはく将来ビジョン」
を反映させるため期間を 1 年延長
- 第 3 期中期目標 平成 25 年度（2013 年度）～29 年度（2017 年度）
- 第 4 期中期目標 平成 30 年度（2018 年度）～令和 4 年度（2022 年度）

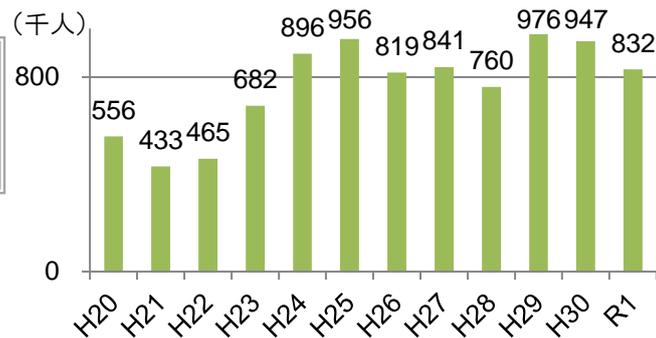
1 生涯学習支援

「演示」手法を用いることで、あらゆる世代の知的好奇心を刺激し、多くの県民に「生涯を通じて学び続ける場」を提供します。

1 総利用者数

本館利用者数・連携施設利用者数・主催アウトリーチ事業・共催・協力事業の参加者数

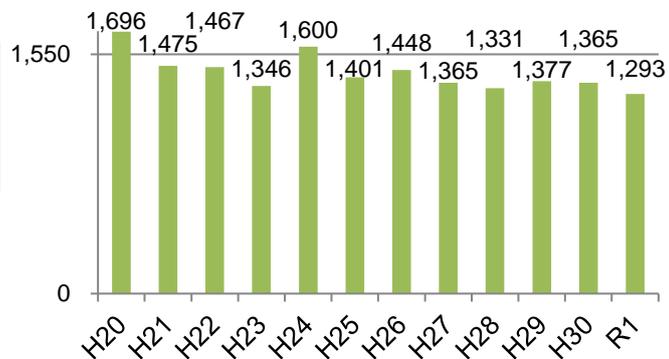
中期目標：800 千人/年
令和元年度：832 千人(104%)



2 生涯学習プログラム

館主催プログラム(一般セミナー+オープンセミナー+特注セミナー)の実施件数

中期目標：1,550 件/年
令和元年度：1,293 件(83%)



令和元年度の達成状況と自己評価

総ビジター数は 832 千人、前年度比 88%でした。このうち本館入館者は 163 千人、前年度比 100.5%、約 8 百人の増加になりました。令和元年度末の新型コロナウイルスに関わる休館措置のため、総ビジター数が減少したと考えられます。また、館主催プログラム数は、1,293 件、前年度比 94.7% であり、今後もプログラム提供機会の更なる増加を目指します。

令和2年度の取組に向けて

来館者の興味・関心を引き出す内容の企画展、セミナーを重点的に開催するとともに、今後の社会状況に対応した新たな博物館の在り方を検討します。また、広報範囲と機会を拡充し、デジタルコンテンツや館主催プログラムなどの博物館の魅力を積極的に発信します。キャラバン・主催アウトリーチ事業については、本物に触れる体験や探究するおもしろさが伝わる工夫をし、さらなる充実を図ります。

2 人材育成と活躍の場の整備

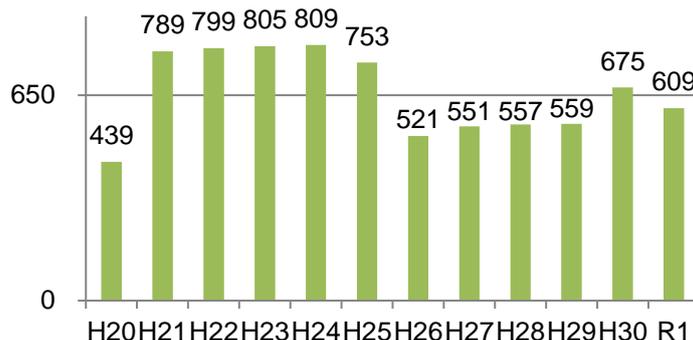
生涯学習
推進室

「担い手」の成長を支援し、活躍する「舞台」を提供します。

1 担い手の登録者数

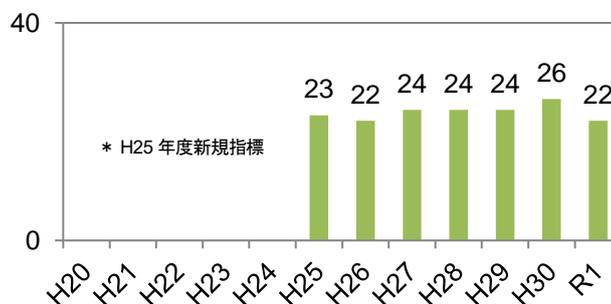
地域研究員、連携活動グループ、発掘・剖出ボランティアの登録者数

中期目標：650人
令和元年度：609人(94%)



2 連携活動グループ登録団体数

中期目標：40団体(R4まで)
令和元年度：22団体(55%)



令和元年度の達成状況と自己評価

今年度は昨年度と比べ、地域研究員と連携活動グループの数がやや減少し、目標値を大きく下回りました。これは、協力協定の5年間を過ぎた個人や団体に継続の意思を確認して整理した結果です。一方、発掘・剖出ボランティアは今年度も多くの方に登録いただき、目標値を大きく上回る方々が活動されています。また、地域研究員・連携活動グループ主催事業については、実施件数・実施日数・参加者数ともに目標値を上回り、活発な活動が行われています。第15回共生のひろばでは、口頭8件とポスター78件の発表があり、市民研究者同士の活発な交流を通じた担い手育成が行われました。

令和2年度 of 取組に向けて

これまで進めてきた取組を継続するとともに、さらなる地域研究員・連携活動グループの活躍の場づくりを通して、登録数の増加を促していきます。

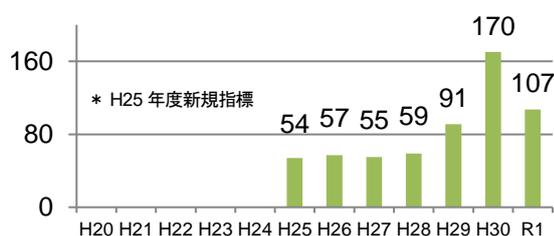
3 連携・アウトリーチ活動

多様な主体と連携し、全県的に事業を展開します。

1 アウトリーチ事業

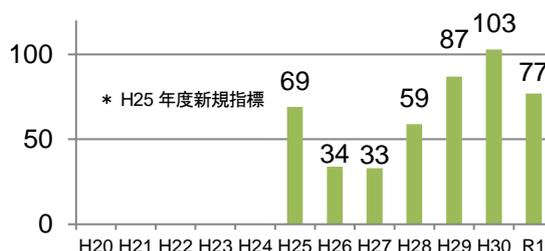
1-1. 主催アウトリーチ事業実施件数

中期目標：80件/年
令和元年度：107件(134%)



1-2. ゆめはく稼働日数

中期目標：50日/年
令和元年度：77日(154%)



1 アウトリーチ事業

1-3. 地域展開度

県内の旧市町区数に対する主催アウトリーチ事業実施市町区数の比率

中期目標：100%(R4まで)
令和元年度：66%



2 多様な主体との連携事業

2-1. 連携事業実施件数

主催アウトリーチ、主催・共催事業、協力事業、館内連携事業件数の合計

中期目標：200件/年
令和元年度：179件(90%)



令和元年度の達成状況と自己評価

主催アウトリーチ事業の実施件数は中期目標を上回りましたが、昨年度と比べると大きく減少しました。また、ゆめはく稼働日数と連携事業実施件数は、目標値を割り込みました。これらは、新型コロナウイルス感染予防のため、1月以降に多くのイベントが自粛されたためです。昨年度から導入された指標である地域展開度では、5カ年で県下すべての市町区でアウトリーチ事業を展開することを目標としており、2年目に当たる令和元年度で66%の市町区で実施することができました。

令和2年度の取組に向けて

新型コロナウイルス感染予防によるイベント等の自粛がいつまで続くか、見通せない状況です。今後の動向を見極めた上で、新年度の計画を見直す必要があります。

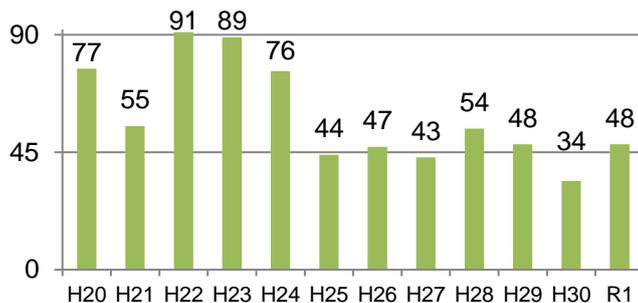
4-1 研究活動

すべての活動の基礎となる研究を引き続き精力的に遂行し、成果を還元します。

1 学術論文・専門図書数

学会等の査読を経て掲載された学術論文と専門図書数

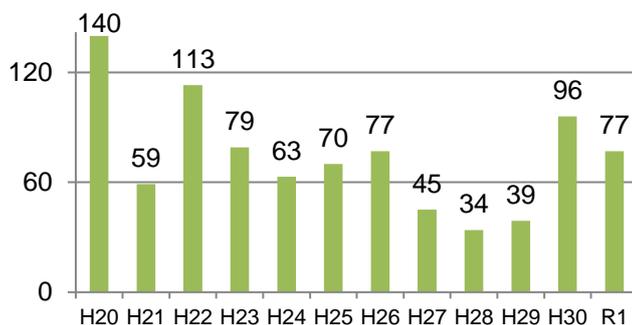
中期目標：45本/年
令和元年度：48本(107%)



2 一般向け図書・その他著作数

一般向け図書、雑誌・新聞等の著作数

中期目標：60本/年
令和元年度：77本(128%)



令和元年度の達成状況と自己評価

各指標とも平成30年度から目標値を高く設定しましたが、学術論文・専門図書数は新たな目標値を達成することができました。一般向け著書等の数は、HP等の電子媒体での成果を評価に入れ、さらに新聞等の広報誌での定期著作を増やすことにより、目標値を上回る成果を得ることができました。

令和2年度の実施に向けて

研究員セミナー等を通じて研究活動とその成果発信に対する研究員の意識向上を図ります。昨年度に引き続いて博物館 HP や新聞媒体等を活用し、来館者にとってわかりやすい調査・研究に関連した読み物を提供するように努めます。

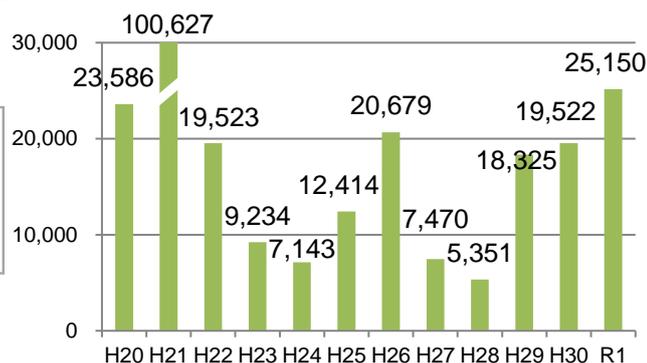
4-2 資料

特色ある質の高い資料を収集・整理し、利活用を推進します。

1 資料の登録点数

「ひとはく資料データベース」への年間登録件数

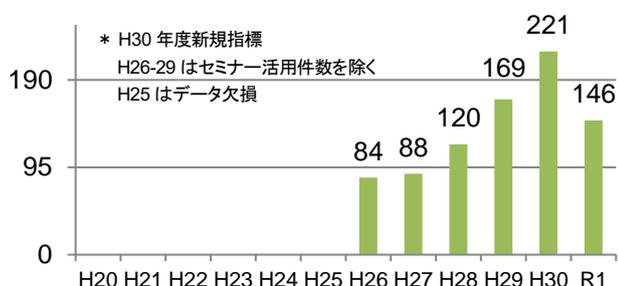
中期目標：10,000 点/年
令和元年度：25,150 点(252%)



2 資料の利活用件数

研究活用件数、貸出件数、館内・館外展示件数、セミナー活用件数(H30 新規項目)、マルチメディア等データ提供件数の合計

中期目標：95 件/年
令和元年度：146 件(154%)



令和元年度の達成状況と自己評価

AI を活用した標本画像データからのラベル自動読み取り技術の開発などによって、博物館資料データベース登録件数、館外データベース(GBIF)への登録ともに、目標を大幅に上回る成果を達成している。

令和2年度の取組に向けて

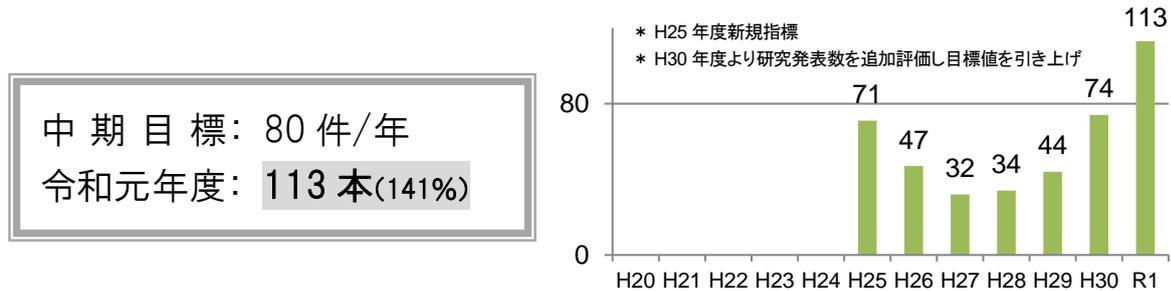
蓄積された標本資料の情報を広く公開していく環境整備を進めていく。また、標本情報を自動で読み取る技術を多種多様な博物館資料に拡張していく技術開発も合わせて進めていきたい。さらには、現在、準備が進められている新収蔵庫建設に向けて、新たな標本資料の活用手法についても検討を開始する。

4-3 シンクタンク活動

専門性を活かして地域づくりをリードします。

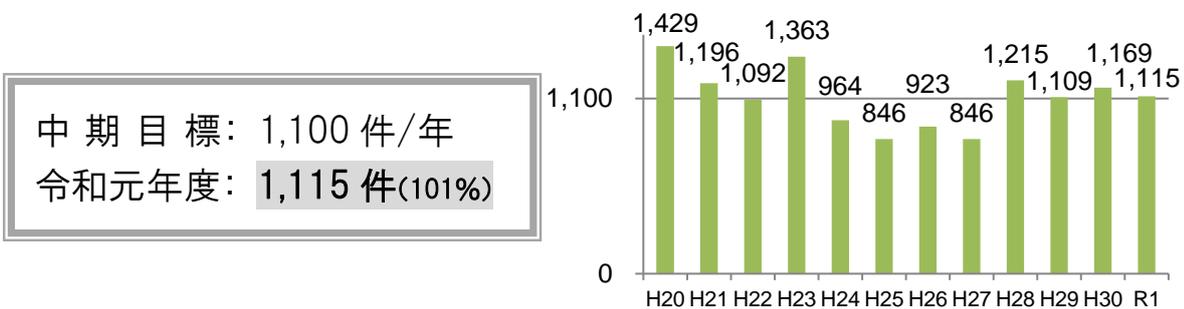
1 県政課題関連論文・著作・研究発表数

県内を対象とした学术论文、著作および研究発表の件数の合計



2 県政・市町行政に対する貢献度

国・県・市町関連の委員会参画数および相談件数の合計



令和元年度の達成状況と自己評価

県政課題関連論文等の件数では、目標値を超える成果を得られました。受託研究件数と県政・市町行政に対する貢献度も目標値を達成しており、シンクタンク活動は総じて順調に進められました。

令和2年度 of 取組に向けて

貢献できている県内地域に偏りがあるため、令和2年度も地域バランスを考慮し、広く県民に貢献できるシンクタンク活動を展開します。博物館への来館相談件数が減る一方、委員会参画数や受託研究数が増えすぎており、研究・普及教育活動など他の業務とのバランスを考慮した活動を進めます。

5 マーケティング・マネジメント

企画・調整室

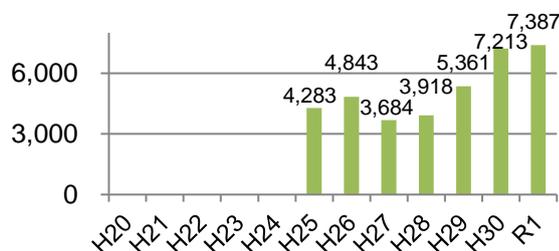
変化する社会状況に対応した効率的で健全な運営を行い、多くの県民に認知・利用される博物館を創出します。

1 外部資金による事業推進

1-1. 外部資金獲得金額

研究助成金、受託研究費、事業活動助成金の合計金額

中期目標：4,000万円
令和元年度：7,387万円(185%)

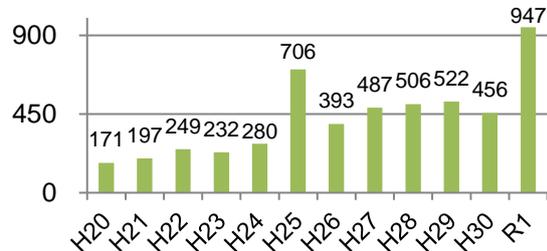


2 情報発信

2-1. HP アクセス件数

当館ホームページへのアクセス件数

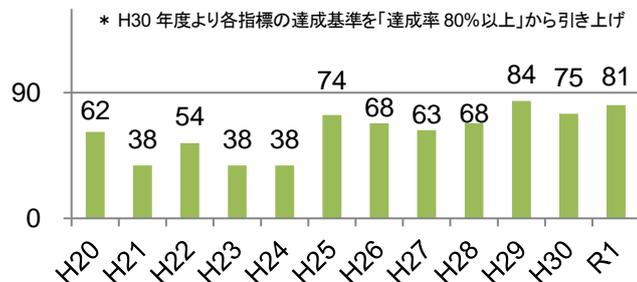
中期目標：450件/年
令和元年度：947件(210%)



3 中期目標の達成度

当該指標以外の総指標数 16 に対する「達成率 90%以上の指標数」の比率

中期目標：90%
令和元年度：81%(90%)

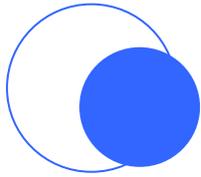


令和元年度の達成状況と自己評価

外部資金の獲得金額と当館ホームページへのアクセス件数はいずれも目標値を大きく上回りました。また、総指標数 16 に対する「達成率 90%以上の指標数」の比率は 81%であり、目標値である 90%に対する比率(達成度)は 90%でした。16 の指標のうち 2 つの指標(連携活動グループ登録団体数と地域展開度)は 5 年目の達成をめざす指標なので、これらを除くと令和元年度の中期目標はほぼ達成できたといえます。

令和2年度の取組に向けて

令和2年度には新たな事業を複数実施すると共に既存事業の強化・拡充を図ります。新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度と同じような実績をあげることは困難な状況ですが、できるだけ多くの実績をあげるができるよう職員一丸となって努力する方針です。



タスクフォース事業

タスクフォース(組織群)について

従来の組織群とは別に、短期の課題を達成するために平成20年度からタスクフォース制度を導入しました。各タスクフォースはリーダー・サブリーダー・メンバーで構成し、課題の達成状況に応じて年度途中でも人員は変更可能です。また新たなタスクフォースを発足できるようにしています。

■ ビジョン実現タスクフォース 令和元年度の主な事業

(1) 新収蔵庫棟(コレクションナリウム)の実現

平成30年度に策定した『ひょうご五国の宝箱 新収蔵庫棟基本構想』を元にして、博物館の関係者用駐車場の敷地に、展示ギャラリーを併設した新収蔵庫棟を新設することが決まった。延床面積 約1400㎡、うち収蔵スペース約800㎡を見込んでいる。開館30周年を迎える令和4年10月の運用開始を目指す。

- ・施設名称は、「コレクション」と「～にまつわる場所」を意味する接尾語「-arium (アリウム)」を掛けた造語「コレクションナリウム」を予定している。
- ・1階にはガラス張りのギャラリーやワークルूमを備える。収蔵されている貴重な標本資料の展示や、それらにまつわる企画展示に加え、セミナーや体験学習ができるよう設計を進める。併設する広場でも体験学習や各種イベントを行い、フラワータウンの顔として地域活性化にも貢献できる運用を目指す。
- ・2階には頒栄短期大学から寄贈された25万点の植物標本コレクションを中心に収蔵され、研究やシンクタンク事業に継続的に活用される。1階に収蔵される標本を含めて、研究者や地域研究員、連携活動グループ、民間企業やNPO等にも、様々な形で標本の保存と活用に関わっていただく環境を整備する。



(画像：兵庫県教育委員会発表資料より)

(2) 新収蔵庫棟(コレクションナリウム)の設計および運用に関する資料収集

国内で近年整備された収蔵庫に関する資料収集および視察を行い、長期に渡る資料保存に向けた知見をまとめ、基本設計に反映した。加えて整備後の運用に関する国内外の資料収集も行い、展示や地域貢献も行いつつ、効率的に資料保存を行う運用方針をまとめた。

(ビジョン実現タスクフォース 赤澤宏樹・三橋弘宗・高野温子・布野隆之・福本優)

■ 恐竜タスクフォース 令和元年度の主な事業

(1) 篠山層群化石を活用した地域活性化を目指す人材育成システムの構築

篠山層群から産出する化石の調査・研究をさらに推進し、その成果を活用するため、人材育成（発掘・剖出・普及教育）の体制を強化する。今後10年間で持続可能な人材育成循環システムの構築をめざす。最終的には、ボランティア人材の登録100名体制を目標に、将来的に持続可能な人材育成システムの基盤をつくる。その基盤づくりに向けて、以下の事業を実施した。

1-1. 人材育成システムの構築に向けた基盤づくり

「ひとく化石専門指導員」の認定制度を設け、人材育成に取り組んでいる。また、平成30年1月より「化石剖出ボランティア」の受け入れを開始した。認定した化石専門指導員は16名、剖出ボランティア登録は24名（R.2.3月現在）。令和2年1月よりボランティア人材への学習機会の提供を目的として、ちがくレターの配信を開始した。

1-2. 市民参加型発掘調査

ひとく化石専門指導員を認定するための実地研修として、卵化石密集層の調査や、川代トンネル岩砕（篠山層群）を用いた石割調査を実施した。平成29年10月からこれまでに行われた調査の参加者はのべ962名。石割ボランティアの登録者数は98名（R.2.3月現在）。

(2) 研究

丹波竜に代表される篠山層群産の脊椎動物化石の研究を中心に、国内外の大学・研究機関等と協働して推進し、将来の研究拠点形成を視野に、研究実績の蓄積や地域づくり活動支援の強化を進める。

- ・研究発表6件（日本古生物学会、日本爬虫両生類学会）。
- ・記者発表1件「篠山層群の恐竜・鳥類卵化石発掘調査成果報告と緊急速報展の実施について」（平成31年4月）

(3) 普及事業

恐竜化石等の調査や研究内容をセミナーの開催や展示等を通じて広く公開する。

3-1. 展示

- ・緊急速報展「篠山層群恐竜・鳥類卵化石発掘調査の成果報告」（4/27-6/2）
- ・「化石の日」制定1周年記念展示「アワジの名がついたエビ類化石」（11/2-1/5）
- ・ミニ企画展「異常巻アンモナイト、ノストセラス大集合」（2/12-4/5）
- ・その他展示4件（共催：丹波竜化石工房2、協力：御船町恐竜博物館1、国営明石海峡公園1、南あわじ地学の会1、ミュージアムパーク 茨城県自然博物館1）

(4) 地域支援

平成22年度に締結した「篠山層群における恐竜・ほ乳類化石等に関する基本協定」にもとづき、地域支援を展開している。平成27年度から丹波県民局が主導する「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム」事業が始動し、その活動を支援している。

4-1. 丹波竜フェスタの開催（共催）

丹波市と共催で、丹波竜フェスタの一般向け講演会「日本の恐竜を語る！」（12/1）を開催した。参加者数400人（フェスタ来場者数2,600人）。

4-2. 各種事業への参画

- ・丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム会議 5回（4/16, 6/25, 8/19, 12/6, 2/14）

（恐竜タスクフォース 佐藤裕司・太田英利・三枝春生・池田忠広・加藤茂弘・半田久美子・久保田克博・生野賢司・田中公教）

■ Kids タスクフォース 令和元年度の主な事業

(1) ふるさと兵庫こども環境体験推進事業（ひょうごエコロコプロジェクト）の実施

ひとはくでは、兵庫県農政環境部環境局環境政策課と連携し、県内の全幼稚園・保育所・認定こども園等（約1,500園）を対象に、乳幼児期のこどもたちへの環境体験機会の創出と、環境体験が継続的に実施できる仕組みの構築を目指し、「ふるさと兵庫こども環境体験推進事業（ひょうごエコロコプロジェクト）」を令和元年度より開始した。この事業の中核を担う専門人材として「こども環境体験コーディネーター」（1名）の職種を新たに設置し以下の事業を展開した。

1-1. 環境体験事業の実施

- ・しぜんたいけん（派遣型プログラム）実施園数：40園

自然の専門家である研究員が園に出かけて、園庭や近隣公園等の動植物を用いた自然体験プログラムをこどもたちへ提供。

- ・しぜんえんそく（遠足受入型プログラム）実施園数：23園

自然体験を行う専門人材が、県立公園等で園の遠足を受け入れ、虫やどんぐりなどを用いた自然体験プログラムをこどもたちへ提供。

- ・親子参加型の公園プログラム 実施回数：9回

県立公園等において、親子で参加する自然体験を提供。

1-2. 人材育成事業の実施

- ・エコスタディ☆フェスの開催 参加者：61名

現役の幼稚園教諭や保育士等へ園での自然体験実践につなげるための仲間づくりとノウハウを学ぶ機会を提供するイベントを開催。

- ・エコロコサポーターの育成 サポーター数：のべ名106名

研究員とともに園児の自然体験をサポートする人材（学生等）を育成。

- ・園の先生向けの研修 実施回数：20回

園の先生へ園庭や近隣公園の自然を活用する方法などを提供。

1-3. コンテンツ開発

- ・自園プログラムの開発

各園での取り組みを促進するプログラム集「エコロコレクション～身近な自然と遊ぶ体験アイデア集～」や貸出コンテンツ等の制作。

- ・ホームページやMLの開設

ネットワークを拡げていくための専用ウェブサイトや園の先生の会員ML等の開設。

(2) Kids キャラバンの実施

移動博物館車「ゆめはく」（2tトラック）を活用してのキャラバン事業（アウトリーチ活動）として、幼稚園や保育所、認定こども園などの園を訪問し、美麗昆虫標本や恐竜の頭骨レプリカ、昆虫拡大模型などの展示、化石などの実物標本に触る体験、拡大装置での観察、昆虫や恐竜のキューブパズル遊びなどの様々なプログラムを行った。今年度は合計19園で実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年2月下旬～3月に予定していた6園分を中止した。

(3) Kids サンデーの実施

月の第1日曜日を「Kids サンデー」と呼び、小さな子どもとその家族向けのプログラムを今年度は10回（4/7、5/5、6/2、7/7、8/4、9/1、10/6、11/3、12/1、1/5）実施した。なお、2020年3月も実施予定にしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

（Kids タスクフォース 小舘誓治・八木 剛・半田久美子・櫻井麗賀・高瀬優子）

■ 展示更新タスクフォース 令和元年度の主な事業

(1) インドアパーク・ミュージアム構想案の作成

常設展示の老朽化など博物館の従来の課題と、立地（フラワータウン）で顕在化しているオールドニュータウン化という地域課題の解消に向け、「インドアパーク・ミュージアム」構想案を作成し、重要施策として提出した。インドアパーク・ミュージアムは、0歳児の乳幼児から高齢者まで幅広い世代が気軽に利用できる、遊びと学びが一体化した全天候型の室内公園空間である。具体的には、ホロンピアホールおよび本館1階常設展示室のスペースに展示型、滞留型、体験型の空間を新たに作り、セミナーやワークショップを実施することで、生涯学習拠点・体験学習拠点としての機能拡充とニュータウンの再活性化を目指す。

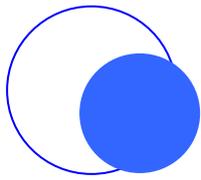
(2) 本館リニューアル構想の検討および国内外先端施設の視察

上記のインドアパーク・ミュージアムを含む本館全体のリニューアル構想について議論し、「つどう」「かんじる」「みつめる」「つなぐ」の4つの視点から「来館者が主役になる博物館」をコンセプトに据えた素案の要点をまとめた。また最新の知見を得るために、京都で開催されたICOMへ参加したほか、ハンズオン/ボディオン展示、映像展示、公園利用、プレイルーム、保育、観光、まちづくりなどに関連する国内外先端施設の視察・見学を行った。今後、視察成果の反映、勉強会の開催、館内でのワークショップなどを通じ、社会潮流を踏まえた背景整理や機能・空間の具体的検討も進め、来年度中の素案作成を目指す。

(3) えんがわミュージアム事業の企画・準備

インドアパーク・ミュージアムに係るソフト先行事業として、「えんがわミュージアム」を企画し、来年度実施するための準備を進めた。本事業は、公園緑地と隣接する博物館の縁側の空間（1階ピロティ、ホワイエ周辺）に可変式の滞留空間を試行的・定期的に整備し、採集・観察道具の貸し出しや、緑地の自然・博物館資料を活用した参加型・体験型プログラム等を実施するもので、幅広い世代への自然体験や環境学習機会の提供、身近な自然や博物館利用に対する興味関心の喚起、博物館の体験型学習拠点および遊び・くつろぎ・交流の場としての機能拡充と発信などを目的とする。

（展示更新タスクフォース 黒田有寿茂・布野隆之・大平和弘・久保田克博・奥井かおり・中濱直之）



プロジェクト

ひとはくでは、2002年度の「新展開」以後、館長辞令による館独自の職制を導入し、研究員が事業部やタスクフォースを兼務する体制で事業を推進してきました。さらに2012年度に「ひとはく将来ビジョン」をとりまとめ、組織体制・マネジメントのあり方の一つとして、「適時チームビルディングを行う柔軟な組織体制」を掲げました。変化の激しい社会情勢に柔軟に対応するため、課題やミッションに合わせ、チームづくりや事業等のリストラクチャリングをフレキシブルに行うことができる仕組みが必要であり、2014年度より、「プロジェクト制」の導入を開始しました。これは、研究員になじみのある研究プロジェクトの方法を、事業等にも適用したもので、各研究員が自由に新規に立ち上げることができます。構成員は代表者、分担者、協力者で、ひとはくの職員に限らず、外部と協力して行うことができます。また外部資金の導入も積極的に進めています。ひとはくの活動を網羅する内容になっており、国際交流事業やシンクタンク、生涯学習プログラム、収蔵資料、学術研究など多岐にわたっています。ひとはくでは独自に中期目標を設定し定量的な指標を用いて評価を行っていますが、プロジェクトでは、定量的に把握できない質的なパフォーマンスを表しています。2019年度は、下記83件のプロジェクトを展開しています。

■ 2019年度のプロジェクト(計83件)

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業	2019年京都で開催されるICOMに向け、全国規模での自然史博物館ネットワークの構築をめざし、①ICOM 京都大会期間中の京町屋における展示会開催、②自然史標本の新たな活用と保存に対する提案、③関連シンポジウムの開催。自然史資料への理解を深め、収蔵庫増設の機運を高めることを目的とする。また、同時に、収蔵管理の新たな技法や国内の標本管理の標準化モデルの構築等を行う。
頌栄短期大学標本の登録・整理	2012年に寄贈された当該コレクションは貴重な大コレクションであるが、生物系収容庫の収納可能な量をはるかに超えている。順次データ入力と収蔵庫への配架を進めているが、新収蔵庫建設にあわせて博物館の植物コレクションと一体化し、閲覧の便宜をはかるとともに、標本デジタル化を推進する。
博物館国際交流事業の推進	フランスアペロン県ミクロポリス館やマレーシア国サバ大学熱帯保全研究所をはじめ、世界各国の博物館施設等の交流活動を推進し、海外博物館施設の先進事例等の収集に努める。
国際交流事業 高校生のための生き物体験ツアーin台湾	台北市立動物園の全面協力のもと、台湾で高校生(日本人20名、台湾人20名)による生物調査を行い、成果を使った展示をひとはくで行う。
キッピー山プロジェクト	三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営事業の実施。ひとはくの機能拡張、新規事業開発に資する試行を含む。
鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた検討支援	鳴門海峡の渦潮の世界自然遺産登録に向けた学術的支援、および枠組みづくり、体制づくり等の支援をおこなう。
うずしお科学館運営支援	リニューアルオープンした南あわじ市大鳴門協記念館内のうずしお科学館の運営計画策定や運営体制、ネットワークづくり等の支援を行う。
地域コミュニティと連携したため池法面等でのタクティカルプレイスメイキング	いなみ野ため池ミュージアムに位置付けられる東播地域のため池を事例に、地域内外のコミュニティづくりを通して、ため池法面等を活用したコミュニティガーデンの戦術的な空間整備・運営を試行する。
但馬牛博物館運営支援	リニューアルオープンした但馬牛博物館の博物館活動、運営・マネジメント計画・体制づくりに関する支援を行う。
ありまふじ休養ゾーン活性化プロジェクト	有馬富士公園風のミュージアムを活用したキャラバン事業を企画・実施する。
ふるさと兵庫こども環境体験推進事業への支援	乳幼児期の環境学習を推進する「ふるさと兵庫こども環境体験推進事業(エコロコ事業)」に参画する。事業全体のマネジメント支援のほか、園庭や公園等での自然体験プログラム開発等に関する支援を行う。
兵庫県における特定外来生物対策の実践型研究と政策提言および人材育成の推進	ヒアリ、クビアカツヤカミキリ、ツメガエルなどの特定外来生物、要注意外来生物に指定されている動物を中心として対応し、侵入の原理と影響を研究活動を通じて解明し、社会的背景と実現可能な対策を含めた研究を行う。これらの成果は、環境省をはじめ行政機関に提案し、社会実装することを目的とする。また、ホームページや展示、シンポジウム等を通じて、行政等と連携して人材育成や普及教育を行う。
加東市との連携と環境学習事業への支援	協力協定にもとづく環境学習事業への支援、とくに「加東市ノーベル大賞」の審査と講評。その他、学校教育との連携による環境学習プログラム開発など。

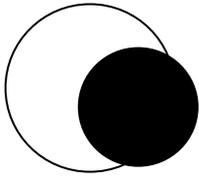
2017年～2019年までの展示計画2 コレクション(収蔵)展示	新館建設あるいは改修・収蔵庫増築に向け、コレクション展示を年1回、夏季に実施する。2019年は「石ころズラリ ～美しい鉱物から珍しい岩石まで～」を実施する。
2017年～2019年までの展示計画1 展示特別企画	展示特別企画はコレクション展と同じく大型の企画展で、年1回秋冬季に行われる。2019年は「ひょうごのレッドリスト展 ～哺乳類・爬虫類・両生類・魚類～」を実施する。
館内の省エネ化と壊れてる箇所の修理プロジェクト	2012年度から館内の故障箇所や施設維持の運用改善について直営にて修理対応してきた。その節約効果(省エネ)は、年間で約100万円以上になるほか、雨漏りの修理、緊急措置、漏電個所の対応、冷凍庫の修理メンテナンス、異臭対策など、実践ならびに技術的な支援を行った。実施にあたっては、総務課およびフロアスタッフ、設備、清掃、警備と連携して問題解決に努める。2019年度は、壁面の崩落修繕、雨漏り対策、収蔵庫の雨漏り遮水、照明のLED化と自動制御、窓の断熱性能向上、展示機器や什器の修復、エレベーターホールの漏水破損対策とポンプアップ、展示室内の空気循環を行う。
ひとはくのハチ類コレクション整備推進プロジェクト	ひとはくのハチ類コレクションはタイプ標本を含む日本・アジア各地の標本からなり、当館を特徴づけるコレクションになっている。さらに、2015年度には4万点におよぶ日本産カリバチ・アナバチ全種オス・メス標本の寄贈を受けた(羽田コレクション)。本プロジェクトでは、当館のハチ類コレクションの整備とさらなる充実・活用を推進する。また、公開可能な標本データについては、当館HPやGBIF等で公開していく。
Kids サンデープロジェクト	月の第1日曜日に子ども向けあるいは家族向けのイベント等を行う「Kids サンデー」を実施する(年間9回程度を予定)。また児童館、幼稚園、高齢者大学等と連携しながらプログラム開発を行う。
ミュージアムキッズ!プロジェクト	こどもひかりプロジェクトの支援と連携。全国のさまざまな分野のミュージアムとともに、幼児～低学年向けプログラムの開発提供、ユーススタッフ(大学生)の共同育成、ジャーナルの刊行等。
Kids キャラバン	幼稚園・保育所への「Kids キャラバン」をはじめ、文教施設や地域団体からの要望に応じ、展示や体験型プログラムのパッケージを、移動博物館車「ゆめはく」を活用して、博物館への来館が困難な地域へ届ける活動のコーディネートを行う。
共生のひろば	当館の将来ビジョンの根幹となる「創造と共生の舞台・兵庫で参画する皆さんが共演する生涯学習院」を具現化する当館が11年間継続してきた中核事業であり、昨年度は年間でもっとも多くの入館者数、参加者数を記録。ひとはく地域研究員やひとはく連携活動グループをはじめ、地域の自然・環境・文化を自ら学び伝える活動を行っている方々が、お互いの活動を知り、活動の質をあげ、新たな展開のヒントを得る場としての「共生のひろば」を継続する。
博物館研究紀要「人と自然 Humans and Nature」の編集・発行	博物館紀要の原稿募集・審査・編集・発行を行う(印刷は行わず、電子媒体のみとする)。
兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援	年1回程度の市町の生物多様性施策担当者を対象とした情報交換会を開催し、生物多様性施策担当者が博物館や近隣市町への相談や事例把握をしやすい環境を整え、そのことによって、地域戦略策定・推進に貢献する。また生物多様性地域戦略を策定した市町に対して委員等を派遣して、戦略推進に対するアドバイスをを行う。またこれから戦略を策定しようとする市町の相談を積極的に行うとともに、戦略の策定の必要性を働きかける。
棚倉町里山再生・活用プロジェクト	福島県棚倉町で里山の保全・活用に向けた各種の取り組みを行う。
ジーンバンク事業の推進	生物多様性保全を目的として、絶滅危惧植物等の危険回避、緊急避難、系統保存、増殖および種子保存を行う。また、生物多様性に配慮した植生・生態系の創出を目的として、地域性種苗を用いた公共用地・企業用地等における緑地形成支援を行う。また、これらジーンバンク事業の実現に必要な調査・研究、技術開発を進めるほか、ジーンファーム見学会等の実施を通じ環境学習・生涯学習支援を行う。
博物館情報システムの開発とシステム整備	情報システム更新によって整備されたシステムの円滑な運用を図るために、館内各課との調整を図り、より扱いやすいシステムの整備開発、保守につとめる。主には、HPの改訂、セミナー受講者システム、館内展示端末(4F)、館報データ等の集計、名簿管理について、従来ルールを引き継ぐ形で簡便化と自動化を図る。これまで整備した情報システムに関する講習会の開催、視察対応、館員からの各種質問対応、ホームページの構成、また、次期システム更新時の効果的な整備手法の開発や入館者やセミナー受講者等の既存情報を活用したマーケティング分析資料の作成を行う。
地学系収蔵庫の資料整理の推進	地学系収蔵庫の収蔵資料について、資料整理とデータベースの構築を推進し、コレクションの管理と利活用促進を行う。
琉球列島を中心とした熱帯～温帯アジアの爬虫・両生類相の多様性と自然史に関する研究	琉球列島を中心に熱帯アジアから日本本土にかけての爬虫両生類相の多様性・固有性・自然史をテーマに、その現状の把握、そして背景となる地史・環境履歴の解明を目指す。
ブータンの爬虫・両生類の多様性に関する調査研究	昨年に引き続き、長きにわたる鎖国政策の影響で知見の少ないブータン王国の爬虫・両生類そうに関する調査研究を進める。
生物多様性創出機構の解明	アリ擬態現象が鋳型となって創出されるアリ擬態クモ類の種多様性の調査研究を行い、生物間関係が織りなす生物多様性創出維持機構を解明する。
管住生ハチ類を指標とする里山環境の保全研究	里地里山を生息環境とするハチ類の多様性や生態の調査研究を行い、里山環境保全に貢献する。
昆虫標本の展示手法の研究	昆虫標本を展示活用する際に、多くの来館者に自然・生物の美しさを効果的に魅せる工夫の開発研究を行い、昆虫学や標本の重要性をより良く伝える手法の確立を目指す。
シソ科アキギリ属の送粉者調査と繁殖干渉	日本産アキギリ属を例に、近縁種間でどの程度の繁殖干渉が起こっているかどうかを明らかにする。合わせて遺伝解析も実施する。

兵庫県産植物を中心とした植物分類学的研究	博物館活動の基盤となる資料収集の強化、及び県産の絶滅危惧種、希少種を対象とした繁殖様式、フェノロジー、系統解析等、保全に資する基礎生物学的研究を実施する。
兵庫の絶滅危惧種オチフジの集団解析	オチフジは絶滅危惧II類の希少植物である。日本固有と考えられてきたが、最近中国からオチフジが見つかったという論文が出版された。本館に日本と中国のオチフジは同種で良いのか、形態解析・遺伝解析と系統解析等でアプローチする。
アマナの遺伝解析	日本と中国に分布が知られるアマナと同属ヒロハノアマナについて、その種分化の過程を系統解析により明らかにする。
植物標本デジタル化の促進	植物標本のデータ入力作業の省力化効率化を目指し、標本画像の取り込み、画像からラベルデータの自動抽出およびDB入力の自動化を目指す。今年度はDB入力ボランティアを募り、OCR読み取りシステムのブラッシュアップを図る。
貝殻に住む矮小シクリッドが並行進化した遺伝機構の解明	タンガニカ湖における潜水調査・資料採集、および日本での分子解析を行うことにより、シクリッドの <i>Telmatochromis temporalis</i> 矮小型が並行進化した遺伝機構を解明する。
御影高校における博物館活用型の学習プログラム構築	県立御影高校の環境科学部および課題研究やグループ学習の授業を通じて、六甲山のキノコに関する基礎研究を行い、その成果をもとに当館での展示会やキャラバン（御影クラッセ、森林植物園等）を開催する。また、総合学習では、近隣を流れる石屋川に生息するプラナリアを活用した教育プログラム開発を行う。
自然史標本の汎用化と収蔵技法の標準化と体系構築	自然史博物館の標本管理と保存、活用の技法は、1990年以降、あるいはもっと以前の段階から殆ど進展していない。データ整備や収納、デジタル技術、薬品処理や保存科学の方法論は大きく進展しているが、これらの知見が反映されていない。本プロジェクトでは、最新の科学的な知見を取り入れて、新たな活用や効率的な整備方法について、現代様式での収蔵技法の体系を、全国の博物館ネットワークを通じて構築する。
水分かれ資料館のリニューアルと運営支援	丹波市の水分かれ資料館のリニューアルにあたって、展示の更新やコンテンツ製作、運営面について、全面的に支援し、地域づくりの拠点となる施設整備を行う。
「ドリームスタジオ・フェスタ」プロジェクト	NPO法人人と自然の会が主催する「ドリームスタジオ・スペシャル」の開催を支援する。本事業は、集客を目的とする大型イベントではない。自然環境や標本を活用した参加型プログラムを提供することにより、来館者の好奇心を育むと共に、博物館に対する満足度の向上を図ることを目的とする。開催時間は2時間。来館者は500人以上。来館者全員が1つ以上のプログラムに参加できるよう準備を進める。
有馬富士公園 人材育成	有馬富士公園をフィールドにした地域づくり支援や人材育成プログラムを実施する。
ミツカンよかわピオトープ倶楽部支援	ミツカンよかわピオトープ倶楽部によるピオトープを活用した事業支援（ピオトープに関わる啓発・人づくり等）を行う。
尼崎 21世紀の森構想の推進支援	兵庫県の重要施策の1つである尼崎 21世紀の森構想の推進に向けて、新たな10年のキックオフから人材養成、制度設計に至る推進支援を包括的に行う。
西武庫公園再生支援	兵庫県から尼崎市に移管され、尼崎市緑の基本計画においてリーディングプロジェクトに位置づけられた西武庫公園において、地域住民によるネットワークの運営支援を行う。
三田市地域計画策定支援	三田市内のまちづくり協議会にて地域計画を策定するための、行政支援および地域団体支援を行う。
兵庫県下の提供公園の実態把握と改善	自治体の大きな負担となっている提供公園について、兵庫県下の自治体における実態を把握し、改善方を提案する。
官民市民協働型の街路樹管理の提案	街路樹の官民市民協働型の管理に向けて、現状把握から各種主体の意向、街路樹の状況を把握し、改善方を提案する。
赤穂海浜公園の魅力アップ支援	県政課題である県立赤穂海浜公園の魅力アップに向けて、助言や事業協力をを行う。
北播磨地域の魅力アップ支援	北播磨県民局の施策推進に協力しつつ、北播磨の地域資源を活用した地域づくりに取り組む。
宮塚公園を中心とした芦屋市中心市街地の活性化	リニューアルした宮塚公園のソフト展開、および中心市街地のブランディングについて支援する。
古写真を中心とした環境系資料活用による地域支援	古写真による地域の原風景の抽出や地域マネジメントへの活用方策、収蔵資料展での展示公開やセミナー等への活用方策検討のほか、館内外における実践を通し、活用プログラムの開発を行う。
近畿・中国・四国のランドスケープ遺産インベントリーの作成	ランドスケープ遺産（次世代に残したい風景や優れた造園空間）の保全と継承を図ることを目的に、日本造園学会連携のもと、それらの記録収集・登録作業を進める。また、兵庫県版レッドリストの自然景観として公表するなど、県下の景観の学術的価値の顕在化に寄与するとともに、館の資料収集・公開活用にも大いに貢献する。
パークマネジメントの社会実装に向けた行政支援	有馬富士公園でのマネジメントの運用、企画等の支援、芦屋市「宮塚公園」、吹田市「千里南公園」でのパークマネジメント組織立ち上げ支援など具体的取り組みや、公園・パークマネジメント等に関する連続セミナーによる行政、民間との情報交換の場の運営を通じて、様々な規模でのパークマネジメントの社会実装に向けた行政の取り組みを支援する。
「そとはく」による、持続性のあるニュータウン再生への取り組み	博物館周辺の屋外空間を活用する「そとはく」での活動と国内外ニュータウンの再生に関わる研究を通じて、フラワータウンを博物館のある持続性のある街としての再生に貢献する。
北摂里山博物館構想の支援	「北摂里山博物館構想」の推進に向けた各種取り組みを支援し、北摂地域の生物多様性保全と地域振興を図る。具体的には、植物・植生の保全・管理手法の開発・普及、自治体への政策提言、自治体や市民団体、企業などの活動支援、児童生徒や地域住民の環境学習支援、生物多様性保全の担い手の育成などを行う。

三田市皿池湿原の保全	三田市の皿池湿原は兵庫県版レッドデータブックの A ランクに指定されている。しかし、この湿原では様々な問題（遷移の進行に伴うヌマガヤ群落や木本群落の拡大、周辺部に広がる放置里山林の照葉樹林化など）が発生しており、今後の生物多様性の減少が懸念されている。三田市と連携してこの湿原の保全を図る。
たつの市鶏籠山の照葉樹林の保全	たつの市鶏籠山の照葉樹林は兵庫県版レッドデータブックの B ランクに指定されている。しかし、鶏籠山はシカの生息密度が非常に高く、シカの食害による照葉樹林の衰退が大きな問題となっている。林野庁と連携してこの樹林の保全を図る。
兵庫県における未確認植物群落の実態把握	兵庫県にはまだ調査がほとんど行われていない植物群落が数多く存在する。また、里山の管理放棄やシカの増加などに伴って、過去に例のない新たな群落が各地でみられるようになってきた。このような未確認群落の実態を把握するための調査を実施し、その成果を随時論文にまとめて公表する。
都市公園と里山林の植物相の保全と活用	都市公園と里山林の植物相を明らかにし、貴重種の保全および自然観察に有用な植物の活用やガイドの作成を行う。
丹波地域の貴重植物の探索と保全活動	丹波地域の貴重種を探索し、保護が必要な場合は保全策を講じ、一般公開などにより地域の魅力を村おこしにつなげる。
乾燥種子標本の収集・活用	開館当初から収集・保管してきた乾燥種子標本を今後も適切に保管すると共に、展示やセミナー、キャラバン事業などでの標本の活用を図る。また、収集活動の継続や寄贈の促進、他館との標本交換などを行うことで標本のさらなる充実化を図る。
植生資料データベースの構築・公開	神戸大学発達科学部植生研究室(武田義明教授) や杉田氏より寄贈された 1960 年代以降に調査された国内各地の植生調査資料をデジタル化、データベース化し過去の植生の変遷や地域の植生の特徴を理解するための基礎資料として活用する。WEB 上での公開も検討し、広く研究者、専門家が利用できるデータベースをめざす。
植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用	開館当初より収集し、データベース化している植物・植生映像資料を適正に保管するとともに、映像資料の寄贈の受入や館員による収集映像の追加によりデータベースを充実化し、過去の植生の変遷や地域の植生の特徴を理解するための基礎資料として活用する。WEB 上での公開も検討し研究者、専門家だけでなく広く県民も利用できるデータベースをめざす。
ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援	深田公園の当館管理区域に位置する残存林および人工林で現在行っている里山管理および施設管理を継続し、兵庫方式の里山管理の見本林として整備する。また里山の代表的な植物を観察できる場所に整備する。安全管理上の問題もあるため、完全一般公開とはせず、里山活動を行う市民団体や行政、企業向けのセミナーや学校団体等の環境体験学習等で活用する。
三田市南公園 まちなかり山保全プロジェクトの支援	三田市が策定した南公園の里山公園管理計画である「まちなかり山基本方針」の実現を支援するための、人材育成プログラムに対する講師派遣やコンテンツ提供、育成された人材で結成される活動団体への支援を行う。また整備された南公園を活用して、ひとはく独自の環境学習プログラムの実施（主に特注セミナー）を検討する。
東お多福山草原保全・再生プロジェクトの推進	東お多福山草原保全・再生研究会が進める、草原保全・活用事業を支援する。また草原保全に関する研究成果を得る。東お多福山草原生物多様性ガイドの養成を進める。協力者との連携を密にすることで、六甲山に関わる行政への支援のパイプを確保する。
生物多様性協働フォーラムの枠組みを活用した生物多様性の普及・啓発、研究開発	平成 23 年度より実施している生物多様性協働フォーラムの枠組みを活用して、生物多様性の主流化に資する研究会開発を行うとともに、研究成果の公表、普及啓発活動を展開する。
山陰海岸における海浜植物・海浜植生の保全推進	山陰海岸に生育する海浜植物の保全に向け、野外調査等を行う。データは学会・論文での発表のほかセミナーや展示で活用する。
播磨灘沿岸における塩湿地植物・塩湿地植生の保全推進	播磨灘沿岸に生育する塩湿地植物の保全に向け、野外調査、発芽試験、栽培試験等を行う。データは学会・論文での発表のほかセミナーや展示で活用する。
名勝慶野松原における海浜植物・林床植生の保全推進	慶野松原（南あわじ市）の生物多様性保全に向け海浜植物の生態や林床植生の組成・構造を調べる。
兵庫県における重要植物群落の現状把握と保全推進	兵庫県内の重要植物群落の現状を把握し、環境施策や森林整備事業の企画立案に必要な基礎資料の充実を図る。収集した植生写真や植生調査資料はセミナーや展示で活用する。
DNA を長期保管できる生物標本作成方法の開発	標本の多面的機能を創出する一環として、標本中では通常短期間で劣化する DNA 情報の長期保管するための技術開発をする。
姫路市の花サギソウにおける遺伝子汚染の実態解明	姫路市の花に指定されているサギソウについて、過去に生育地への植え戻しが報告されている。このように遺伝子汚染の実態を解明し、サギソウの保全に活用する。
絶滅危惧植物の遺伝資源サンプル収集	兵庫県に生育する絶滅危惧植物を中心に、遺伝解析用のサンプルを収集する。将来世代がこうした遺伝解析用サンプルを解析できるように、博物館における恒久的な収蔵を目指す。
生物系標本庫（植物）の資料整理とデータの公開	生物系収蔵庫における植物標本の管理と利活用の促進をはかり、未収集コレクションの取得と整備につとめる。これらの資料をデータベース化して、公開可能な標本データについては、当館 HP や GBIF 等で公開していく。
高次脳機能障がい者にもわかりやすい放送音声の視聴実験	開発した DAISY 形式を中心に失語症者など高次脳機能障がい者に〈視聴〉していただく。
アフリカ中央部（カメルーン、コンゴ共和国など）の既存収集品の整理	すでに個人的に科研費その他の外部資金で収集した霊長類学・自然人類学に関わる哺乳類（骨格、皮）、植物（さく葉標本、果実の乾燥標本）、その他の資料を収蔵可能なように整理し、順次、収蔵する。
インドネシア・バンガラン自然保護区のシルバールトン長期データの解析	辻 大和さん、Erri Megantara さん、Bambang Suryobroto さんたちが中心となって現地調査を行い、20 年程度の長期調査を取りまとめる。三谷と渡邊邦夫さんは研究のアドバイスをを行う。

<p>言語音がわかりにくい高次脳機能障がい者とともに作る生涯学習施設の放送音声</p>	<p>高次脳機能障がい者の協力の下、災害情報や緊急避難情報など放送に適した〈絵・文字・音声〉を探り、実用化をめざす。</p>
<p>「深田公園植物情報」展示等による演示プログラムの試行</p>	<p>4階ひとはくサロンから見える範囲での植物を観察する場所やポイントなどの情報を1~2ヶ月ごとに「深田公園植物情報」として内容を更新する（専用展示台によって、ひとはくサロンで展示）。また、深田公園を使って植物を対象とした演示プログラムを試行する。</p>
<p>年配者と地域の子どもをつなぐプロジェクト</p>	<p>年配者と一緒に、地域の小学校や児童館などへ行って自然、環境や生きものについてのプログラムを実施しながら、年配者と地域の子どもたちがコミュニケーションする仕組みを検討する。</p>

資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

○ 主な購入資料

[化石]

オフタルモサウルス
ドイツ・メッセル産化石一式
ホプロフォネウス
アメリカマストドン全身骨格
ヒプセロサウルス卵化石
ユーステノプテロン
ケニア産人類・哺乳類化石レプリカー一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物
石鉄隕石

隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製
鳥類剥製
甲殻類剥製
軟体動物含浸標本
貝類含浸標本
鳥類生態写真
魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)
ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)
チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)
(台湾・中国産 1,300 点)
チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)
チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)
シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)
フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)
甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)
(高橋コレクション 7,248 点)
ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

[植物]

兵庫県産木材樹幹
外国産木材樹幹
屋久杉輪切り (年輪) 標本
種子標本 (種子コレクション)

○ 主な受贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点 (堀治三朗氏)
神戸層群産植物化石 4,085 点 (高岡得太郎氏)
日本産中生代貝類化石 890 点 (市川浩一郎氏)
高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点 (仙頭鷹雄氏)
備北・勝田層群産中新世化石 187 点 (岸本眞五氏)
兵庫県養父市産化石 800 点 (長岡桂介氏)

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点 (シルバー生野)
鉱石・鉱物・岩石標本 300 点 (工藤智巳氏)

[動物]

貝類標本 10,000 点 (菊池典男氏)
鳥類標本 620 点 (西堀静江氏)
鳥類標本 130 点 (柴田嘉三氏)
鳥類標本 14,000 点 (小林登美子氏)
鳥類標本 1,800 点 (坂根 干氏)
無脊椎動物標本 100 点 (土井敏男氏)
トラ本剥製 1 点 (伊丹検察庁)

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点 (田中梓氏)
チョウ類等標本 14,000 点 (柴田篤弘氏)
チョウ類等標本 5,700 点 (山本廣一氏)
チョウ類等標本 11,000 点 (小林登美子氏)
チョウ類標本 13,132 点 (佐藤英次氏)
カリバチ類タイプ標本 367 点 (常木三澄子氏)
ハチ類標本 36,569 点 (羽田年也氏)
ハバチ類標本 14,000 点 (猪股光子氏)
ゴミムシ類標本 5,700 点 (大倉孝子氏)
ハネカクシ科等標本 114 点 (林 靖彦氏)
ゾウムシ科標本 2,221 点 (中村剛之氏)
昆虫標本 8,600 点 (橋本直也氏)
チョウ類標本 4,000 点 (小坂利明氏)
チョウ類標本 4,000 点 (池田比呂志)

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点 (中西田鶴子氏)
シダ類標本 4,000 点 (稲田政子氏)
高等植物標本 20,000 点 (細見末雄氏)
頌栄短大高等植物標本 250,000 点

○ 令和元年度の受贈資料 (受付順)

岡田博コレクション (ボルネオ島産さく葉標本) (京田辺市) 15 点
小林禧樹コレクション (さく葉標本) (明石市) 912 点
丸岡道行コレクション (さく葉標本) (三木市) 370 点
永瀬幸一コレクション (日本産さく葉標本) (大阪市) 4,976 点
永瀬幸一コレクション (昆虫標本) (大阪市) 7,000 点
森亜偉子コレクション (鉱物・化石) (三田市) 44 点
永瀬幸一コレクション (岩石・鉱物) (大阪市) 2,500 点
水谷洋一コレクション (鉱物) (京丹後市) 500 点
矢内正弘コレクション (兵庫県産さく葉標本) (姫路市) 188 点
高野哲司コレクション (さく葉標本) (明石市) 123 点
竹崎ひろ子コレクション (さく葉標本) (神戸市) 84 点
高田康司コレクション (中・古生代化石) (宝塚市) 219 点
臼杵素直コレクション (鉱物・化石) (東大阪市) 391 点
梶本七郎コレクション (ナウマン象化石下顎骨他) (加古川市) 5 点
小田中健コレクション (日本産オサムシ科甲虫) (宝塚市) 4,180 点
小田中健コレクション (カミキリムシ標本) (宝塚市) 8,000 点
木村康彦コレクション (外国産蝶類標本) (芦屋市) 3,330 点
岸本真五コレクション (兵庫県南あわじ市産出スッポン類化石) (姫路市) 1 点
森和人コレクション (和泉層群産植物化石) (南あわじ市) 7 点
古田洋理コレクション (カワネズミ仮剥製) (加東市) 4 点
三谷康則コレクション (兵庫県内における希少鳥類観察記録) (姫路市) 9,100 点

(以上)

○ 情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っています。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能です。

この機能を実現するためには、博物館自体が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要です。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行います。

なお、博物館の情報システムは以下の6つのサブシステムで構成されています。

システム構成



① 収藏品管理システム～ひとはくデータベース～

約190万点の収藏品を管理するシステムで、収藏品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらを合わせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいます。

博物館の収藏品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のマルチメディアデータや収藏品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムです。データベースへの登録や検索は、館員の端末から Web ブラウザを利用して行います。



② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムです。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示します。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末から Web ブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現しています。



③ 普及広報システム

平成8年度より館内に独自の Web サーバを設置し、インターネットによる情報発信を実施しています。現在の発信内容は、新着情報、ひとはくブログ、博物館について、セミナー・学習素材、展示情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容など、内容の充実を図っています。独自に整備したシステムとして、運営支援システムで管理しているセミナー情報から Web ページのセミナー一覧表の自動ページ構築とアップデート機能を持っています。



④ 研究支援システム

収藏品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである地理情報システムをはじめ、ホロンピアホールなどの講演をセミナー室等にも配信するライブ配信機能や顕微鏡カメラの精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っています。



⑤ 運営支援システム

グループウェア機能をはじめ、各種イベント、セミナー情報や受講者管理、団体受付や入館者管理など、館員の端末から Web ブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築しています。このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化を図っています。



⑥ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する12万を超える図書・文献等を管理するシステムです。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できます。

○ 条例等

兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)
条例第25号

(沿革)

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正
平成19年3月16日条例第9号改正 平成22年3月19日条例第6号改正
平成24年3月21日条例第5号改正 平成26年3月20日条例第8号改正
平成29年3月23日条例第9号改正 平成31年3月19日条例第5号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
 - (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
 - (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
 - (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
 - (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
 - (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
 - (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
 - (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
 - (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務
- 2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

- 第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。
- 2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。
- 3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,100円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
 - (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者
- (遵守事項等)

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
 - (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
 - (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
 - (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
 - (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。
- 2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されるることができる。

一部改正〔平成24年条例5号〕

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500 円
	副会長	日 額	11,500 円
	委 員	日 額	11,000 円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成16年3月26日条例第7号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成18年9月28日条例第53号)
この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日条例第9号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成22年3月19日条例第6号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成24年3月23日条例第7号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成26年3月20日条例第8号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。(後略)
(経過措置)

4 施行日前に第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成29年3月23日条例第7号抄)
(施行期日)

1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成31年3月19日条例第5号)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1)～(4) (略)

(5) 第1条中使用料及び手数料徴収条例別表第1、別表第2並びに別表第4の15の部、36の部、58の部(5)の款、64の2の部備考(1)、65の部備考3(1)並びに66の部備考1(1)及び備考3(1)の改正規定並びに第2条、第4条から第15条まで、第17条から第45条まで及び第47条から第55条までの規定 平成31年10月1日

(経過措置)

2 第2条の規定による改正後の使用料及び手数料徴収条例別表第4の69の部(1)の款の規定は、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後に同款に規定する証明書の交付の申請をする者について適用する。

3 施行日前に第4条、第14条、第18条、第21条、第23条、第48条、第49条、第51条、第53条及び第54条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第4条、第14条、第18条、第21条、第23条、第48条、第49条、第51条、第53条及び第54条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による

別表第1 (第5条関係)

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	200円	150円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生以下」とは、高等学校、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。
大学生	150円	100円	
高校生以下	無料		

全部改正 [平成22年条例6号]

別表第2 (第5条関係)

区分	特別展示観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	2,000円	1,600円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。

大学生	1,500円	1,200円	2 「高校生以下」とは、高等学校、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。
高校生以下	無料		

全部改正 [平成22年条例6号]

別表第3 (第9条関係)

区分	使用料			備 考
	開館時刻から12時まで	13時から閉館時刻まで	開館時刻から閉館時刻まで	
ホール	5,800円	7,300円	13,100円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日以外の日をいう。
利便施設	使用料及び手数料徴収条例(平成12年兵庫県条例第12号)別表第1建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額(一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものをもって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額)			
附属設備	別に教育委員会規則で定める額			

全部改正 [平成15年条例7号]、一部改正 [平成16年条例7号・18年53号・19年9号・22年6号・26年8号]

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

(平成4年3月27日)
教育委員会規則第8号

[沿革]

平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正
平成15年3月25日教育委員会規則第7号改正
平成16年3月26日教育委員会規則第14号改正
平成19年3月30日教育委員会規則第11号改正
平成22年3月31日教育委員会規則第6号
平成23年3月29日教育委員会規則第8号
平成26年3月28日教育委員会規則第7号改正
平成29年3月31日教育委員会規則第4号改正
平成31年3月29日教育委員会規則第7号

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館(以下「博物館」という。)の管理に關して必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日(当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日)とする。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日にお

いて臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

(特別展示観覧料)

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

(特別観覧の許可等)

第6条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(展示品の利用)

第7条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

(施設の利用の許可等)

第8条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書(様式第2号。以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員会が指定する期間に、兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書(様式第3号。以下「利便施設利用許可申請書」という。)に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書(以下「利用許可書」という。)を申請者に交付するものとする。

4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書(様式第4号。以下「利便施設利用内容変更承認申請書」という。)に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

5 教育委員会は、利便施設利用内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。

6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名(法人及び団体にあっては、所在地又は名称)を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。

(利用等の許可の基準等)

第9条 教育委員会は、第6条第1項の特別観覧許可申請書、前条第1項の利用許可申請書又は同条第2項の利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときには、条例第6条又は条例第9条第1項の許可をしないものとし、その理由を付して当該申請をした者に文書で不許可の通知をするものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
- (2) 博物館の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。
- (3) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があるとき。

2 第6条第2項又は前条第3項の場合において、教育委員会は、博物館の管理上必要があるときは、当該許可に条件を付すことができる。

(使用料の額)

第10条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。

(特別観覧料及び使用料の納付)

第11条 特別観覧許可書及び利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項の許可を

受けた場合であつて、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

(観覧料等の免除)

第12条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料(特別展示観覧料を含む。)、特別観覧料及び使用料(以下「観覧料等」という。)の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 70歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき、観覧料(特別展示観覧料を含む。)の2分の1に相当する額

(2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき、観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額

(観覧料等の還付)

第13条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

(1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき、観覧料等に相当する額

(2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき(アに該当する場合を除く。)。当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書(様式第5号)を教育委員会に提出しなければならない。

(寄託又は寄贈)

第14条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

(権限の委任)

第15条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項(観覧時間に係る部分に限る。)、第4条から第6条まで、第9条(特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。)、第10条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。)並びに第11条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。)の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則(平成4年10月26日教育委員会規則第19号)

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則(平成15年3月25日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成16年3月26日教育委員会規則第14号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。(後略)

附 則(平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月28日教育委員会規則第7号)

(施行期日)

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日前に第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成29年3月31日教育委員会規則第4号)

(施行期日)

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成 31 年 3 月 29 日教育委員会規則第 7 号)

(施行期日)

1 この規則は、平成 31 年 10 月 1 日から施行する。(後略)
(経過措置)

2 この規則の施行の日前に第 1 条及び第 2 条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第 1 条及び第 2 条の規定による改正後のそれぞれの規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第 1 (第 6 条関係)

区 分	特別観覧料 (1 点 1 回につき)		
熟 覧	150 円		
模写・模造	2,100 円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150 円	1,000 円
	原色	300 円	2,100 円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを 1 点とする。
2 普通個別の博物館資料は、各個を 1 点とする。
3 撮影は、同一作品について原板 3 枚以内を 1 回とする。

別紙第 2 (第 10 条関係)

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,600 円	5,900 円	10,500 円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1 キロワットにつき 250 円
持込み電気器具用コンセント (録音器具を持込み場合)	持込み器具 1 式につき 2,100 円
持込み電気器具用コンセント (録画器具を持込み場合)	持込み器具 1 式につき 3,200 円
持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを持込み場合)	持込み器具 1 式につき 5,200 円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の 1 キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の 1 キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に 1 キロワットに満たない端数があるときは、これを 1 キロワットとする。

様式第 1 号

(第 6 条関係)

特 別 観 覧 許 可 申 請 書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー ー 番

次のとおり申請します。

品 目	点 数	所 有 者	備 考
観 覧 希 望 日 時	年 月 日 時から 時まで		
研 究 の 方 法	熟 覧	模 写	模 造 撮 影
研 究 の 目 的			

様式第 2 号

(第 8 条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー ー 番

次のとおり申請します。

利 用 目 的	
利 用 室 名	
附 属 設 備 の 名 称	
照 開	年 月 日 時から (日 時間) 月 日 時まで
利 用 者 数	
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

様式第 3 号

(第 8 条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー ー 番

次のとおり申請します。

利 便 施 設 の 用 途	
利用許可を受けようとする利便施設	
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第 4 号

(第 8 条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所 (法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名 (法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー ー 番

次のとおり申請します。

変 更 の 内 容	審 査 項	変 更 前	変 更 後
	利 便 施 設 の 用 途		
利 用 許 可 を 受 け よ う と す る 利 便 施 設	利 用 許 可 を 受 け よ う と す る 利 便 施 設		
	利 用 許 可 を 受 け よ う と す る 期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで	年 月 日 から 年 月 日 まで
変 更 の 理 由			

(注) 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号
(第13条関係)

兵庫県立人と自然の博物館視察料等還付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 - - 番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号	※還付金の内訳
返 還 請 求 の 内 容		
利 用 等 の 日 時	年 月 日 時から (日 時 分) 月 日 時まで	
賦 納 付 額		円
返還を受けようとする理由		
※ 還 付 率		パーセント
※ 還 付 額		円

- (注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議会の組織及び運営に関する規則 (平成4年3月27日 教育委員会規則第9号)

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。

- 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の管理に関する規程 (平成4年3月31日 教育長訓令第2号)

(趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則(平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。)第16条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 教育長は、規則第15条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第12条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育長訓令第4号)

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教育長訓令第2号)

この訓令は、公布の日から施行する。

兵庫県教育委員会 行政組織規則

(昭和58年4月1日) 教育委員会規則第9号

(沿革)

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、19年3月30日第5号、20年3月28日第3号、21年3月31日第11号、22年1月29日第3号、3月31日第7号、23年3月29日第5号、4月1日第10号、10月7日第12号、24年3月30日第7号、25年3月29日第7号、10月29日第13号、26年3月28日第4号改正、27年3月31日第7号8号、28年3月31日第5号6号、28年12月20日第12号、29年2月14日第1号、29年3月31日第7号、30年3月31日第2号、31年3月19日教育委員会規則第2号、31年3月29日教育委員会規則第5号改正

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適正かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

(機関の分類)

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

(機関の定義)

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

(行政機能の発揮)

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の発揮に努めなければならない。

(規定の範囲)

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

(組織の特例)

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

(位置)

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

(業務)

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

(組織)

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、2課及び3研究部を置く。

- 事業推進部
- 総務課
- 生涯学習課
- 自然・環境評価研究部
- 自然・環境マネジメント研究部
- 自然・環境再生研究部

(事業推進部の事務)

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
- (2) 大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
- (3) 自然、生命及び環境に関する学術研究会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
- (5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

(総務課の事務)

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 文書の收受、発送、保存等に関すること。
- (3) 職員の進退及び服務に関すること。
- (4) 給料その他の諸給与に関すること。
- (5) 児童手当に関すること。
- (6) 会計経理に関すること。
- (7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。
- (8) 人と自然の博物館協議会に関すること。
- (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。
- (7) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (8) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (9) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (10) 情報機器の管理に関すること。
- (11) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情

報管理課の所掌に属するものを除く。)

- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担任専務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制 (教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び副館長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター及び県立但馬やまびこの郷(さと)の所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。(副館長)

第79条の3 県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

2 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。(副所長等)

第79条の4

4 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副館長は、所長、校長、館長又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職名	組織	職務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長補佐及び分館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐、館長補佐及び分館長補佐は、所長、校長、館長、園長又は分館長及び副所長、副校長、次長又は副館長の職務を補佐する。教育機関の事務のうち、特に命じられた困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。(班長等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
班長	課の事務のうち、担任事務について上司の職務を補

	佐するとともに、当該事務を処理する。
主任 指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任 社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任 調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷(さと)公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(技師)

第80条の5 前8条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、技師を置き、その職務は、第74条の2第2項に規定するとおりとする。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることができる。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあっては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、(副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあっては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長)が、その他の教育機関にあっては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職名	職務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究 技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員 又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
条例第16号

(沿革)

平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等(以下「美術品等」という。)を円滑に取得するため、美術品等取得基金(以下「基金」という。)を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用等)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則 (平成11年10月8日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成14年3月27日条例第32号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。(後略)

附 則 (平成15年3月17日条例第37号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年3月28日条例第15号)

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例(平成17年兵庫県条例第14号)の施行の日から施行する。

附 則 (平成19年2月28日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日条例第25号)

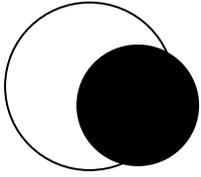
この条例は、平成19年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館協議会委員名簿

令和2年4月現在

区 分	役 職	氏 名	備 考
学校教育関係者	三田市立弥生小学校長	西畑 一之	
〃	神戸市立鷹匠中学校長	田原 唯志	
〃	県立三田祥雲館高等学校長	加嶋 幸彦	
社会教育関係者	県立歴史博物館長	藪田 貫	
〃	聖和短期大学准教授(兵庫県社会教育委員)	森 知子	
〃	姫路市立手柄山温室植物園研究員	松本 修二	
学識経験者	多摩美術大学教授	楠 房子	
〃	大阪府立大学大学院助教	上田 萌子	
〃	兵庫県立大学副学長	高坂 誠	
〃	三田市長	森 哲男	
〃	関西学院大学教授	角野 幸博	
〃	キッズプラザ大阪企画運営ミュージアム・エデュケーター	石川 梨絵	
〃	神姫バス株式会社	粕谷 朋未	
公募委員	関西大学入試センター アドミッション・コミュニケーター	藤本 睦美	
公募委員	前三田市国際交流協会副会長	深井 佳世子	

(順不同・敬称略)



個人別成果報告に関する資料

●館長

中瀬 勲 NAKASE, Isao

兵庫県立大学名誉教授。

兵庫県立淡路景観園芸学校学長兼校長。

昭和23年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会，日本都市計画学会，日本学術会議等所属。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■共同研究

基盤研究（A）（一般）「幼年期における科学的素養醸成のための科学コミュニケーションに関する学際的研究」，研究分担者。

■論文・著書

中瀬勲（2019.4）「ランドスケープからの地域経営 1，地域を強くする緑のデザイン」，監修，神戸新聞総合出版センター。

中瀬勲（2019.4）「ランドスケープからの地域経営 2，植物を活用した地域づくり」，監修，神戸新聞総合出版センター。

中瀬勲（2019.9）「特集論文 実践的体験活動の勧め」，月刊「兵庫教育」2019年9月号。

中瀬勲（2019.10）「ランドスケープからの地域経営 3，地域と実践するSDGs」，監修，神戸新聞総合出版センター。

中瀬勲（2020.3）「ランドスケープからの地域経営 4，世界とシェア！」，監修，神戸新聞総合出版センター。

■学会役員等

日本造園学会，校閲委員。

日本造園学会，代議員。

日本造園学会 CPD プログラム認定委員会，委員。

日本造園学会，関西支部，顧問。

日本都市計画学会，学術研究発表論文・一般研究論文審査部会，委員。

日本学術会議，特任連携会員。

■賞罰

神戸市制130周年 功労者表彰

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館外講演

中瀬勲，2019.4，「基調講演『里山のできるごと』」，講師，森の自然塾，大阪市。（40名）

中瀬勲，2019.4，開講記念講座『出番ですよ。ナビスタの皆さん～地域活性化は待ったなし！』，講師，西播磨高齢者文化大学・大学院，たつの市。（260名）

中瀬勲，2019.6，「マネジメントの時代 —参画・協働の視点から—」，講師，たかつき市民環境大学，大阪府高槻市。（30名）

中瀬勲，2019.6，「ローカルコミュニティにはたすランドスケープの役割」，コーディネーター，ランドスケープの新潮流セミナー，淡路景観園芸学校，神戸市。（130名）

中瀬勲，2019.7，「兵庫県の遺産資源の継承」，総括，ランドスケープの新潮流セミナー，淡路景観園芸学校，神戸市。（90名）

中瀬勲，2019.10，「基調講演『共生の風景』」，講師，里山保全技術者養成講座2019，国崎クリーンセンター，川西市。（40名）

中瀬勲，2019.11，「造園1」（全2回），講師，神戸市シルバーカレッジ，神戸市。（80名）

中瀬勲，2019.11，「シンポジウム『地域づくり団体全国研修交流会兵庫大会』全体会」，コーディネーター，地域づくり団体全国研修交流会兵庫大会実行委員会事務局，兵庫県企画県民部地域振興課，神戸市。（300名）

中瀬勲，2019.11，いなみ野学園大学講座『共生の風景』，講師，公益財団法人兵庫県生きがい創造協会，加古川市。（241名）

中瀬勲，2019.11，「植物の魔術師“ピートアウドルフ”ドキュメンタリー映画『FIVE SEASONS』上映会&トークイベント」，総括，淡路景観園芸学校，神戸市。（250名）

中瀬勲，2019.12，「造園2」（全2回），講師，神戸市シルバーカレッジ，神戸市。（80名）

中瀬勲，2019.12，講義「景観園芸学のまとめ これからの地域と緑」，講師，川西市生涯学習短期大学レフネック，川西市。（100名）

中瀬勲，2019.12，講話「環境と景観 これまでとこれから」，講師，阪神・丹波市長会，三田市。（25名）

中瀬勲，2019.12，「ひょうごユース eco フォーラム “恵み豊かなふるさとひょうご”を次代につなぐ～今、私たちにできること～」，総合コーディネーター，兵庫県環境政策課，神戸市。（300名）

中瀬勲, 2020.1, 三田市議会議長と対談「地域は宝箱!新しい発見!わくわくを一緒に!」, 対談, 人と自然の博物館.

中瀬勲, 2020.2, 「Where Culture Meets Nature ~ 日本文化を育んだ自然をいかに魅せるか~」, 公開シンポジウム, 京都市.

非常勤講師

2020.1, 「ランドスケープデザイン論」, 国立大学法人 名古屋工業大学.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 85 件)

1994.10-2020.9, 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.

1997.8-, 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.

1998.8-, (財) ひょうご環境創造協会, 環境アドバイザー.

1999.4-, (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.

2000.6-, (社) 大阪自然環境保全協会, 里山保全アドバイザー.

2002.12-, 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課.

2003.6-2020.5, (一社) 日本公園緑地協会, 研究顧問.

2003.10-, 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.

2004.7-, 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.

2004.7-, グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2005.4-, 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.

2005.5-, 神戸市建設局指定管理者選定評価委員会, 委員長, 神戸市.

2005.7-, 大門寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.

2005.9-, ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社) 兵庫みどり公社. 以降継続中

2006.2-, 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.

2006.4-, (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.

2007.4-, 神戸市公園緑地審議会, 委員, 会長 (2011.4-), 委員長 (2013.4-2019.12), 神戸市.

2007.4-, 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部長, 神戸市.

2008.1-, 野生動物保護管理運営協議会, 委員 (2014.11-), 会長 (2010.1-), 副会長, 兵庫県農政環境部環境創造局鳥獣対策課.

2008.4-, やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの森公園協会.

2008.6-, 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議, 委員, 兵庫県阪神南県民センター.

2009.5-, 県立三田祥雲館高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.

2010.2-, 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 副会長.

2010.2-, 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 近畿地方整備局, 兵庫県但馬県民局.

2010.5-, 兵庫の貴重な自然改訂委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.

2010.6-, ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.

2010.5-, 新名神高速道路 大阪府域自然環境保全検討会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.

2010.12-, 新名神高速道路 兵庫県域自然環境保全検討会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.

2011.5-, (公財) 兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる自己評価システム検討委員会, 委員長, (公財) 兵庫県園芸・公園協会.

2011.5-, 生物多様性ひょうご基金審査委員会, 委員, (財) ひょうご環境創造協会.

2011.6-2020.3, 生物多様性ひょうご戦略推進委員会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

2011.8-, 名勝慶野松原保存整備委員会, 委員, 南あわじ市.

2011.8-, ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会, 委員長, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

2011.9-, 中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会, 委員, 環境省.

2011.10-, あわじ環境未来島構想推進協議会, アドバイザー, 兵庫県淡路県民局.

2011.10-, あわじ環境未来島構想推進協議会企画委員会, 委員長, 兵庫県淡路県民局.

2011.10-, 日本学術会議, 連携会員, 日本学術会議.

2011.11-, あわじ環境未来島構想推進事業審査会, 委員, 兵庫県淡路県民局.

2012.4-, (公財) 兵庫県園芸・公園協会, 理事, (公財) 兵庫県園芸・公園協会.

2012.4-2020.3, 長期ビジョン審議会, 委員, 兵庫県企画県民部ビジョン課.

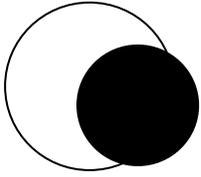
2012.7-, 播磨新宮~山崎間自然環境保全検討会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.

2012.8-, 環境基本計画検討小委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.

2012.9-, 関西広域連合環境保全計画に関する有識者会議, 委員, 委員長 (2017.12-), 関西広域連合広域環境保全局.

2012.9-2022.3, 神戸市建設局自転車等駐車場事業者選定委員会, 委員長, 神戸市建設局道路部計画課.

- 2012.10-, 加古川流域懇談会, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2013.1-, 新名神高速道路 鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討会, 委員, 西日本高速道路株式会社.
- 2013.4-, やしろの森公園運協, 評議員, やしろの森公園協会.
- 2013.4-, 姫路市生物多様性地域戦略検討会, 委員長, 姫路市.
- 2013.6-, 尼崎市公園緑地審議会, 会長, 尼崎市.
- 2013.7-, 神戸市道路公社設置駐車場管理運營業務委託業者選定評価委員会, 委員, 神戸市道路公社.
- 2013.7-, 公園等の管理運営に係る評価・検証委員会, 委員長, (公財) 兵庫県園芸・公園協会.
- 2014.4-, ふるさとひょうご創生塾企画運営委員会, 委員長, (公財) 兵庫県生きがい創造協会.
- 2014.4-, 阪神北地域ビジョン委員会, アドバイザー, 阪神北地域ビジョン委員会.
- 2014.7-2020.3, 総合企画委員会, 委員, (公財) ひょうご科学技術協会.
- 2014.10-, (一財) 公園財団, 研究顧問, (一財) 公園財団.
- 2014.11, 緑化技術検討委員会, 委員長, 兵庫県阪神南県民センター.
- 2015.4-2019.3, (独) 国立科学博物館評議員会, 評議員, 国立科学博物館.
- 2015.4-, 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員会, 委員, 兵庫・徳島「鳴門の渦潮」世界遺産登録推進協議会.
- 2015.4-, 高槻市立自然博物館, 顧問, 高槻市立自然博物館.
- 2015.4-, 尼崎の森中央緑地緑化技術検討会, 委員, (株) 里と水辺研究所.
- 2015.5-, 兵庫県地域創生戦略会議, 委員, 兵庫県企画県民部. (2017.11-会議が拡大し、兵庫県地域創生戦略会議企画委員会となった)
- 2015.10-, 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
- 2016.2-, 淡路島公園プロジェクト会議, 兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課.
- 2016.5-, ため池の保全等に関する全県検討会, 委員, 兵庫県農政環境部農村環境室.
- 2017.4-, 一般財団法人淡路島くふう協会, 評議員, 一般財団法人淡路島くふう協会.
- 2017.4-, 北淡路花緑ネットワーク会議, 兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課.
- 2017.4-, 海と日本プロジェクト in ひょうご実行委員会, 委員長, 株式会社サンテレビジョン.
- 2017.6-2020.3, 国立公園六甲山魅力プロジェクト推進委員会, 委員, 農政環境部環境創造局自然環境課.
- 2017.8-2019.3, 地域遺産活用方策検討委員会, アドバイザー, 兵庫県企画県民部地域遺産課.
- 2017.9-2020.3, 明石城築城 400 周年記念事業 実行委員会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課.
- 2018.3-, 六甲山再生委員会, 委員, 神戸市経済観光局.
- 2018.4-, 乳幼児期の環境学習あり方検討会, 顧問, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課.
- 2018.7-2019.6, 淡路地区海岸ゾーン民間活用検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2018.7-, 名神湾岸連絡線環境影響評価技術検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
- 2018.8-2020.9, 島本町総合計画審議会, 委員, 島本町.
- 2018.10-, うずしお科学館運営委員会, 委員, 南あわじ市.
- 2018.11-, 明石城跡保存活用検討委員会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局.
- 2019.1-2020.3, 六甲山騒音対策技術検討会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.
- 2019.6-, 地球アトリエ構想検討委員会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課.
- 2019.9-, 播磨臨海地域道路事業環境影響評価技術検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局, 姫路河川国道事務所.
- 2019.10-, 旧神鋼棧橋利活用検討会, 委員, 兵庫県土整備部土木局港湾課.
- 2019.11-, 垂水スポーツガーデン運営事業者公募に関する提案内容審査会, 委員長, 神戸市建設局下水道部経営管理課.
- 2019.11-, 県庁舎等再整備基本計画検討委員会, 委員, 兵庫県企画県民部新庁舎整備室新庁舎企画課.
- 2019.11-, 県庁舎等再整備基本計画検討委員会専門部会, 委員, 兵庫県企画県民部新庁舎整備室新庁舎企画課.
- 2020.1-, 花と緑のまちづくりセンター企画運営委員会, 委員, (公財) 兵庫県園芸・公園協会公園協会.



個人別成果報告に関する資料

●自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ

佐藤 裕司 SATO, Hiroshi

自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部
門 教授.

昭和32年大阪府生. 神戸大学大学院理学研究科修士
課程修了. 学位博士. 日本第四紀学会, 日本藻類学会,
日本珪藻学会, 日本環境教育学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 次長

博物館における研究及び事業全体の管理運営, 自然・
環境科学研究所長, 環境人間学研究科共生博物部
門長

2. 恐竜タスクフォース

TF リーダー. 事業全体の進捗管理, タスク会議の主
催, 関係機関との連携推進

3. プロジェクト

加東市との連携と環境学習事業への支援. 分担者
地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 過去100万年の海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と水環境保全に関する研究
4. 自然史リテラシーの涵養のための環境教育プログラム開発

■論文・著書

田中俊雄・佐藤裕司・加藤茂弘 (2019) 前期更新世
における大阪堆積盆地の北西部の環境変遷. 人
と自然, 30, 1-22.

■その他著作

佐藤裕司 (2019) シリーズ「人と自然, 地域と向き
合う一人博の多様な調査・研究活動の歩み」,
第6回「兵庫の海にさぐる氷河時代の環境変動」
(自然とむきあう)

<https://www.hitohaku.jp/publication/30thanniv-humans&nature.html>

■助成を受けた研究

恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの
開発と体制の構築. 文部科学省科学研究費補助

金基盤研究 (C), 研究分担者 (2019年度6千
円/総額364万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 兵庫県下の第四紀地質資料の収集,
現生淡水藻類の標本採集. 神戸市・加西市・丹
波市・上郡町など.

■整理同定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

佐藤裕司, 2019.5, オープンセミナー「アンモナイ
ト石けんを作ろう!」, 博物館 (63名)

佐藤裕司, 2019.10, オープンセミナー「アンモナイ
ト石けんを作ろう!」, 博物館 (54名)

佐藤裕司, 2019.11, オープンセミナー「アンモナイ
ト石けんを作ろう!」, 博物館 (48名)

佐藤裕司, 2019.12, オープンセミナー「アンモナイ
ト石けんを作ろう!」, 博物館 (44名)

佐藤裕司, 2020.2, オープンセミナー「アンモナイ
ト石けんを作ろう!」, 博物館 (60名)

佐藤裕司, 2019.4, 一般セミナー「地質巡検 一西
宮市仁川で「ひょうごの150万年史」をさぐる一」,
野外 (12名)

佐藤裕司, 2019.7, 一般セミナー「瀬戸内海の2万
年～人と自然の環境史をさぐる～」, 博物館 (24
名)

佐藤裕司, 2019.11, 特注セミナー「地球史から読み
解く温暖化問題」, レンゴー労働組合三田支部,
博物館 (13名)

佐藤裕司, 2019.11, 特注セミナー「地球史から読み
解く
温暖化問題」, 尼崎地区地球温暖化防止活動推進会,
博物館 (28名)

館外講演

佐藤裕司, 2019.5, 西宮市宮水学園山口地域講座「地
球誕生から46億年 地層からさぐる氷河時代
の環境変動」, 山口ホール. (54名)

兵庫県立大学・大学院教育

全学共通教育「共生博物学」(教養教育科目「ひょ
うご県大特色科目」, オムニバス形式, 分担)

陸・水圏自然史特別演習 (主任)

非常勤講師

2019.6, 「瀬戸内海学入門」, 神戸大学・大学教育推

進機構.

■**連携事業**
協力事業

2019.12, 丹波竜フェスタ普及講演会, 丹波市, やまなみホール. (事業運営)

■**担い手成長支援事業**

連携活動グループ・地域研究員

野生生物を調査研究する会, 副担当 (協働)

岸本清明, 主担当 (協働)

東山真也, 主担当 (協働)

河村幸子, 主担当 (協働)

田中俊雄, 主担当 (協働)

中西一成, 主担当 (協働)

■**学校教育支援**

トライやるウィーク

2019.5, 三田市立上野台中学校, 三田市立挾間中学校, 三田市立けやき台中学校, 三田市立藍中学校 (各校1名)

2019.11, 神戸市立鈴蘭台中学校, 神戸市立有野中学校, 神戸市立有野北中学校, 神戸市立北神戸中学校 (各校1名)

学校団体対応

2019.10, 「水のはなし」, 朝来市立生野中学校1年生

2019.10, 「地球温暖化のはなし」, 丹波篠山市立篠山東中学校1年生

2019.12, 「地球史から読み解く温暖化問題」, 愛媛県立松山南高校, 博物館

■**研修生等の受入**

博物館実習

2020.2, 神戸大学博物館実務実習, 理学部惑星学科 (8名)

■**展示**

2020.2-4, ミニ企画展「ひととはく研究員展2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■**受託研究**

神戸大学博物館実務実習. 神戸大学大学院理学研究科, 代表者 (17.4万円)

■**収蔵庫・ジーンファームの公開**

地学系収蔵庫等の案内, 3回, 17名.

■**行政等支援**

委員会等 (計7件)

2019.4-2020.3, 貴重な野生生物等専門委員会 (植物) 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

2015.4-2020.3, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

2018.7-2021.6, 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

2016.4-2020.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市教育委員会.

2018.8-2020.8, 三田市環境審議会, 会長, 三田市民生活部環境共生室.

2019.4-2020.3, 兵庫県立加古川東高校 SSH 運営指導

委員会, 委員, 兵庫県教育委員会高校教育課. 2019.4-2020.3, やしろの森公園協会, 評議員, 兵庫県立やしろの森公園.

相談・指導助言

来訪者 28 件, 55 名. メール 35 件.

加藤 茂弘, KATO, Shigehiro

自然・環境評価研究部

地球科学研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員・研究グループ長

昭和35年岐阜県生。東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学。理学修士。日本第四紀学会，日本活断層学会，日本人類学会，日本地理学会，日本地質学会，日本地形学連合，地球惑星科学連合，歴史地震研究会に所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究・シンクタンク推進室

室長。事業全体の統括，交換雑誌の対応，博物館紀要編集委員会の管理，外部機関との連携事業の実施など

2. 恐竜タスクフォース

セミナー，イベント，発掘調査等の実施・補助など

3. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進，分担者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業，分担者

鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた検討支援，分担者

共生のひろば，分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 火山灰層序に基づく後期新生代の古環境変動と人類進化に関する研究
2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
3. 地震断層の保存と活用に関する研究

■論文・著書

田中俊雄・佐藤裕司・加藤茂弘（2019）前期更新世における大阪堆積盆地北西部の環境変遷。人と自然，No. 30，1-22.

Ueno, Y., Hyodo, M., Yang, T. and Kato, S. (2019) Intensified East Asian winter monsoon during the last geomagnetic reversal transition. *Scientific Reports*, 9, 9389, doi.org/10.1038/s41598-019-45466-8.

■その他著作

加藤茂弘（2019）エチオピアの大地に人類進化の謎を探る—コンソ村での調査（自然とむきあう），シリーズ「人と自然，地域と向き合う—第3回。人と自然の博物館HP.

加藤茂弘（2019）2019年大会報告「懇親会報告」。日本第四紀学会ニュースレター「第四紀通信」，26（6），4-5.

加藤茂弘（2019）書評：図説 日本の活断層—空撮写真で見る主要活断層帯36。人と自然，No. 30，127-129.

加藤茂弘（2019）河原の石から広がる世界。厚生会だより「ふれあい」（兵庫県学校厚生会），391号，21.

加藤茂弘・生野賢司・藤原泰誠・郷津知太郎・菊池直樹（2019）兵庫県北部，豊岡市畑上の海成上部更新統の貝化石のESR年代。日本第四紀学会講演要旨集，49，54.

Kato, S. (2020) Preservation and practical use of recent earthquake faults in Japan and Taiwan: the past, present and near future. *New Development in Active Fault Studies – 25 years since the 1995 Kobe earthquake -*, *Abstracts of the Hokudan International Symposium on Active Faulting*, The Operation Committee of the Hokudan International Symposium on Active Faulting, 48-51.

■ブログへの情報提供

8件

■研究発表

Kato, S., Hyodo, M., Kitaba, I., Nakagawa, T., Yamada, K., Ishimura, D., Hirose, K., Danhara, T., Iwano, H., Sakata, S. and Hirata, T. (2019.8) Paleoclimatic records during the Early-Middle Pleistocene Transition from the Katata Formation west of Lake Biwa, southwest Japan. *International Quaternary Association 2019 Congress*, Convention Centre Dublin (CCD), Dublin, Ireland.

Kato, S. (2020.1) Preservation and practical use of recent earthquake faults in Japan and Taiwan: the past, present and near future (Invited Talk). *Hokudan International Symposium on Active Faulting 2020*, Hokudan Earthquake memorial Park, Awaji City, Japan.

加藤茂弘・生野賢司・藤原泰誠・郷津知太郎・小畑直也・菊池直樹（2019.8）兵庫県北部，豊岡市畑上の海成上部更新統の貝化石のESR年代。日本第四紀学会2019年度秋季大会，千葉科学大学。

藤井和香・兵頭政幸・加藤茂弘・宮入陽介・山口夢香・横山祐典（2019.5）Centennial-scale bioproductivity changes during the earliest Middle-Pleistocene. 日本地球惑星科学連合2019年大会，幕張メッセ国際会議場。

山口 覚・高桑大介・三村 明・福江一輝・加藤茂弘・村上英記・高倉伸一（2019.5）山崎断層系津山北方の断層のAudio-frequency magnetotelluric調査。日本地球惑星科学連合2019年大会，幕張メッセ国際会議場。

山口 覚・三村 明・福江一輝・加藤茂弘・村上英記・上嶋 誠（2019.5）郷村断層帯における地表から震源域にいたるまでの比抵抗構造の解明。日本地球惑星科学連合2019年大会，幕張メッセ国際会議場。

兵頭政幸・上野友輔・楊 天水・加藤茂弘（2019.8）

下層雲の日傘効果の気候への影響—最後の地磁気逆転期を利用した検証. 日本第四紀学会 2019 年度秋季大会, 千葉科学大学.

藤井和香・兵頭政幸・加藤茂弘・宮入陽介・山口夢香・横山祐典 (2019.8) 中期更新世最初期の 100 年スケールの気候変化—太陽活動との関連性. 日本第四紀学会 2019 年度秋季大会, 千葉科学大学.

■学会役員等

北淡国際活断層シンポジウム 2020 実行委員会, 副委員長

■助成を受けた研究

中期更新世初期の気候変動を探る—湖沼堆積物の高精度編年に基づく古環境総合解析. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A), 研究代表者 (2019 年度 1,482 万円. /総額 4,628 万円)

人類とアフリカ類人猿の出現過程の解明—チョーロラピテクスの進化形態学的研究. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (A), 研究分担者 (2019 年度 156 万円/総額 4,394 万円)

恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの開発と体制の構築. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究分担者 (2019 年度 7.8 千円/総額 364 万円)

古琵琶湖層群堅田層の定方位コアを用いた中期更新世初期の気候変動の解明. 令和元年度高知大学海洋コア総合研究センター共同利用・共同研究 (課題番号 19B061)

■海外調査

2019.5, 8, 台湾 台北

2019.5, 921 地震教育園区内の保存地震断層トレンチの修復ほか. 921 地震教育園区および車龍埔断層保存館, 台湾.

2019.7-8, 国際第四紀学会 2019 参加. ダブリン市, アイルランド.

2019.9, 地震遺構の保存・活用状況の調査. 台中市・彰化市, 台湾.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2019.12, 琵琶湖西岸の堅田層の火山灰層および露頭写真, 滋賀県大津市喜撰川流域.

2019.4-2020.3, 中期更新世の海成堆積物と含有貝化石, および露頭写真, 兵庫県豊岡市畑上・京都府京丹後市黒部.

2019.10, 阿寺断層帯の断層変位地形, 岐阜県中津川市川上・坂下ほか.

2020.3, 那岐山断層帯の断層変位地形および断層露頭の写真, 岡山県津山市・奈義町 (日本原高原ほか).

2020.3, 大山火山起源の軽石・火山灰層, 岡山県真庭市上福田・上齋原村人形峠ほか.

■受贈担当資料

2019.6, 岩石・鉱物コレクション (森亜偉子), 40

点.

2019.6, 永瀬幸一岩石・鉱物コレクション, 2600 点.

2019.6, 水谷洋一鉱物コレクション, 500 点.

■整理同定担当資料

第四紀堆積物 (火山灰, ボーリングコア, 堆積物等, 活断層・地層のはぎとり標本等)

岩石 (火山岩・堆積岩が主体)・鉱物標本
化石 (第四紀の貝類化石)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

加藤茂弘, 2019.8, 教職員・指導者セミナー「火山灰を調べる」, 博物館. (20 名)

加藤茂弘, 2019.9, 一般セミナー「近未来の南海トラフ巨大地震を考える」, 博物館. (19 名)

加藤茂弘, 2019.4-6, オープンセミナー「暗闇で光る岩石や鉱物を見てみよう」, 博物館. (全 3 回, 93 名)

加藤茂弘・半田久美子, 2019.8, オープンセミナー「フズリナ石灰岩を磨いて観察しよう」, 博物館. (31 名)

加藤茂弘, 2019.9, オープンセミナー (ギャラリートーク)「ひとはくの岩石・鉱物コレクション」, 博物館. (117 名)

加藤茂弘, 2019.8, 特注セミナー「暗闇で光る岩石と鉱物を見てみよう」, 加東市環境課, 博物館. (56 名)

加藤茂弘, 2019.8, 特注セミナー「石ころズラリ展示解説」, 大阪鉱物クラブ, 博物館. (32 名)

加藤茂弘, 2019.11, 「六甲山と三田盆地周辺の地形と地質 (全 2 回)」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科 1 年生, 博物館. (43 名)

加藤茂弘, 2019.12, 特注セミナー「地学系収蔵庫案内」, GSC 兵庫 ROOT プログラムひとはくツアー, 博物館 (11 名)

石を観る会・先山 徹・古谷 裕・加藤茂弘, 2019.5-12, 一般セミナー「石ころセミナー2019 (全 7 回)」, 博物館. (185 名)

生野賢司・加藤茂弘, 2019.8, オープンセミナー (標本のミカタ)「地球のカケラから何がわかる?」, 博物館. (250 名)

星の会 (NPO 法人人と自然の会)・加藤茂弘, 2019.11, 「地球を宇宙から眺めてみよう」, ミュージアム・フェスタ, 博物館. (50 名)

館外講演

加藤茂弘, 2019.5, 「見直される近未来の南海トラフ巨大地震」, 阪神シニアカレッジ 2 年生, 阪神シニアカレッジ. (155 名)

加藤茂弘, 2019.5, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ 4 年生, 阪神シニアカレッジ. (109 名)

加藤茂弘, 2019.6, 「兵庫県南部の活断層と近未来の内陸大地震」, 三木市高齢者大学, 三木市立まなびの郷みずほ. (40名)

加藤茂弘・生野賢司・古谷 裕ほか, 2019.8, 「野島で石を探そう！」(化石のレプリカをつくろう, 石を採取しよう・石を観察しよう, 野島断層保存館を見学しよう), 野島断層親子体験教室(第1回), 淡路市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会・淡路市教育委員会(共催), 北淡震災記念公園セミナーハウス. (48名)

加藤茂弘・生野賢司・古谷 裕ほか, 2019.8, 「野島で観察しよう！」(化石のレプリカをつくろう, 花崗岩と大阪層群を観察しよう, 野島断層保存館を見学しよう), 野島断層親子体験教室(第2回), 淡路市歴史文化基本構想を活用した観光拠点形成のための協議会・淡路市教育委員会(共催), 北淡震災記念公園セミナーハウスほか. (49名)

加藤茂弘, 2019.10, 「中山寺周辺の活断層地形と1596年伏見地震の痕跡をたどる」, 宝塚市社会福祉協議会, いきいき学舎フレミラ, 宝塚市中山寺周辺. (28名)

加藤茂弘, 2019.11, 「中山寺周辺の活断層地形と1596年伏見地震の痕跡をたどる」, 宝塚市社会福祉協議会, いきいき学舎フレミラ, 宝塚市中山寺周辺. (18名)

加藤茂弘, 2019.11, 「宝塚周辺の活断層と近未来の大地震」, 宝塚市社会福祉協議会, いきいき学舎フレミラ. (28名)

加藤茂弘, 2019.11, 「沼島の地質と地形」, NPO 法人人と自然の会, 沼島. (34名)

加藤茂弘, 2020.1, 「地震断層を守り、活かす—野島断層25年の試み」, 野島断層活用フォーラム実行委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス. (90名)

加藤茂弘, 2020.2, 「近未来の南海トラフ巨大地震を考える」, 南あわじ地学の会, 南あわじ市中央公民館. (25名)

古谷 裕・加藤茂弘, 2019.10, 「篠山盆地周辺の丹波層群とPT境界(野外巡検)」, 大阪鉱物クラブ, 丹波篠山市・福知山市周辺, (38名)

■連携事業

共催事業

2019.8, 野島断層親子体験教室(全2回), 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市教育委員会, 主担当(企画・運営・講師).

2020.1, 北淡国際活断層シンポジウム2020, 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウスほか, 北淡国際活断層シンポジウム2020実行委員会, 主担当(企画・運営・講師).

協力事業

2019.7-9, 令和元年度特別展「わかる! ゆれる! 地

震のひみつ」, 和歌山県立自然博物館, 主担当(資料貸出).

2019.12, 2019GSC-ROOTプログラム「兵庫県立人と自然の博物館見学会」(講和および収蔵庫・博物館見学), 主担当(企画・運営・収蔵庫案内).

2020.1, 野島断層活用フォーラム, 淡路市北淡震災記念公園セミナーハウスほか, 野島断層活用フォーラム実行委員会, 主担当(企画・運営・講演)

2020.2-3, 企画展「未来へつなぐ災害の歴史—地震・火事・台風・竜巻—」, 豊橋市美術博物館, 主担当(資料貸出).

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

石を観る会(石ころクラブ), 主担当(指導・協働)
舟木冴子, 副担当(指導・協働)

成果発表

石を観る会, 2020.2, 「石ころセミナー2019(石を観る会活動報告)」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導・協働)

石を観る会, 2020.2, 「石を観る会選抜 兵庫を代表する石」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導・協働)

舟木冴子, 2020.2, 「日本で数カ所目となるローゼン石 Rosenite (FeSO₄・4H₂O) の産地を発見!」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)

舟木冴子, 2020.2, 「六甲山の鉱物たち」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.5, 三田市立上野台中学校, 狭間中学校, けやき台中学校, 藍中学校, 各1名. (計4名)

講師派遣

2019.6, 「見直される近未来の南海トラフ巨大地震」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生. (44名)

2019.6, 「ペーパークラフトで学ぶ活断層と地震」, 兵庫県立舞子高等学校環境防災科1年生. (44名)

■研修生等の受入

卒論生等

2019.4-2020.3, 伊藤 圭(大阪市立大学理学部地球学科4年生), 阿寺断層帯におけるAMT比抵抗観測.

2019.4-2020.3, 福江一輝(大阪市立大学大学院理学研究科博士前期課程2年生), 山崎断層系那岐山断層帯でのAMT比抵抗観測.

2019.4-2020.3, 藤井和香(神戸大学理学系研究科惑星学専攻博士前期課程2年生), 大阪湾周辺における中期更新世初め, MIS19期の急激な植生変動・気候変動に関する研究.

2019.4-2020.3, 田中康士郎(神戸大学理学部地球惑

星学科4年生), 古琵琶湖層群堅田層のブリュンヌ・松山古地磁気境界付近における詳細古地磁気変動の解明.

2019.4-2020.3, 太田義将(京都大学防災研究所大学院博士前期課程2年生), 隆起速度の増加に対する流域地形の応答:六甲山地を例とした地形発達の定量的モデリングとその検証.

■展示

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展 2020」, 博物館, 分担者.

2019.4, 本館2階男子トイレにおける鉱物・化石の常設展示, 分担者.

2019.7-10, コレクション展「石ころズラリ〜美しい鉱物から珍しい岩石まで〜」, 博物館, 分担者.

2019.8-9, ひとはくコラボ展「JAPAN COLOR (美しい色の日本産鉱物, 岩絵の具, 大屋のヒスイ等の展示)」, 分担者. 自然史レガシー継承・発信実行委員会, 京都花洛庵.

2019.11-12, 本館4階レファレンスコーナー岩石標本の整備. 責任者.

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展 2020」, 博物館, および同展におけるパネル展示「丹後半島周辺の見終間氷期(MIS5e)に形成された海岸段丘や海成層の分布高度から活構造を推定する」と貝化石の展示, 責任者.

2020.2-3, 本館2階岩石・鉱物・化石展示コーナーの展示台の整備および追加標本の展示, 責任者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「野島断層の保存と活用に関する研究」, 淡路市教育委員会, 研究代表者. (30万円)

「鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた提出文書における地形地質・景観の価値証明に関する技術支援業務」, 株式会社プレック研究所大阪事務所, 研究分担者. (80万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 9回, 46名.

■行政等支援

委員会等(計7件)

2019.4-2020.3, 野島断層活用委員会, 委員長, 淡路市教育委員会.

2019.4-2020.3, 布田川断層帯保存活用計画策定委員会, 委員, 熊本県益城町教育委員会.

2019.4-2020.3, 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員会, 委員, 淡路県民局.

2019.4-2020.3, 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員会コア会議, 委員, 淡路県民局.

2019.10-, 氷上回廊水分かれフィールドミュージアム展示改修監修委員会, 委員, 丹波市教育委員会.

2019.11-, 県立兵庫津ミュージアム(仮称)展示計画ワーキング会議, テーマ別アドバイザー, 兵庫県企画県民部地域資源課.

2020.1-2, 丹波市特定任期付職員選考委員会, 学術委員, 丹波市教育委員会.

相談・指導助言

来訪者150件, 178名. 電話・FAX30件, メール200件.

2019.6-12, ネパールにおける地震博物館の設立について. 広島大学ほか.

2019.9, 淡路市舟木遺跡産出の石器等の原石同定について. 淡路市教育委員会.

2019.9, 久野鉱物コレクションの寄贈について.

2019.9, 水分かれミュージアムの展示更新内容について. 丹波市教育委員会.

2019.9-10, 台湾921地震教育園区内の地震断層トレンチの保存・修復・維持管理の方法について. 台湾921地震教育園区.

2019.9-2020.3, 淡路市舟木遺跡産出の軽石について. 淡路市教育委員会.

2019.12, 水分かれミュージアムの地質展示用試料の選別と展示方法に関する現地指導. トータルメディア株式会社.

2020.1-2, 綾部市以久田野台地の第四紀露頭について. NPO法人里山ねっと・あやべ.

2020.2-3, 淡路島の地形・地質について. NHK制作局.

2020.2-3, 甲子園球場付近の地下水と地形・地質について. NHK制作局.

視察対応

2020.1, 人と自然の博物館の展示および活動視察. 921地震教育園区・車龍埔断層保存館(台湾国立自然科学博物館), 5名.

2020.1, 大阪自然史博物館の展示・収蔵庫見学と博物館活動について. 921地震教育園区・車龍埔断層保存館(台湾国立自然科学博物館), 5名.

■行政等支援

2020.1.13-17, 北淡国際活断層シンポジウム2020, 106名.(副委員長, セッションの企画・運営・講演).

三枝 春生 SAEGUSA, Haruo

自然・環境評価研究部

地球科学研究グループ/コレクション管理・活用室
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門
准教授.

昭和33年東京生. 理学博士. 日本古生物学会, 日本人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. コレクション管理・活用室

副室長. 室長の補佐および博物館収蔵資料の受け入れ・貸し出しの審査を行う資料審査会の座長.

2. 恐竜タスクフォース

各種事業・発掘調査の企画・調整・実施.

3. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
2. 恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

■論文・著書

三枝春生(2020) 3Dモデリングによるミエゾウとタンバティタニスの骨格復元. 化石研究会誌, 52, 44-53.

Saegusa, H., (2018) Stegodontidae and Anancus: Keys to understanding dental evolution in Elephantidae. *Quaternary Science Reviews*, 231, <https://doi.org/10.1016/j.quascirev.2020.106176>.

■その他著作

三枝春生 (2019) ステゴドン科の歯の進化の謎. 日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集, p. 21.

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討. 日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集, p. 43.

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生 (2020) 兵庫県洲本市の和泉層群北阿万層(下部マーストリヒチアン階) から産出した潜水鳥類ヘスペロルニス目. 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 59.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 25.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・

François Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石. 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 28.

和田和美・池田忠広・三枝春生・田中公教・新谷明子 (2020) 化石剖出用具の開発(その2). 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 26.

三枝春生 (2020) 「恐竜の化石からわかる太古の兵庫のすがた」. 兵庫のトリセツ, 昭文社, 76-77.

三枝春生 (2020,1) 「最新技術で丹波竜復元」, ひとつはく研究員だより, 神戸新聞三田版

三枝春生 (2020,3) 「ナウマンゾウの祖先をエチオピアで掘る」(標本とむきあう), シリーズ「人と自然, 地域と向き合う」第7回, ひとつはくホームページ

■研究発表

三枝春生 (2019) ステゴドン科の歯の進化の謎. 日本古生物学会 2019 年年会, 静岡大学静岡キャンパス.

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討. 日本古生物学会 2019 年年会, 静岡大学静岡キャンパス.

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生 (2020) 兵庫県洲本市の和泉層群北阿万層(下部マーストリヒチアン階) から産出した潜水鳥類ヘスペロルニス目. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学駒場キャンパス.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学駒場キャンパス.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・François Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学駒場キャンパス

和田和美・池田忠広・三枝春生・田中公教・新谷明子 (2020) 化石剖出用具の開発(その2). 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学駒場キャンパス.

■学会役員等

投稿原稿の査読: *Paleontological Research*, *Quaternary Science Reviews*, *Current Biology*

■助成を受けた研究

竜脚類恐竜 *Tambatitanis amiciciae* の研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額 78 万円/360 万円).

恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの開発と体制の構築. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者(金額 1.5 万円/364 万円).

■海外調査

2020.2, 中華人民共和国

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.5 - 2020.3, 動物化石, 丹波市山南町・丹波篠山市西古佐.

2020.3, 地質資料, 養父市養父地域・丹波市柏原町.

2020.3, 化石, 洲本市五色町.

■受贈担当資料

2019.11, 中古生代化石コレクション. 219 点

2019.11, 鉱物・化石コレクション. 391 点

2019.11, ナウマンゾウ化石. 5 点

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (哺乳類, 恐竜類)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三枝春生, 2019.4-2019.1, オープンセミナー「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (全4回, 164名)

三枝春生, 2019.9, オープンセミナー, ギャラリートーク「象の頭骨と歯の進化」, 博物館 (22名)

三枝春生, 2019.9, オープンセミナー, 標本のミカタ「化石レプリカでたどる象の進化」, 博物館 (103名)

フロアスタッフ・三枝春生, 2019.9, オープンセミナー, フロアスタッフとあそぼう「画はくの日〜アメリカマストドンを描こう〜」, 博物館 (50名)

化石研究会・三枝春生, 2019.11, 化石研究会第152回例会, 博物館 (25名)

三枝春生・安田英生, 2019.7, 一般セミナー「おなかの中を見てみよう(解剖実習)」, 博物館. (6名)

三枝春生, 2019.9, 一般セミナー「象と恐竜を比べてみよう」, 博物館. (38名)

三枝春生, 2019.10, 一般セミナー「長期的気候変動と動物の進化」, 博物館. (15名)

三枝春生, 2019.5, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 関西学院大学, 博物館. (48名)

三枝春生, 2019.5, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 大阪府立泉北港高等学校, 博物館. (129名)

三枝春生, 2019.5, 特注セミナー, 収蔵庫見学, 大阪府立泉北港高等学校, 博物館. (43名)

三枝春生, 2019.7, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 兵庫教育大学, 博物館. (14名)

館外講演

三枝春生, 2019.5, 「兵庫の大型動物化石」, 兵庫県中学校退職校長会, 三田ホテル. (144名)

三枝春生, 2019.8, 「三葉虫からアミノドンまで」イオンモール株式会社・人と自然の博物館, イオンモール神戸北. (30名)

小田隆・栗山武夫・三枝春生, 2019.9, 「恐竜の色は

どうやって復元するのか」, 自然史レガシー継承・発信実行委員会, 京都市中京区花洛庵.) (33名)

三枝春生, 2019.9, 「兵庫の大型動物化石」大学連携セミナー, コミスタ神戸, (79名)

三枝春生, 2019.9, 「恐竜から鳥への進化」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 阪神シニアカレッジ, (124名)

三枝春生, 2019.10, 「哺乳類の進化—人類の出現—」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 阪神シニアカレッジ, (124名)

三枝春生, 2019.11, 「兵庫県の篠山層群および和泉層群産白亜紀脊椎動物化石」, むかわ町徳別博物館, むかわ町徳別博物館, (10名)

池田忠広, 小林快次, 三枝春生, 久保田克博, 三宅優佳, 2019.12, 「パネルディスカッション: 日本の恐竜を語る」, 丹波市, やまなみホール. (400名)

兵庫県立大学・大学院教育

全学共通教育科目「人と自然の共生」(全15コマ中の3コマ分)を分担

テレビ・ラジオ等出演

2019.7.7, 「ダーウィンが来た! 発見続々! 日本は恐竜王国だった」, NHK

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

篠山層群をしらべる会 (主担当)

ラボーンズ (副担当)

兵庫古生物研究会 (副担当)

藤本艶彦 (主担当)

小西逸雄 (主担当)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.5, 三田市立上野台中学校 (1名), 三田市立狭間中学校 (1名), 三田市立けやき台中学校 (1名), 三田市立藍中学校 (1名)

サイエンス・トライやる事業

2019.10.2 「丹波の恐竜化石の発掘調査について」, 豊岡市立但東中学校 (96名)

2020.2.12 「丹波の恐竜化石」, 多可町立加美中学校 (176名)

■展示

2020.9, 標本のミカタ「化石レプリカでたどる象の進化」, 博物館, 責任者.

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「篠山層群産化石データ作成業務委託」. 分担者, 丹波市. (396.9万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫の案内, 4回, 60名.

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2015.4-2020.3, 生物多様性ひょうご戦略推進委員会,
委員, 兵庫県自然環境課.

2016.4-2020.3, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農
政環境部環境創造局自然環境課.

2016.4-2020.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員
会, 委員, 篠山市教育委員会.

相談・指導助言

来訪者7件, 14名. 電話・FAX9件, メール80件.

■学会開催等支援

2019.11, 化石研究会第52回例会, シンポジウム「パ
レオアートと博物館」, 兵庫県立と自然の博物
館運営およびシンポジウムの企画・立案・司会

半田 久美子 HANDA, Kumiko

自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ
主任研究員

昭和45年栃木県生。大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了。理学修士。日本植生史学会、日本花粉学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 恐竜タスクフォース

石割調査、イベント補助等

2. Kids タスクフォース

Kids キャラバン主担当、Kids キャラバンの企画・実施
園募集・選考・スタッフ依頼・標本メンテナンス・
新規メニュー開発等

3. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進。代表者

Kids キャラバン。分担者

但馬牛博物館運営支援。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 新生代における植生・植物相の変遷史の研究
2. 花粉の形態分類学的研究

■その他著作

半田久美子 (2019) 夏の花サルスベリのひみつ。ひとはく研究員だより, 神戸新聞。

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討。日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集, 43 p.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石。日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 25 p.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・François Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類の卵・卵殻化石。日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 28 p.

■研究発表

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討。日本古生物学会 2019 年年会, 静岡大学静岡キャンパス。

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見

されたオオトカゲ類化石。日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学駒場キャンパス。

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・François Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石。日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学駒場キャンパス。

■学会役員等

日本植生史学会, 会計監査

■助成を受けた研究

恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの開発と体制の構築。文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究分担者 (2019 年度 6 千円/総額 364 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 植物化石・岩石, 三木市・加東市・小野市・神戸市須磨区・北区。

■受贈担当資料

2019.12, 和泉層群産植物化石 (森コレクション), 7 点。

■整理同定担当資料

植物化石

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2019.6, 一般セミナー「木材の化石を調べよう」, 博物館。(9 名)

半田久美子, 2019.9, 一般セミナー「花粉の形を観察しよう」, 博物館。(4 名)

半田久美子, 2019.10, 一般セミナー「葉の化石を調べよう: フウとカエデのなかま」, 博物館。(4 名)

加藤茂弘・半田久美子, 2019.8, オープンセミナー「フズリナ石灰岩を磨いて観察しよう」, 博物館。(31 名)

半田久美子, 2019.9, オープンセミナー「花粉を顕微鏡で観察しよう」, 博物館。(45 名)

半田久美子, 2020.1, オープンセミナー「化石の入った石をみがこう」, 博物館。(14 名)

神戸大学博物館実習生・半田久美子, 2020.2, オープンセミナー「キューブパズルであそぼう」, 博物館。(45 名)

半田久美子, 2019.5, 特注セミナー「塩原の化石の概要と種類の調べ方」, 西宮市立西宮高校 1-2 年生, 博物館。(25 名)

半田久美子, 2019.5, 特注セミナー「丹波竜といろいろな化石」, 亀岡市市民力推進課地球環境子供村, 博物館。(10 名)

半田久美子, 2019.5, 特注セミナー「ひょうごの化石クイズ」, 宝塚市立すみれが丘小学校 4 年生,

博物館, (65名)

半田久美子, 2019.7, 特注セミナー「ひょうごの化石クイズ」, 西宮学童保育深津育成センター, 博物館, (68名)

半田久美子, 2019.10, 特注セミナー「花のつくりと花粉の観察」, 京都府立綾部高等学校東分校, 博物館, (30名)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.4, ひとはく Kids キャラバン, 聖マリアの園幼稚園, 神戸市垂水区, 主担当.

2019.5, ひとはくキャラバン, 吉川児童館「第3回にこにこまつり」, 三木市, 分担者.

2019.5, ひとはく Kids キャラバン, プリスクールベふ保育園, 加古川市, 主担当.

2019.6, ひとはく Kids キャラバン, 加西市立泉幼稚園, 加西市, 主担当.

2019.6, ひとはく Kids キャラバン, 三木市立緑ヶ丘幼稚園, 三木市, 主担当.

2019.7, ひとはくキャラバン, 但馬牛博物館&人と自然の博物館コラボ企画「夏休み自由研究特集「むし・うし・そうめん流し!」大きくしてみよう!」, 兵庫県立但馬牧場公園, 新温泉町, 主担当.

2019.10, ひとはく Kids キャラバン, 川面ちどり保育園, 宝塚市, 分担者.

2019.10, ひとはく Kids キャラバン, 高砂市立阿弥陀こども園, 高砂市, 主担当.

2019.10, ひとはく Kids キャラバン, エミールこども園, 加古川市, 分担者.

2019.10, ひとはく Kids キャラバン, 加東市立加東みらいこども園, 加東市, 主担当.

2019.10, ひとはく Kids キャラバン, みやま保育園, 小野市, 主担当.

2019.11, ひとはく Kids キャラバン, 名塩保育園, 名塩会館, 西宮市, 主担当.

2019.11, ひとはく Kids キャラバン, あさひ若草ナーサリー, 三田市, 主担当.

2020.2, , ひとはく Kids キャラバン, 相生市立矢野川幼稚園, 相生市, 主担当.

2020.2, ひとはく Kids キャラバン, 洲本幼稚園, 洲本市, 主担当.

2020.2, ひとはく Kids キャラバン, 北条保育園, 加西市, 主担当.

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

神戸層群研究会, 主担当 (協働)

田中俊雄, 副担当 (指導)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.5, 三田市立上野台中学校1名, 狭間中学校1名, けやき台中学校1名, 藍中学校1名. (計4名)

学校団体対応

2019.4, 「ガイドンスキャンプ」兵庫県立大学附属中学校1年生, 77名.

■研修生等の受入

博物館実習

2020.2, 神戸大学理学部惑星学科7名. (計7名)

■展示

2019.7-9, ミニ企画展 但馬牛博物館・ひとはくコラボ展「但馬牛のひみつと牧場公園の自然」, 博物館, 責任者.

2019.7-9, コレクション展「石ころズラリ〜美しい鉱物から珍しい岩石まで」, 博物館, 分担者.

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「神戸大学博物館実務実習」, 神戸大学理学部惑星学会, 分担者. (17.4万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 1回, 11名.

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2019.9-2022.3, ひょうご環境体験館運営委員会, 委員.

相談・指導助言

来訪者20件, 40名. 電話・FAX20件. メール10件.

■学会開催等支援

2019.11, 化石研究会第152回例会, 分担者.

池田 忠広 IKEDA, Tadahiro

自然・環境評価研究部

地球科学研究グループ／企画・調整室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授.

昭和53年鹿児島県生. 鹿児島大学大学院理工学研究科
博士後期課程修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本爬虫
両生類学会, Society of Vertebrate Paleontology 等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 企画・調整室

副室長. 重要施策事業の推進, 施策案作成等

2. 恐竜タスクフォース

各種事業・発掘調査の企画・調整・実施.

3. プロジェクト

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業. 分
担者

国際交流事業 高校生のための生き物体験ツアーin
台湾. 分担者

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 下部白亜系篠山層群産小型爬虫両生類化石の分類学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研究
3. 小型爬虫両生類を対象とした骨学的研究

■その他著作

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討. 日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集, 43 p.

池田忠広 (2019) 恐竜の陰に隠れた小さな生物. 人博研究員だより, 神戸新聞

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 25 p.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・François Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類の卵・卵殻化石. 日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 28p.

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生 (2020) 兵庫県洲本市の和泉層群北阿万層 (下部マーストリヒチアン階) から産出したヘスペロルニス目. 日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 59p.

和田和美・池田忠広・三枝春生・田中公教・新谷明子 (2020) 化石割出用具の開発 (その2). 日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 64p.

■研究発表

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討. 日本古生物学会 2019 年年会, 静岡大学, 静岡県 (6月)

池田忠広・太田英利 (2019) 兵庫県の下部白亜系篠山層群大山下層より報告されたカエル類化石における分類形質の再検討. 日本爬虫両生類学会第 58 回, 岡山理科大学, 岡山県 (11月)

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学, 東京都 (2月).

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・François Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類の卵・卵殻化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学, 東京都 (2月).

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生 (2020) 兵庫県洲本市の和泉層群北阿万層 (下部マーストリヒチアン階) から産出したヘスペロルニス目. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学, 東京都 (2月).

和田和美・池田忠広・三枝春生・田中公教・新谷明子 (2020) 化石割出用具の開発 (その2). 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学, 東京都 (2月).

■学会役員等

日本爬虫両棲類学会, 幹事補佐

投稿原稿の査読: Historical Biology, 化石研究会

■助成を受けた研究

下部白亜系篠山層群カエル類遊離骨化石を対象とした分類学的研究. 文部科学省科学研究費若手研究 (B). 代表者 (2019 年度 130 万円/総額 340 万円)

琉球列島更新統産爬虫両棲類化石の分類学的研究. 兵庫県立大学部局特殊化推進費. 代表者 (金額 16 万円)

恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの開発と体制の構築. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究分担者 (2019 年度 1.5 万円/総額 364 万円)

■海外調査

2019.8, 台湾 台北

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.5-2020.2, 動物化石, 三田市・丹波市山南町・丹波篠山市西古佐.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石（小型爬虫両生類）

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

池田忠広・生野賢司, 2019.5, 一般セミナー「化石発掘調査、アカデミックキャンプ」, 丹波市・上久下住民センター. (24名)

池田忠広, 2019.5, 一般セミナー「脊椎動物の出現～初期の多様性について～」, 博物館. (8名)

池田忠広, 2019.6, 高校連携セミナー「化石の宝庫！篠山層群」, 博物館. (8名)

池田忠広・生野賢司・田中公教・博物館実習生, 2019.8, オープンセミナー「展示解説と化石のレプリカ作り」, 新丹波竜化石工房. (136名)

田中康平・池田忠広・田中公教, 2019.5, オープンセミナー「卵化石発掘調査報告会」, 博物館. (22名)

田中康平・池田忠広・田中公教, 2019.5, オープンセミナー「卵化石発掘調査報告会」, 上久下地域作りセンター. (15名)

池田忠広, 2019.4, 特注セミナー「篠山層群から発見された太古の生物たち」, 追手門学院小学校, 博物館. (152名)

池田忠広, 2019.5, 特注セミナー「恐竜についても学ぼう」, 甲子園学院小学校(高学年), 博物館. (36名)

池田忠広, 2019.6, 特注セミナー「恐竜時代について学ぼう」, 神戸市立鷹匠中学校, 博物館. (285名)

半田久美子・池田忠広, 2019.7, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 兵庫教育大学, 博物館. (14名)

池田忠広, 2019.7, 特注セミナー「恐竜についても学ぼう」, 兵庫県立尼崎北高等学校, 博物館. (43名)

池田忠広, 2019.8, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 兵庫文化教育研究所理科教育部会, 博物館. (10名)

池田忠広, 2019.9, 特注セミナー「篠山層群, 現地解説」, 丹波市・丹波篠山市, 兵庫県立宝塚北高等学校. (40名)

池田忠広, 2019.12, 特注セミナー「研究とは?」, 加古川東高校, 博物館. (42名)

池田忠広・安田英生, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 加古川東高校, 博物館. (21名)

館外講演

池田忠広・田中公教, 2019.8, 「子ども化石発掘体験教室」, 洲本市, 淡路文化史料館. (全2回60名)

池田忠広, 2019.8, 「恐竜について学ぼう」, 西脇市, 西脇市総合市民センター. (130名)

池田忠広, 2019.10, 「化石を探そう」, 丹波篠山市, 並木道中央公園. (60名)

池田忠広, 2019.11, 「恐竜や太古の生き物について学ぼう！～篠山層群から発見された恐竜・小さな動物化石～」, 太子町, 太子町立図書館. (60名)

池田忠広・小林快次・三枝春生・久保田克博・三宅優佳, 2019.12, 「パネルディスカッション：日本の恐竜を語る」, 丹波市, やまなみホール. (400名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学・野外巡検(全学共通教育科目, オムニバス形式, 分担者)

古生物学特論(主任)

兵庫県立大学大学院公開セミナー(分担者)

■連携事業

協力事業

2019.12-2020.1, あわじオフフェスティバル, 国営明石海峡公園, 淡路市, 主催者(資料貸出, 展示設営).

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

南あわじ地学の会, 主担当(指導・協働)

ラボーンズ, 主担当(指導・協働)

篠山層群をしらべる会, 副担当(指導)

野田富士樹, 主担当(指導)

吉竹久男, 主担当(指導)

横内悦実, 主担当(指導)

村上鷹夫, 主担当(指導)

村上茂, 主担当(指導)

友井芳郎, 主担当(指導)

荒木幸枝, 主担当(指導)

酒井将瑞, 主担当(指導)

中塚達子, 主担当(指導)

吉竹恵子, 主担当(指導)

常岡芳朗, 主担当(指導)

松原裕美, 主担当(指導)

山内一郎, 主担当(指導)

橋本俊栄, 主担当(指導)

足立信幸, 主担当(指導)

奥岸明彦, 主担当(指導)

平田理奨, 主担当(指導)

塩山沙弥香, 主担当(指導)

垣内敬造, 主担当(指導)

村上勝広, 主担当(指導)

石田万寿夫, 主担当(指導)

土元雅彦, 主担当(指導)

藤本艶彦, 副担当(指導)

小西逸雄, 副担当(指導)

■学校教育支援

学校団体対応

2019.4, 追手門学院小学校

2019.5, 甲子園学院小学校

2019.6, 兵庫県立有馬高等学校
2019.6, 神戸市立鷹匠中学校
2019.7, 兵庫教育大学
2019.7, 兵庫県立尼崎北高等学校
2019.8, 兵庫文化教育研究所理科教育部会
2019.9, 兵庫県立宝塚北高等学校
2019.12, 兵庫県立加古川東高校

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8, 近畿大学4名, 甲南大学1名, 甲南女子大学1名, 神戸女子大学1名, 岩手大学大学院1名, 京都先端科学大学1名, 神戸芸術工科大学1名。(計10名)

■展示

2019.4-6, 緊急速報展「篠山層群恐竜・鳥類卵化石発掘調査の成果報告」, 博物館, 責任者.

2019.12-2020.1, あわジオフェスティバルにおける化石の展示, 国営明石海峡公園, 責任者.

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「篠山層群産化石データ作成業務委託」, 丹波市, 分担者 (396.9万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 12回, 130名.

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2019.4-2020.3, 丹波並木道中央公園円卓会議 委員, 丹波並木道中央公園.

2019.4-2020.3, 並木道祭り, 委員, 丹波並木道祭り実行委員会.

2019.1-2020.1, 丹波市恐竜をいかしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.

相談・指導助言

来訪者7件, 30名.

久保田 克博 KUBOTA, Katsuhiko

自然・環境評価研究部
地球科学研究グループ
研究員

北海道大学総合博物館 資料部 研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部
門 客員研究員。

昭和54年群馬県生。筑波大学大学院生命環境科学研究科博士課程修了。博士(理学)。日本古生物学会, 日本地質学会, Society of Vertebrate Paleontology 所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 恐竜タスクフォース

篠山層群産化石に関する館外展示の企画・監修や普及講演、各種セミナーを実施。

2. 展示更新タスクフォース

国内視察、展示更新案の議論等。

3. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進。分担者
文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 篠山層群産の脊椎動物化石の研究
2. モンゴル・ゴビ砂漠産の脊椎動物化石の研究
3. 生涯学習プログラムの開発と体制の構築

■論文・著書

Tanaka, K., Kobayashi, Y., Zelenitsky, D.K., Therrien, F., Lee, Y.-N., Barsbold, R., Kubota, K., Lee, H.-J., Chinzorig, T., and Idersaikhan, D. (2019) Exceptional preservation of a Late Cretaceous dinosaur nesting site from Mongolia reveals colonial nesting behavior in a non-avian theropod. *Geology*, 47, 843-847.

■その他著作

久保田克博(監修)(2019) きょうりゅう だいはっけん!。ワンダーランド 2019年9月号, 株式会社世界文化社, 東京都, 10-17.

久保田克博(監修)(2019) シチパチの麻婆豆腐餃子。古生物食堂, 株式会社技術評論社, 東京都, 108-111, 207-208.

久保田克博(監修)(2019) ヴェロキラプトルのもも肉燻製&手羽中のバリバリ香草焼き。古生物食堂, 株式会社技術評論社, 東京都, 114-117, 208-209.

久保田克博(2019) 兵庫は恐竜化石の宝庫。新たな魅力世界に発信へ。ひとくはく研究員だより, 神戸新聞 2019.11.

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生(2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予

察的検討。日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集, 43 p.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平(2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石。日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 25 p.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・François Therrien(2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類の卵・卵殻化石。日本古生物学会 2020 年例会講演予稿集, 28p.

■研究発表

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生(2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討。日本古生物学会 2019 年年会, 静岡大学。

Tanaka, K., Kobayashi, Y., Zelenitsky, D.K., Therrien, F., Lee, Y.-N., Barsbold, R., Kubota, K., Lee, H.-J., Chinzorig, T., and Idersaikhan, D. (2019) Colonial nesting ground from Late Cretaceous Mongolia reveals nest attendance behavior in a non-avian theropod. *The 1st Asian Palaeontological Congress*.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平(2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石。日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学。

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Darla Zelenitsky・François Therrien(2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石。日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学。

■助成を受けた研究

恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの開発と体制の構築。文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 久保田克博(2019年度 208万円/総額 364万円)

■海外調査

2019.8, モンゴル・ゴビ砂漠

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.5, 10, 11, 2020.2, 動物化石, 三田市・丹波市・丹波篠山市。

2019.8, 脊椎動物化石, モンゴル・ゴビ砂漠。

■整理同定担当資料

脊椎動物化石(恐竜類)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

久保田克博・フロアスタッフ, 2019.5, オープンセミナー「はかせと学ぼう 化石を掘り出そう!」, 博物館. (81名)

久保田克博, 2019.6, 一般セミナー「はじめての恐竜」, 博物館. (7名)

久保田克博・フロアスタッフ, 2019.7, オープンセミナー「はかせと学ぼう 化石を掘り出そう!」, 博物館. (65名)

久保田克博, 2019.7, 一般セミナー「見て、掘って、作って、恐竜と化石を満喫しよう」, 丹波竜化石工房ちーたんの館・元気村かみくげ・丹波竜発見地. (13名)

久保田克博, 2019.8, 教職員・指導者セミナー「地層・化石の勉強と化石発掘体験」, 博物館. (27名)

久保田克博, 2019.11, オープンセミナー「化石を掘り出そう!」, 博物館. (63名)

久保田克博・フロアスタッフ, 2019.12, オープンセミナー「はかせと学ぼう 化石を掘り出そう!」, 博物館. (103名)

館外講演

久保田克博, 2019.5, 「恐竜をしらべよう!」, 一般社団法人 ROOT, 丹波市山南住民センター・丹波竜化石工房ちーたんの館. (24名)

久保田克博, 2019.5, 「恐竜のお話と化石クリーニングセミナー」, 丹波市, 丹波竜化石工房ちーたんの館. (7名)

荒樋和実・久保田克博, 2019.6, 「恐竜のジオラマをつくろう!」, 丹波市, 丹波竜化石工房ちーたんの館. (22名)

荒樋和実・久保田克博, 2019.6, 「化石を掘り出そう!」, 丹波市, 丹波竜化石工房ちーたんの館. (19名)

久保田克博, 2019.7, 「恐竜の謎に迫る ～恐竜の基礎から発掘調査最前線まで～」, 西脇市高齢者大学, 西脇市黒田庄地区会館黒っこプラザ. (25名)

久保田克博, 2019.7, 「恐竜の謎に迫る～恐竜の基礎から発掘調査最前線まで～」, 丹波市 (TAMBA シニアカレッジ), ゆめタウン ポップアップホール (氷上町). (136名)

久保田克博・荒樋和実, 2019.7, 「恐竜のお話と恐竜のジオラマをつくろう!」, 上久下自治協議会 (コミュニティースクール), 上久下公民館. (7名)

久保田克博, 2019.7, 「はじめての恐竜」, 神戸市立有瀬児童館, 神戸市立有瀬児童館. (100名)

久保田克博, 2019.9, 「恐竜のお話と化石クリーニングセミナー」, 丹波市, 丹波竜化石工房ちーたんの館. (39名)

久保田克博, 2019.9, 「恐竜研究の物語～図鑑に載っていない現場のお話し～」, 御船町恐竜博物館特別展実行委員会, 御船町恐竜博物館. (51名)

久保田克博, 2019.10, 「アンモナイトをつくろう!」, 丹波なみきみちまつり実行委員会, 兵庫県立丹波並木道中央公園. (42名)

久保田克博, 2019.12, 「丹波の恐竜を活かして」, 丹波市, 丹波市やまなみホール. (400名)

久保田克博, 2019.12, 「恐竜のジオラマをつくろう!」, 丹波市, 丹波竜化石工房ちーたんの館. (14名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生博物学・野外巡検 (全学共通教育科目, オムニバス形式, 分担者)

テレビ・ラジオ等出演

2019.12, 「兵庫県の恐竜化石について」, Interviews On!, KissFM KOBE.

■連携事業

共催事業

2019.7-8, 夏期特別展「恐竜の卵の秘密」, 丹波竜化石工房ちーたんの館, 丹波市, 主担当 (企画・監修・展示制作).

2019.12-2020.3, 冬期特別展「若きティラノサウルス ジェーン」, 丹波竜化石工房ちーたんの館, 丹波市, 主担当 (企画・監修・展示制作).

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

ラボーンズ, 副担当 (指導)

足立信幸, 副担当 (指導)

荒木幸枝, 副担当 (指導)

石田万寿夫, 副担当 (指導)

奥岸明彦, 副担当 (指導)

垣内敬造, 副担当 (指導)

酒井将瑞, 副担当 (指導)

塩山沙弥香, 副担当 (指導)

土元雅彦, 副担当 (指導)

友井芳郎, 副担当 (指導)

中塚達子, 副担当 (指導)

橋本俊栄, 副担当 (指導)

平田理奨, 副担当 (指導)

村上勝広, 副担当 (指導)

村上茂, 副担当 (指導)

村上鷹夫, 副担当 (指導)

山内一郎, 副担当 (指導)

横内悦実, 副担当 (指導)

吉竹恵子, 副担当 (指導)

吉竹久男, 副担当 (指導)

■学校教育支援

学校団体対応

2019.8, 大阪高等学校.

2019.11, 丹波市立上久下小学校.

2019.11, 三田市小学校理科担当者研修会.

講師派遣

2019.9, 「恐竜ってなに?」, 川西市立陽明小学校 6年生. (37名)

2019.11, 「恐竜ってなに?」, 宝塚市立末広小学校 6

年生。(59名)

■展示

2019.7-8, 夏期特別展「恐竜の卵の秘密」, 丹波竜化石工房ちーたんの館, 丹波市, 主担当(企画・監修・展示制作).

2019.12-2020.3, 冬期特別展「若きティラノサウルスジェーン」, 丹波竜化石工房ちーたんの館, 丹波市, 主担当(企画・監修・展示制作).

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「篠山層群産化石データ作成業務」. 丹波市, 代表者. (396.9万円)

■行政等支援

委員会等(計1件)

2019.1-2020.1, 丹波市恐竜をいかしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.

相談・指導助言

来訪者5件, 20名. 電話・FAX5件. メール10件.

生野 賢司 IKUNO, Kenji

自然・環境評価研究部

地球科学研究グループ／企画・調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 客員研究員。

平成2年東京都生。横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程後期修了。博士(学術)。日本古生物学会, 日本地質学会, 日本動物分類学会, 日本地球惑星科学連合所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 企画・調整室

経営戦略会議の資料集約および議事録作成, 室員の予定表作成, 博物館協議会の資料作成(分担)

2. 恐竜タスクフォース

各種事業への参画, 実施

3. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進。分担者

博物館研究紀要「人と自然 Humans and Nature」の編集・発行。分担者

うずしお科学館運営支援。分担者

鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた検討支援。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 中生代軟体動物の分類学的研究
2. 動物命名法に関する研究
3. 本邦白亜系の層序学的研究

■論文・著書

伊勢戸徹・岡西政典・生野賢司・瀬尾絵理子・堀越彩香・照屋清之介・林亮太・福森啓晶・小林元樹・自見直人・山崎剛史・菊地波輝・田中颯・東亮一・鈴木隆仁・神保宇嗣(2019)「若手分類学者の集い」の10年。タクサ(日本動物分類学会誌), No. 47, 30-38.

田近周・生野賢司(2019)白亜紀外殻性頭足類における成長に伴う種内変異パターンを検証。「平成30年度深田研究助成」研究報告, 1-4.

■その他著作

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生(2019)兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討。日本古生物学会2019年年会講演予稿集, p. 43.

生野賢司(2019)コレクション展 石ころズラリ〜美しい鉱物から珍しい岩石まで〜。ひとつは通信ハーモニー, No. 105, 2-3.

加藤茂弘・生野賢司・藤原泰誠・郷津知太郎・菊池直樹(2019)兵庫県北部, 豊岡市畑上の海成上

部更新統の貝化石のESR年代。日本第四紀学会講演要旨集, 49, p. 54.

Tajika, A., Landman, N., Ikuno, K., Morimoto, N. and Slovacek, M. (2019) Morphometrics and quantification of intraspecific variation through ontogeny in the Late Cretaceous nautiloid *Eutrephoceras* using linear- and geometric morphometric approaches. *The Geological Society of America Abstracts with Programs*, 51, No. 5.

田近周・生野賢司・森本直記・Landman, N. (2020) 形態的種内変異の進化—白亜紀オウムガイ *Eutrephoceras* と現生オウムガイ *Nautilus* を例に—。日本古生物学会第169回例会講演予稿集, p. 49.

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生(2020)兵庫県洲本市の和泉層群北阿万層(下部マーストリヒチアン階)から産出した潜水鳥類ヘスペロルニス目。日本古生物学会第169回例会講演予稿集, p. 59.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平(2020)兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石。日本古生物学会第169回例会講演予稿集, p. 25.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Zelenitsky, D.・Therrien, F. (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石。日本古生物学会第169回例会講演予稿集, p. 28.

■研究発表

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生(2019)兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討。日本古生物学会2019年年会, 静岡大学.

加藤茂弘・生野賢司・藤原泰誠・郷津知太郎・菊池直樹(2019)兵庫県北部, 豊岡市畑上の海成上部更新統の貝化石のESR年代。日本第四紀学会2019年大会, 千葉科学大学.

Tajika, A., Landman, N., Ikuno, K., Morimoto, N. and Slovacek, M. (2019) Morphometrics and quantification of intraspecific variation through ontogeny in the Late Cretaceous nautiloid *Eutrephoceras* using linear- and geometric morphometric approaches. *The Geological Society of America Annual Meeting 2019*, Phoenix Convention Center, Phoenix, Arizona, USA.

田近周・生野賢司・森本直記・Landman, N. (2020) 形態的種内変異の進化—白亜紀オウムガイ *Eutrephoceras* と現生オウムガイ *Nautilus* を例に—。日本古生物学会第169回例会, 東京大学.

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生(2020)兵庫県洲本市の和泉層群北阿万層(下

部マーストリヒチアン階) から産出した潜水鳥類ヘスペロルニス目. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・Zelenitsky, D.・Therrien, F. (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学.

■学会役員等

若手分類学者の集い, 事務局

■助成を受けた研究

恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの開発と体制の構築. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C), 研究分担者 (2019 年度 1.95 万円/総額 364 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4, 新生代軟体動物化石・鉱物, 豊岡市・京都府京丹後市.

2019.5-11, 篠山層群産動物化石, 丹波市・丹波篠山市.

2019.6, 蝦夷層群産軟体動物化石, 北海道小平町・苫前町・羽幌町.

■受贈担当資料

2019.6, 水谷洋一鉱物コレクション, 500 点.

2019.6, 永瀬幸一岩石・鉱物コレクション, 2500 点.

2019.6, 岩石・鉱物コレクション一式 (森垂偉子氏), 40 点.

■整理同定担当資料

無脊椎動物化石 (主に軟体動物), 鉱物, 岩石

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

生野賢司・フロアスタッフ, 2019.4, オープンセミナー「はかせと学ぼう～形である化石クイズ『さわってアンモ』～」, 博物館. (95 名)

生野賢司, 2019.4, 特注セミナー「化石のレプリカを作って標本にしてみよう」, 兵庫県立宝塚北高等学校 1 年生, 博物館. (2 回, 40 名)

生野賢司, 2019.5, 特注セミナー「アンモナイトの不思議」, 高槻市立南平台小学校 5 年生, 博物館. (71 名)

生野賢司, 2019.5, 特注セミナー「地学系収蔵庫見学」, 大阪府立泉北高等学校 1 年生, 博物館. (3 回, 60 名)

池田忠広・生野賢司, 2019.5, 一般セミナー「化石

発掘調査 アカデミックキャンプ」, 丹波市. (24 名)

生野賢司・フロアスタッフ, 2019.5, オープンセミナー「はかせと学ぼう～形である化石クイズ『さわってアンモ』～」, 博物館. (95 名)

生野賢司, 2019.7, オープンセミナー「ギャラリートーク ひとつはくの岩石・鉱物コレクション」, 博物館. (106 名)

生野賢司, 2019.7, 一般セミナー「知ればなるほど! アンモナイトのウソ・ホント」, 博物館. (6 名)

池田忠広・生野賢司・田中公教・博物館実習生, 2019.8, オープンセミナー「展示解説と化石のレプリカ作り」, 丹波竜化石工房「ちーたんの館」. (136 名)

生野賢司, 2019.8, 特注セミナー「化石のレプリカを作って標本にしてみよう」, 親和中学校 1 年生, 博物館. (2 回, 68 名)

生野賢司・加藤茂弘, 2019.8, オープンセミナー「標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～『地球のカケラから何がわかる? -岩石・鉱物の科学-』」, 博物館. (250 名)

生野賢司, 2019.8, 一般セミナー「アンモナイトの化石を観察しよう」, 博物館. (20 名)

生野賢司・フロアスタッフ, 2019.8, オープンセミナー「はかせと学ぼう～形である化石クイズ『さわってアンモ』～」, 博物館. (197 名)

生野賢司・大平和弘, 2019.9, 一般セミナー「南あわじで自然体験① 7000 万年前の地層を見てみよう」, 南あわじ市. (31 名)

大平和弘・生野賢司, 2019.9, 一般セミナー「南あわじで自然体験② ウミホテルをつかまえよう」, 南あわじ市. (24 名)

生野賢司, 2019.9, オープンセミナー「ギャラリートーク ひとつはくの岩石・鉱物コレクション」, 博物館. (61 名)

生野賢司, 2019.10, 特注セミナー「アンモナイトのふしぎ」, 川西市立牧の台小学校 3 年生, 博物館. (95 名)

生野賢司, 2019.10, 特注セミナー「淡路島の地層と化石」, 洲本市理科研究会, 博物館. (6 名)

生野賢司, 2019.10, 特注セミナー「化石のレプリカを作って標本にしてみよう」, 兵庫県立西宮今津高等学校 1 年生, 博物館. (21 名)

生野賢司, 2019.10, 特注セミナー「化石のレプリカを作って標本にしてみよう」, 稲美町立稲美中学校 1 年生, 博物館. (2 回, 135 名)

生野賢司, 2019.11, 特注セミナー「異常巻アンモナイト *Nostoceras* について」, 兵庫古生物研究会, 博物館. (14 名)

生野賢司・池田忠広, 2019.12, 特注セミナー「地学系収蔵庫見学」, 兵庫県立加古川東高校理数科 1 年生, 博物館. (2 回, 42 名)

大平和弘・石田弘明・布野隆之・生野賢司・中濱直

之・藤本真里, 2019.12, 特注セミナー「展示解説とバックヤードツアー」, 大阪府立大学 研究推進機構, 博物館. (28名)

生野賢司・フロアスタッフ, 2019.12, オープンセミナー「ひとつは探検隊『石や化石をさがそう』」, 博物館. (26名)

生野賢司, 2020.2, 特注セミナー「化石のレプリカを作って標本にしてみよう」, 姫路市立菅野中学校1年生, 博物館. (2回, 73名)

生野賢司, 2020.2, 特注セミナー「化石のレプリカを作って標本にしてみよう」, 日本技術士会兵庫県支部, 博物館. (22名)

館外講演

生野賢司, 2019.7, 「孫に伝えるアンモナイトの話」, 西脇高齢者大学萩ヶ瀬学園, 西脇市総合福祉センター 萩ヶ瀬会館. (23名)

生野賢司, 2019.7, 「石材中の化石について」, 宝塚阪急. (2名)

生野賢司, 2019.7, 「ひょうご! とくしま! うずしお調査団」における鳴門海峡の地形・地質・化石についての解説, 海と日本 PROJECT in ひょうご実行委員会・海と日本 PROJECT in とくしま実行委員会, 鳴門市・南あわじ市. (40名)

加藤茂弘・古谷裕・生野賢司ほか, 2019.8, 「野島で石を探そう!」(化石のレプリカをつくろう, 石を採取しよう, 石を観察しよう, 保存館を見学しよう), 野島断層 夏の親子体験, 北淡震災記念公園セミナーハウスほか. (48名)

加藤茂弘・生野賢司ほか, 2019.8, 「野島で観察しよう!」(化石のレプリカをつくろう, 花崗岩と大阪層群を観察しよう, 保存館を見学しよう), 野島断層 夏の親子体験, 北淡震災記念公園セミナーハウスほか. (49名)

生野賢司, 2019.9, 「異常巻アンモナイトの話」, 「人博研究員さんと語ろうナイト」, スミノヤゲストハウス (香美町). (17名)

生野賢司, 2019.9, 「ひょうご! とくしま! うずしお調査団」における講評, 海と日本 PROJECT in ひょうご実行委員会・海と日本 PROJECT in とくしま実行委員会, ひょうご五国ワールド 神戸三宮横町. (40名)

生野賢司, 2019.9, 「未来へつなぐ 南あわじのエコと自然 ビーチコーミングを楽しもう」における観察指導, うずしおエコミュージアム推進委員会, 国立淡路青少年交流の家ほか. (16名)

テレビ・ラジオ等出演

2019.7, 「まるでバラやクジャク 見事な形や色彩の鉱物300点並ぶ」, サンテレビニュース, サンテレビ. (コレクション展「石ころズラリ〜美しい鉱物から珍しい岩石まで〜」について)

2019.8, 「日本財団 海と日本 PROJECT in ひょうご ひょうご海ライブ2019」, 情報スタジアム 4時! キャッチ, サンテレビ. («ひょうご! とく

しま! うずしお調査団」について)

2019.8, 「石ころズラリ〜美しい鉱物から珍しい岩石まで〜」, デイリーニュース (宝塚・川西・三田・猪名川), J:COM.

2019.9, 情報ライブ ミヤネ屋, 四国放送. («ひょうご! とくしま! うずしお調査団」について)

2019.9, 「日本財団 海と日本 PROJECT in ひょうご ひょうご海ライブ2019」, 情報スタジアム 4時! キャッチ, サンテレビ. («ひょうご! とくしま! うずしお調査団」について)

2019.10, JRT news every. とくしま, 四国放送. («ひょうご! とくしま! うずしお調査団」について)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.8, 野島断層 夏の親子体験, 北淡震災記念公園, 淡路市. 分担者. (2回)

2019.9, 館外企画展「JAPAN COLOR Where Culture Meets Nature ~日本文化を育んだ自然~」, 野口家住宅 花洛庵, 京都市. 分担者 (展示解説).

2019.11, ミュージアムキッズ! 全国フェア2019への出展, 国立淡路青少年交流の家, 南あわじ市. 主担当 (ブース「アンモナイト化石のレプリカをつくろう!」の運営).

■連携事業

共催事業

2019.12, 「丹波竜フェスタ2019 日本の恐竜を語る!」, やまなみホール, 丹波市, 分担者 (会場運営).

2020.2, 展示「未来へつなぐ南あわじのエコと自然」, うずの丘 大鳴門橋記念館 うずしお科学館, 南あわじ市, 分担者 (展示制作).

協力事業

2019.7-8, 第15回南あわじ地学の会展示会「兵庫県の地形と丹波竜化石・南あわじの地形と化石・岩石」, 三原ショッピングプラザ パルティ, 南あわじ市, 主担当 (資料貸出).

2019.12-2020.1, あわジオフェスティバル, 国営明石海峡公園, 淡路市, 分担者 (資料貸出, 展示設営).

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

兵庫古生物研究会, 副担当 (指導)

南あわじ地学の会, 副担当 (指導)

石ころクラブ, 副担当 (指導)

岸本眞五, 副担当 (指導)

成果発表

石を観る会, 2020.2, 『①「石ころセミナー2019」活動報告 ②「石を観る会選抜 兵庫を代表する石」』, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)

岸本眞五, 2020.2, 「淡路島の和泉層群から産出するユニ・ヒトデ化石」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)

兵庫古生物研究会, 2020.2, 「異常巻アンモナイト、ノストセラス大集合」, 第15回共生のひろば,

博物館。(指導)

法西浩, 2020.2, 「兵庫県猪名川町で宝もの探し」,
第15回共生のひろば, 博物館。(指導)

■学校教育支援

学校団体対応

2019.4, 兵庫県立宝塚北高等学校.
2019.5, 高槻市立南平台小学校.
2019.5, 大阪府立泉北高等学校.
2019.8, 親和中学校.
2019.10, 川西市立牧の台小学校.
2019.10, 兵庫県立西宮今津高等学校.
2019.10, 稲美町立稲美中学校.
2019.12, 兵庫県立加古川東高校.
2019.12, 大阪府立大学.
2020.2, 姫路市立菅野中学校.
2020.2, 尼崎市立中央中学校.

講師派遣

2019.11, 「理科教員のための鉱物学入門」, 神戸市立
中学校理科ブロック実験講習会。(16名)
2019.12, 特別講義「化石のレプリカを作って標本に
してみよう」, 兵庫県立赤穂高等学校1年生 総
合科学探究類型。(24名)

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8, 近畿大学4名, 甲南大学1名, 甲南女子大
学1名, 神戸女子大学1名, 岩手大学大学院1
名, 京都先端科学大学1名, 神戸芸術工科大学
1名。(計10名)

その他

2019.8, うずの丘 大鳴門橋記念館 うずしお科学
館, 1名.

■展示

2019.4-, 本館2階男子トイレにおける鉱物・化石の
展示, 博物館, 責任者.
2019.6-, 兵庫県庁2号館ロビーにおける県の石の展
示, 兵庫県庁, 分担者.
2019.7-9, コレクション展「石ころズラリ〜美しい
鉱物から珍しい岩石まで〜」, 博物館, 責任者.
2019.8-9, 館外企画展「JAPAN COLOR Where
Culture Meets Nature ~日本文化を育んだ自然
~」, 京都市, 分担者.
2019.10-, 本館4階ひとはくサロンにおける展示「コ
レクションの壁」, 博物館, 分担者.
2019.11-2020.1, 「化石の日」制定1周年記念展示「ア
ワジの名がついたエビ類化石」, 博物館, 責任
者.
2019.12-2020.1, あわジオフェスティバルにおける化
石の展示, 国営明石海峡公園, 分担者.
2020.2-4, ミニ企画展「異常巻アンモナイト、ノス
トセラス大集合」, 博物館, 責任者.
2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」, 博
物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「野島断層の保存と活用に関する研究」, 淡路市教
育委員会, 分担者。(30万円)
「うずしお科学館活用および機能強化に関する
技術支援業務」, 株式会社ヘッズ, 分担者。(68
万円)
「鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた提出文書
における地形地質・景観の価値証明に関する技
術支援業務」, 株式会社プレック研究所大阪事
務所, 分担者。(45万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 19回, 159名.

■行政等支援

委員会等 (計2件)

2019.8-, うずしおエコミュージアム推進委員会, 委
員, うずしおエコミュージアム事務局.
2020.1-3, うずしお科学館運営委員会, 委員, 南あ
わじ市.

相談・指導助言

来訪者50件, 91名. 電話・FAX18件. メール12
件.

視察対応

2019.6, 南あわじ地学の会, 8名.
2019.12, 札幌市議会議員, 4名.

■学会開催等支援

2019.6, 第11回若手分類学者の集い, 世話人.
2019.11, 化石研究会第152回例会シンポジウム「パ
レオアートと博物館」, 会場設営.

田中 公教 TANAKA, Tomonori

自然・環境評価研究部

地球科学研究グループ

恐竜化石総合ディレクター

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 客員研究員

昭和62年京都府生。北海道大学理学院博士課程修了。

博士(理学)。Society of Vertebrate Paleontology, Society of Avian Paleontology and Evolution, 日本古生物学会, 日本鳥学会所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 恐竜ラボ

化石剖出ボランティア, 石割ボランティア, 化石専門
指導員の管理および活動支援

2. 恐竜タスクフォース

各種事業への参画, 実施

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 中生代鳥類の系統分類学および潜水適応進化についての研究
2. 水鳥の骨組織学と水泳様式についての研究
3. 羽毛の微細構造の進化についての研究

■論文・著書

Fiorillo A. R., Kobayashi Y., McCarthy P. J., Tanaka T., Tikosky T., Lee Y-N, Takasaki R., and Yoshida J. 2019. Dinosaur ichnology and sedimentology of the Chignik Formation (Upper Cretaceous), Aniakchak National Monument, southwestern Alaska; further insights on habitat preferences of high-latitude hadrosaurs. *PLOS ONE*, 14(10), e0223471.

山本順司, 徳永彩未, 横倉伶奈, 田中公教, 田島貴裕 (2019) 地球の層構造を理解するための教材開発 -比重の体感教材-. 地学教育, 72(1), 31-42.

■その他著作

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討. 日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集, 43 p.

田中公教・小林快次・飯島正也 (2020) 中生代鳥類の海洋適応への進化パターン. 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 28.

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生 (2020) 兵庫県洲本市から産出した潜水鳥類へスペロルニス目. 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 59.

和田和美・池田忠広・三枝春生・田中公教・新谷明子 (2020) 化石剖出用具の開発 (その 2). 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 64.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中

公教・生野賢司・半田久美子・D. Zelenitsky・F. Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石. 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 28.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会第 169 回例会講演予稿集, p. 25.

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討. 日本古生物学会 2019 年年会講演予稿集, p. 43.

土屋健 (2019) 古生物食堂. 株式会社技術評論社, 224p. (部分的に監修)

■研究発表

田中公教・小林快次・飯島正也 (2020) 中生代鳥類の海洋適応への進化パターン. 日本古生物学会 2020 年例会, 東京大学.

田中公教・小林快次・生野賢司・池田忠広・三枝春生 (2020) 兵庫県洲本市から産出した潜水鳥類へスペロルニス目. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学.

和田和美・池田忠広・三枝春生・田中公教・新谷明子 (2020) 化石剖出用具の開発 (その 2). 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学.

田中康平・池田忠広・久保田克博・三枝春生・田中公教・生野賢司・半田久美子・D. Zelenitsky・F. Therrien (2020) 兵庫県丹波市から発見された獣脚類恐竜の卵・卵殻化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学.

池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会第 169 回例会, 東京大学.

生野賢司・久保田克博・田中公教・池田忠広・半田久美子・三枝春生 (2019) 兵庫県丹波市の篠山層群から産出する前期白亜紀腹足類化石の予察的検討. 日本古生物学会第 169 回例会, 静岡大学.

Takasaki R., K. Tsogtbaatar, Y. Kobayashi, T. Chinzorig, T. Tanaka, P. J. Currie, G. F. Funston, J. Yoshida, and E. B. Koppelhus (2019) A Nearly Complete Skeleton of an Iguanodontid Dinosaur from the Lower Cretaceous Khukhteg Formation of Dornogovi Province, Mongolia. *Asian Dinosaur Association 4th International Symposium*, Ulaan Baatar, Mongolia.

■海外調査

2019.7-8, アメリカ合衆国・ワシントン D.C.

2019.12, カナダ・サスカチュワン州

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.5-10, 動物化石, 丹波市山南町・丹波篠山市西古佐.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

池田忠広・生野賢司, 2019.5, 一般セミナー「化石発掘調査、アカデミックキャンプ」, 丹波市・上久下住民センター. (24名)

田中公教, 2019.5, 「化石判別講座(山南町上滝第一)」, 博物館. (2名)

田中公教, 2019.5, 「化石判別講座(川代1号トンネル)」, 博物館. (9名)

田中公教, 2019.5, 「化石判別講座(川代1号トンネル)」, 博物館. (5名)

田中公教, 2019.6, 「化石専門指導員講習会&認定試験」, 丹波篠山市. (5名)

田中公教, 2019.7, 「化石判別講座(山南町上滝第一)」, 博物館. (5名)

田中公教, 2019.8, 「化石専門指導員講習会&認定試験」, 丹波篠山市. (1名)

池田忠広・生野賢司・田中公教・博物館実習生, 2019.8, オープンセミナー「展示解説と化石のレプリカ作り」, 丹波市. (136名)

田中公教, 2019.9, 「化石判別講座(山南町上滝第一)」, 博物館. (1名)

田中公教, 2019.10, 「化石判別講座(川代1号トンネル)」, 丹波篠山市. (10名)

田中公教, 2019.10, 「化石判別講座(川代1号トンネル)」, 丹波篠山市. (3名)

田中公教, 2019.10, 「化石専門指導員講習会&認定試験」, 丹波篠山市. (3名)

田中公教, 2019.11, 「化石判別講座(山南町上滝第一)」, 博物館. (3名)

田中公教, 2019.11, 「化石専門指導員講習会&認定試験」, 博物館. (2名)

田中公教, 2020.1, 「化石判別講座(山南町上滝第一)」, 博物館. (3名)

田中公教, 2020.1, 「化石専門指導員講習会&認定試験」, 博物館. (2名)

館外講演

池田忠広・田中公教, 2019.8, 「すもとつ子 MANABI プロジェクト 化石発掘体験教室」, 淡路文化史料館, 洲本市 (2回, 60名).

田中公教, 2019.11, 「Living Dinosaurs -生きている恐竜のはなし-」兵庫県立宝塚北高校, 宝塚市 (3回, 71名).

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8, 近畿大学4名, 甲南大学1名, 甲南女子大

学1名, 神戸女子大学1名, 岩手大学大学院1名, 京都先端科学大学1名, 神戸芸術工科大学1名. (計10名)

■展示

2019.4-6, 緊急速報展「篠山層群恐竜・鳥類卵化石発掘調査の成果報告」, 博物館, 分担者.

2020.1-, 常設展示「丹波竜の肋骨が入っていた岩塊」, 博物館, 責任者.

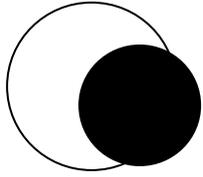
2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく 研究員展 2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者6件, 10名. 電話・FAX8件.



個人別成果報告に関する資料

●自然・環境評価研究部 系統分類研究グループ

太田 英利 OTA, Hidetoshi

自然・環境評価研究部

系統分類研究グループ

主任研究員・研究部長・研究グループ長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授。

昭和34年愛知県生。京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。博士(理学)。日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 生物地理学会, 日本動物分類学会, 米国爬虫両生類・魚類学会, 国際爬虫両生類学協会, 国際両生・爬虫類研究会, ヨーロッパ爬虫両生類学会, 英国リンネ協会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 恐竜タスクフォース

研究担当サブリーダーとして, 関連資料を用いた研究・共同研究の促進と進行管理

2. プロジェクト

琉球列島を中心とした熱帯～温帯アジア爬虫両生類相の多様性と自然史に関する研究。代表者
ブータンの爬虫・両生類の多様性に関する調査研究。代表者

国際交流事業 高校生のための生き物体験ツアー in 台湾。分担者

博物館ネットワークにおけるレガシー発信・継承事業。分担者

博物館ネットワークを通じた生物多様性情報の活用と標本整理。分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援。分担者

ヒアリ・クビアカツヤカミキリ等外来生物・危険生物プロジェクト。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. アジア・オセアニアの熱帯・亜熱帯島嶼に見られる爬虫・両生類の系統分類と生物地理
2. 日本と周辺島嶼でのヤモリ属の生息環境と遺伝的・形態的多様性: パタンとプロセスの解明
3. 宮古諸島を中心とした琉球列島の歴史生物地理: 現生生物と化石生物がもたらす示唆
4. わが国における外来性四足動物の在来生物相へのインパクトとその防除

■論文・著書

太田英利(2019) 宮古島の化石脊椎動物。宮古島市史編さん委員会(編), みやこの自然, 宮古島市教育委員会, 宮古島市, 478-484.

Tominaga, A., Matsui, M., Shimoji, N., Khonsue, W., Wu, C.-S., Toda, M., Eto, K., Nishikawa, K. and Ota, H. (2019) Relict distribution of *Microhylla* (Amphibia: Microhylidae) in the Ryukyu Archipelago: High diversity in East Asia maintained by insularization. *Zoologica Scripta*, 48, 440-453.

Mori, A., Ota, H. and Hirate, K. (2019) Defending resources on isolated islands. In: H. B. Lillywhite and M. Martins (eds.), *Islands and Snakes: Isolation and Adaptive Evolution*, Oxford University Press, New York, 288-309.

Kim, D.-I., Park, I.-K., Ota, H., Fong, J.J., Kim, J.-S., Zhang, Y.-P., Li, S.-R., Choi, W.-J., and Park, D. (2019) Patterns of morphological variation in the Schlegel's Japanese gecko (*Gekko japonicus*) across populations in China, Japan, and Korea. *Journal of Ecology and Environment*, 43, <https://doi.org/10.1186/s41610-019-0132-5>

Igawa, T., Sugawara, H., Honda, M., Tominaga, A., Oumi, S., Katsuren, S., Ota, H., Matsui, M. and Sumida, M. (2020) Detecting inter- and intra-island genetic diversity: population structure of the endangered crocodile newt, *Echinotriton andersoni*, in the Ryukyus. *Conservation Genetics*, 21, 13-26.

Kim, D.-I., Park, I.-K., Bae, S.-Y., Fong, J.J., Zhang, Y.-P., Li, S.-R., Ota, H., and Park, D. (2020) Prediction of present and future distribution of the Schlegel's Japanese gecko (*Gekko japonicus*) using MaxEnt modeling. *Journal of Ecology and Environment*, 44, <https://doi.org/10.1186/s41610-020-0147-y>

Kim, J.-S., Park, J., Fong, J.J., Zhang, Y.-P., Li, S.-R., Ota, H., Min, S.-H., Min, M.-S. and Park, D. (2020) Genetic diversity and inferred dispersal history of the Schlegel's Japanese Gecko (*Gekko japonicus*) in Northeast Asia based on population genetic analyses and paleo-species distribution modelling. *Mitochondrial DNA Part A*, 31, 120-130.

■その他著作

太田英利(2019) ワクワクしながら伺った池原貞雄先生の貴重なフィールド体験談。沖縄生物学会誌, 57, 13-14.

太田英利(2019) ひとくはく研究員だより 伊丹市のトノサマガエル 2003年ごろを境に姿を消す。神戸新聞 2019年10月6日付朝刊。

■研究発表

- Ota, H. (2019) From governmental politics to school and company projects: museum as a think tank for prevalence of taxonomy-based biodiversity conservation. *International Conference on Biodiversity 2019*. Bangkok Convention Centre.
- 疋田 努・林 昭次・亀崎直樹・太田英利 (2019) カメの背甲は内骨格由来か? 日本動物学会第90回大阪大会, 大阪市立大学杉本キャンパス.
- 池田忠広・太田英利 (2019) 兵庫県の下部白亜系篠山層群大山下層より報告されたカエル類化石における分類形質の再検討. 日本爬虫両生類学会第58回大会, 岡山理科大学.
- 長崎哲新・玉山雅浩・原澤平・河村功一・太田英利 (2019) 紀伊半島におけるニホンカナヘビの遺伝的集団構造. 日本爬虫両生類学会第58回大会, 岡山理科大学.
- 太田英利・上野あや・川村貴志・保田昌宏・松尾公則・本多正尚 (2019) 九州におけるキノボリトカゲ属外来集団の生息状況とその対策について. 日本爬虫両生類学会第58回大会, 岡山理科大学.
- 田川愛・佐川志朗・田和康太・太田英利 (2019) 安定同位体比分析による日本産ヘビ類の餌組成の推定-I. 路上轍死体を活用した, 本手法の有効性に関する初歩的検討. 日本爬虫両生類学会第58回大会, 岡山理科大学.
- 池田忠広・太田英利・三枝春生・久保田克博・生野賢司・田中公教・半田久美子・田中康平 (2020) 兵庫県丹波市の下部白亜系篠山層群から発見されたオオトカゲ類化石. 日本古生物学会第169回例会, 東京大学駒場キャンパス.

■学会役員等

- 日本爬虫両棲類学会, 会長
分類学会連合日本爬虫両棲類学会分代表
沖縄生物学会, 学会誌編集委員
日本生物地理学会, 評議員
Asian Herpetological Research Society, 学会誌編集委員
Tropical Natural History, 学術雑誌編集委員
Linnean Society of London, 特別会員 (Fellow [F.L.S.])
Russian Journal of Herpetology, 学術雑誌編集委員
投稿原稿の査読: Asian Herpetological Research, 人と自然, Current Herpetology, Zoological Science, Zootaxa, ZooKeys, 生物地理学会報ほかの投稿原稿について計28件

■助成を受けた研究

- 国内外来爬虫類が分布拡大の最前線で在来生態系に与える影響. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C), 研究分担者(分担分金額26

万円/117万円)

マダガスカルでの遺伝子水平伝播パンデミックとヘビによる世界的な伝播因子拡散の実証. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B), 研究分担者(分担分金額39万円/377万円)

■海外調査

2019.8, 台湾 台北県

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.6, 爬虫類・両生類, 宮崎県日向市.

2019.7, 爬虫類・両生類, 長崎県松浦市・兵庫県宝塚市.

■受贈担当資料

2019.5, アオウミガメ剥製標本, 1点.

■整理同定担当資料

両生類液浸標本, 11点.

爬虫類液浸標本, 68点.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

太田英利, 2019.7, 一般セミナー「両生類の体を見てみよう」, 博物館. (6名)

太田英利, 2019.7, 一般セミナー「爬虫類の体を見てみよう」, 博物館. (8名)

太田英利, 2019.7, 教職員・指導者セミナー「外来種問題を正しく理解し教えるためのポイント」, 博物館. (23名)

前田喜四雄・亀崎直樹・岡田純・太田英利, 2019.10, オープンセミナー「ひょうごの貴重な生き物たち 第1回 哺乳類, 爬虫類, 両生類」(40名)

太田英利, 2019.10, 一般セミナー「生物多様性—なぜ大事なのか, どうすればいいのか—」, 博物館. (22名)

太田英利, 2019.11, 特注セミナー「トカゲ・ヘビ・カメのからだを見てみよう」, 道場保育園, 博物館. (25名)

太田英利, 2019.12, 特注セミナー「日本の生物地理」, クラーク記念国際高等学校三田分室1, 2年生, 博物館. (17名)

館外講演

太田英利, 2019.6, 環境省沖縄事務所・琉球大学共催講演会「琉球の陸の動物たちの歴史」, 沖縄県立図書館3Fホール. (54名)

太田英利, 2019.6, 神戸市立須磨海浜水族園主催サイエンスカフェトーク「カメたちが見てきた自然のさま変わり—ここ数万年, 数千年, 数百年, 数十年に南の島でおこったこと—」, 須磨海浜水族園大水槽ホール. (83名)

太田英利, 2019.8, 伊丹市昆虫館主催講演会「琉球の動物たち: その多様性・固有性の現在, 過

去, 未来], 東りいたみホール. (90名)
太田英利, 2019.9, 日本ツメガエル研究会基調講演
「侵略的外来種としてのアフリカツメガエル」,
関西セミナーハウス修学院さらら山荘. (45
名)
太田英利, 2019.10, 文化講座「イモリ」, NHK 文
化センター神戸支社. (10名)
太田英利, 2020.2, 環境省九州地方環境事務所主催
講演会「九州におけるキノボリトカゲ類の外
来集団～なぜ問題なのか? どうすればよいの
か?～」, 福岡市天神チクモクビル小ホール.
(22名)
太田英利, 2020.3, 琉球大学熱帯生物圏研究センタ
ー改組10周年記念講演「琉球の動物たち:そ
の多様性・固有性の現在, 過去, 未来」, 琉球
大学50周年記念館. (32名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学 大学院 環境人間学研究科 共生博物
学部門博士後期課程大学院生1名の指導(主
指導教員として)

他大学・大学院教育

京都大学 大学院 理学研究科 博士後期課程大学院
生1名の博士学位申請論文の審査(予備審査
委員として)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.10, ひとはく Kids キャラバン, エミールこど
も園, 加古川市, 副担当.
2019.11, ひとはく Kids キャラバン, せつよう幼稚
園, 伊丹市, 副担当.

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

鈴木久代, 主担当
松田 潔, 副担当
庄野美德, 副担当
畑 薫, 副担当

■学校教育支援

学校団体対応

2019.6, 京都大学理学部「収蔵庫案内と展示解
説」.

講師派遣

2019.11, 「生物の進化をどう教えるか」, コメンテ
ーター, 伊丹市立東中学校研究授業, 伊丹
市.

■展示

2019.10-2020.1, 展示特別企画「ひょうごのレッド
リスト展～哺乳類・爬虫類・両生類・魚類
～」, 博物館, 分担者(爬虫類と両生類の展示
担当).

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」, 博
物館, 分担者.

液浸収蔵庫の案内, 1回.

■行政等支援

委員会等(計17件)

1998.4-, 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評
価検討委員会 爬虫類・両生類分科会.
2005.6-, 環境省希少野生植物種保存推進員.
2008.6-, 世界自然保護基金日本委員会(WWF ジャ
パン) 自然保護委員会.
2012.6-, 世界自然保護基金日本委員会(WWF ジャ
パン) 運営委員会.
2007.4-, 新石垣空港環境モニタリング委員会.
2007.4-, 西表島エコロード検討委員会.
2006.1-, オオヒキガエル防除事業対策会議委員.
2009.10-, 生物多様性ひょうご戦略推進委員会委
員.
2011.5-, アベサンショウウオ保護増殖等検討会.
2012.4-, 奄美・琉球世界自然遺産候補地推薦検討
委員会.
2012.6-, 兵庫県環境審議会鳥獣部会.
2014.4-, 奄美・琉球世界自然遺産候補地科学委員
会.
2014.6-, 鹿児島県外来種対策検討会委員.
2014.7-, 伊丹市昆虫館運営協議会委員.
2015.5-, 西表島のシロアゴガエルの防除及び影響
評価に関する検討会.

相談・指導助言

メール32件(動物の同定対応18件, ほか14
件).

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

秋山 弘之 AKIYAMA, Hiroyuki

自然・環境評価研究部

系統分類研究グループ／研究・シンクタンク推進室

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 准教授.

昭和31年大阪府生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 日本蘚苔類学会, 米国蘚苔類学会, 英国蘚苔類学会, 国際蘚苔類研究者連合等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究・シンクタンク推進室

2. プロジェクト

国際交流事業(花博協会との共同による「高校生のための生きもの調査体験ツアーin台湾」)ひとはく側代表者

博物館にすでに収蔵されているが, データベースにまだ登録されていない隠花植物(菌類, コケ植物)の登録の推進. 代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 近畿地方における絶滅危惧蘚苔類の調査
2. 東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究
3. 西南日本の蘚類相の研究

■論文・著書

Akiyama, H. (2019) Phylogenetic re-examination of the "Gammella ceylonensis" complex reveals three new genera in the Pylaisiadelphaceae (Bryophyta). *Bryophyte Diversity and Evolution*, 42, 1-29.

Akiyama, H. and J. R. Shevock (2019) Two new species of *Aptychella* (Pylaisiadelphaceae, Musci) from Hawaii Island and Taiwan. *Bryological Research*, 11, 337-345.

Akiyama, H. and I. J. Odrzykoski (2019) Genetic and morphological differentiation in the genus *Conocephalum* (Hepatics). *Bryological Times*, 149, 5-6.

Asakawa, Y., K. Tomiyama, H. Akiyama, A. Uchida, M. Shimamura, H. Kenmoku, H. Miyataka, H. Takahashi, T. Esumi and E. Yaguchi (2019) Distribution of volatiles in the liverworts, *Conocephalum japonicum*, *C. conicum*, *Marchantia paleacea* ssp. *deptera* and *M. paleacea* ssp. *paleacea*. 第63回香料・テルペン・精油化学に関する討論会(63rd TEAC), 109-201.

秋山弘之(2019)新・コケ百選 第19回 ナガハシゴケ科・コモチイトゴケ科(蘚類)その1.

蘚苔類研究, 11, 359-364.

秋山弘之(2019)新・コケ百選 第19回 ナガハシゴケ科・コモチイトゴケ科(蘚類)その2. 蘚苔類研究, 12, 17-23.

秋山弘之(2019)アジア産蘚苔類の分類・生態ノート33. オオミズゴケ集団では, 群落表面だけではなく内部でも胞子体が成熟する場合があること(予備的観察). 蘚苔類研究, 12, 47-50.

松岡成久・秋山弘之(2019)兵庫県新産のウロコミズゴケ(セン植物門ミズゴケ科). 蘚苔類研究, 12, 60-61.

■その他著作

秋山弘之(2019)街なかでコケ(苔)散歩を楽しもう. 厚生会だより「ふれあい」385号, 兵庫県学校厚生会, 21.

秋山弘之(2019)北川先生の思い出. しだとこけ 17巻1-2号(北川尚史先生追悼記念号), 20-23.

秋山弘之(2019)屋久島のコケガイド(監修). 公益財団法人屋久島環境文化財団.

秋山弘之(2019)ジャゴケを求めて西に東に. ひとはくHP. 人と自然の博物館.

■研究発表

Akiyama, H. and I. J. Odrzykoski (2019) Genetic differentiation and morphological variation in the genus *Conocephalum* (Hepatics). *International Association of Bryology* (Spain, Madrid).

秋山弘之(2019)日本産ジャゴケ属植物の分布と分化—ジャゴケ探検隊収集の生植物による成果—. 日本蘚苔類学会第48回福岡大会(福岡市, 博多蔵本太田ビル).

秋山弘之(2019)コケ植物系統ポスター—陸上非維管束植物(蘚類, 苔類, 角苔類)の体系分類と形態的特徴—. 日本蘚苔類学会第48回福岡大会(福岡市, 博多蔵本太田ビル).

■学会役員など

日本蘚苔類学会, 学会誌編集委員
公益財団法人平岡環境科学研究所, 評議員
京都府希少野生生物生息地等保全地区検討委員
兵庫県貴重な野生生物等専門委員会委員
環境省希少野生動植物保存推進員
ポーランド植物学会誌編集委員
サバ大学ITBC 紀要編集委員

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 蘚苔類, 三田市・宝塚市・西宮市・神戸市・篠山市・香美町・南光町.

■整理同定担当資料

蘚苔類, 大型菌類

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

秋山弘之, 2019.5, 一般セミナー「コケ植物観察講座」, 京都府南丹市. (全1回, 16名)

秋山弘之, 2019.5, 一般セミナー「コケ植物観察講座 顕微鏡を使った観察」, 博物館. (全1回, 5名)

秋山弘之, 2019.5, 一般セミナー「コケ植物観察講座「コケに棲むクマムシを探す」, 博物館. (全1回, 11名)

秋山弘之, 2019.6, 一般セミナー「キノコの観察1 梅雨時のキノコ」, 一庫公園. (全1回, 17名)

秋山弘之, 2019.10, 一般セミナー「ハチ北セミナー 秋のキノコと木の実観察」, ハチ北高原. (全2回, 12名)

秋山弘之, 2019.10, 一般セミナー「秋のキノコの観察」, 有馬富士公園. (全1回, 11名)

秋山弘之・フロアスタッフ, 2019.10, オープンセミナー「ひとはく探検隊 キノコ GET だぜ!」, 博物館. (全1回, 35名)

秋山弘之・高野温子, 2019.10, オープンセミナー「標本のミカタ いろんなキノコとコケを見よう」, 博物館. (全1回, 194名)

秋山弘之, 2019.5, 特別セミナー「台湾事業の説明 兵庫県私立中学高等学校理科教育研究会」, 博物館. (全1回, 28名)

秋山弘之・三橋弘宗, 2019.5, 特注セミナー「収蔵庫見学② 兵庫県私立中学高等学校理科教育研究会」, 博物館. (全1回, 28名)

秋山弘之・布野隆之, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学⑤ ROOTプログラムひとはく特別週末セッション」, 博物館. (全1回, 10名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

■担い手成長支援事業

2019.7, 「キノコ観察会」シニア自然大学

■学校教育支援

講師派遣

2019.8, 「高校生のための生きもの調査体験ツアー in 台湾」(日本の高校生20名, 台湾の高校生20名)

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計4件)

2019.4ー, 環境省絶滅危惧植物(蘚苔類)調査担当委員

2019.4ー, 環境省希少野生動植物保存推進員

2019.4ー, 京都府レッドデータブック専門委員

2019.4ー, 兵庫県レッドデータブック専門委員

橋本 佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

自然・環境評価研究部

系統分類研究グループ/コレクション管理・活用室
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究
部門 准教授.

昭和31年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博
士課程修了. 学術博士. 日本昆虫学会, 熱帯生態学
会, 日本生態学会, 国際社会性昆虫学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. コレクション活用管理室

室長

2. プロジェクト

兵庫県における特定外来生物対策の実践型研究と政
策提言および人材育成の推進. 代表者

博物館国際交流事業の推進. 代表者

ひとはくのハチ類コレクション整備推進プロジェク
ト. 代表者

生物多様性創出機構の解明. 代表者

管住生ハチ類を指標とする里山環境の保全研究. 代
表者

昆虫標本の展示手法の研究. 代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 膜翅目昆虫 (アリ類等) の系統分類学的研究
2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究
3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
4. 共生生物学
5. 外来アリ問題の対策

■その他著作

橋本佳明 (2019) アリに化けるクモたち: アリと
アリ擬態クモ類が織りなす熱帯の生物多様
性. 昆虫. ニューシリーズ, 22, 図巻頭4p,
p.72-73.

■研究発表

Hashimoto Y. (2019) Wasabi, a new weapon to open a
new battle against fire ant invasions in Japan. *World's
Ant Forum Bangkok, 2019 and ANeT Meeting*,
Kasetsart University (Thailand).

■学会役員等

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference
Collections (ANeT), 評議委員

文部科学省 博物館ネットワークによる未来への
レガシー継承・発信事業委員会, 委員

S-Net・GBIF ハチ類生物多様性情報整備事業, 委
員

PLOS ONE, Ecological Research, Entomological
Science, Asian myrmecology 等レフェリー多数

■助成を受けた研究

アリグモの種多様性を増大させるアリ擬態効果の
解明. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究
(C), 研究代表者 (2019年度 50万円/総額
156万円)

自然史標本の汎用化と収蔵展示技法の体系構築.
文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B),
研究分担者 (2019年度 132万円/総額 533万
円)

わさびのヒアリ忌避効果研究に関する研究. 一般
寄付金, 研究代表者 (100万円)

■海外調査

2019.8, マレーシア・サラワク州

2019.10, 台湾

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.8, アリ類・アリグモ類, マレーシア・サラワ
ク州.

2019.10, ヒアリ, 台湾.

■受贈担当資料

2019.5, 鱗翅目昆虫標本, 1400点.

■整理同定担当資料

羽田ハチ類コレクション, 3万点

GIBF 昆虫標本データベース, 3000点

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳明, 一般セミナー「農業と外来生物, 一ヒ
アリを例にヒアリを学ぶー外来生物問題の生
物学」, 博物館.

橋本佳明, 一般セミナー「外来アリのはなし そ
の1ーヒアリとアカカミアリ, オオハリア
リ」, 博物館.

橋本佳明, 一般セミナー「外来アリのはなし そ
の2ーアルゼンチンアリとアシナガキアリ,
ヒゲナガアメイロアリ, ツヤオオズアリ」, 博
物館.

橋本佳明, 一般セミナー「外来アリのはなし そ
の3ーこれからやって来るアリ達, コカミア
リとハヤトゲフシアリ」, 博物館.

橋本佳明, 特注セミナー「ヒアリ侵入の現状と対
策の課題」, 博物館.

館外講演

橋本佳明, 「技術情報協会講義」, 東京.

橋本佳明, 「岡山県主催外来生物講習会」, 岡山.

橋本佳明, 「広島県主催ヒアリ講習会」, 広島.

橋本佳明, 「神戸市主催アリ調査講習会第一回」,
神戸.

橋本佳明, 「造園修景協会主催ヒアリ講習会」, 神
戸.

橋本佳明, 「神戸市主催アリ調査講習会第二回」,
神戸.

橋本佳明,「尼崎市ヒアリ技術講習第一回」, 尼崎市.
橋本佳明,「尼崎市ヒアリ技術講習第二回」, 尼崎市.
橋本佳明,「西宮東高校市民講座」, 西宮市.
橋本佳明,「兵庫県主催外来生物協議会講習会」, 三田市.
橋本佳明,「環境省主催ヒアリ講習会第一回」, 大阪.
橋本佳明,「環境省主催ヒアリ講習会第二回」, 大阪.
橋本佳明,「環境省主催ヒアリ講習会第三回」, 岡山.
橋本佳明,「環境省主催ヒアリ講習会第四回」, 名古屋.
橋本佳明,「環境省主催ヒアリ講習会第五回」, 名古屋.
橋本佳明,「環境省主催ヒアリ講習会第六回」, 名古屋.
橋本佳明,「広島県コンテナヤード・ヒアリ対策技術講習」, 東京都.
橋本佳明,「東京都コンテナヤード・ヒアリ対策技術講習」, 東京都.

兵庫県立大学・大学院教育

共生生物学 (分担)

昆虫多様性生物学 (大学院授業)

テレビ・ラジオ等出演

読売テレビ取材, ラジオ関西出演 等

■連携事業

産官学連携研究事業「マイクロカプセル化わさび成分のヒアリ侵入前防除への活用開発研究」
(株式会社もりや産業)

国立環境研究所・客員研究員

共催事業

外来生物協議会講習会 (兵庫県外来生物協議会)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

松田 潔, 主担当

庄野美徳, 主担当

畑 薫, 主担当

■学校教育支援

学校団体対応

高砂市立高砂小学校 等

講師派遣

兵庫教育大付属中学校

■展示

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく研究員展 2020」, 分担者.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 4回.

■行政等支援

委員会等 (計9件)

環境省ヒアリ有識者会議委員
岡山県ヒアリ有識者会議委員
京都府ヒアリ・バスターズ委員
尼崎市ヒアリ対策委員
広島県ヒアリ対策委員
沖縄県外来生物対策会議委員
環境推進費アドバイザー
国立環境研究所・客員研究員
S-Net・GBIF ハチ類生物多様性情報整備事業
相談・指導助言
企業コンサル対応等 多数
視察対応
兵庫県市長会 等

高野 温子 TAKANO, Atsuko

自然・環境評価研究部
系統分類研究グループ
主任研究員

昭和46年大阪府生。大阪市立大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本植物分類学会，米国植物分類学会，日本植物学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. ビジョン実現タスクフォース

標本棚の見積依頼，新棟収蔵資料の館内調整，他館収蔵庫の設備について事例収集及びヒアリング

2. プロジェクト

博物館ネットワークにおけるレガシー発信・継承事業。分担者

頌栄短期大学標本の登録・整理。代表者
館内の壊れた個所をちまちま修理するプロジェクト。分担者

シソ科アキギリ属の送粉者調査と繁殖干渉。代表者
兵庫県産植物を中心とした植物分類学的研究。代表者

兵庫の絶滅危惧種オチフジの集団解析。代表者
植物標本デジタル化の促進。代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 兵庫県産維管束植物の分類学的研究
2. ショウガ科植物の分類学的研究
3. シソ科植物の分類学的研究

■論文・著書

Takano, A. (2020) Taxonomic study of *Salvia lutescens* (Lamiaceae): Lectotype designations and proposal for a new variety, var. *occidentalis*. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica*, 71, 45-53.

角野康郎・池田 博・海老原 淳・上赤博文・狩山俊悟・黒沢高秀・佐久間大輔・志賀 隆・鈴木浩司・鈴木まほろ・瀬戸口浩彰・高宮正之・高野温子・藤井伸二・藤川和美・持田 誠 (2019) 地域植物研究会等の現状：アンケートに基づく考察。植物地理・分類研究, 67, 165-178.

■その他著作

高野温子 (2019) ひとつはく研究員だより。神戸新聞 2019年7月6日付朝刊。

Cole, T.C.H., F.A. Carvalho, S. Mursidawati, L. Bai, A. Takano, N. Ly, P. Triboun (2019) Zingiberaceae Phylogeny poster. In L.de M. Versieux, L.G. Clark (eds.), *Abstracts of the monocots VI*. p.159.

Takano, A., Y. Horiuchi, Y. Fujimoto, K. Aoki, H. Mitsuhashi and A. Takahashi (2019) Simple but long-lasting: A specimen imaging method applicable

for small- and medium-sized herbaria. *Proceedings ICOM 2019*.

[https://www.dropbox.com/sh/pab91zxw6eki06i/AA-BH9ynFCcoYKQT1MnIxnOtaa/Full-text/Poster%20Session?dl=0&preview=p-11+Simple+but+Long-Lasting+a+Specimen.pdf&subfolder_nav_tracking=1]

Mitsuhashi, H., A. Takano, T. Funo and Y. Hashimoto (2019) Natural history exhibition at historical heritage buildings: where culture meets nature. [<https://drive.google.com/drive/folders/1vpYMogzg6OwUGZDeEDYDeWXXWmNukz5k>]

高野温子 (2019) コラム収蔵資料の活かし方。ひとつはく通信ハーモニー, No. 107, p. 4.

■研究発表

Takano, A., Y. Horiuchi, Y. Fujimoto, K. Aoki, H. Mitsuhashi and A. Takahashi (2019) Simple but long-lasting: A specimen imaging method applicable for small- and medium-sized herbaria. *ICOM 2019 NATHIST poster session*. Osaka City Museum of Natural History.

Mitsuhashi, H., Takano, A., Funo, T. and Hashimoto, Y. (2019) Natural history exhibition at historical heritage buildings: where culture meets nature. *ICOM 2019 NATHIST session 3. Connecting Culture and Nature*, Inamori Memorial Hall, Rekisaikan, Kyoto.

高野温子・西田佐知子 (2020) 側所的に分布するアキノタムラソウとナツノタムラソウ（広義）の交雑。日本植物分類学会第19回大会，岐阜大学。

■学会役員等

投稿原稿の査読：Acta Phytotaxonomica et Geobotanica, Biodiversitas, Cells, International Journal of Plant Sciences, Journal of Plant Research, Plants, Taiwania, 人と自然。計13件

■助成を受けた研究

科研費基盤研究C 研究代表者（機械学習とOCRを用いた植物標本画像からのラベル情報自動取得プログラムの開発。2019年度 169万/494万円）

科研費基盤研究B 研究分担者（自然史標本の汎用化と収蔵展示技法の体系構築。2019年度 260万/1716万円）

市村清新技術財団 研究代表者（現在種分化を起こしつつあるアキギリ属の集団遺伝解析。2019年度 125万円）

■海外調査

2019.9, 中華人民共和国・浙江省

■賞罰

兵庫県教育委員会 事務局員表彰

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4, 篠山市.
2019.5, 宍粟市.
2019.6, 京都府京丹後市.
2019.7, 静岡県富士市・神奈川県箱根町.
2019.9, 神戸市北区.
2019.11, 神戸市西区.

■受贈担当資料

丸岡道行植物コレクション 2018, 370 点
小林禎樹植物コレクション 2018, 912 点
岡田博植物コレクション 2017, 15 点
矢内正弘植物コレクション 2018, 188 点
高野哲司植物コレクション 2018, 123 点
竹崎広子植物コレクション 2018, 127 点

■整理同定担当資料

維管束植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

高野温子, 2019.4-9, 一般セミナー「草花なんでも鑑定団～身近な植物を見分けよう」, 博物館.
(全3回, 計8名)

高野温子, 2019.5, オープンセミナー「おでかけ画はくの日 スミレを描こう」, 深田公園. (全2回, 17+20名)

高野温子, 2019.5, オープンセミナー「収蔵資料スペシャル企画 標本のミカタ～コレクションから新しい発見を生み出す～」第1回「スミレの世界」, 博物館. (55名)

高野温子, 2019.5, オープンセミナー「花を大きくしてみると?」, 博物館. (全1回, 14名)

高野温子, 2019.9, オープンセミナー「ひとく探検隊 ドングリの赤ちゃんをさがそう」, 深田公園. (全1回, 20名)

館外講演

高野温子, 2020.1, GBIF ワークショップ「植物標本のデジタル化と新たな整理法」, 国立科学博物館. (140名)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

松岡成久, 副担当
福岡忠彦, 副担当
布施静香, 副担当
NPO 法人フィールド, 主担当 (協働)

■学校教育支援

学校団体対応

2019.4, 姫路大学教育学部 (2名)
2019.4, 兵庫県立宝塚北高等学校 DNA 抽出実験 (40名)
2019.6, 京都府立農業高校 DNA 抽出実験 (40名)

2019.11, 大阪シニア自然大学 DNA 抽出実験 (22名)

2019.12, ROOT プログラム「研究でつまづいたときには」(20名)

2020.2, 福崎町立八千種小学校「クイズ! 兵庫県の植物」(28名)

2020.2, 岡山理科大学「収蔵庫案内と展示解説」(4名)

講師派遣

2019.6, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習 上郡町.

2019.10, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習 上郡町.

2020.1, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習 上郡町.

2020.2, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習 上郡町.

2020.2, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習 発表会. 上郡町.

■研修生等の受入

2019.8, 淡路景観園芸学校 インターンシップ 1名 8月21,27日

2019.8, 県立宝塚高校, 仁川学院高等学校他, 6名 8月22日

■展示

2019.8-9, 自然史レガシー継承・発信事業「Japan Color」Where culture meets nature, 京都市中京区, 展示主担当. (2100名)

関連講座

2019.5, 牧嘉裕・山本義則「兵庫県のスミレ」. 「標本のミカタ」第1回 (40名)

2019.5, 黒崎史平「兵庫県のスミレについて」. 「標本のミカタ」第1回 (15名)

2. シンクタンク事業

■受託研究

文化庁委託事業「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」(実行委員)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 7回 (姫路大学, 兵庫県社会教育課・財務課・営繕課他, 兵庫教育大学, 川西緑台高校)

液浸収蔵庫の案内, 1回 (大阪府立泉北高校)

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2013.10-1, 兵庫県生物多様性アドバイザー.

2015.7-1, 希少野生動植物種保存推進員 (環境省).

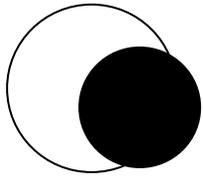
2017.3-1, 環境省レッドリスト調査員.

相談・指導助言

オチフジクラブ 2013, 活動助言.

須磨はまの会, 植物鑑定.

メール相談, 植物同定対応 15件, 他4件.



個人別成果報告に関する資料

●自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ

高橋 鉄美 TAKAHASHI, Tetsumi

自然・環境マネジメント研究部
生態研究グループ

主任研究員・研究グループ長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
教授。

昭和46年北海道生。北海道大学大学院水産学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(水産学)。アメリカ魚類爬虫類学会, 日本魚類学会, 日本動物分類学会, 日本進化学会, 日本水産学会, 日本生態学会所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 生涯学習推進室

室長として生涯学習推進室を統括。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. アフリカ・タンガニカ湖産シクリッド科魚類の系統分類学的研究
2. シクリッド科 *Cyprichromis* 属魚類の集団内オス色彩二型に関する進化生態学的研究
3. シクリッド科 *Telmatochromis temporalis* の体サイズ進化に関する生態学的・遺伝学的研究
4. 南米・ティティカカ湖産 *Orestias* 属魚類の系統分類学的研究
5. バラタナゴの系統地理・進化・保全に関する研究

■その他著作

- 高橋鉄美(2019) 展示特別企画 ひょうごのレッドリスト展 ~哺乳類・爬虫類・両生類・魚類~。ひとはく通信ハーモニー, No. 106, 2-3.
- 高橋鉄美(2019) 種の基準となるタイプ標本。ひとはく通信ハーモニー, No. 108, 4.
- 高橋鉄美(2019) ひとはく研究員だより。神戸新聞(8月5日朝刊)。

■学会役員等

Hydrobiologia 誌, ゲストエディター
査読: Science Advances, Nature Communications, Ecology and Evolution の投稿原稿について計3件

■助成を受けた研究

貝殻に住む矮小シクリッドが並行進化した遺伝機構の解明。文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B), 研究代表者(2019年度390万円/総額1716万円)

脊椎動物の社会進化モデルとしてのカワスズメ科魚類の社会構造および行動基盤の解明。文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B), 分担者(2019年度13万円/総額1755万円)

適応放散の分子機構解明に向けたビクトリア湖沼生物ゲノムの多様性の網羅比較。文部科学省科学研究費補助金基盤研究(B), 分担者(2019年度60万円/総額1690万円)

■海外調査

- 2019.8, ザンビア・ムプルング
2020.2-3, ザンビア・ムプルング

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2019.4-10, 魚類, 神戸市・三田市。
2019.8, 2020.2-3, 魚類, ザンビア・ムプルング。

■整理同定担当資料

魚類(シクリッド科, コイ科)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 高橋鉄美, 2019.5, 一般セミナー「大学院公開セミナー」, 博物館。(50名)
- 高橋鉄美, 2019.5, 一般セミナー「アフリカ・タンガニカ湖の魚たち」, 博物館。(36名)
- 高橋鉄美, 2019.7, 一般セミナー「魚の透明標本をつくる」, 博物館。(全3回, 11名)
- 高橋鉄美, 2019.7, オープンセミナー「ひょうごの貴重な生き物たち 第2回 魚類」, 博物館。(30名)
- 高橋鉄美, 2019.7, オープンセミナー「さかなの解剖」, 博物館。(70名)
- 高橋鉄美, 2019.7, オープンセミナー「さかなの解剖」, 博物館。(38名)
- 松島修・高橋鉄美, 2019.7, 教職員・指導者セミナー「動物進化の物語 ~進化を扱う授業の工夫~」, 博物館。(31名)
- フロアスタッフ・高橋鉄美, 2019.11, オープンセミナー「フロアスタッフとあそぼう 画はくの日~珍しい魚の絵を描こう~」, 博物館。(14名)
- フロアスタッフ・高橋鉄美, 2019.11, オープンセミナー「フロアスタッフとあそぼう 画はくの日~珍しい魚の絵を描こう~」, 博物館。(25名)
- 高橋鉄美, 2019.11, オープンセミナー「展示解説 タンガニカ湖シクリッドの世界」, 博物館。(36名)

高橋鉄美, 2019.11, オープンセミナー「標本のミカタ タンガニイカ湖シクリッドの世界」, 博物館. (77名)

高橋鉄美, 2019.11, オープンセミナー「身近な魚を使って魚拓をつくろう!」, 博物館. (63名)

高橋鉄美, 2019.12, 特注セミナー「解説! ひょうごのレッドリスト展」, 唐櫃村, 博物館. (13名)

高橋鉄美, 2019.12, 特注セミナー「研究でつまづいた時には②」, ROOT グローバルサイエンスキャンパス, 博物館. (21名)

高橋鉄美, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学②」, ROOT グローバルサイエンスキャンパス, 博物館. (10名)

高橋鉄美, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学④」, ROOT グローバルサイエンスキャンパス, 博物館. (11名)

館外講演

高橋鉄美, 2019.5, 「古代湖における魚類の多様性」, NPO 法人三木自然愛好研究会, 三木市立市民活動センター. (30名)

高橋鉄美, 2019.9, 「武庫川の魚をとる」, 本庄小学校3年生, 本庄小学校. (13名)

兵庫県立大学・大学院教育

進化生態学概論 (主任)

テレビ・ラジオ等出演

2019.10, 「ひょうごのレッドリスト展 について」, デイリーニュース, J:COM.

2019.10, 「ひょうごのレッドリスト展 について」, 春名優輝 PUSH, ラジオ関西.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.5, キャラバン, 嬉野台生涯教育センター, 加東市, 副担当.

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

中西一成, 副担当 (指導)

森本静子, 副担当 (指導)

谷本卓弥, 主担当 (指導, 協働)

渡辺昌造, 副担当 (指導)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.11, 神戸市立有野中学校1名, 神戸市立有野北中学校1名, 神戸市立北神戸中学校1名, 神戸市立鈴蘭台中学校1名. (計4名)

講師派遣

2019.6-2020.2, 「プロジェクト学習」, 兵庫県立大学附属中学校3年生. (8名)

2020.1, 「伊丹市中学校理科自由研究発表会」, 伊丹市立中学校1~3年生. (50名)

■研修生等の受入

博物館実習

2019.2, 甲南大学1名.

■展示

2019.10-2020.1, 展示特別企画「ひょうごのレッドリ

スト展 ~哺乳類・爬虫類・両生類・魚類~, 博物館, 責任者.

2020.2-4, ミニ企画展「ひとはく 研究員展 2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計4件)

2015.4-, 関西広域連合 生物多様性検討委員.

2015.4-, 兵庫県 生物多様性アドバイザー.

2019.4-, 兵庫県立宝塚北高等学校 SSH 運営指導委員.

2020.3-, 神戸版レッドデータブック検討委員会, 委員.

相談・指導助言

来訪者 10件, 30名. 電話・FAX 10件. メール 20件.

三橋 弘宗 MITSUHASHI, Hiromune

自然・環境マネジメント研究所

生態研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 自然環境系 生態研究部門 講師。

昭和45年京都府生。京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。理学修士。日本生態学会、応用生態工学会、日本陸水学会、アメリカベントス学会、日本展示学会、国際保全生物学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

ビジョン実現タスクフォース 副リーダー
兵庫県森林動物研究センター 協力研究員

2. プロジェクト

生態系研究部(流域生態および動物共生)の部門研究。分担者
液浸収蔵庫および生物系収蔵(脊椎動物・昆虫)の整備。代表者
文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。代表者
ミュージアムボックスおよび4F ひとつはくサロンの整備。代表者
共生のひろば。副代表
中山間地域の学校における地域資源開発・人材育成型の学習教育プログラムづくり。代表者
博物館ネットワークを通じた生物多様性情報の活用と標本整備。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 河川生態系における生態系機能と生息地評価に関する研究
2. 自然環境情報の活用とデータベース整備に関する研究
3. 樹脂を活用した標本および展示物の作製技法に関する研究

■論文・著書

三橋弘宗(2019) 自然を再生する小規模適正技術の必要性。ランドスケープ研究, 83(1), 28-31.

■その他著作

三橋弘宗(2019) 小さな自然再生が果たす大きな役割。グリーンエイジ 548号, 2-3.
三橋弘宗(2019) ヒアリの国内初侵入時に自然史系博物館が果たした役割。月刊金属 89, 41-45.
小浦久子・三橋弘宗(2019) アーバン・フリンジのブランニング, 2019年度日本建築学会都市計画部門・研究協議会資料, 33-36.
三橋弘宗(2020) 自然史博物館の技法が導く新たな価値創造, 展示学, 59, 34-37.

三橋弘宗(2020) 小さな自然再生が果たす大きな役割: 水辺の小さな自然再生事例集 第2集, 4-16, pp. 96, 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN), 東京都。

■ブログへの情報提供

4件

■研究発表

H. Mitsuhashi, H. Koura (2019) Hotspot city report; Osaka, Hyogo, Kyoto, *Hotspot city symposium*, Philadelphia, Pennsylvania University, USA. (6月)
三橋弘宗(2019) 自然史博物館の技法が導く新たな価値創造。第39回日本展示学会, 大阪芸術大学スカイキャンパス、大阪市(6月)。
H. Mitsuhashi, A. Takano, T. Funo, Y. Hashimoto (2019) Natural history exhibition at historical heritage buildings: where culture meets nature. *ICOM (NATHIST)*, Kyoto International Conference Center, Kyoto City. (9月)

■学会役員など

日本生態学会 近畿地区会委員
日本応用生態工学会テキスト編集委員
NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク理事
論文査読: 日本生態学会誌, 応用生態工学会誌

■助成を受けた研究・事業

自然史標本の汎用化と収蔵展示技法の体系構築。文部科学省科学研究費基盤研究(B)。代表者(2019年度260万円/総額1716万円)
機械学習とOCRを用いた植物標本画像からのラベル情報自動取得プログラムの開発。文部科学省科学研究費基盤研究(B)。分担者(2019年度169万円/総額429万円)

■海外調査

マレーシア国サバ州河川生態調査(1月)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4., 河川の底生動物, 豊岡市・丹波市・神戸市・上郡町。

■受贈担当資料

2020.3, 国土交通省豊岡河川国道事務所・円山川水系河川水辺の国勢調査標本。
2020.3, 兵庫県県土整備部ひょうごの川自然環境調査標本。

■整理同定担当資料

陸水域における水生動物(水生昆虫, 魚類, 両生は虫類, 甲殻類等)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三橋弘宗, 2019.4, 特注セミナー「川のしくみ」, 京都府立桃山高等学校, 博物館。(84名)
三橋弘宗・秋山弘之, 2019.5, 特注セミナー「収蔵庫

見学①), 兵庫県立私立中学高等学校理科教育研究会, 博物館. (28名)

三橋弘宗, 2019.6, オープンセミナー「標本のミカタ川虫の世界」, 博物館. (58名)

三橋弘宗, 2019.6, 一般セミナー(館外)「湿地の自然再生実習(全2回)」, 博物館. (3名)

三橋弘宗, 2019.6, 特注セミナー「ピオトープについて」, 尼崎市立浜小学校, 博物館. (7名)

三橋弘宗, 2019.7, オープンセミナー「ギャラリートーク 相生湾で発見されたカニたち」, 博物館. (111名)

三橋弘宗, 2019.7, オープンセミナー「展示解説ツアー 干潟の生態系を知ろう」, 博物館. (79名)

三橋弘宗, 2019.7, オープンセミナー「フロアスタッフとあそぼう 画はくの日〜カニの絵を描こう〜」, 博物館. (82名)

三橋弘宗, 2019.7, オープンセミナー「標本のミカタ干潟のカニ大集合」, 博物館. (79名)

三橋弘宗, 2019.7, 教職員・指導者セミナー「地理情報システムの使い方」, 博物館. (11名)

三橋弘宗, 2019.8, 一般セミナー(館外)「河川の水生昆虫観察会(住吉川編)」, 博物館. (30名)

三橋弘宗, 2019.9, 特注セミナー「川のしくみ」, 小野市立市場小学校, 博物館. (3名)

三橋弘宗, 2019.10, オープンセミナー「はかせと学ぼう!〜ろ過実験コンテスト〜」, 博物館. (25名)

三橋弘宗, 2019.10, 一般セミナー「プラスチック封入標本をつくろう」, 博物館. (27名)

三橋弘宗, 2019.10, 一般セミナー(館外)「石を使って水辺の生き物の隠れ家をつくろう〜第8回みんなで行く武庫川づくり交流会〜」, 博物館. (28名)

三橋弘宗, 2019.10, 特注セミナー「川のしくみ」, 川西市立多田小学校, 博物館. (5名)

三橋弘宗, 2019.11, オープンセミナー「治水の模型実験」, 博物館. (123名)

三橋弘宗, 2019.11, オープンセミナー「治水の模型実験」, 博物館. (41名)

三橋弘宗, 2019.11, オープンセミナー「雨庭ワークショップ」, 博物館. (46名)

三橋弘宗, 2019.11, オープンセミナー「治水の模型実験」, 博物館. (76名)

三橋弘宗, 2019.11, オープンセミナー「治水の模型実験」, 博物館. (53名)

三橋弘宗, 2019.11, 特注セミナー「水辺の生き物とその暮らし」, 明石市立大久保南小学校, 博物館. (5名)

三橋弘宗, 2019.11, 特注セミナー「地理情報システム(GIS)とは」, 兵庫県SSH, 博物館. (13名)

三橋弘宗, 2019.11, 特注セミナー「生物多様性ってなに?」, 猪名川町立楊津小学校, 博物館. (4名)

三橋弘宗, 2019.12, オープンセミナー「治水の模型実験」, 博物館. (73名)

三橋弘宗, 2019.12, オープンセミナー「治水の模型実験」, 博物館. (67名)

三橋弘宗, 2019.12, オープンセミナー「治水の模型実験」, 博物館. (105名)

三橋弘宗, 2019.12, 特注セミナー「博物館案内」, 自然環境保全京都府ネットワーク, 博物館. (17名)

三橋弘宗, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学⑦」, 自然環境保全京都府ネットワーク, 博物館. (17名)

三橋弘宗, 2020.2, 一般セミナー(館外)「レガシー事業」, 博物館. (127名)

三橋弘宗, 2020.2, 特注セミナー「斜装面クラックへの樹脂充填と含浸技術」, (財)ひょうご環境創造協会, 博物館. (95名)

館外講演

三橋弘宗, 2019.4, プラスティネーション実習, 斜里町立博物館, 斜里町.(17名).

三橋弘宗, 2019.4, プラスティネーション実習, 斜里町立博物館, 斜里町.(17名).

三橋弘宗, 2019.5, コウノトリの繁殖ポテンシャル評価と湿地管理計画, 東京ミッドタウン, ESRI JAPAN.(140名).

三橋弘宗, 2019.5, 博物館実習の課題と運営, 大東市歴史博物館, 大東市.(31名).

三橋弘宗, 2019.5, 地理情報システム演習, 兵庫県立大学豊岡キャンパス, 兵庫県立大.(15名).

三橋弘宗, 2019.5, 生態系管理から都市計画へのアプローチ, 東京大学農学部弥生講堂, 都市計画学会.(210名).

三橋弘宗, 2019.6, 河原探検(水生昆虫編), 丹波市青垣町, 丹波市.(39名).

三橋弘宗, 2019.6, hotspot city in Japan, ペンシルバニア大学, ペンシルバニア大学.(85名).

三橋弘宗, 2019.6, 自然を守るにはどうすればいいですか?, 鳥取大学, 鳥取大学.(190名).

三橋弘宗, 2019.6, 自然史博物館の技法が導く新たな価値創造, 大阪芸大(難波C), 日本展示学会.(90名).

三橋弘宗, 2019.7, 芦屋川の自然観察会, 芦屋川, NPO 法人さんぴいす.(83名).

三橋弘宗, 2019.7, 川の水生物観察会, 丹波市青垣町, 丹波市.(46名).

三橋弘宗, 2019.7, 川の水生昆虫を探そう, 武庫川(宝塚市), 阪神北県民局.(85名).

三橋弘宗, 2019.7, 川の生きもの観察会, 加西市・東条川, 加東市.(98名).

三橋弘宗, 2019.8, 武庫川水温調査会, 武庫川水系各所, 自主事業.(20名).

三橋弘宗, 2019.8, 川の生きものを観察しよう, 上郡町・千種川, 西播磨県民局.(35名).

- 三橋弘宗, 2019.8, コスモスセミナー (川虫の観察), 猪名川町, 花博協会.(44 名).
- 三橋弘宗, 2019.8, 自然再生実習, 豊岡市田結, IVUSA・豊岡市.(30 名).
- 三橋弘宗, 2019.10, みんなで取り組む武庫川づくり交流会, 武庫川・西宮市仁川, 兵庫県.(57 名).
- 三橋弘宗, 2019.10, 自然環境を守る仕事について, 丹波篠山市立今田中学校, 丹波篠山市立今田中学校.(約 60 名).
- 三橋弘宗, 2019.10, 河川生態系の基礎理論, 近畿地方整備局 (大阪市), 国土交通省近畿地方整備局.(140 名).
- 三橋弘宗, 2019.11, 河川生態系管理と自然再生, 国土交通省研修所 (枚方市), 国土交通省近畿地方整備局.(45 名).
- 三橋弘宗, 2019.11, Contribution to nature conservation by natural history museum, 兵庫県立人と自然の博物館, JICA.(9 名).
- 三橋弘宗, 2019.11, Biodiversity informatics and museum, 兵庫県立人と自然の博物館, JICA.(9 名).
- 三橋弘宗, 2019.11, 小規模多機能技術としての小さな自然再生, 総合地球環境学研究所 (京都), 総合地球環境学研究所.(45 名).
- 三橋弘宗, 2019.11, 100 年先の川づくりについて, リバーフロント整備センター, 国土交通省.(21 名).
- 三橋弘宗, 2019.12, 河川生態系管理について, まちづくり技術センター (神戸市), 兵庫県県土整備部.(40 名).
- 三橋弘宗, 2019.12, 六甲山の川と自然環境の保全, 神戸市海洋博物館, NPO 法人みなとの達人.(80 名).
- 三橋弘宗, 2019.12, SDGs と自然環境について, 甲南高校 (芦屋市), 甲南学園.(100 名).
- 三橋弘宗, 2019.12, 自然史博物館と生物多様性情報, 兵庫県立人と自然の博物館, 京都府博物館ネットワーク.(26 名).
- 三橋弘宗, 2019.12, 小さな自然再生の大きな役割, 滋賀県立琵琶湖博物館, 総合地球研究所.(65 名).
- 三橋弘宗, 2020.1, 自然史標本のデジタル化と活用の最前線, 国立科学博物館, 国立科学博物館.(130 名).
- 三橋弘宗, 2020.1, 自然史レガシー継承・発信事業について, 国立科学博物館, 国立科学博物館.(85 名).
- 三橋弘宗, 2020.2, 生態系管理と GIS 活用実習, 釧路市立博物館, 釧路市.(25 名).
- 三橋弘宗, 2020.2, 舗装面クラックへの樹脂充填と含浸技術, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県外来生物対策協議会.(102 名).
- 三橋弘宗, 2020.2, 水分れ資料館のリニューアル, 丹波市社会福祉協議会, 丹波自然友の会.(40 名).
- 三橋弘宗, 2020.2, 環境影響評価法に関する指導者育成, ソニックシティ (埼玉県), 環境省.(25 名).
- 三橋弘宗, 2020.2, 日本文化を育んだ自然をいかに魅せるか, 京都国立博物館, 自然史レガシー発信継承実行委員会.(102 名).
- 三橋弘宗, 2020.2, 自然再生の方法論: 宙から眺めて大地で修験する, 長徳寺 (京都市上京区), お寺で宇宙学実行委員会.(25 名).
- 三橋弘宗, 2020.3, 市民科学が創出する身近な自然の価値, オンライン (三井住友海上駿河台ビル), JBIB.(100 名以上).
- 三橋弘宗, 2020.3, 港湾コンテナヤードのヒアリ対策実演, 青海埠頭 (東京都港区), 環境省.(11 名).
- 三橋弘宗, 2020.3, 港湾コンテナヤードのヒアリ対策実演, 青海埠頭 (東京都港区), 環境省.(11 名).
- 兵庫県立大学・大学院教育**
- 2019.9, 「共生博物学」
- 非常勤講師**
- 2019.4, 非常勤講師, 「SSH に関する指導」兵庫県立祥雲館高等学校.
- 2019.4, 非常勤講師, 「環境科学に関する指導」兵庫県立御影高等学校.
- 2019.4, 非常勤講師, 「博物館展示論」甲南大学理工学部
- 2019.4, 非常勤講師, 「博物館資料論」甲南大学理工学部
- 2019.4, 非常勤講師, 「博物館実習」甲南大学理工学部
- 2019.4, 協力研究員, 総合地球環境学研究所
- キャラバン・主催アウトリーチ事業**
- 2019.8-9, 文部科学省委託レガシー事業「Where culture meets nature: Japan Color」, 花洛庵野口家住宅, 京都市. 主担当
- 共催・協力・後援事業**
- 2020.2, 外来昆虫対策の技術講習会, 兵庫県外来生物協議会, 共催/主担当
- 2020.2, 日本文化を育んだ自然をいかに魅せるか, 自然史レガシー継承・発信実行委員会, 主催/主担当
- 担い手成長支援事業**
- 連携活動グループ・地域研究員**
- 兵庫県立大学学生団体「いきものずかん」副担当 (協働)
- NPO 里山レンジャー, 主担当 (協働)
- アピス同好会, 副担当 (協働)
- 丹波地域のホトケドジョウを守る会, 主担当 (協働)
- 野生生物を調査研究する会, 主担当 (協働)
- 谷本卓弥, 主担当 (協働)
- 森本静子, 主担当 (協働)

河田航路, 主担当 (協働)
脇坂英弥, 副担当 (協働)
渡辺昌造, 主担当 (協働)
青山茂, 副担当 (協働)
中村清美, 主担当 (協働)

成果発表

あいおいカニカニブラザーズ, 2020.2, 相生湾のカニ ~干潟のマッスルビルダー「ハマガニのなぞ」~, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)
森本静子, 2020.2, 「水中の宝石 II “ミズダニを見よう、調べよう”」, 第15回共生のひろば, 博物館. (協力)
兵庫県立龍野高等学校, 2020.2, 「赤トンボ復活プロジェクト 放棄水田を利用した田園生態系の復元」, 第15回共生のひろば, 博物館. (協力)
河田航路, 2020.2, 「ヒメヌマエビの体色の時間変化の観察 (採取~飼育)」, 第15回共生のひろば, 博物館. (協力)
渡辺昌造他 (加古川調査グループ), 2020.2, 加古川中下流における底生無脊椎動物の現状, 第15回共生のひろば, 博物館. (協力)
三田祥雲館高等学校科学部生物班, 2020.2, 「プランリアの外来種はどこまで広がるか2 ~在来種ナミウズムシの形態変化~」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)
武庫川づくりと流域連携を進める会, 2020.2, 「住民主導・三位一体で実践する武庫川流域圏における水辺の環境づくり」, 第15回共生のひろば, 博物館. (協力)
兵庫県立宝塚北高等学校グローバルサイエンス科, 2020.2, 「三田市内の竹林の拡大速度と土地の傾斜の相関」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)
武庫川流域圏ネットワーク, 2020.2, 「山陽新幹線六甲トンネル工事による水質環境汚染から1年経過 ~津門川の自然再生に向けての取り組み」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)
内野敦明, 2020.2, 「LED 照明付テラリウムでのコケ植物の育成 (Mosslight)」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)
兵庫県立御影高等学校 環境科学部生物班, 2020.2, 「六甲山再度公園のキノコの18年間の推移について」, 第15回共生のひろば, 博物館. (指導)

■学校教育支援

講師派遣

2019.6, 水生昆虫観察会, 西脇市杉原川, 西脇市.(52名)
2019.6, 武庫っ子クラブ・水生生物観察, 尼崎市武庫小学校, 尼崎市立武庫小学校.(142名)
2019.7, 川の生物実習, 京都府立 丹後海と星の見える丘公園, 西宮今津高校.(30名)
2020.1, 川の生きもの観察会, 加東市立鴨川小学校,

加東市立鴨川小学校.(14名)

■研修生等の受入

博物館実習生

2019.8 神戸学院大学 1名, 近畿大学 3名, 甲南女子大学 1名, 岩手大学 1名, 京都先端科学大学 1名, 神戸芸術工科 1名, 神戸女子大学 1名 (合計9名)

卒論生等

2019.4 今井洋太 (徳島大学大学院工学研究科博士課程3年), 湿地の生態系管理と氾濫解析.
2019.4 伊崎 実那 (兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科修士課程2年), GISによる鳥類の行動圏解析について.
2019.12. 山本龍治 (東京海洋大学大学院修士課程2年), 骨格標本の3D スキャンについて.

■展示

2019.9-10, ミニ企画展「みんなで取り組む総合治水展」(兵庫県県土整備部との共催). 主担当
2019.8-9, 文部科学省委託レガシー事業「Where culture meets nature: Japan Color」(自然史レガシー継承発信実行委員会). 主担当
2019.2-5, ミニ企画展「六甲山のきのご展 2019」(兵庫県立御影高等学校との共催). 主担当
2020.2-5, ミニ企画展「六甲山のきのご展 2020」(兵庫県立御影高等学校との共催). 主担当

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会 (18件)

2013.4-, 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県
2015.4-, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.
2015.4-, ひょうごの川自然環境調査 (加古川水系), アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
2013.4-, 武庫川水系に生息・生育する生物及びその生活環境の持続に関する2つの原則に係る専門検討委員会, 委員長, 兵庫県県土整備部総合治水課.
2010.10-, 多自然川づくり近畿地方ブロック担当者会議, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局河川局.
2014.4-, 河川水辺の国勢調査アドバイザー (円山川), アドバイザー, 国土交通省豊岡河川国道事務所.
2007.7-, 円山川水系自然再生推進委員会, 委員, 国土交通省豊岡河川国道事務所.
2007.7-, 円山川水系自然再生推進委員会技術部会, 委員, 国土交通省豊岡河川国道事務所.
2009.4-, GBIF 日本ノード運営委員会, 委員, JBIF (国立科学博物館), ナショナルバイオリソースプロジェクト.
2009.4-, GBIF 日本ノード運営委員会技術ワーキンググループ, 委員, JBIF (国立科学博物館), ナショナルバイオリソースプロジェクト.

- 2015.4, 揖保川水系河川整備計画検討委員会, 委員,
光都土木事務所 (兵庫県県土整備部) .
- 2018.4, 有馬川かわまちづくり推進委員会, 委員,
神戸土木事務所 (兵庫県県土整備部) .
- 2019.4, 丹波市環境審議会, 委員, 丹波市環境課.
- 2019.3, 丹波市氷上回廊水分れフィールドミュージ
アム展示改修監修委員会, 委員長, 丹波市教育
委員会.
- 2016.7-, とよおか湿地のアクションプラン, 委員,
豊岡市
- 2016.4, 希少野生動植物種保存推進員, 推進員, 環
境省自然環境局
- 2019.4, 生物多様性国家戦略研究会, 検討委員, 環境
省.
- 2018.10-, 100年先の将来を見据えた河川のあり方研
究会, 委員, 国土交通省河川局 (リバーフロン
ト整備センター) .

相談・指導助言

来訪者 71 件, 95 名. 電話・FAX 相談 150 件, メー
ル相談 180 件.

布野 隆之 FUNO, Takayuki

自然・環境マネジメント研究所
生態研究グループ
研究員

昭和 51 年島根県生. 新潟大学大学院自然科学研究博士
後期課程修了. 農学博士. 日本生態学会, 日本鳥学会,
日本森林学会, 農業農村工学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 展示更新タスクフォース

副リーダーとしてホロンピアホール改修案および展
示更新案の作成に従事.

2. ビジョン実現タスクフォース

室員として新収蔵庫「コレクションナリウム」の建設要
求案の作成に従事.

3. プロジェクト

NPO 法人人と自然の会による主催イベント「ドリーム
スタジオ・フェスタ 2019」支援プロジェクト. 代
表者

「国際交流事業 高校生のための生きもの調査体験
ツアー in 台湾」プロジェクト. 分担者
文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業プ
ロジェクト. 分担者.

第 15 回共生のひろばプロジェクト. 分担者
中山間地域の学校における地域資源開発・人材育成型
の学習教育プログラムづくりプロジェクト. 分担
者.

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目
的とした行政支援プロジェクト. 分担者.

博物館ネットワークを通じた生物多様性情報の活用
と標本整備. 分担者.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 希少猛禽類ニホンイヌワシの生態とその保全に
関する研究
2. 天然記念物オオヒシクイの生息湿地および採餌
水田の保全・再生に関する研究
3. カラスのゴミ被害問題の実態と対策に関する研
究
4. 生物多様性に配慮した大型ダム管理・運営に
関する研究

■論文・著書

布野隆之・関島恒夫・望月翔太・村上拓彦・真保藍
子・阿部學 (2020) 落葉広葉樹林帯におけるイ
ヌワシ *Aquila chrysaetos* の採餌環境の空間特性.
日本林学会誌, 101, 289-294 .

Ogden, R., Fukuda, T., Funo, T., Komatsu, M., Maeda, T.,
Meredith, A., Miura, M., Natsukawa, H., Onuma, M.,
Osafune, Y., Saito, K., Sato, Y., Thompson, D. and
Inoue-Murayama, M. (2020) Japanese golden eagle

conservation science: current status and future needs.
Japanese Journal of Zoo and Wildlife Medicine, 25,
9-28.

■その他著作

布野隆之 (2020) 嫌われもののカラスとの共生. エ
コひょうご, No.95, 5-6.

布野隆之 (2020) 上山高原におけるススキ草地の試
験管理がノウサギの生息状況に与える影響. 令
和元年度上山高原自然再生事業動物モニタリ
ング調査報告書, 1-12.

布野隆之・安藤温子・片野泉・向井喜果・鎌田泰斗・
坂井誠・佐川志朗・東淳樹・吉村千洋・知花武
佳・松原典孝・関島恒夫・江崎保男・一柳英隆
(2020) 森林性鳥類による水生昆虫の利用. 水
源地生態研究会報告書 (平成26~平成30年度).

■研究発表

布野隆之・安藤温子・片野泉・向井喜果・鎌田泰斗・
坂井誠・佐川志朗・東淳樹・吉村千洋・知花武
佳・松原典孝・関島恒夫・江崎保男・一柳英隆
(2019) DNA バーコーディングを用いた森林
性鳥類の餌利用様式の評価. 応用生態工学会第
23 回広島大会, 広島大学東広島キャンパス.

Mitsuhashi, H., Takano, A., Funo, T. and Hashimoto, Y.
(2019) Natural history exhibition at historical
heritage buildings: where culture meets nature.
*International Council of Museums 2019, Kyoto
International Conference Center.*

布野隆之 (2020) 上山高原におけるススキ草地の試
験管理がノウサギの生息状況に与える影響. 令
和元年度上山高原自然再生事業動物モニタリ
ング調査報告会, 上山高原エコ・ミュージアム.

■学会役員等

日本鳥学会員近畿地区懇談会 事務局
日本鳥学会基金運営委員
日本鳥学会学黒田賞委員
日本鳥学会学中村司賞選考委員
日本鳥学会内田奨学賞選考委員
Ornithological Science 査読委員

■助成を受けた研究

菅生ダムにおける陸域から水域への栄養塩フロー.
一般財団法人水源地環境センター水源地生態
研究会, 研究分担者 (2019 年度 40 万円/300
万円).

■海外調査

2020.8, 台湾・台北市
2020.2, 台湾・台北市

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 小型鳥類, 三田市.

■受贈担当資料

2019.5, 鳥類関連資料, 300 点.
2019.6, 鳥類冷凍標本, 15 点.
2019.7, 鳥類関連書籍, 50 点.

2019.8, 鳥類本剥製, 1点.
2020.2, 鳥類観察記録, 9100点.
2020.3, 鳥類標本, 400点.

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物(鳥類)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

フロアスタッフ・布野隆之, 2019.5, オープンセミナー「ひとく探検隊 初夏の鳥をさがそう」, 博物館. (24名)
布野隆之, 2019.6, 一般セミナー「カラスのごみ被害を解決する」, 博物館. (15名)
布野隆之, 2019.6, 高校生のための生きもの調査体験ツアーIn 台湾 事前説明会「鳥類調査について」, ユーズ・ツウ, 大阪市. (30名)
秋山弘之・太田英利・池田忠広・布野隆之, 2019.7, 高校生のための生きもの調査体験ツアーIn 台湾 事前学習会, 博物館. (30名)
秋山弘之・太田英利・池田忠広・布野隆之, 2019.8, 高校生のための生きもの調査体験ツアーIn 台湾 事後学習会, 博物館. (30名)
布野隆之, 2019.9, 一般セミナー「タカの渡り観察会」, 塩尾寺休憩所, 宝塚市. (18名)
フロアスタッフ・布野隆之, 2019.11, オープンセミナー「はかせと学ぼう! ~イヌワシ紙飛行機を飛ばそう! ~」, 博物館. (200名)
布野隆之, 2019.12, オープンセミナー「日本に暮らす鳥たちの不思議」, 博物館. (160名)
加藤茂弘・高橋鉄美・橋本佳明・半田久美子・布野隆之, 2018.12.16, 特注セミナー「収蔵庫案内」, グローバルサイエンスキャンパス ROOT プログラム事務局, 博物館. (30名)

館外講演

布野隆之, 2019.4, 「イヌワシの生態特性を考慮した展示解説の作製」, NPO 法人人と自然の会かわせみの会, 博物館. (10名)
布野隆之, 2019.4, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習ガイダンスキャンプ「研究と私」, 兵庫県立大学附属中学校, 博物館. (50名)
布野隆之, 2019.5, 化石発掘調査アカデミック・キャンプ「はじめてのバードウォッチング」, 一般社団法人 ROOT, 丹波市立上久下地域づくりセンター. (28名)
布野隆之, 2019.6, 「カラスの生態とごみ被害」, 神戸市シルバーカレッジ, 博物館. (60名)
布野隆之, 2019.7, 香寺公民館教養講座「カラスのごみ被害を解決しよう!」, 香寺公民館, 姫路市立香寺健康福祉センター. (280名)
布野隆之, 2019.7, 「イヌワシの生態と営巣環境の特性」, 野鳥クラブ羽ばたき, 博物館. (30名)

布野隆之, 2019.7, 「標本を活用した鳥類の識別法」, 野鳥クラブ羽ばたき, 博物館. (30名)
布野隆之, 2019.8, 「カラスのごみ被害を解決しよう!」, 兵庫県学校給食・食育支援センター, 兵庫県学校給食・食育支援センター. (33名)
布野隆之, 2019.8, 「カラスのごみ被害を解決しよう!」, 東洋大学附属姫路高等学校, 博物館. (41名)
布野隆之, 2019.9, 「イヌワシからみた草原と森林」, スミノヤゲストハウス, スミノヤゲストハウス. (15名)
布野隆之, 2019.10, 「イヌワシのはなし」, ひょうご環境体験館, 博物館. (40名)
黒田有寿茂・布野隆之・中濱直之・奥井かおり, 2019.11, 「収蔵庫・展示案内および博物館活動の紹介」, 芝山文化生態園博物館, 博物館. (7名)
石田弘明・藤本真理・布野隆之・大平和弘・生野賢司・中濱直之, 2019.12, 「収蔵庫案内」, 大阪府立大機構親睦会, 博物館. (28名)
石田弘明・橋本佳明・池田忠広・布野隆之, 2019.12, 「収蔵庫案内」, 兵庫県市長会, 博物館. (10名)
布野隆之, 2020.1, 「日本における野鳥観察会の特徴とその実践」, 芝山文化生態園, 深田公園. (2名)

テレビ・ラジオ等出演

2020.1, 「匠と巧」, やさしいニュース, 大阪テレビ.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.8-9, 自然史レガシー継承・発信事業企画展「JAPAN COLOR 日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」, 野口家住宅 花洛庵, 京都市, 分担者.
2019.10, ひとく Kids キャラバン, 社会福祉法人みやま保育園, 小野市, 分担者.

■連携事業

共催事業

2019.4-5, 平成31年度春季企画展「海を見つめて ~コウベの海と考古学~」, 神戸市立埋蔵文化財センター, 神戸市, 分担者(展示製作).
2019.5, 第254回ドリームスタジオ「夏鳥をさがそう!」, NPO 法人人と自然の会, 三田市, 分担者(展示製作).
2019.6-9, 特別展「但馬のいきものと神様たち」, 朝来市立埋蔵文化財センター, 朝来市, 分担者(展示製作).
2019.7-9, 平成31年度夏季企画展「海を見つめて ~コウベの海と考古学~」, 神戸市立埋蔵文化財センター, 神戸市, 分担者(展示製作).
2019.7-9, 夏季企画展「美しき鳥の羽」, 福井市自然史博物館, 福井市, 分担者(展示製作).
2019.11, ドリームスタジオ・フェスタ2019, 人と自然の会, 博物館, 主担当.
2020.1-4, 企画展「伊丹の自然」, 伊丹市昆虫館, 伊

丹市, 分担者 (展示製作).

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

溝田浩美, 主担当 (指導)

脇坂英弥, 主担当 (指導)

楠瀬雄三, 主担当 (指導)

アピス同好会, 副担当 (指導)

成果発表

NPO 法人人と自然の会かわせみの会, 2019.5, 「夏鳥をさがそう!」, 第254回ドリームスタジオ, 博物館. (協働)

アピス同好会, 2019.11, 「ミツバチの学習と蜜搾り」, ドリームスタジオ・フェスタ 2019, 博物館. (協働)

兵庫県立大学学生団体いきものずかん, 2019.11, 「オリジナル紙芝居の読み聞かせ」, ドリームスタジオ・フェスタ 2019, 博物館. (協働)

NPO 法人人と自然の会かわせみの会, 2019.11, 「冬鳥をさがそう!」, ドリームスタジオ・フェスタ 2019, 博物館. (協働)

NPO 法人人と自然の会かわせみの会, 2020.3, 常設展示「実物大コウノトリの巣」の製作, 博物館. (協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.11, 神戸市立有野中学校 1 名, 神戸市立有野北中学校 1 名, 神戸市立北神戸中学校 1 名, 神戸市立鈴蘭台中学校 1 名. (計 4 名)

学校団体対応

2019.4, 兵庫県立大学附属中学校.

2019.8, 東洋大学附属姫路高等学校.

2019.8, 明石市立大観小学校.

2019.10, 明石市立大観小学校.

2019.10, 社会福祉法人みやま保育園.

2019.11, 兵庫県立大学環境人間学部.

2020.2, 兵庫県立大学環境人間学部.

講師派遣

2019.8, 総合学習「鳥のおはなし～鳥たちの不思議な力とその活用～」, 明石市立大観小学校 3 年生. (36 名)

2019.10, 総合学習「なぜ、鳥の標本を集めるのか? ～標本収集の意義とその活用～」, 明石市立大観小学校 3 年生. (36 名)

2019.10, 総合学習「研究活動の苦勞と喜び」, 明石市立大観小学校 3 年生. (36 名)

■展示

2020.3-, 常設展示「実物大コウノトリの巣」, 博物館, 責任者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「令和元年度上山高原自然再生事業動物モニタリング調査」, 公益財団法人ひょうご環境創造協会, 代表者. (10 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 14 回, 145 名.

■行政等支援

委員会等 (計 8 件)

2013.4-, 新名神高速道路 (近畿自動車道 名古屋神戸線) 兵庫県域自然環境保全検討会, 委員, NEXCO 西日本.

2013.4-, 中国自動車道 姫路鳥取線 (播磨新宮～山崎) 兵庫県域自然環境保全検討会, 委員, NEXCO 西日本.

2013.4-, 兵庫県生物多様性アドバイザー, 兵庫県自然環境課.

2014.3-, 水源地生態研究会周辺森林研究グループ, 委員, 一般財団法人水源地環境センター.

2014.3-, 伊丹市環境審議会みどり環境部会, 委員, 伊丹市.

2017.3-, 京都府環境影響評価専門委員会, 委員, 京都府庁文化環境部自然環境保全課.

2018.11-, 大阪府河川周辺地域の環境保全等審議会, 委員, 大阪府都市整備部.

2020.1- 播磨臨海地域道路事業環境影響評価技術検討会, 委員, NEXCO 西日本.

相談・指導助言

来訪者 20 件, 60 名. 電話・FAX 相談 100 件, メール相談 10 件.

視察対応

2019.7, 福井市自然史博物館, 1 名.

2019.11, 芝山文化生態園, 7 名.

2019.12, 大阪府立大, 28 名.

2019.12, 兵庫県市長会, 10 名.

2019.12, テレビ大阪, 4 名.

2020.1, 芝山文化生態園, 2 名.

■学会開催等支援

2019.6, 日本鳥学会員近畿地区懇談会第 117 回例会, 事務局員.

2020.2, 第 15 回共生のひろば, 分担者.

櫻井 麗賀 SAKURAI, Reika

自然・環境マネジメント研究所

生態研究グループ／生涯学習推進室／Kids タスクフォース

研究員

昭和57年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了. 博士(理学). 日本生態学会, 日本応用動物昆虫学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 生涯学習推進室

展示マネージャーとして, 常設展示の管理・修繕および, 資料・備品等の貸出し管理を担った.

2. Kids タスクフォース

幼稚園や保育園等でのひとはく Kids キャラバンや Kids サンデー等を担当した.

3. プロジェクト

生態系研究グループ(流域生態および動物共生)の部門研究. 分担者

文化庁「博物館ネットワークにおける自然史レガシー継承・発信事業」. 分担者

共生のひろば 主担当

「人と自然」編集委員

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 鱗翅目昆虫の捕食回避戦略に関する研究

■研究発表

櫻井麗賀(2020)生物間相互作用に関する探求型学習の実践. 第67回日本生態学会大会, 名城大学.

■学会役員等

日本生態学会 大会企画委員会 高校生ポスター部 会員

論文査読: Scientific Reports

2. 資料収集・整理

■受贈担当資料

2020.2, 哺乳類, 3点.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

櫻井麗賀, 2019.5, オープンセミナー「チョウのモビールをつくろう」, 博物館. (20名)

櫻井麗賀, 2019.5, 特注セミナー「チョウのはなし」, 神戸市立有野小学校, ホロンピアホール. (109名)

櫻井麗賀, 2019.6, 特注セミナー「食う食われるの関係」, クラーク記念国際高等学校三田分室, 博物館. (32名)

櫻井麗賀・フロアスタッフ, 2019.6, オープンセミナー「チョウの赤ちゃんを探そう」, 深田公園. (28名)

塚本健司・半田久美子・櫻井麗賀, 2019.6, オープンセミナー「そとはく～移動博物館車「ゆめはく」体験～」, 深田公園, (125名)

櫻井麗賀, 2019.6, ひとはくセミナー「チョウを観察しよう」, 博物館. (5名)

櫻井麗賀, 2019.7, 特注セミナー「オスとメスのちがひ」, 香川県立観音寺第一高等学校, 博物館. (38名)

櫻井麗賀・渡辺昌造・フロアスタッフ, 2019.8, オープンセミナー「水辺のいきものを捕ろう」, 深田公園. (33名)

櫻井麗賀・生涯学習課, 2019.9, 特注セミナー「収蔵庫見学①」, 兵庫県立神出学園, 博物館. (8名)

櫻井麗賀・生涯学習課, 2019.9, 特注セミナー「収蔵庫見学②」, 兵庫県立神出学園, 博物館. (9名)

櫻井麗賀, 2019.10, オープンセミナー「ちぎり絵でチョウのはねをえがこう」, 博物館. (16名)

櫻井麗賀, 2019.10, 特注セミナー「チョウのはなし」, 尼崎市立園田小学校, ホロンピアホール. (145名)

櫻井麗賀, 2019.10, ひとはくセミナー「動物たちのだまし術」, 博物館. (3名)

櫻井麗賀, 2019.11, オープンセミナー「そとはく～移動博物館車「ゆめはく」体験～」, 深田公園. (206名)

櫻井麗賀, 2019.11, オープンセミナー「チョウのモビールをつくろう」, ホロンピアホール. (109名)

櫻井麗賀, 2019.11, ひとはくセミナー「昆虫の色から学ぶ適応と進化」, 博物館. (7名)

櫻井麗賀, 2019.11, 特注セミナー「チョウのはなし」, 宝塚市立山手台小学校, 博物館. (133名)

櫻井麗賀・岡田出, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学①」, 伊丹市昆虫館友の会, 博物館. (10名)

櫻井麗賀・岡田出, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学②」, 伊丹市昆虫館友の会, 博物館. (9名)

館外講演

櫻井麗賀, 2019.5, 「チョウのはなし」, 人と自然の会, 博物館. (30名)

櫻井麗賀, 2019.7, 「かくれる! だます? チョウのはなし」, 神戸市立青少年科学館, 神戸市立青少年科学館新館地下ホール. (56名)

櫻井麗賀, 2019.9, 「虫の擬態～擬態の進化・種類・はたらき～」, サイエンスカフェ伊丹, アントン. (20名)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.4, ひとはく Kids キャラバン, 聖マリアの園幼稚園, 神戸市, 分担者.

2019.5, ひとつは Kids キャラバン, プリスクールベ
ふ保育園. 加古川市, 分担者.
2019.6, ひとつは Kids キャラバン, 三木市立緑ヶ丘
東幼稚園, 三木市, 分担者.
2019.7, ひとつはキャラバン, 尼崎市都市緑化植物
園, 尼崎市, 分担者.
2019.10, ひとつは Kids キャラバン, 川面ちどり保
育園, 宝塚市, 主担当.
2019.10, ひとつは Kids キャラバン, エミールこど
も園, 加古川市, 主担当.
2019.11, ひとつは Kids キャラバン, みどり園保育
所, 西宮市, 主担当.
2019.11, ひとつは Kids キャラバン, 伊丹市立せつ
よう幼稚園, 伊丹市, 主担当.
2019.11, ひとつは Kids キャラバン, 名塩保育園,
西宮市, 分担者.
2019.11, ひとつは Kids キャラバン, ありの藤原保
育園, 神戸市, 主担当.

■連携事業

協賛事業

2019.7-9, だます?かくれる!モノマネいきもの展,
神戸市立青少年科学館, 神戸市, 主担当 (展示
監修).

協力事業

2019.6-9, 但馬の生き物と神様たち~粟食むシカか
らコウノトリまで~展, 朝来市埋蔵文化財セン
ター古代あさご館, 朝来市, 主担当 (展示協力,
資料貸出).

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.5, 三田市立上野台中 1 名, 三田市立狭間中 1
名, 三田市立けやき台中 1 名, 三田市立藍中 1
名. (計 4 名)
2019.11, 神戸市立有野北中 1 名, 神戸市立鈴蘭台中
1 名, 神戸市立北神戸中 1 名, 神戸市立有野中 1
名. (計 4 名)

学校団体対応

2019.5, 神戸市立有野小学校.
2019.6, クラーク記念国際高等学校三田分室.
2019.7, 香川県立観音寺第一高等学校講師派遣.
2019.9, 兵庫県立神出学園.
2019.10, 尼崎市立園田小学校.
2019.11, 宝塚市立山手台小学校.
2019.12, 伊丹市昆虫館友の会.

講師派遣

2020.1, 「第 24 回自由研究のつどい」, 伊丹市教育委
員会.

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8, 甲南大学 1 名, 甲南女子大 1 名, 神戸女子
大 1 名. (計 3 名)

■展示

2019.8-9, 館外企画展「Where culture meets nature ~

日本文化を育んだ自然~, 野口家住宅花洛庵,
分担者.

2019.10-2020.1, 展示特別企画「ひょうごのレッドリ
スト展~哺乳類・爬虫類・両生類・魚類~,
博物館, 分担者.

2020.2-4, ミニ企画展「ひとつはく研究員展 2020」, 博
物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「バンドー神戸青少年科学館夏特別展 展示監修
委託」, 神戸市立青少年科学館, 代表者. (20 万
円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 7 回, 76 名.

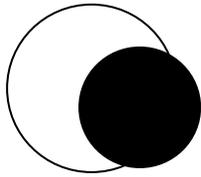
■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 8 件, 22 名. 電話・FAX 16 件. メール 17 件.

■学会開催等支援

2020.3, 日本生態学会, 大会企画委員.



個人別成果報告に関する資料

●自然・環境マネジメント研究部 環境計画研究グループ

赤澤 宏樹 AKAZAWA, Hiroki

自然・環境マネジメント研究部

環境計画研究グループ

事業推進部長・研究部長・研究グループ長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授。

昭和 45 年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。

日本造園学会学会、日本都市計画学会、環境情報科学センター、日本緑化工学会、農村計画学会、World Urban Parks (WUP) ジャパン等所属

<研究部以外の配属室と仕事>

1. ビジョン実現タスクフォース

リーダー 新収蔵庫棟の計画とりまとめ、各種調整担当

2. プロジェクト

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援。分担者

有馬富士公園 人材育成。分担者

尼崎 21 世紀の森構想の推進支援。代表者

西武庫公園再生支援。分担者

三田市地域計画策定支援。代表者

兵庫県下の提供公園の実態把握と改善。代表者

官民市民協働型の街路樹管理の提案。代表者

赤穂海浜公園の魅力アップ支援。代表者

北播磨地域の魅力アップ支援。分担者

宮塚公園を中心とした芦屋市中心市街地の活性化。代表者

古写真を中心とした環境系資料活用による地域支援。分担者

近畿・中国・四国のランドスケープ遺産取りまとめ。分担者

パークマネジメントの社会実装に向けた行政支援。分担者

「そとはく」による、持続性のあるニュータウン再生への取り組み。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する研究
2. 多自然居住地域のまちづくりに関する研究

■論文・著書

川口将武・赤澤宏樹・武田重昭・松尾薫・加我宏之（2020）地方自治体における街路樹の維持管理計画と住民参加制度の状況。ランドスケープ研究, 83(5), 509-514.

窪田陽樹・松尾薫・武田重昭・川口将武・赤澤宏樹・加我宏之（2020）平城・相楽ニュータウン居住者の公園を媒介とした地域への愛着の醸成に至る意識構造。ランドスケープ研究, 83(5), 545-550.

■その他著作

赤澤宏樹（2019）関西における未利用地の獲得・活用・更新の戦略。都市や地域に関する知の冒険, 日本都市計画学会関西支部, 29-34.

赤澤宏樹（2019）オープンスペース利用の観点から。公共空間における「青空市」の役割を再考する, JUDI 関西, 34-41.

赤澤宏樹・川口将武（2019）市民からの強剪定要望を克服する街路樹の維持管理。グリーン・エイジ 2019 年 10 月号, 一般財団法人日本緑化センター, 17-20.

川口将武・赤澤宏樹（2019）米国サンフランシスコ市における街路樹の維持管理計画の特徴。2019 年度日本造園学会全国大会案内, p35.

川口将武・赤澤宏樹・平瀬耕・加我宏之（2019）米国サンフランシスコ市における「Sidewalk Landscaping」プログラムの特徴と景観デザインについて。2019 年度日本造園学会関西支部研究・事例発表要旨集, p61,

赤澤宏樹（2019）地域で活かされる公園づくり。ひょうごラジオカレッジテキスト 9 月号, p4.

赤澤宏樹（2019）ひとはく研究員だより みんなで育てる街路樹。神戸新聞。

■研究発表

大平和弘・藤本真里・福本優・赤澤宏樹（2019）絵画にみる鳴門海峡の風景認識の変遷に関する研究。日本造園学会全国大会, 筑波大学。

川口将武・赤澤宏樹（2019）米国サンフランシスコ市における街路樹の維持管理計画の特徴。日本造園学会全国大会ポスターセッション, 筑波大学。

川口将武・赤澤宏樹・平瀬耕・加我宏之（2019）米国サンフランシスコ市における「Sidewalk Landscaping」プログラムの特徴と景観デザインについて。日本造園学会関西支部大会ポスター発表。和歌山大学。

■学会役員等

日本造園学会, 理事。
日本造園学会, 論文集委員会, 副委員長。
日本造園学会, 校閲委員会, 委員。
日本造園学会, 2020年度全国大会運営委員会, 委員
日本造園学会, ランドスケープ・マネジメント研究委員会, 委員。
日本造園学会関西支部, 支部運営委員。
日本造園学会関西支部, ランドスケープ遺産研究会世話人(兵庫県担当)。
日本造園学会関西支部, パークマネジメント研究会, 代表。
日本都市計画学会, 校閲委員。
環境情報科学センター, 校閲委員。
日本緑化工学会, 校閲委員。
韓国伝統造景学会, 校閲委員。
World Urban Parks (WUP) ジャパン, 理事。
World Urban Parks (WUP) ジャパン, 周年事業幹事。

■助成を受けた研究

官・民・市民協働による街路樹の多面的な価値創出と管理の可能性. 文部科学省科学研究費基本研究C, 研究代表者(104万円/377万円)

■海外調査

2019.9, イギリス・ロンドン

■賞罰

2019.10, 一般社団法人日本公園緑地協会 第35回都市公園等コンクール 国土交通省都市局長賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.9, 街路樹景観写真, ロンドン市。
2019.4-2020.3 国内のパーク・マネジメントに関する資料収集, 兵庫県・大阪府・東京都。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹, 2019.4, オープンセミナー「泥だんごを作ろう!」, 博物館。(46名)
赤澤宏樹, 2019.6, オープンセミナー「泥だんごを作ろう!」, 博物館。(109名)
赤澤宏樹, 2019.7, 特注セミナー「ピカピカ泥だんごを作ろう」, 宝塚西山ホークス, 博物館。(33名)
赤澤宏樹, 2019.7, 特注セミナー「ピカピカ泥だんごを作ろう」, 西宮市留守家庭学童育成苦楽園育成センター, 博物館。(68名)
赤澤宏樹, 2019.8, 教職員・指導者セミナー「ピカピカ泥だんごの作り方」, 博物館。(35名)
赤澤宏樹, 2019.8, 特注セミナー「泥だんごを作ろ

う」, 守口市教育研究会理科担当者会, 博物館。(43名)

赤澤宏樹, 2019.9, 一般セミナー「公園ゼミナール<現地視察編>③/尼崎の森中央緑地」, 尼崎の森中央緑地。(7名)

赤澤宏樹, 2019.10, オープンセミナー「泥だんごを作ろう!」, 博物館。(98名)

赤澤宏樹, 2020.2, 共生のひろば講演「苦情の分析からはじまる多様な街路樹の可能性」, 博物館。(70名)

館外講演

福本優・奥井かおり・藤本真里, 2019.4.7, オープンセミナー, そとはく〜カフェ&そとはくビンゴ〜, 博物館。(80名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.5.5, オープンセミナー, そとはく〜カフェ&そとはくビンゴ〜, 博物館。(80名)

赤澤宏樹, 2019.5, 「富士小校区におけるまちづくり協議会の役割と意義」, 富士小校区まちづくり推進協議会, 富士が丘コミュニティセンター。(40名)

赤澤宏樹, 2019.5, 「PPP(官民協働)による公園整備・管理」, 国土交通大学校, 国土交通大学校。(50名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.6.2, オープンセミナー, そとはく〜カフェ&そとはくビンゴ〜, 博物館。(120名)

赤澤宏樹, 2019.7, 「官・民・市民協働による公園の整備と管理」, NPO birth, 西東京いこいの森公園。(20名)

赤澤宏樹, 2019.7, 「官・民・市民協働による公園の整備と管理」, NPO birth, 西東京いこいの森公園。(20名)

赤澤宏樹, 2019.7, 「中小規模公園の改善手法〜官民連携から公園再編まで〜」, 兵庫県都市公園整備促進協議会, 東りいたみホール。(40名)

赤澤宏樹, 2019.8, 「ピカピカ泥団子をつくろう」, 三田市立ゆりのき台小学校PTA(三田市こうみん未来塾), 三田市立ゆりのき台小学校。(196名)

赤澤宏樹, 2019.8, 「ピカピカ泥団子をつくろう」, ずずかけキッズクラブ(三田市こうみん未来塾), ずずかけ台コミュニティハウス。(72名)

赤澤宏樹, 2019.8, 「ピカピカ泥団子をつくろう」, 兵庫県園芸公園協会, 国営明石海峡公園淡路地区。(80名)

赤澤宏樹, 2019.8, 「ピカピカ泥団子をつくろう」, 兵庫県園芸公園協会, 国営明石海峡公園淡路地区。(80名)

赤澤宏樹, 2019.10, 「公園・緑地のマネジメント」, 都市計画学会関西支部, 関西大学梅田サテライト。(40名)

赤澤宏樹, 2019.10, 「今までの街路樹・これからの街路樹」, 三田市, あかしあ台コミュニティセンター. (25名)

赤澤宏樹, 2019.10, 「少子化・高齢化時代の地域づくり (松が丘地区地域計画講演会)」, 松が丘地区まちづくり協議会, 三田市まちづくりセンター. (40名)

赤澤宏樹, 2019.10, 「人口減少時代の公園と住環境」, 武庫川女子大学, 武庫川女子大学. (15名)

赤澤宏樹, 2019.11, 「公園管理運営の現状と課題」, 日本公園緑地協会, KFC Hall & Rooms. (100名)

赤澤宏樹, 2019.11, 「公園管理運営の現状と課題」, 日本公園緑地協会, IMY 会議室. (60名)

赤澤宏樹, 2019.11, 「街路樹と生物多様性」, 三田市, あかしあ台コミュニティセンター. (25名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.11.3, オープンセミナー, そとはく〜カフェ&そとはくビンゴ~, 博物館. (56名)

福本優・大平和弘・奥井かおり・赤澤宏樹・藤本真里, 2019.12.8, オープンセミナー, 標本のミカタ「古地図ですごろく」, 博物館. (90名)

赤澤宏樹, 2019.12, 「まち・むらでの公園のような場所のつくり方」, 丹波の森協会, 丹波篠山市民センター. (60名)

赤澤宏樹, 2019.12, 「街路樹の計画とデザイン」, 三田市, あかしあ台コミュニティセンター. (25名)

赤澤宏樹, 2020.1, 「公園を使いこなすマネジメントのあり方」, 全国都市公園整備促進協議会, 兵庫県民会館. (100名)

赤澤宏樹, 2020.1, 「まちづくり協議会と地域計画」, 狭間が丘地域事業推進協議会, 狭間ヶ丘コミュニティセンター. (8名)

赤澤宏樹, 2020.1, 「まちづくり協議会と地域計画」, 狭間が丘地域事業推進協議会, 狭間ヶ丘コミュニティセンター. (8名)

赤澤宏樹, 2020.2, 「ピカピカ泥団子をつくろう」, 三田市立小野小学校区放課後子ども教室 (三田市こうみん未来塾), 三田市立小野小学校. (51名)

赤澤宏樹, 2020.2, 「古写真にみる暮らしと自然」, 宝塚市社会福祉福祉協議会, フレミラ宝塚. (40名)

赤澤宏樹, 2020.2, 「緑のまちづくりと宝塚ガーデンフィールズ跡地の利活用」, 宝塚市社会福祉福祉協議会, フレミラ宝塚. (40名)

兵庫県立大学・大学院教育
共生博物学 (主任)

都市設計論及び演習 (主任)
ひょうご地域課題概論 (分担)
FW 基礎技術演習 1 (分担)
ランドスケープ計画特論 (主任)
リサーチトレーニング特論 (分担)
緑環境景観マネジメント概論 (分担)
特別ゼミナール (前期・後期) I (主任)
特別ゼミナール (前期・後期) II (主任)
特別研究 (前期・後期) (主任)

非常勤講師

2019.4-6, 「造園学 1」, 神戸大学.
2019.6-7, 「造園学 2」, 神戸大学.
2019.4, 「総合政策演習」, 関西学院大学.

テレビ・ラジオ等出演

2019.8, 「地域で活かされる公園づくり」, ひょうごラジオカレッジ, 兵庫県高齢者放送大学.
2019.8, 「ウッディタウンの街路樹伐採」, VOICE, MBS 毎日放送.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「地域計画策定支援に関わるコーディネーターのあり方に関する研究」, 三田市, 代表者. (30万円)

■行政等支援

委員会等 (計 47 件)

2009.9-, 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.
2017.11-, 尼崎市環境審議会, 副会長, 尼崎市.
2013.5-, 尼崎市公園緑地審議会, 副会長, 尼崎市.
2015.3-, 環境審議会みどり環境部会, 委員, 伊丹市.
2017.4-, 都市景観・屋外広告物審議会, 委員, 西宮市.
2017.4-, 都市景観・屋外広告物審議会景観アドバイザー一部会, 委員, 西宮市.
2017.4-, 都市景観・屋外広告物審議会都市景観部会, 委員, 西宮市.
2017.4-, 景観審議会, 委員, 宝塚市.
2017.4-, 景観審議会デザイン協議部会, 委員, 宝塚市.
2017.4-, 景観審議会, 委員, 三田市.
2017.4-, 景観審議会審査部会, 委員, 三田市.
2017.10-, 都市計画審議会, 委員, 兵庫県.
2017.11-, 環境審議会, 副委員長, 尼崎市.
2018.1-, 公園緑地審議会, 委員, 神戸市.
2018.1-, 住環境整備審議会, 委員, 尼崎市.
2019.5-, 姫路市景観・広告物審議会, 委員, 姫路市.
2019.7-, 尼崎市住宅政策審議会, 委員, 尼崎市.
2019.7-, 環境審議会・尼崎市新ごみ処理施設整備基本計画策定部会, 部会長, 尼崎市.
2019.7-, 環境審議会・一般廃棄物処理基本計画策定部会, 部会長, 尼崎市.

2010.7-, 三田市景観形成推進員, 三田市.
2013.7-, まちづくり基本条例協働委員会, 副委員長, 三田市.
2013.10-, 兵庫県生物多様性アドバイザー, 兵庫県.
2015.7-, 行政評価委員会, 副委員長, 三田市.
2016.5-, 一般財団法人 公園財団 研究顧問
2017.5-, 市政への市民参加推進委員会, 副委員長, 三田市.
2017.7-, 県立都市公園指定管理者候補者選定委員会, 委員, 兵庫県.
2017.7-, 丹波地域創生戦略会議, 座長, 兵庫県丹波県民局.
2017.9-, 地域遺産活用方策検討委員会, 委員, 兵庫県.
2017.10-2020.3, 尼崎の森中央緑地・茅葺き民家利活用検討会, 委員, 兵庫県尼崎港管理事務所.
2018.1-, 鶴殿ヨシ原の環境保全検討に関するモニタリングWG, 委員, NEXCO 西日本.
2018.2-, 兵庫県立有馬富士公園運営協議会, 会長, 兵庫県園芸公園協会.
2018.3-, 丹波の森公苑運営委員会, 委員, 公益財団法人兵庫丹波の森協会.
2018.4-, 職員提案審査会, 委員, 三田市.
2018.6-, 大阪府民の森等指定管理者評価委員会, 委員長, 大阪府.
2018.6-2020.3, 神戸市都市空間向上計画策定に向けた有識者会議, 委員, 神戸市.
2018.10-2020.3, 北播磨地域の魅力発見等に関するアドバイザー, 兵庫県北播磨県民局.
2018.12-2020.3, 須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業者選定委員会, 委員長, 神戸市.
2019.3-, 宮塚公園ジブンゴト協議会, アドバイザー, 芦屋市.
2019.3-, 公共施設の利活用における地域イニシアチブ制度, アドバイザー, 三田市.
2019.6-, 兵庫県地域創生戦略会議企画委員会, 委員, 兵庫県企画県民部.
2019.7-, 東遊園地再整備基本設計業務事業者選定委員会, 委員, 神戸市.
2019.7-, 東遊園地にぎわい拠点施設運営事業者選定委員会, 委員, 神戸市.
2019.7-, 遊園地再整備基本設計アドバイザーボード, 委員, 神戸市.
2019.7-, 大阪府都市公園指定管理者選定委員会, 副委員長, 大阪府都市整備部.
2020.3-, 兵庫県立赤穂海浜公園管理運営協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.
2020.3-, 芦屋市緑の基本計画改定委員会, 委員長, 芦屋市.
2020.3-, 大阪市 花博開催 30 周年記念イベント企画運営業務及び新たな公園活用に向けたニー

ズ調査等業務委託事業者選定会議, 委員長, 大阪市建設局.

相談・指導助言

来訪者 50 件, 120 名. 電話・FAX50 件. メール 50 件.

■学会開催等支援

2019.5, 日本造園学会関西支部パークマネジメント研究部会トークイベント「NY市の公園事情を知る」, 代表者.

2019.6 日本造園学会全国大会ミニフォーラム「街路樹の新しい価値創出と評価」, 企画責任者.

2019.6-, 日本造園学会 2020 年全国大会兵庫大会実行委員会, 委員.

2019.10 日本造園学会関西支部・パークマネジメント研究部会ポスター展示, 代表者.

藤本 真里 FUJIMOTO, Mari

自然・環境マネジメント研究所

環境計画研究グループ

主任研究員／企画・調整室

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究
部門 准教授.

昭和36年兵庫県生. 大阪大学大学院工学研究科博士後
期課程修了. 工学博士. 日本造園学会, 日本ミュージ
アム・マネジメント学会, 都市計画学会, 環境情報セ
ンター等所属

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 企画・調整室

月例報告会の企画・運営、休養ゾーンの活性化に向
けた取り組みの推進

2. プロジェクト

ありまふじ休養ゾーン活性化プロジェクト. 代表者
有馬富士公園 人材育成. 代表者
ミツカンよかわビオトープ倶楽部支援. 代表者
地域コミュニティと連携したため池法面等でのタク
ティカルプレイスメイキング. 分担者
尼崎21世紀の森構想の推進支援. 分担者
三田市地域計画策定支援. 分担者
兵庫県下の提供公園の実態把握と改善. 分担者
官民市民協働型の街路樹管理の提案. 分担者
古写真を中心とした環境系資料活用による地域支
援. 分担者
パークマネジメントの社会実装に向けた行政支援.
分担者
「そとはく」による、持続性のあるニュータウン再
生への取り組み. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 住民参画型の公共施設運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に
関する研究

■その他著作

藤本真里 (2019) ミツカンよかわビオトープの自
然環境資源を発掘・活用する手法に関する研
究. 株式会社 Mizkan Partners 受託研究報告
書, 11p.

藤本真里 (2019) ひとく研究員だより 阪神・
淡路大震災と阪神グリーンネット. 神戸新
聞.

■学会役員等

日本造園学会, 日本造園学会全国大会運営委員
会委員, 日本造園学会学会賞選考委員会委員

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 景観写真, 明石市・三田市・三木

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

福本優・奥井かおり・藤本真里, 2019.4.7, オープ
ンセミナー, そとはく〜カフェ&そとはくビン
ゴ~, 博物館. (80名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.5.5, オープンセミナー, そとはく〜カ
フェ&そとはくビンゴ~, 博物館. (80名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・大平和弘,
2019.5.12, オープンセミナー, そとはく〜た
んぽぽを植えよう~, 博物館. (26名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.6.2, オープンセミナー, そとはく〜カ
フェ&そとはくビンゴ~, 博物館. (120名)

藤本真里, 2019.7.26, 特注セミナー, クイズ★うん
ちく博物館, 魚住児童クラブ, 博物館. (105
名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.9.1, オープンセミナー, そとはく〜カ
フェ&そとはくビンゴ~, 博物館. (196名)

藤本真里, 2019.10.5, 一般セミナー, 公園ゼミナ
ール<現地視察編>④歴史も自然もカフェも
ある明石公園, 兵庫県立明石公園. (16名)

福本優・奥井かおり・藤本真里, 2019.10.6, オープ
ンセミナー, そとはく〜カフェ&そとはくビ
ンゴ~, 博物館. (74名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.11.3, オープンセミナー, そとはく〜カ
フェ&そとはくビンゴ~, 博物館. (56名)

福本優・大平和弘・奥井かおり・赤澤宏樹・藤本
真里, 2019.12.8, オープンセミナー, 標本の
ミカタ「古地図ですごろく」, 博物館. (90
名)

藤本真里, 2020.1.10, 一般セミナー, 公園利用
者とすすめるパークマネジメント (入門編).
(33名)

館外講演

藤本真里, 2019.4.23, 「高校生が自然を楽しむた
めの夢プログラムづくり」, 有馬富士公園公開セ
ミナー, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬
高校人と自然科と共催, 兵庫県立有馬富士公
園, 三田市. (16名)

藤本真里, 2019.6.21, 「みんなでなんでもできる公
園をつくろう」, 淡路景観園芸学校, 淡路景観
園芸学校, (23名)

藤本真里, 2019.7.7, 「自由という切り口で捉えた
公園の価値とこれからの公園のあり方」, コメ
ンテーター, 都市生活における自由度の価値
化と職能に関する研究ユニット, 京都市 本

町エスコラ。(9名)

藤本真里, 2019.7.11, 「花と緑のまちづくりと私たちの役割」, 宝塚市, 兵庫県阪神シニアカレッジ。(34名)

藤本真里, 2019.8.24, 「仲間づくりのために」, (公財)兵庫県生きがい創造協会, (公財)兵庫県生きがい創造協会。(20名)

藤本真里, 2019.9.1, 「まちづくり協議会と地域計画」, 本庄まちづくり協議会, 本庄ふれあいセンター。(35名)

藤本真里, 2019.10.14, あそびカウンター, 企画・現場リーダー, 休養ゾーン活性化推進事業実行委員会, 有馬富士公園休養ゾーン。(88名)

藤本真里, 2019.11.2, あそびカウンター, 企画・現場リーダー, 休養ゾーン活性化推進事業実行委員会, 有馬富士公園休養ゾーン。(72名)

藤本真里, 2019.11.9, あそびカウンター, 企画・現場リーダー, 休養ゾーン活性化推進事業実行委員会, 有馬富士公園休養ゾーン。(69名)

藤本真里, 2019.11.13, 「知る・出会う・わかりあう宝塚のまちづくり」, いきいき学舎・フレミラ, フレミラ宝塚。(28名)

藤本真里, 2019.11.13, 「みんなに身近なまちづくり」, いきいき学舎・フレミラ, フレミラ宝塚。(18名)

藤本真里, 2019.11.17, あそびカウンター, 企画・現場リーダー, 休養ゾーン活性化推進事業実行委員会, 有馬富士公園休養ゾーン。(68名)

大平和弘・藤本真里, 2019.12.6, 「ため池法面ガーデンのファンづくり」, 加古川総合庁舎, 兵庫県東播磨県民局・東播磨フィールドステーション。(105名)

藤本真里, 2020.1.31, 「フラワータウンとひとはく」, イキイキ体操弥生, 弥生が丘コミュニティセンター。(20名)

藤本真里, 2020.2.25, 「宝塚の魅力を発信しよう」, いきいき学舎・フレミラ, フレミラ宝塚。(26名)

兵庫県立大学・大学院教育
まちづくり特論(主任)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.4.21, ありまふじフェスティバル, 有馬富士公園, 三田市, 主担当.

2019.7.20-2019.8.31, ひとほくキャラバン, 淡路ハイウェイオアシス, 淡路市, 主担当.

2019.11.16, ひめじ花と緑のガーデンフェア, 姫路市大手前公園, 姫路市, 分担.

2019.12.3-18, ゆめはくネットワーク「ため池フローティングガーデン」, 天満大池, 稲美町, 分担者.

2019.12.7, ロハスミーツ, 明石公園, 明石市, 主担当.

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

NPO 法人 人と自然の会, 副担当.

成果発表

NPO 法人 人と自然の会, 2019.4-2020.3, ドリームスタジオ, ひとほく オープンセミナー, 博物館.

NPO 法人 人と自然の会, 2019.7, 8, 2020.3, ひとほく 一般セミナー, 博物館.

NPO 法人 人と自然の会, 2020.2, 「NPO 法人人と自然の会 25 年の歩み そしてこれから」, 第 15 回共生のひろば, 博物館.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.5, 三田市立上野台中学校 1 名, 三田市立狭間中学校 1 名, 三田市立けやき台中学校 1 名, 三田市立藍中学校 1 名。(計 4 名)

2019.11, 神戸市立有野中学校 1 名, 神戸市立有野北中学校 1 名, 神戸市立北神戸中学校 1 名, 神戸市立鈴蘭台中学校 1 名。(計 4 名)

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8.6, 甲南大学 1 名, 近畿大学 3 名, 甲南女子大学 1 名, 神戸女子大学 1 名, 岩手大学大学院 1 名, 京都先端科学大学 1 名, 神戸芸術工科大学 1 名。(計 9 名)

■展示

2019.12.3-18, ため池ガーデンのファンづくり「ため池フローティングガーデン」, 天満大池, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「ミツカンよかわビオトープの自然環境資源を発掘・活用する手法に関する研究」, 株式会社 Mizkan Partners, 研究代表者。(75 万円)

「地域計画策定支援に関わるコーディネーターのあり方に関する研究」, 分担者, 三田市。(30 万円)

「地域コミュニティと連携したため池法面等でのタクティカルプレイスメイキング」, 兵庫県東播磨県民局, 分担者。(96 万円; ゆめはくネットワーク)

■行政等支援

委員会等(計 24 件)

2006.7-, 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

2016.4-, 公益財団法人しそ森林王国観光協会, 理事, 財団法人しそ森林王国協会.

2013.5-, 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.

2008.6-, 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.

2008.8-, 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会, 委員長, 尼崎市.

- 2009.6-, 市民活動・ボランティアサポートセンター運営会議, 委員長, 姫路市.
- 2013.11-, 姫路市市民活動・協働推進事業計画検討懇話会, 委員, 姫路市.
- 2012.8-, 宝塚市行政評価委員会, 委員, 宝塚市.
- 2012.5-, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合指定管理者評価協議会, 委員長, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.
- 2015.9-, 猪名川町地域創生有識者会議, 委員, 猪名川町.
- 2018.10-2020.3, 猪名川町総合計画審議会, 委員, 猪名川町.
- 2015.7-, あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議委員, 委員, 川西市.
- 2017.7-, しみん基金・こうべ助成事業, 審査員, 認定NPO 法人 しみん基金・こうべ.
- 2017.4-, 姫路市地域コミュニティ活性化アドバイザー, アドバイザー, 姫路市.
- 2019.1-, 宝塚市公共施設保有量最適化方針策定検討懇話会, 委員, 宝塚市.
- 2019.1-, 宝塚市旧安田邸利活用等事業者選定委員会, 委員, 宝塚市.
- 2019.2-, 丹波 OB 大学運営委員会, 委員, 丹波の森公苑.
- 2019.3-, 宝塚市総合計画審議会, 委員, 宝塚市.
- 2019.4-, 兵庫自治学会評議員, 委員, 兵庫自治学会.
- 2019.5-, 宝塚市教育環境審議会, 委員, 宝塚市.
- 2019.5-, 特別史跡姫路城跡保存活用計画検討懇話会, 委員, 姫路市.
- 2019.6-, 川西市参画と協働のまちづくり推進会議, 委員・部会長, 宝塚市.
- 2019.6-, 姫路市総合計画策定審議会, 委員・分科会長, 姫路市.
- 2019.12-, 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定委員会, 委員, 宝塚市.

相談・指導助言

来訪者 90 件, 160 名. 電話・FAX 70 件. メール 380 件.

■学会開催等支援

2019.6-, 日本造園学会 2020 年全国大会兵庫大会実行委員会, 委員.

福本 優 FUKUMOTO, Yu

自然・環境マネジメント研究部
環境計画研究グループ
研究員

兵庫県立大学自然・環境科学研究所 客員研究員。
昭和58年大阪府生。関西大学大学院理工学研究科博士
後期課程修了。博士(工学)。日本都市計画学会, 日本
建築学会, 都市住宅学会, 日本造園学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. ビジョン実現タスクフォース

新収蔵庫棟建設に関わる基本計画策定(平面計画・
事業規模検討, 館内及び関係各所との調整)

2. パークマネジメントの社会実装に向けた行政支援

地域住民も巻き込んだ非営利型のパークマネジメン
トの社会実装に向けた行政の支援。代表者

3. プロジェクト

「そとはく」による, 持続性のあるニュータウン再
生への取り組み。代表者

北播磨地域の魅力アップ支援。代表者

有馬富士公園 人材育成。分担者

宮塚公園を中心とした芦屋市中心市街地の活性化。
分担者

三田市地域計画策定支援。分担者

兵庫県下の提供公園の実態把握と改善。分担者

古写真を中心とした環境系資料活用による地域支
援。分担者

官市民協働型の街路樹管理の提案。分担者

博物館トイレ改修プロジェクト。代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 地域の住環境価値を醸成する集住環境の再編手
法に関する研究
2. 地域の住環境価値に寄与する公共空間デザイン
及びマネジメントに関する研究

■研究発表

大平和弘・藤本真里・福本優・赤澤宏樹(2019)

絵画にみる鳴門海峡の風景認識の変遷に関す
る研究。日本造園学会全国大会, 筑波大学。

福本優(2019) ニュータウンをまちにする。～集
落と共存する地域単位づくりによるニュータ
ウン再生戦略～。日本都市計画学会知の冒険プ
ロジェクト, 株式会社 地域環境計画研究所。

■学会役員等

日本都市計画学会, まちづくり人材育成事業特別
委員会 委員

日本都市計画学会, <都市や地域に関する知の冒
険>プロジェクト 委員

日本造園学会, 論文集委員会 委員

日本造園学会, 関西支部パークマネジメント研究

部会 委員

日本建築学会, 近畿支部都市計画研究部会 委員

■助成を受けた研究

市民の自由な活動の場としての公園マネジメン
ト。都市計画学会関西支部研究支援「都市計
画研究会」, 研究代表者(10万円/20万円)

■賞罰

2019.10, 一般社団法人日本公園緑地協会 第35回
都市公園等コンクール 国土交通省都市局長
賞

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

福本優・奥井かおり・藤本真里, 2019.4.7, オープ
ンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビン
ゴ～, 博物館。(80名)

福本優, 2019.4, 一般セミナー「絵図や古地図を片
手にぶらり。今昔まち歩き【大阪/野田・福
島】」, 大阪市。(12名)

福本優, 2019.5, 一般セミナー「公園ゼミナール<
現地視察編>①」, 芦屋市宮塚公園。(7名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.5.5, オープンセミナー, そとはく～カフ
ェ&そとはくビンゴ～, 博物館。(80名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・大平和弘,
2019.5.12, オープンセミナー, そとはく～た
んぽぽを植えよう～, 博物館。(26名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.6.2, オープンセミナー, そとはく～カフ
ェ&そとはくビンゴ～, 博物館。(120名)

福本優・フロアスタッフ, 2019.6, オープンセミナ
ー「はかせと学ぼう! 「けんちくかの日」」,
博物館。(37名)

福本優, 2019.8, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 関
西大学, 博物館。(17名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.9.1, オープンセミナー, そとはく～カフ
ェ&そとはくビンゴ～, 博物館。(196名)

福本優・奥井かおり・藤本真里, 2019.10.6, オ
ープンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビ
ンゴ～, 博物館。(74名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹,
2019.11.3, オープンセミナー, そとはく～カフ
ェ&そとはくビンゴ～, 博物館。(56名)

福本優, 2019.11, 一般セミナー「絵図や古地図を
片手にぶらり。今昔まち歩き【川西/平野・
多田】」, 川西市。(8名)

福本優・フロアスタッフ, 2019.12, オープンセミ
ナー「はかせと学ぼう! 「けんちくかの日～
村からまちへ～」」, 博物館。(30名)

福本優・大平和弘・奥井かおり・赤澤宏樹・藤本

真里, 2019.12.8, オープンセミナー, 標本のミカタ「古地図ですごろく」, 博物館. (90名)

福本優・フロアスタッフ, 2019.12, オープンセミナー「はかせと学ぼう! 「けんちくかの日〜村からまちへ〜」, 博物館. (37名)

福本優・奥井かおり, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学」, ROOTプログラムひとはく特別週末セッション, 博物館. (10名)

館外講演

福本優, 2019.6, 「ニュータウンの成立と変容」, 三田市生涯学習カレッジ, ウッディタウン市民センター. (8名)

福本優, 2019.6, 「地域計画づくりに向けたまちづくり協議会の役割検討WS」, 富士小校区まちづくり推進協議会, 富士が丘コミュニティセンター. (7名)

福本優, 2019.9, 「ありまふじ里山勉強会」, 有馬富士公園公園管理事務所, 有馬富士公園 棚田・里山エリア. (18名)

福本優, 2019.9, 「地域計画づくりに向けたまちづくり協議会の役割検討WS」, 富士小校区まちづくり推進協議会, 富士が丘コミュニティセンター. (7名)

福本優, 2019.10, 「ありまふじ里山勉強会」, 有馬富士公園公園管理事務所, 有馬富士公園 棚田・里山エリア. (15名)

福本優, 2019.11, 「ありまふじ里山勉強会」, 有馬富士公園公園管理事務所, 有馬富士公園 棚田・里山エリア. (15名)

福本優, 2019.9, 「地域計画づくりに向けたまちづくり協議会の役割検討WS」, 富士小校区まちづくり推進協議会, 博物館. (7名)

福本優, 2020.2, 「地域計画づくりWS」, 高平郷づくり協議会, 高平ふるさと交流センター. (40名)

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習 (分担)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.11, ゆめはくキャラバン「第2回ひめじ花と緑のガーデンフェア」, 大手前公園, 姫路市市, 主担当.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「コーディネーターの育成業務」, 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会, 代表者. (100万円)

「北播磨地域の魅力発見・魅力発信に関する調査研究」, 北播磨県民局長, 代表者. (40.425万円)

「地域計画策定支援に関わるコーディネーターのあり方に関する研究」, 三田市長, 分担者. (30万円)

■学会開催等支援

2019.10, 日本造園学会関西支部・パークマネジメント研究部会ポスター展示, 委員.

大平 和弘 OHIRA, Kazuhiro

自然・環境マネジメント研究所
環境計画研究グループ／企画・調整室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究
部門 講師.

昭和60年兵庫県生. 大阪府立大学大学院生命環境科学
研究科博士後期課程修了. 博士(緑地環境科学). 日本
造園学会, 環境情報科学センター, 日本都市計画学会
農村計画学会, 日本遺跡学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 企画・調整室

ひとはくプロジェクト集約, 館報発刊, タスクフォ
ースとの調整等担当.

2. 展示更新タスクフォース

本館リニューアル構想策定, 重要施策案作成, 勉強
会開催等担当.

3. プロジェクト

ふるさと兵庫こども環境体験推進事業(ひょうごエ
コロボプロジェクト)への支援. 代表者
鳴門海峡の渦潮の世界遺産登録に向けた検討支援.
代表者

うずしお科学館運営支援. 代表者

地域コミュニティと連携したため池法面等でのタク
ティカルプレイスメイキング. 代表者

博物館トイレ改修プロジェクト. 代表者

古写真を中心とした環境系資料活用による地域支
援. 代表者

近畿・中国・四国のランドスケープ遺産取りまと
め. 代表者

西武庫公園再生支援. 代表者

但馬牛博物館改修支援. 分担者

ありまふじ休養ゾーン活性化プロジェクト. 分担者

棚倉町里山再生・活用プロジェクト. 分担者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業.
分担者

三田市地域計画策定支援. 分担者

兵庫県下の提供公園の実態把握と改善. 分担者

官民市民協働型の街路樹管理の提案. 分担者

尼崎21世紀の森構想の推進支援. 分担者

パークマネジメントの社会実装に向けた行政支援.
分担者

「そとはく」による、持続性のあるニュータウン再
生への取り組み. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 地域資源を活かしたまちづくりに関する研究
2. 文化遺産の継承に向けた景観計画に関する研究

■論文・著書

大平 和弘・大野 渉・白取 茂(2019) 鳴門海峡に
おける渦潮の視点場と見え方に関する研究.
環境情報科学研究発表大会論文集, 33, 7-12.

■その他著作

大平和弘・生野賢司(監修)(2019)「ひょうご!
とくしま!うずしお探検隊 うずしお発生の
ナゾを追え!」. 日本財団 海と日本

PROJECT・株式会社サンテレビジョン, 6pp.

大平和弘(2019)地域の妖怪を探してみよう. 厚
生会だより ふれあい, 389, 21.

大平和弘・奥井かおり(2020)どんぐりなりきり
たいそう「ぐんぐんどんぐりこ」. エコロコロ
クション〜身近な自然と遊ぶ体験アイデア集
〜, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策
課, 15-16p.

大平和弘・奥井かおり(2020)特集 ひょうごエ
コロボプロジェクト, 始動!!〜どんぐりえ
んそくのこだわりポイント〜. エコひょう
ご, No.95, (公財)ひょうご環境創造協会,
3p.

■研究発表

大平和弘・藤本真里・福本優・赤澤宏樹(2019)
絵画にみる鳴門海峡の風景認識の変遷に関す
る研究. 日本造園学会全国大会, 筑波大学.

上田萌子・浦出俊和・大平和弘・押田佳子・上甫
木昭春(2019)鹿児島県指宿市におけるモイ
ドン等に関わる伝統行事の存続状況と継承課
題の把握. 日本造園学会全国大会, 筑波大
学.

大平和弘(2019)ランドスケープ遺産 人が集う
／愛でる／営む・敬う、ランドスケープ「資
産」. 日本造園学会関西支部大会, 和歌山大
学.

大平 和弘・大野 渉・白取 茂(2019) 鳴門海峡に
おける渦潮の視点場と見え方に関する研究.
環境情報科学研究発表大会, 日本学会館.

大平和弘(2020)祭りにかかわる文化的空間から
捉えた地域の拠り所性とコミュニティ像. 日
本都市計画学会 知の冒険プロジェクト, 株
式会社 地域環境計画研究所.

■学会役員等

日本造園学会, 論文集委員会, テーブル幹事

日本造園学会, 校閲委員会, 委員

日本造園学会, 2020年度全国大会運営委員会, 委
員

日本造園学会, ランドスケープ遺産研究会, 委員
日本造園学会, 関西支部ランドスケープ遺産研究
部会, 事務局

日本都市計画学会, 大規模災害からの都市復興の
再検証と知識の継承専門委員会, 委員.
環境情報科学センター, 校閲委員.

■助成を受けた研究

水辺の習俗行事にかかわる文化的景観の保護に向

けた空間的・社会的変容パターンの解明. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 代表者 (70万円/234万円)

地域再生に資する拠り所としての伝統的な祭祀空間のマネジメントに関する研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 分担者 (7万円/481万円)

祭りにかかわる文化的空間から捉えた地域の拠り所性とコミュニティ像. 日本都市計画学会関西支部「知の冒険プロジェクト」, 代表者 (10万円/10万円)

■賞罰

2019.6, 日本造園学会 令和元年度 ベストペーパー賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 古写真とその記憶収集, 養父市・佐用町.

2019.4-2020.3, 鳴門海峡の絵葉書, 南あわじ市・徳島県.

2019.4-2020.3, 景観写真, 南あわじ市・徳島県.

2019.4-2020.3, 怪異の描かれた浮世絵, 兵庫県にゆかりのあるもの.

2019.4-2020.3, 習俗および祭りの映像記録収集, 兵庫県・愛媛県・山口県・岡山県.

■整理同定担当資料

古写真 (養父市, 佐用町)

絵葉書 (南あわじ市, 徳島県)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

大平和弘, 2019.4.24, 特注セミナー「博物館の仕事と環境系資料の解説」, 兵庫県立淡路景観園芸学校, 博物館. (10名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・大平和弘, 2019.5.12, オープンセミナー, そとはく～たんぽぽを植えよう～, 博物館. (26名)

大平和弘, 2019.6.8, 一般セミナー「公園ゼミナール<現地視察編>②」, 淡路島公園. (7名)

大平和弘・奥井かおり・フロアスタッフ, 2019.7.24, オープンセミナー「はかせと学ぼう!～ひょうごの妖怪～」, 博物館. (38名)

大平和弘, 2019.8.19, 一般セミナー「ジオラマをつくろう」, 博物館. (17名)

生野賢司・大平和弘, 2019.9.14, 一般セミナー「南あわじで自然体験① 7000 万年前の地層を見てみよう」, 吹上浜・国立淡路青少年交流の家. (31名)

大平和弘・生野賢司, 2019.9.14, 一般セミナー「南あわじで自然体験② ウミホテルをつかまえよう」, 吹上浜・国立淡路青少年交流の

家. (24名)

大平和弘, 2019.10.4, 一般セミナー「公園をデザインしよう」, 博物館. (34名)

福本優・大平和弘・奥井かおり・赤澤宏樹・藤本真里, 2019.12.8, オープンセミナー, 標本のミカタ「古地図ですごろく」, 博物館. (90名)

大平和弘, 2020.1.31, 特注セミナー「私の仕事とまちづくり～人と自然の共生、まちの幸せのために～ (小学校教科書「新編 新しい国語」対応)」, 三田市立弥生小学校6年生, 博物館. (21名)

大平和弘, 2020.2.8, 特注セミナー「ひょうごの妖怪 立体カードを作ろう (三田市こうみん未来塾)」, 武庫小学校放課後子ども教室, (11名)

館外講演

大平和弘, 2019.4.22, 「世界遺産のOUV 検討ワークショップ」, 兵庫県淡路県民局, 兵庫県庁. (10名)

大平和弘, 2019.5.22, 「世界遺産のOUV 検討ワークショップ」, 兵庫県淡路県民局, 兵庫県庁. (10名)

小館誓治・大平和弘, 2019.6.11, 「はかせとしげんたいけん」, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課, 加古保育園. (41名)

八木剛・大平和弘, 2019.6.13, 「はかせとしげんたいけん」, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課, 洲本市立大野幼稚園. (19名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.7.21, 「ささぶねづくり」, 兵庫県立但馬牧場公園. (30名)

大平和弘・生野賢司, 2019.7.30, 「うずしおの解説」, 日本財団 海と日本 PROJECT・株式会社サンテレビジョン, 大鳴門橋遊歩道渦の道・大鳴門橋記念館・クルージング船ヘリオスほか. (60名)

大平和弘・生野賢司, 2019.7.31, 「ひょうご!とくしま!うずしお調査団のふりかえり」, 日本財団海と日本 PROJECT・サンテレビジョン, ウェルネスパーク五色. (60名)

大平和弘・生野賢司, 2019.8.9-9, 「ミュージアムボックスづくり講座」, 株式会社うずのくに南あわじ, 博物館. (1名)

大平和弘・生野賢司・奥井かおり, 2019.9.28, 「ビーチコーミングを楽しもう」, うずしおエコミュージアム推進委員会, 丸太浜・国立青少年交流の家. (16名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.10.23, 「どんぐりえんそく」, 播磨中央公園, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (124名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.10.30, 「どんぐりえんそく」, 播磨中央公園, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (123名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.10.31, 「どんぐりえんそく」, 播磨中央公園, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (125名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11.1, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (23名)

大平和弘, 2019.11.3, 「あそびカウンター」, 休養ゾーン活性化実行委員会, 有馬富士公園休養ゾーン. (60名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11.5, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (98名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11.6, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (86名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11.7, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (115名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11.12, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (126名)

小舘誓治・大平和弘, 2019.11.15, 「どんぐりえんそく」, 深田公園, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (26名)

大平和弘, 2019.11.16, 「あそびカウンター」, 休養ゾーン活性化実行委員会, 有馬富士公園休養ゾーン. (30名)

大平和弘・藤本真里, 2019.12.6, 「ため池法面ガーデンのファンづくり」, 加古川総合庁舎, 兵庫県東播磨県民局・東播磨フィールドステーション. (105名)

大平和弘, 2019.12.21, 「"恵み豊かなふるさとひょうご"を次代につなぐ〜今、私たちにできること〜」, デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (365名)

兵庫県立大学・大学院教育

共生地域論(主任)

人と自然の共生(分担)

共生博物学(分担)

テレビ・ラジオ等出演

2019.8, 「ひょうご!とくしま!うずしお調査団」, サンテレビニュース, 株式会社サンテレビ.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.11.17, ゆめはくキャラバン「第2回ひめじ花と緑のガーデンフェア」, 大手前公園, 姫路市, 分担者.

2019.12.3-18, ゆめはくネットワーク「ため池フローティングガーデン」, 天満大池, 稲美町, 主担当.

■連携事業

共催事業

2019.7.13-9.1, 但馬牛博物館×ひとはくコラボ展

「但馬牛のひみつと牧場公園の自然」, 兵庫県立但馬牧場公園・但馬牛博物館, 博物館, 分担者(展示制作・調整・設営).

2019.7.21, むし・うし・そうめん流し!, 兵庫県立但馬牧場公園・但馬牛博物館, 新温泉町, 分担者.

協力事業

2019.6.29, 「第3回エコスタディ☆フェス」, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課, 博物館, 分担者(企画・運営).

2019.7.30-31, ひょうご!とくしま!うずしお調査団, 株式会社サンテレビ, 鳴門市・南あわじ市, 主担当(企画・解説).

2019.9.28, 未来へつなぐ南あわじのエコと自然「ビーチコーミングを楽しもう」, うずしお科学館, 南あわじ市, 主担当(企画・運営).

2019.12.21, 「"恵み豊かなふるさとひょうご"を次代につなぐ〜今、私たちにできること〜」, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課, 分担者(ファシリテーター).

2020.2.19-3.31, 未来へつなぐ南あわじのエコと自然「ごみ?たからもの?みんなでひろった漂着物」展, うずしお科学館, 南あわじ市, 分担者(企画・調整).

■学校教育支援

学校団体対応

2019.4.24, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

2019.8.20-31, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

2019.10.4, 兵庫県立有馬高等学校.

2020.1.31, 三田市立弥生小学校.

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8.6, 甲南大学1名, 近畿大学3名, 甲南女子大学1名, 神戸女子大学1名, 岩手大学大学院1名, 京都先端科学大学1名, 神戸芸術工科大学1名.(計9名)

インターンシップ

2019.8.20-31, 兵庫県立淡路景観園芸学校1名.

■展示

2019.6.30, 佐用町三河地域づくり協議会「みかわ古写真展」, 佐用町三河基幹センター, 責任者.

2019.7.13-9.1, 但馬牛博物館×ひとはくコラボ展「但馬牛のひみつと牧場公園の自然」, 博物館, 分担者.

2019.10.6, 鉾山社宅の暮らし写真展「桜の咲くヤマの家族・昭和の記録」, 養父市大屋町明延区北星社宅, 責任者.

2019.12.3-18, ため池ガーデンのファンづくり「ため池フローティングガーデン」, 天満大池, 責任者.

2020.2.8-4.19, ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」, 博物館, 分担者.

2020.2.19-3.31, 未来へつなぐ南あわじのエコと自然「ごみ？たからもの？みんなでひろった漂着物」展, うずしお科学館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた提出文書における地形地質・景観の価値証明に関する技術支援業務」, 株式会社プレック研究所, 代表者. (45万円)

「うずしお科学館利活用および機能強化に関する技術支援業務」, 株式会社ヘッズ, 代表者. (68万円)

「棚倉町里山プロジェクト事業業務」, 棚倉町, 分担者. (105万円)

「地域計画策定支援に関わるコーディネーターのあり方に関する研究」, 三田市, 分担者. (30万円)

「地域コミュニティと連携したため池法面等でのタクティカルプレイスメイキング」, 兵庫県東播磨県民局, 代表者. (96万円; ゆめはくネットワーク)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 2回, 11名.

■行政等支援

委員会等 (計 15 件)

2013.10-, 三田市景観形成推進員, 三田市.

2017.4-, 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県阪神北県民局.

2017.4-, AWAJI 未来探検隊企画委員会, 企画委員, 国立淡路青少年交流の家.

2017.7-, 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員会, 委員, 兵庫県淡路県民局.

2017.7-, 鳴門海峡の渦潮世界遺産学術調査検討委員会コア会議, 委員, 兵庫県淡路県民局.

2018.4-, 乳幼児期の環境学習あり方検討会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課.

2018.7-, うずしお科学館運営委員会, 委員, 南あわじ市.

2018.7-, うずしお科学館運営委員会ワーキング部会, 委員, 南あわじ市.

2018.8-, 休養ゾーン活性化推進事業実行委員会, 委員, 兵庫県県土整備部まちづくり局公園緑地課.

2019.2-, エコスタディフェス実行委員会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課.

2019.4-, 三田市景観審議会, 委員, 三田市.

2019.4-, 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市.

2019.4-, ひょうごエコロコプロジェクト実行委員会, 委員, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課.

2019.7-, 兵庫県将来構想研究会, 委員, 兵庫県企

画県民部ビジョン局ビジョン課.

2019.8-, うずしおエコミュージアム推進委員会, 委員, 南あわじ市.

相談・指導助言

来訪者 20 件, 60 名. 電話・FAX20 件. メール 20 件.

■学会開催等支援

2019.6-, 日本造園学会 2020 年全国大会兵庫大会実行委員会, 委員.

2019.10.27, 日本造園学会関西支部・ランドスケープ遺産研究部会ポスター展示, 事務局.

奥井 かおり OKUI, Kaori

自然・環境マネジメント研究部

環境計画研究グループ

研究員（臨時的任用職員）

昭和57年大阪府生。兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科修士課程修了。緑環境景観マネジメント修士（専門職）。日本生態学会、植生学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース

本館リニューアル構想策定等担当。

2. プロジェクト

ふるさと兵庫こども環境体験推進事業（ひょうごエココロプロジェクト）への支援。分担者
うずしお科学館運営支援。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 伝統的な生態学的知識 (Traditional Ecological Knowledge) の研究

■その他著作

奥井かおり (2019) 見る思う。神戸新聞, 第43691号。

奥井かおり (2019) 収蔵資料の活かし方2 -記憶や思い出は収蔵できるか?-。ひとく通信ハーモニー, No.106, 4p.

奥井かおり (2019) 木の実と人の楽しい関係。厚生会だより ふれあい, No.388, 21.

大平和弘・奥井かおり (2019) どんぐりなりきりたいそう「ぐんぐんどんぐりこ」。エココロレクシオン～身近な自然と遊ぶ体験アイデア集～, 15-16.

大平和弘・奥井かおり (2019) 特集 ひょうごエココロプロジェクト、始動!!。エコひょうご, 春号 (95号), 3.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

福本優・奥井かおり・藤本真里, 2019.4.7, オープンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビンゴ～, 博物館. (80名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.5.5, オープンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビンゴ～, 博物館. (80名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・大平和弘, 2019.5.12, オープンセミナー, そとはく～たんぽぽを植えよう～, 博物館. (26名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.6.2, オープンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビンゴ～, 博物館. (120名)

大平和弘, フロアスタッフ, 奥井かおり, 2019.7, オープンセミナー「はかせと学ぼう!～ひょうごの妖怪～」, 博物館. (38名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.9.1, オープンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビンゴ～, 博物館. (196名)

福本優・奥井かおり・藤本真里, 2019.10.6, オープンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビンゴ～, 博物館. (74名)

福本優・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.11.3, オープンセミナー, そとはく～カフェ&そとはくビンゴ～, 博物館. (56名)

奥井かおり, 2019.10, 特注セミナー「どんぐりとタネさがし」, 深田公園, 博物館. (31名)

奥井かおり, 2019.11, 特注セミナー「木の実をよく見よう」, 博物館. (31名)

福本優・大平和弘・奥井かおり・藤本真里・赤澤宏樹, 2019.11, オープンセミナー「標本のミカタ「古地図ですごろく」」, 博物館. (90名)

館外講演

大平和弘・奥井かおり, 2019.7, 「ささぶねづくり」, 但馬牧場公園, 講師, 兵庫県農政環境部農林水産局畜産課. (30名)

福本優・奥井かおり, 2019.8, 「北播磨ふるさと環境体験ツアー」, 黒田庄門柳川, 講師, 北播磨県民局長. (40名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.10, 「どんぐりえんそく」, 播磨中央公園, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (124名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.10, 「どんぐりえんそく」, 播磨中央公園, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (123名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.10, 「どんぐりえんそく」, 播磨中央公園, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (125名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (23名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (98名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (86名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (115名)

大平和弘・奥井かおり, 2019.11, 「どんぐりえんそく」, 有馬富士公園休養ゾーン, 講師, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課. (126名)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.6, ひとく Kids キャラバン, 八千代コミュニティプラザ, 多可町, 分担者。

2019.6, ひとつはく Kids キャラバン, 西武庫公園,
市民運動武庫地区推進協議会, 分担者.

■連携事業

共催事業

2019.9, 未来へつなぐ南あわじのエコと自然「ビーチコーミングを楽しもう」, うずしお科学館,
南あわじ市, 分担者 (運営補助).

2020.2-5, 未来へつなぐ南あわじのエコと自然「ごみ? たからもの? みんなでひろった漂着物」
展, うずしおエコミュージアム推進委員会,
主担当 (展示制作).

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.5, 三田市立上野台中学校 1 名, 三田市立狭間
中学校 1 名, 三田市立けやき台中学校 1 名,
三田市立藍中学校 1 名. (計 4 名)

2019.11, 神戸市立有野中学校 1 名, 神戸市立有野
北中学校 1 名, 神戸市立北神戸中学校 1 名,
神戸市立鈴蘭台中学校 1 名. (計 4 名)

学校団体対応

2019.10, 三田市立弥生小学校.

2019.11, 三田市立弥生小学校.

■研修生等の受入

インターンシップ

2019.8.20-31, 兵庫県立淡路景観園芸学校 1 名.

■展示

2020.2-4, ミニ企画展「ひとつはく 研究員展 2020」,
博物館, 分担者.

2020.2-5, 未来へつなぐ南あわじのエコと自然「ごみ? たからもの? みんなでひろった漂着物」
展, うずしお科学館, 責任者.

2. シンクタンク事業

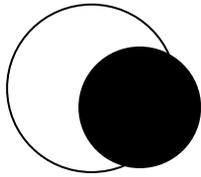
相談・指導助言

来訪者 2 件, 2 名. 電話・FAX 3 件.

視察対応

2019.12, 芝山文化生態園, 7 名.

2020.1, 芝山文化生態園, 2 名.



個人別成果報告に関する資料

●自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

石田 弘明 ISHIDA, Hiroaki

自然・環境再生研究部

生物資源研究グループ

次長／研究部長／研究グループリーダー

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 教授.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 博士(農学). 植生学会, 日本生態学会, 森林立地学会, 日本緑化工学会所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 企画・調整室

室長

2. プロジェクト

北摂里山博物館構想の支援. 代表者

棚倉町里山の再生・活用. 代表者

兵庫県における未確認植物群落の実態把握. 代表者

たつの市鶏籠山の照葉樹林の保全. 代表者

三田市皿池湿原の保全. 代表者

照葉樹林の自然性および種多様性の復元. 代表者

兵庫の植生ガイドの作成. 分担者

生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開. 分担者

植生資料データベースの構築・公開. 分担者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用. 分担者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援. 分担者

三田市南公園まちなか里山保全プロジェクトの支援. 分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援. 分担者

都市公園活用プロジェクト. 分担者

キッピー山プロジェクト(三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営事業). 分担者

ありまふじ休養ゾーン活性化プロジェクト. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林・草原の生物多様性とその保全・復元・再生に関する研究

2. 絶滅危惧植物の生態と保全に関する研究

■論文・著書

石田弘明(2019) 口永良部島に分布するタブノキ二次林の種組成および種多様性. 植生学会誌, 36,

71-79.

石田弘明・黒田有寿茂・服部 保(2019) 兵庫県西宮市越木岩神社に分布するヒメユズリハ林の植物相と種組成. 人と自然, 30, 75-83.

石田弘明・鐵 慎太郎(2019) 小笠原諸島父島の海浜に分布する国内外来種チガヤの優占群落. 人と自然, 30, 101-108.

■その他著作

石田弘明(2019) 第5回ひとはく研究員だより サクラの一種 エドヒガン. 神戸新聞, 2019年9月3日.

■研究発表

江間 薫・黒田有寿茂・石田弘明(2019) 兵庫県の棚田に分布する畦畔草原の種組成・種多様性と気候条件の関係. 植生学会第24回大会, 弘前大学, 弘前.

石田弘明(2019) 六甲山の南側地域に分布するヒメユズリハ林の生態的特性. 植生学会第24回大会, 弘前大学, 弘前.

■学会役員など

植生学会, 運営委員.

植生学会, 編集委員長.

日本緑化工学会誌, 論文査読.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 植物・植生・景観等の写真, 三田市・宝塚市・西宮市など.

■整理同定担当資料

種子標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2019.5, 大学院公開セミナー「里地里山の生物多様性の保全に向けて」, 博物館. (50名)

石田弘明, 2019.6, 一般セミナー「初夏の里山で植物を観察しよう」, 宝塚市. (20名)

石田弘明, 2019.6, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「里山林の植物を調べる」, 上郡町. (7名)

石田弘明, 2019.7, 特注セミナー「三田の自然環境の特徴」, 博物館. (16名)

石田弘明, 2019.8, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「里山林の植物を調べる」, 三田市. (7名)

石田弘明, 2019.8, 特注セミナー「三田の自然環境の

特徴」, 博物館. (22名)

石田弘明, 2019.9, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「里山林の植物を調べる」, 三田市. (7名)

石田弘明, 2019.10, 特注セミナー「里山林の生きもの」, 博物館. (92名)

石田弘明, 2019.11, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「里山林の植物を調べる」, 三田市. (7名)

石田弘明, 2019.12, 特注セミナー「人と自然の博物館の機能と活動」, 博物館. (42名)

石田弘明, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫ツアー」, 博物館. (28名)

石田弘明, 2020.1, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「里山林の植物を調べる」, 三田市. (7名)

石田弘明, 2020.2, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「里山林の植物を調べる」, 三田市. (7名)

石田弘明, 2020.2, 一般セミナー「身近な植物の生存戦略」, 博物館. (11名)

石田弘明, 2020.2, 特注セミナー「里山林の生きもの」, 博物館. (70名)

石田弘明, 2020.2, 兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習「里山林の植物を調べる(研究発表会)」, 三田市. (7名)

館外講演

石田弘明, 2019.4, 「たんぼぼをうえよう」, 兵庫県公園緑地課, 三田市. (47名)

石田弘明, 2019.5, 「湊川短期大学講義 保育内容・環境」, 湊川短期大学, 三田市. (90名)

石田弘明, 2019.5, 「皿池湿原守り人養成セミナー」, 三田市役所里山のまちづくり課, 三田市. (17名)

石田弘明, 2019.6, 「北摂里山大学第3回講座 皿池湿原の特徴と魅力」, 北摂里山博物館運営協議会, 三田市. (38名)

橋本佳延・石田弘明, 2019.6, 「清和台の森づくり」研修(初級)第2回」, 株式会社竹中工務店, 川西市. (37名)

石田弘明, 2019.6, 「木を切り、森を育てる」, 有馬富士公園運営協議会, 三田市. (26名)

石田弘明, 2019.8, 「三田の自然の特徴と課題」, 三田市役所文化スポーツ課, 三田市. (6名)

石田弘明, 2019.8, 「武庫川流域環境保全協議会エコバスツアー:武庫川流域の貴重な自然めぐり」, 武庫川流域環境保全協議会, 三田市. (29名)

石田弘明, 2019.8, 「皿池湿原見学会」, 三田市役所里山のまちづくり課, 三田市. (80名)

石田弘明, 2019.9, 「皿池湿原の特徴と魅力」, 三田市役所文化スポーツ課, 三田市. (6名)

石田弘明, 2019.10, 「武庫川の植物①」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (15名)

石田弘明, 2019.10, 「武庫川の植物②」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (18名)

石田弘明, 2019.10, 「里山林の現状と保全」, 国崎クリーンセンター啓発施設環境楽習館ゆめほたる, 川西市. (21名)

石田弘明, 2019.10, 「放置里山林の調査方法」, 国崎クリーンセンター啓発施設環境楽習館ゆめほたる, 川西市. (21名)

石田弘明, 2019.10, 「三田の里山の特徴・魅力・課題」, 三田市役所里山のまちづくり課, 三田市. (24名)

石田弘明, 2019.11, 「猪名川上流域の自然環境と自然林」, 川西市教育委員会, 三田市. (99名)

石田弘明, 2019.11, 「猪名川上流域に群生するエドヒガン」, 川西市教育委員会, 三田市. (99名)

石田弘明, 2019.11, 「ニホンジカによる自然の危機」, 川西市教育委員会, 三田市. (99名)

石田弘明, 2019.11, 「エドヒガンの移植方法について」, 棚倉町役場, 福島県棚倉町. (110名)

石田弘明, 2020.1, 「二次草原の生態と保全」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (18名)

石田弘明, 2020.1, 「皿池湿原守り人養成セミナー」, 三田市役所里山のまちづくり課, 三田市. (17名)

兵庫県立大学・大学院教育

2019.9 兵庫県立大学 集中講義「共生生物学」(分担)

2019.4-2020.3 大学院環境人間学研究科 博士前期課程学生1名(江間 薫)の研究指導(指導教員)

2019.10-2020.3 大学院環境人間学研究科 博士後期課程学生1名(田村和也)の研究指導(指導教員)

2019.10-2020.3 大学院環境人間学研究科 博士前期課程学生1名(小林 仁)の研究指導(指導教員)

2019.4-2020.3 大学院環境人間学研究科 博士前期課程学生1名(山田由紀美)の研究指導(副指導教員)

2019.4-2020.3 大学院環境人間学研究科 博士後期課程学生1名(田川 愛)の研究指導(副指導教員)

2019.8 大学大学院環境人間学研究科博士前期課程(令和2年4月入学及び令和元年10月入学)の面接委員

2019.10-2019.12 大学院環境人間学研究科大学院指導資格審査(2名) 審査委員長

2019.10-2019.12 大学院環境人間学研究科大学院指導資格審査(2名) 審査副委員長

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.11, 「キッズキャラバン」, ありの藤原幼稚園, 神戸市. 分担者

■共催・協力・後援事業

協力事業

2019.8, 皿池湿原見学会, 三田市役所里山のまちづくり課, 三田市. 協力/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

山東の自然に親しむ会, 主担当 (協働)

菊炭友の会, 主担当 (協働)

藤原千鶴, 主担当 (協働)

鐵 慎太郎, 主担当 (協働)

川野智美, 主担当 (協働)

成果発表

2020.2, 共生のひろば, 審査員.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.6, 三田市立長坂中学校 (1名), 三田市立八景中学校 (1名), 三田市立富士中学校 (1名), 三田市立ゆりのき台中学校 (1名), 宝塚市立南ひばりガ丘中学校 (1名), 神戸市立有馬中学校 (1名)

学校団体対応

2019.6, 「プロジェクト学習 里山林の植物を調べる」, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2019.8, 「プロジェクト学習 里山林の植物を調べる」, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2019.9, 「プロジェクト学習 里山林の植物を調べる」, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2019.10, 「特注セミナー 里山林の生きもの」, 猪名川町立白金小学校3年生

2019.11, 「プロジェクト学習 里山林の植物を調べる」, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2019.12, 「人と自然の博物館の機能と活動」, 兵庫県立加古川東高校1年生

2020.1, 「プロジェクト学習 里山林の植物を調べる」, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2020.2, 「プロジェクト学習 里山林の植物を調べる」, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2020.2, 「特注セミナー 里山林の生きもの」, 神戸市立星和台小学校3年生

2020.2, 「プロジェクト学習 里山林の植物を調べる (研究発表会)」, 兵庫県立大学附属中学校2年生

■研修生等の受入

インターンシップ

2019.8, 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科1名.

■展示

ミニ企画等

2019.7-9, ミニ企画展「但馬牛のひみつと牧場公園の自然」, 博物館, 分担者.

2020.2-4, ミニ企画展「ひとほく研究員展 2020」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究代表者 (25万円)

「2019年度Daigasグループ等における生物多様性対応関連業務」. 大阪ガス株式会社. 研究分担者 (134.244万円)

「棚倉町里山プロジェクト事業業務」. 棚倉町役場. 研究代表者 (100.5万円)

「三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営業務」. 三田市. 研究分担者 (1977.5万円)

■行政等支援

委員会等 (計11件)

2019.4-2020.3 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課

2019.4-2020.3 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局

2019.4-2020.3 環境情報センター客員研究員, 国崎クリーンセンター啓発施設環境楽習館ゆめほたる

2019.4-2020.3 三田市文化財保護審議会委員, 三田市生涯学習支援課

2019.6-2020.3 貴重な野生生物等専門委員会(植物群落)委員, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課

2019.5-2020.3 有馬富士公園運営協議会委員, 公益財団法人 兵庫県園芸・公園協会

2019.6-2020.3 近畿農政局水土里の環境創造懇談会委員, 農林水産省近畿農政局

2019.4-2020.3 三田市環境審議会委員, 三田市環境衛生課

2019.4-2020.3 那智の滝保全委員会委員, 那智勝浦町役場観光企画課

2019.7-2020.3 宝塚市緑の基本計画検討委員会委員, 宝塚市公園河川課

2019.9-2020.3 瀬戸内国立公園指定植物改定に関する検討会委員, 環境省中国四国地方環境事務所

視察対応

2019.12, 阪神・丹波市長会, 7名.

2019.12, 札幌市議会, 4名.

橋本佳延 HASHIMOTO, Yoshinobu

自然・環境再生研究部
生物資源研究グループ
主任研究員

昭和51年愛知県生.神戸大学大学院総合人間科学研究科
修士課程修了.学術博士.日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 造園学会等所属

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室 広報支援担当

2. プロジェクト

- 生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開, 代表者
植生資料データベースの構築・公開, 代表者
植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用, 代表者
ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援, 代表者
三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援, 代表者
東お多福山草原保全・再生プロジェクトの推進, 代表者
生物多様性協働フォーラムの枠組みを活用した生物多様性の普及・啓発, 研究開発, 代表者
兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援, 代表者
兵庫の植生ガイドの作成, 分担者
関西広域連合広域環境保全計画実践への支援, 分担者
北摂里山博物館構想の支援, 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
2. タケ類天狗巢病による竹林の衰退に関する研究
3. 里山の生物多様性保全に関する研究
4. 外来植物の侵入・定着に関する研究

■その他著作

橋本佳延. 2020.ひとはく研究員だより 豪の博物館は「楽しい場所」. 神戸新聞

■研究発表

- 橋本佳延 (2019) 国内における植生調査資料の蓄積状況～学会アンケートの結果から～. 植生学会弘前大会.弘前
橋本佳延 (2020) 全科協会外科学系博物館視察研修報告.第2回全国科学博物館協議会総会. 高知.
橋本佳延・松村俊和・澤田佳宏 (2020) 西日本における草原生植物リストの検討. 第67回日本生態学会大会. 名古屋
松村俊和・澤田佳宏・橋本佳延 (2020) ゴルフ場の植物・植生への意識: 多様性の高

い草原の残るゴルフ場での調査. 第67回日本生態学会大会. 名古屋

■学会役員など

2016.4-2020.3, 日本生態学会 生態系管理専門委員会 幹事

■助成を受けた研究

ゴルフ場の半自然草原を活用した生物多様性の保全. 文部科学省科学研究費基盤研究 (C). 分担者 (2019年度分担金0万円/総額370万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集, 川西市・三田市・神戸市・芦屋市.

■整理同定担当資料

植生映像資料, 植生調査資料.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 橋本佳延. 2019.4, 「日本一の里山, 北摂地域の早春を観察しよう」川西市黒川 (17名)
橋本佳延. 2019.4, 「早春のススキ草原を観察しよう!」東お多福山 (11名)
橋本佳延. 2019.4, 「ひとはく探検隊 『さとやま』の中を歩こう」ブイブイの森 (12名)
橋本佳延・黒田有寿茂.2019.5, 「清和台の森づくり」研修(初級)第1回(竹中工務店,竹中工務店清和台研修所, 30名)
橋本佳延. 2019.5,館外特注セミナー「生物多様性と私たちの暮らし」(神戸シルバーカレッジ, 38名)
橋本佳延. 2019.5,館外特注セミナー「草原の生物多様性と東お多福山草原保全・活用事例」(神戸シルバーカレッジ, 40名)
橋本佳延. 2019.6. 特注セミナー「ピオトープ」(神戸シルバーカレッジ, 中セミナー室・ひとはく生物多様性の森, 4名)
橋本佳延. 2019.6. 館外特注セミナー「里山と生物多様性」(やしろの森公園, 12名)
橋本佳延・石田弘明.2019.6, 「清和台の森づくり」研修(初級)第2回(竹中工務店,竹中工務店清和台研修所, 31名)
橋本佳延. 2019.7, 「まちなか里山セミナー 第1回」(中セミナー室, 11名)
橋本佳延・中西收・黒田有寿茂.2019.9.27-28, 「清和台の森づくり」研修(中級)第1回(竹中工務店,竹中工務店清和台研修所, 33名)
橋本佳延・中西收.2019.10.4-5, 「清和台の森づくり」研修(中級)第2回(竹中工務店,竹中工務店清和台研修所, 34名)
橋本佳延. 2019.10.9, 「特注セミナー 外国からやっ

てきた植物」(フレミラ宝塚 中セミナー室 19名)
 橋本佳延. 2019.10.9,「特注セミナー 生物多様性と里山管理～ブイブイの森の植物管理」(フレミラ宝塚 中セミナー室・ブイブイの森 17名)
 橋本佳延. 2019.9.,「まちなかり山セミナー 第2回」(南公園、8名)
 橋本佳延. 2019.10.,「まちなかり山セミナー 第3回」(南公園、8名)
 橋本佳延. 2019.11.,「まちなかり山セミナー 第4回」(南公園、8名)
 橋本佳延. 2019.11.,「まちなかり山セミナー 第5回」(実習室、8名)

館外講演

橋本佳延・白川勝信・岡野隆宏・西田貴明・高川晋一.2019.7,「生態系管理演習～共感力養成講座」(八王子大学セミナーハウス,日本生態学会生態系管理専門委員会, 15名)
 橋本佳延.2019.8.11,「里山の生物多様性」(コープこうべ協同学苑、兵庫県農政環境部農林水産局豊かな森づくり課,80名)
 橋本佳延.2019.9,令和元年度環境教育実践発表大会講演「小さな行動が未来を変える～わたしたちの生活と生物多様性～」(兵庫県公館,兵庫県教育委員会,346名)
 橋本佳延.2019.9.7,「東お多福山ハイキング 自身の生活する環境を知ろう！」(東お多福山、竹中工務店,18名)
 橋本佳延.2019.10.23,「東お多福山草原 秋の自然観察会」(東お多福山、Kobe ビジョンひろめ隊「六甲山グループ」,20名)
 橋本佳延.2020.1.10,基調講演「人と自然をつなぐ里山里山保全活動のあり方」(群馬県立自然史博物館、ぐんまの自然の「いま」を伝える報告会 2019,179名)
 橋本佳延. 2020.2.6, やしろの森公園 20周年記念事業 座談会第1回(やしろの森公園、やしろの森公園協会、10名)
 橋本佳延. 2020.2.16, やしろの森公園 20周年記念事業 座談会第2回(やしろの森公園、やしろの森公園協会、10名)

非常勤講師

2019.5, 里山実習, 関西学院大学.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.8-9, 館外展示「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」(花洛庵).分担者

■共催・協力・後援事業

協力事業

2019.12 ひょうご環境担い手サミット. 兵庫県 農政環境部環境創造局環境政策課, デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO), 講師

■学校教育支援

指導

2019.5 兵庫県立三田祥雲館高校探究活動 2年生、20名

2019.12.15 兵庫県立宝塚北高校探究活動 2年生、2名

学校対応

2019.6 加東市立滝野南小学校 5年生 55名(保護者27名、教員1名を含む)

2019.7 西脇市立芳田小学校 3年生 21名

2019.10 三木市立自由が丘東小学校 3年生 40名

■研修生等の受入

博物館実習生

2019.8, 甲南大学1名, 近畿大学4名, 甲南女子大学1名, 神戸女子大学1名, 岩手大学1名, 京都先端科学大学1名, 神戸芸術工科大学1名.

■展示

2019.8-9, 館外展示「日本文化を育んだ自然 where culture meets nature」.分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成31年度大阪ガス(株)姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」.大阪ガス(株).

134.244万円(責任者)

「ブイブイの森(南公園)里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務」.三田市.60万円(責任者)

「平成31年度株式会社竹中工務店における生物多様性対応関連業務」株式会社竹中工務店.108万円(責任者)

「六甲最高峰トイレ再整備に伴う生物多様性保全に資する育苗支援業務2」神戸市建設局公園部森林整備事務所.15.91万円(責任者)

「再度山永久植生保存地調査業務(第10回)」神戸市建設局公園部森林整備事務所.209.5632万円(責任者)

「六甲最高峰トイレ再整備に伴う生物多様性保全に資する育苗支援業務3」神戸市建設局公園部森林整備事務所.15.91万円(責任者)

「六甲北の畦畔を再現する屋上緑化に関する共同研究」エスペック株式会社.38.5万円(責任者)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内,3回,10名.

■行政等支援

委員会等(計4件)

2019.4- 加古川市環境審議会,委員長,加古川市

2012.7-2021.6 希少野生動植物保存推進委員、委員、環境省

2013.8- 神戸市生物多様性神戸プラン2020推進委員会、委員、神戸市

2017.5- 公益信託コープこうべ環境基金.運営委員.公益信託コープこうべ環境基金

2019 関西広域連合

相談・指導助言

来訪者5件,10名.電話・FAX5件.メール5件.

藤井 俊夫 FUJII, Toshio

自然・環境再生研究部
生物資源研究グループ
主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科修士課程修了. 理学修士. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究開発部門

生涯学習推進室 (連携事業担当)

2. プロジェクト

都市公園と里山林の植物相の保全と活用. 代表者
丹波地域の貴重種の探索と保全活動. 代表者
乾燥種子標本の収集・活用. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 野生木本植物の個体群生態学的研究
2. 貴重種の保全生態学的研究

■その他著作

藤井俊夫 (2020) 兵庫県産のヤマラッキョウ類について (おぼえがき) 兵庫植物同好会々報. 36, 24-26.

藤井俊夫・織田二郎 (2020) 大阪府にヒメミコシガヤは産しない. 近畿植物同好会会誌. 43, 24-25.

■研究発表

藤井俊夫 (2020) 兵庫県のヤマラッキョウ類について. 日本植物分類学会第19回大会, ポスター発表, 岐阜.

藤井俊夫 (2020) 草原に出現する巨大ヤマラッキョウについて. 日本生態学会第67回大会, ポスター発表, 名古屋.

■学会役員など

近畿植物同好会, 顧問.

多紀連山のクリンソウを守る会, 顧問

三重生き物と自然の会, 顧問

ささやま自然の会, 顧問

日本植物分類学会, 図書幹事

■助成を受けた研究

津波攪乱域に新規に出現した希少植物群の保全遺伝学的研究—地域固有性の解明と保全—, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B), 研究分担者 (2019年度10万円/総額2000万).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 植物標本収集, 兵庫県・大阪府・京都府・奈良県・和歌山県・三重県・滋賀県・岡山県.

■整理同定担当資料

種子標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤井俊夫, 2019.04, 一般セミナー「海岸植物観察会 (春)」, 姫路市. (6名)

藤井俊夫, 2019.05, 一般セミナー「植物観察会 (武田尾)」, 西宮市. (16名)

藤井俊夫, 2019.06, 一般セミナー「奈良公園の植物観察会」, 奈良市. (6名)

藤井俊夫, 2019.07, 一般セミナー「雑木林の植物観察会 (有馬富士)」, 三田市. (14名)

藤井俊夫, 2019.08, 一般セミナー「湿地植物観察会 (加西市)」, 加西市. (9名)

藤井俊夫, 2018.09, 一般セミナー「タヌキマメ観察会」, たつの市. (6名)

藤井俊夫, 2019.10, 一般セミナー「溜池の植物観察会 (鴨池)」, 小野市. (9名)

藤井俊夫, 2019.11, 一般セミナー「海岸の植物観察会 (秋)」, 赤穂市. (9名)

藤井俊夫, 2019.12, 一般セミナー「カヤツリグサ科勉強会」, 博物館. (10名)

藤井俊夫, 2019.06, 特注セミナー「春日山の植物とシカ」, クラーク記念国際高校, 博物館. (40名)

藤井俊夫, 2019.06, 特注セミナー「ニュータウンの植物」, 相生学園高校三田校, 博物館. (6名)

藤井俊夫, 2019.08, 特注セミナー「雑木林の観察会」, ひょうごの森インストラクター会, 三田市. (10名)

藤井俊夫, 2019.09, 特注セミナー「日本の絶滅危惧植物」, 高砂市立阿弥陀小学校3年, 博物館. (101名)

藤井俊夫, 2019.09, 特注セミナー「武田尾の植物観察会」, シニア自然大学, 武田尾. (20名)

藤井俊夫, 2019.10, 特注セミナー「種子散布の生態学」, シニア自然大学風組, 博物館. (50名)

藤井俊夫, 2019.06, トライやるウィーク. 三田市立長坂中学 (1名), 八景中学校 (1名), 富士中学校 (1名), ゆりのき台中学校 (1名) 宝塚市立ひばりが丘中学校 (1名), 神戸市立有馬中学校 (1名)

■学校教育支援

講師派遣

藤井俊夫, 2019.06, 「近畿初記録のコツブヌマハリイ観察会」, 高槻市, 近畿スゲの会 (10名)

藤井俊夫, 2020.01, 館外講演. 「毒草—山菜・薬草との比較」, 大津市. (30名)

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者31件, 37名. 電話・FAX34件. メール47件.

黒田 有寿茂 KURODA, Asumo

自然・環境再生研究部

生物資源研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 准教授.

昭和53年愛知県生. 広島大学大学院理学研究科博士課程修了. 博士(理学). 植生学会, 日本生態学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 展示更新タスクフォース

リーダー, 本館リニューアル構想の検討, インドアパーク・ミュージアム構想案の作成等

2. プロジェクト

山陰海岸における海浜植物・海浜植生の保全推進. 代表者

播磨灘沿岸における塩湿地植物・塩湿地植生の保全推進. 代表者

名勝慶野松原における海浜植物・林床植生の保全推進. 代表者

兵庫県における重要植物群落の現状把握と保全推進. 代表者

ジーンバンク事業の推進. 代表者

加東市との連携と環境学習事業への支援. 代表者

棚倉町里山再生・活用プロジェクト. 分担者

北摂里山博物館構想の支援. 分担者

たつの市鶏籠山の照葉樹林の保全. 分担者

乾燥種子標本の収集・活用. 分担者

植生資料データベースの構築・公開. 分担者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用. 分担者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援. 分担者

三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援. 分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援. 分担者

「ドリームスタジオ・フェスタ」プロジェクト. 分担者.

地域コミュニティと連携したため池法面等でのタクティカルプレイスメイキング. 分担者

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 海岸植物・海岸植生の保全に関する研究
2. 里山林の遷移と保全に関する研究
3. 絶滅危惧植物の生態と保全に関する研究
4. 兵庫県の重要植物群落に関する研究

■論文・著書

黒田有寿茂・小舘誓治 (2019) 兵庫県南東部のアカマツ・コナラ二次林におけるカキノハグサの生育立地特性. 植生学会誌, 36, 1-16.

Kuroda, A. & Sawada, Y. (2019) Species-area relationships in isolated coastal sandy patches: Implications for the conservation of beach-dune flora in a rocky coastal region of western Japan. *Applied Vegetation Science*, 22, 522-533.

■その他著作

石田弘明・黒田有寿茂・服部 保 (2019) 兵庫県西宮市越木岩神社に分布するヒメユズリハ林の植物相と種組成. 人と自然, 30, 75-83.

黒田有寿茂 (2019) 発芽と芽生え 足下の自然を観察してみよう. 厚生会だより「ふれあい」, 383, 21.

■研究発表

黒田有寿茂・鐵 慎太郎 (2019) 海浜植物イソスミレの汀線-内陸傾度における出現位置とハビタットの種組成. 植生学会第24回大会, 弘前大学創立50周年記念会館.

江間 薫・黒田有寿茂・石田弘明 (2019) 兵庫県の棚田に分布する畦畔草原の種組成・種多様性と気候条件の関係. 植生学会第24回大会, 弘前大学創立50周年記念会館.

■学会役員等

植生学会, 編集主事

HIKOBIA, 編集委員

■助成を受けた研究

塩湿地の生物多様性保全に向けた絶滅危惧植物数種における種子発芽・生育立地特性の解明. 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 研究代表者(2019年度 91万円/総額 247万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3 植物および植生の映像資料収集, 赤穂市・相生市・たつの市・姫路市・新温泉町・加西市・南あわじ市・洲本市・神戸市・明石市・福崎町・山口県・京都府・青森県・島根県・大阪府・福島県・群馬県・佐賀県・香川県・台湾(中華民国).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2019.4, オープンセミナー「寄生植物を探せ!」, 博物館. (13名)

黒田有寿茂, 2019.5, 一般セミナー「野生植物の域外保全〜ジーンファーム見学〜」, 博物館. (4名)

黒田有寿茂, 2019.5, オープンセミナー「楽しい草あそび」, 博物館. (8名)

黒田有寿茂, 2019.5, 特注セミナー「里山の植物観察・植生調査実習(分担者)」, 清和台の森づくり研修, 竹中工務店清和台の森. (25名)

黒田有寿茂, 2019.6, 特注セミナー「身近な草・木・森の観察」, 伊丹市立摂陽小学校, 博物館. (72名)

黒田有寿茂, 2019.7, 教職員・指導者セミナー「ひょうごの森と身近な樹木」, 博物館. (20名)

黒田有寿茂, 2019.8, 特注セミナー「身近な草・木・森の観察」, 三木市立別所町公民館, 博物館. (22名)

黒田有寿茂, 2019.8, 一般セミナー「海浜の植物・植生と環境」, 博物館. (1名)

黒田有寿茂, 2019.8, オープンセミナー「五感で親しむ海辺の植物」, 博物館. (35名)

黒田有寿茂, 2019.8, オープンセミナー「マツ葉で工作」, 博物館. (41名)

黒田有寿茂, 2019.9, 一般セミナー「野生植物の域外保全～ジーンファーム見学～」, 博物館. (2名)

黒田有寿茂, 2019.9, オープンセミナー「楽しい草あそび」, 博物館. (14名)

黒田有寿茂, 2019.9, 特注セミナー「里山管理実習(分担者)」, 清和台の森づくり研修, 竹中工務店清和台の森. (25名)

黒田有寿茂, 2019.9, 特注セミナー「植生調査実習(分担者)」, プイブイの森里山担い手養成講座, 三田市. (8名)

黒田有寿茂, 2019.10, 特注セミナー「葉っぱの切り絵とフロッタージュ」, 西宮市立北六甲台小学校, 博物館. (76名)

黒田有寿茂, 2019.11, 特注セミナー「秋の葉っぱ・実を使って遊ぶ」, 小野市立来住小学校, 博物館. (26名)

黒田有寿茂, 2019.11, オープンセミナー「柿もみじを楽しむ」, 博物館. (5名)

黒田有寿茂, 2019.11, オープンセミナー「秋の七草もんきりあそび(ドリームスタジオ・フェスタへの出展)」, 博物館. (56名)

黒田有寿茂, 2019.12, 一般セミナー「ひょうご五国の植生」, 博物館. (5名)

黒田有寿茂, 2019.12, オープンセミナー「葉っぱの切り絵とフロッタージュ」, 博物館. (33名)

黒田有寿茂, 2020.2, 特注セミナー「楽しい草あそび」, 認定こども園ミライズそら, 博物館. (31名)

館外講演

黒田有寿茂, 2019.10, 「明石の里山の今」, 明石自然かんきょう塾, 金ヶ崎公園. (35名)

黒田有寿茂, 2019.11, 「猪名川上流域の里山林とその歴史」, 川西市生涯学習短期大学レフネック, アステ市民プラザ. (99名)

兵庫県立大学・大学院教育

2019.9, 兵庫県立大学集中講義, 共生博物学(分担)

2019.4-2020.3, 環境人間学研究科博士前期課程学生(江間 薫)の研究指導(副指導教員)

2019.10-2020.3, 環境人間学研究科博士前期課程学生(小林 仁)の研究指導(副指導教員)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

菊炭友の会, 副担当(協働)

鐵 慎太郎, 副担当(協働)

川野智美, 副担当(協働)

江間 薫, 副担当(協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.6, 三田市立長坂中学校1名, 三田市立八景中学校1名, 三田市立富士中学校1名, 三田市立ゆりのき台中学校1名, 宝塚市立南ひばりガ丘中学校1名, 神戸市立有馬中学校1名. (計6名)

講師派遣

2019.6, 「タネの採集と観察(プロジェクト学習)」, 兵庫県立大学附属中学校. (8名)

2019.10, 「たつの市鶏籠山の植生調査」, 兵庫県立龍野高等学校. (3名)

2019.10, 「タネの採集と観察(プロジェクト学習)」, 兵庫県立大学附属中学校. (8名)

2019.11, 「タネの採集と観察(プロジェクト学習)」, 兵庫県立大学附属中学校. (8名)

2020.1, 「高雄の河原とハマウツボ」, 赤穂市立高雄小学校. (40名)

2020.1, 「タネの採集と観察(プロジェクト学習)」, 兵庫県立大学附属中学校. (8名)

2020.2, 「タネの採集と観察(プロジェクト学習)」, 兵庫県立大学附属中学校. (8名)

2020.2, 「タネの採集と観察(プロジェクト学習発表会)」, 兵庫県立大学附属中学校. (8名)

■研修生等の受入

インターンシップ

2019.8, 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科学生1名. (計1名)

■展示

2019.8-2019.9. 企画展「日本文化を育んだ自然 Where culture meets nature」, 花洛庵, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務」, 兵庫県立淡路景観園芸学校. 代表者. (24万円)

「2019年度Daigasグループ等における生物多様性対応関連業務」, 大阪ガス株式会社. 分担者. (134万円)

「棚倉町里山プロジェクト事業業務」, 棚倉町. 分担者. (105万円)

「プイブイの森(南公園)里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務」, 三田市. 分担者. (60万円)

「再度山永久植生保存地調査業務(第10回)」, 神戸市. 分担者. (209万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 4回, 51名.

■行政等支援

委員会等 (計4件)

2014.4. 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

2014.6. 加東市とひとはく協力協定連携推進会議委員, 加東市.

2018.7. 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

2018.11. 明石市環境審議会委員, 明石市.

相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話・FAX5件.

中濱 直之 NAKAHAMA, Naoyuki

自然・環境再生研究部
生物資源研究グループ
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。

平成元年大阪府生。京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了。博士(農学)。日本生態学会, 種生物学会, 日本植物分類学会, 日本森林学会, 関西自然保護機構等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 展示更新タスクフォース

2. プロジェクト

文科省博物館ネットワークにおけるレガシー事業。分担者

兵庫県における特定外来生物対策の実践型研究と政策提言および人材育成の推進。分担者。

加東市との連携と環境学習事業への支援。分担者。

ジーンバンク事業の推進。分担者。

DNA 解析用生物標本の収集及び標本中の DNA 保管方法の開発。代表者。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 半自然生態系に生息する絶滅危惧種の減少要因の解明
2. 集団遺伝学的・系統地理学的アプローチによる生物の保全単位の設定
3. 絶滅危惧種の遺伝構造に配慮した個体数、遺伝的多様性の回復手法の開発
4. ニホンジカ増加による生態系変化とその対策による回復効果の解明
5. 標本 DNA からの遺伝情報の復元手法の開発

■論文・著書

速水将人・岩崎健太・新田紀敏・中濱直之 (2019) 北海道更別村の防風林で絶滅危惧種ヤチカンバ集団を発見。 *The Journal of Japanese Botany*, 94, 117–122.

岩崎貴也・小玉あすか・松尾歩・陶山佳久・大西亘・尾関雅章・中濱直之・山本薫 (2019) 腊葉標本 DNA の MIG-seq 法による利用可能性・解析手法の検討。 *Science Journal of Kanagawa University*, 30, 89–96.

Nakahama, N., *Maebara, Y.,* Seko, Y.,* Sawahata, T. and Hayasaka, D. (Equal Contribution*) (2019) Identification of the mitochondrial DNA haplotype of an invasive *Linepithema humile* (Mayr, 1868) (Hymenoptera: Formicidae) population in Okayama Prefecture, Japan, for its effective eradication. *Entomological News*, 128, 217–225.

Suetsugu, K. and Nakahama, N. (2019) Infestation of *Phalaenopsis aphrodite* (Asparagales: Orchidaceae) flower buds by *Japanagromyza tokunagai* (Diptera: Agromyzidae) in a greenhouse on Shikoku Island, Japan. *Journal of Asia-Pacific Entomology*, 22, 816–819.

Katsuhara, R.K., Nakahama, N., Komura, T., Kato, M., Miyazaki, Y., Isagi, Y., Ito, M., and Ushimaru, A. (2019) Development of microsatellite markers for the annual andromonoecious herb *Commelina communis* f. *ciliata* (Commelinaceae). *Genes & Genetic Systems*, 94: 133–138.

Nakahama, N., Suetsugu, K., Ito, A., Hino, M., Yukawa, T. and Isagi, Y. (2019) Natural hybridization patterns between widespread *Calanthe discolor* (Orchidaceae) and insular *Calanthe izu-insularis* on the oceanic Izu Islands. *Botanical Journal of the Linnean Society*, 190, 436–449.

Nakahama, N., Isagi, Y. and Ito, M. (2019) Methods for retaining well-preserved DNA with dried specimens of insects. *European Journal of Entomology*, 116, 486–491.

速水将人・岩崎健太・新田紀敏・中濱直之 (2020) 北海道の防風保安林に息づく絶滅のおそれのある野生動植物 —生息環境と防風林管理の関係—。光珠内季報, 194, 11–16.

中濱直之 (2020) ガロアムシ科の一種。岡山県(編), 岡山県レッドデータブック 2020. 岡山県環境文化局, 183.

■その他著作

中濱直之 (2019) コラム 収蔵資料の活かし方。-博物館標本はタイムカプセル!?- ひとくは通信ハーモニー, No. 105, 4.

■研究発表

中濱直之 (2019) 遺伝情報を長期保存できる昆虫乾燥標本作製手法の開発。第1回兵庫県立大学全学研究会。兵庫県立大学姫路工学キャンパス

中濱直之・内田圭・丑丸敦史・井鷲裕司 (2019) 標本 DNA から見えた草原性絶滅危惧蝶類の歴史。第90回日本動物学会大会。大阪市立大学杉本キャンパス

河上康子・山崎一夫・大橋和典・中濱直之 (2019) ミトコンドリア DNA 配列に基づく分布北上種ダングラテントウの集団構造と集団動態。日本甲虫学会第10回大会。九州大学伊都キャンパス。(2019年12月1日。福岡)

中濱直之・井鷲裕司・伊藤元己 (2019) DNA の劣化を防ぐ昆虫乾燥標本作製手法の開発。第51回種生物学シンポジウム。コテージ・ヒムカ。

中濱直之 (2020) 標本の遺伝情報から明らかとなった草原性絶滅危惧種の減少要因。日本生態学会関東地区会公開シンポジウム。東京大学弥生キャンパス。

中濱直之 (2020) 保全遺伝学における昆虫標本の可能性-マイクロサテライト解析の事例-. 日本生態学会第 67 回大会. 名城大学天白キャンパス.

小山明日香・内田圭・岩崎貴也・中濱直之・須賀丈・尾関雅章 (2020) 亜高山帯・半自然草原での防鹿柵設置は絶滅危惧植物の消失を防ぐ. 日本生態学会第 67 回大会. 名城大学天白キャンパス.

■学会役員等

日本生態学会 大会企画委員会 高校生ポスター部会

関西自然保護機構 編集委員

Entomological Science, 論文査読 (3 回)

Plant Species Biology, 論文査読

Zoological Science, 論文査読 (2 回)

Journal of Forest Research, 論文査読 (2 回)

保全生態学研究, 論文査読 (4 回)

■助成を受けた研究

長野県霧ヶ峰高原での防鹿柵設置による絶滅危惧動植物の保全・再生効果. プロ・ナトゥーラ・ファンド, 研究分担者 (10 万円)

博物館標本の遺伝情報に基づいた絶滅危惧種の保全単位の設定. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金若手研究, 研究代表者 (2019 年度 104 万円/総額 416 万円)

里山に生育する絶滅危惧植物サギソウにおける遺伝的攪乱の検出. 公立大学法人兵庫県立大学令和元年度特別研究助成金若手支援, 研究代表者 (20 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.7-10, 植物, 豊岡市・宝塚市・姫路市・三田市・神戸町・加西市・長野県・静岡県・京都府・奈良県・大阪府・和歌山県・鳥取県・香川県・徳島県.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

中濱直之. 2019.9, 特注セミナー「むし取りペナントレース」, 三田市立すずかけ台小学校, 博物館. (76 名)

中濱直之. 2019.9, 特注セミナー「むし取りペナントレース」, 三田市立弥生小学校, 博物館. (34 名)

中濱直之. 2019.10, オープンセミナー「秋の七草はどこにいる?」, 博物館. (31 名)

中濱直之. 2019.10, 特注セミナー「里山に住む昆虫のこれまでとこれから」, 宝塚市立長尾小学校, 博物館. (211 名)

中濱直之. 2019.10, 特注セミナー「むし取りペナントレース」, 芦屋市立宮川小学校, 博物館. (97 名)

中濱直之・黒田有寿茂. 2019.11, オープンセミナー「秋から冬の生きものをさがしてみよう」 博物館.

(52 名)

館外講演

中濱直之, 2019.5, 「シカ柵による昆虫相の保全効果」, 霧ヶ峰高原研究会, 長野県諏訪合同庁舎. (45 名)

中濱直之, 2019.5 「生物標本が秘める遺伝 資源としての可能性」, 自然史レガシー継承・発信実行委員会, YIC 京都工科自動車大学校. (20 名)

中濱直之, 2019.5 「標本 DNA から読み解く草原製絶滅危惧種の歴史と保全」, 神戸大学生態学系研究室合同セミナー, 神戸大学六甲台地区. (40 名)

中濱直之, 2019.7 「過去の遺伝情報に基づく草原性絶滅危惧種の保全単位の設定」, 兵庫県立大学, 兵庫県立大学神戸情報科学キャンパス, (7 名)

中濱直之, 2019.7 「食べて・調べて・考える 美味しい里山探検隊!」, 森の都研究所, 丹波市市島. (24 名)

中濱直之, 2019.8 「クワガタの森づくりにチャレンジ!」, 森の都研究所, 丹波市市島. (24 名)

中濱直之, 2019.11 「博物館標本の遺伝情報を生物多様性保全に活用する」, 昆虫学土曜セミナー, 岡山大学津島キャンパス (19 名)

中濱直之, 2020.1 「博物館収蔵標本から探る過去の自然環境: 過去を知るタイムマシンとしての標本」, 信州大学自然科学館 2019 年度公開シンポジウム, 信州大学松本キャンパス (50 名)

中濱直之, 2020.1 「サギソウの保全遺伝学 - 遺伝的攪乱の検出と保全単位設定 -」, 神戸大学生態学系研究室合同セミナー, 神戸大学六甲台地区. (20 名)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.8, キャラバン「ゆめはく・虫いろいろ」, 吹田市立博物館, 吹田市, 分担者.

2020.2, ひとはく Kids キャラバン, 洲本幼稚園, 洲本市, 分担者.

2019.8-9, 企画展「日本文化を育んだ自然 Where culture meets nature」(花洛庵) 分担者

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.6, 三田市立ゆりのき台中 2 名, 三田市立八景中学校 1 名, 三田市立富士中学校 1 名, 宝塚市立南ひばりヶ丘中学校 1 名, 神戸市立有馬中学校 1 名. (計 6 名)

学校団体対応

2019.12, 大阪府立大学研究推進機構.

講師派遣

2019.5, 「生活の中の生物学」, 龍谷大学農学部学部生. (219 名)

2019.7, 「半自然草原性生物と人との関わり-これまでの歴史と今後の保全-」, 熊本大学理学部学部生・自然科学研究科大学院生. (62 名)

2019.7, 「フィールド科学実習」 西宮今津高等学校生徒・宮津高等学校フィールド探究部, (31 名)

■展示

2019.8-9, 企画展「日本文化を育んだ自然 Where culture meets nature」(花洛庵) 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「ブイブイの森(南公園) 里山保全・育成プロジェクト 里山担い手養成業務」, 三田市, 分担者. (60万円)

「再度山永久植生保存地調査業務(第10回)」, 神戸市建設局, 分担者. (209.5632万円)

「六甲北の畦畔を再現する屋上緑化に関する共同研究」, エスペック株式会社, 分担者. (35.8万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 1回, 1名.

■行政等支援

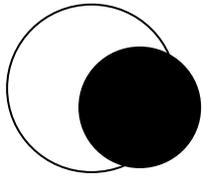
委員会等(計2件)

2019.7, 兵庫県立神戸高校 サイエンスアドバイザー.

2019.9-10, 加東市ノーベル大賞審査委員.

相談・指導助言

来訪者6件, 16名, 電話・FAX 10件, メール 20件.



個人別成果報告に関する資料

●自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ

八木 剛 YAGI, Tsuyoshi

自然・環境再生研究部
コミュニケーション・デザイン研究グループ
主任研究員・研究グループリーダー
昭和43年大阪府生。神戸大学大学院農学研究科修士課程修了。日本昆虫学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. キッズひとはく推進タスクフォース
サブリーダー
2. プロジェクト
キッピー山プロジェクト（三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営事業）、代表者
Kids キャラバンプロジェクト、代表者
但馬牛博物館改修支援プロジェクト、代表者
ミュージアムキッズプロジェクト、代表者
NPO 法人こどもとむしの会との連携（佐用町昆虫館）、代表者
幼児期の環境学習ネットワーク推進事業への支援プロジェクト、分担者
キッズサンデープロジェクト、分担者
棚倉町里山プロジェクト、分担者

<研究開発>

1. 調査研究
 - 特別課題研究（個人研究）
 1. 博物館における学びのデザインに関する研究
 2. 昆虫の分布に関する研究
 - 論文・著書
東川 航・吉村真由美・八木 剛・前藤 薫（2019）水田地帯における赤とんぼの衰退と保全に関する課題—生息地利用の視点から—。陸水学雑誌 (*Japanese Journal of Limnology*), 80, 107–124.
小舘誓治・高瀬優子・古谷裕・八木剛・高橋晃（2019）自然系博物館における小さな子ども向けの日「Kids サンデー」の設定とその初期成果。博物館学雑誌, 44, 83–86。
八木 剛（2019）こどもひかりプロジェクト：震災を機に生成されたミュージアム連携の新たなスタイル。pp.109–110。日本社会教育学会（編）東日本大震災と社会教育。東洋館出版社, 263pp.
 - その他著作
八木 剛（2019）佐用町昆虫館10年間の活動報告。きべりはむし, 42(1), 10–19

八木 剛（2019）ひとはく研究員だより「虫とりで生きものに興味を」。神戸新聞。

■研究発表

小舘誓治・八木剛・大平和弘・高橋晃（2019）自然系博物館における学習支援～Kids キャラバンにおける幼稚園教員等に対する事前学習の実施と反応。全日本博物館学会第45回研究大会，新潟県立歴史博物館

■学会役員等

日本昆虫学会，代議員

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.5-11, 昆虫類, 神戸市北区・新温泉町・佐用町。

■整理同定担当資料

昆虫（双翅目，蛾類，トンボ類，直翅類）

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 八木 剛, 2019.4-2020.3, 一般セミナー「ユース昆虫研究室」, あいな里山公園・博物館。(全12回, 131名)
- 八木 剛, 2019.4, オープンセミナー「ツクシとスギナ」, 深田公園・博物館。(13名)
- 八木 剛, 2019.6, オープンセミナー「バッタの赤ちゃんをみつけよう」, 深田公園・博物館。(65名)
- 八木 剛, 2019.6, オープンセミナー「昆虫のパーツを拡大スケッチ」, 博物館。(17名)
- 八木 剛, 2019.9, オープンセミナー「チャレンジ! トンボとり」, 深田公園・博物館。(96名)
- 八木 剛, 2019.11, オープンセミナー「どんぐりとどんぐりむし」, 深田公園・博物館。(73名)
- 八木 剛, 2019.6, オープンセミナー「昆虫を分解してみよう」, 博物館。(27名)
- 八木 剛, 2019.4-9, オープンセミナー「そとはく～移動博物館車「ゆめはく」体験～」, 博物館前。(2回・246名)
- 八木 剛, 2020.1, オープンセミナー「冬のプチむしむしたいけん」, 博物館。(92名)
- 八木 剛・フロアスタッフ, 2020.1, オープンセミナー「チビクワガタをゲットしよう!」, 深田公園・博物館。(232名)

八木 剛 2019.5, 特注セミナー「ほたるの話」, さ
んだワイズメンズクラブ, 博物館. (15名)

館外講演

八木 剛, 2019.6. 「JR 姫新線イベント列車「むし
むし号」で行くむしとりペナントレース&む
しむしたいけん in 笹ヶ丘公園」, JR 姫新線活
性化協議会 (西播磨県民局), 佐用町. (80
名)

八木 剛, 2019.7. 「虫とり大作戦」, 熊本県立装
飾古墳館, 熊本県山鹿市. (150名)

八木 剛, 2019.7, 「セミナリエ」, 七松幼稚園親子
学級, 七松幼稚園・昭和公園, 尼崎市. (50
名)

八木 剛, 2019.7, 「セミナリエ」, すもとっ子まな
びプロジェクト実行委員会・洲本市教育委員
会, 塩屋緑地公園, 洲本市. (100名)

八木 剛, 2019.7. 「貸切バスで行くホテル観察ツ
ア一日&Night」, 兵庫県西播磨県民局, 佐用
町昆虫館, 佐用町. (50名)

八木 剛, 2019.7. 「昆虫大捜査線」, 青森県立三
沢航空科学館, 青森県三沢市. (120名)

八木 剛, 2019.7. 「100人の昆虫大捜査線」, 岩手
県立児童館いわて子どもの森, 岩手県一戸
町. (120名)

八木 剛, 2019.8, 「親子で行くハチ北高原ライト
トラップ」, 企画運営: NPO 法人こどもとむし
の会, ハチ北高原, 香美町. (25名)

八木 剛, 2019.9. 「虫とりペナントレース」, フ
レミラ宝塚, 宝塚市. (20名)

非常勤講師

2019.5, 「保育内容環境」, 湊川短期大学.

2019.6, 「こどもと保育」, 兵庫教育大学.

2019.5-2020.2, 「プロジェクト学習」, 兵庫県立大
学附属中学校.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.4, ひとく Kids キャラバン, 聖マリアの園
幼稚園, 神戸市垂水区, 主担当.

2019.5, ひとく Kids キャラバン, プリスクール
べふ保育園, 加古川市, 分担者.

2019.10, ひとく Kids キャラバン, みやま保育
園, 小野市, 主担当.

2019.11, ひとく Kids キャラバン, 三木市立上の
丸保育所, 三木市, 主担当.

2019.11, ひとく Kids キャラバン, 名塩保育園,
西宮市, 分担者.

2020.2, ひとく Kids キャラバン, 川西北保育
所, 川西市, 主担当.

2019.10, エコロコしぜんえんそく, たつの市立西
栗栖こども園, 赤穂海浜公園, 赤穂市, 主担
当.

2019.10, エコロコしぜんえんそく, 三恵城山こど
も園, 赤穂海浜公園, 赤穂市, 主担当.

2019.10, エコロコしぜんえんそく, たつの市立御

津北こども園, 赤穂海浜公園, 赤穂市, 主担
当.

2019.10, エコロコしぜんえんそく, 太子町立斑鳩
幼稚園・加古川市立平岡東幼稚園, ひょうご
環境体験館, 佐用町, 主担当.

2019.5, ひとくはかせとしぜんたいけん, 姫路市
立中寺幼稚園, 姫路市, 主担当.

2019.5, ひとくはかせとしぜんたいけん, 伊丹市
立ありおか幼稚園, 伊丹市, 主担当.

2019.5, ひとくはかせとしぜんたいけん, 伊丹市
立神津こども園, 伊丹市, 主担当.

2019.5, ひとくはかせとしぜんたいけん, 加東市
立米田こども園, 加東市, 主担当.

2019.5, ひとくはかせとしぜんたいけん, 湊川短
期大学附属神陵台幼稚園, 神戸市垂水区, 主
担当.

2019.6, ひとくはかせとしぜんたいけん, 高岡育
児園, 加東市, 主担当.

2019.6, ひとくはかせとしぜんたいけん, 丹波篠
山市立大山幼稚園, 丹波篠山市, 主担当.

2019.6, ひとくはかせとしぜんたいけん, 洲本市
立大野幼稚園, 洲本市, 主担当.

2019.6, ひとくはかせとしぜんたいけん, 神戸市
立高倉台保育所, 神戸市垂水区, 主担当.

2019.6, ひとくはかせとしぜんたいけん, 西宮市
立甲東北保育所, 西宮市, 主担当.

2019.6, ひとくはかせとしぜんたいけん, 神戸市
立宮本保育所, 神戸市中央区, 主担当.

2019.6, ひとくはかせとしぜんたいけん, 明石市
立松が丘保育所, 明石市, 主担当.

2019.7, ひとくはかせとしぜんたいけん, 仁川ウ
エル保育園, 宝塚市, 主担当.

2019.7, ひとくはかせとしぜんたいけん, たちえ
幼稚園, 神戸市兵庫区, 主担当.

2019.9, ひとくはかせとしぜんたいけん, 山本南
保育園, 宝塚市, 主担当.

2019.9, ひとくはかせとしぜんたいけん, 緑台幼
稚園, 川西市, 主担当.

2019.9, ひとくはかせとしぜんたいけん, たつの
市立神岡幼稚園, たつの市, 主担当.

2019.10, ひとくはかせとしぜんたいけん, 林神
社保育園, 明石市, 主担当.

2019.10, ひとくはかせとしぜんたいけん, 淡路
市立釜口保育所, 淡路市, 主担当.

2019.8, ブイブイみつけてん (エコロコ), あかし
市民図書館, 明石市, 主担当.

2019.8, ブイブイみつけてん (エコロコ), 兵庫県
立図書館, 明石市, 主担当.

2019.5, 吉川児童館 第3回にこにこまつり, 吉川
総合公園, 三木市, 主担当.

2019.11, ミュージアムキッズ全国フェア, 国立淡
路青少年交流の家, 南あわじ市, 主担当.

■連携事業

共催事業

- 2019.4. 「昆虫大捜査線 in はりちゅう」, 兵庫県公園園芸協会, 播磨中央公園, 加東市, 主担当.
- 2019.5. 「昆虫大捜査線〜ひとはく昆虫博士・八木剛先生からの挑戦状」, 洲本市教育委員会. 五色県民健康村トレーニングセンター, 洲本市, 主担当.
- 2019.5. 「いながわひめぼたるういーく 2019」, 猪名川流域ひめぼたるネットワーク, 猪名川河川敷, 伊丹市, 主担当.
- 2019.7. 「夏休み自由研究特集 むし・うし・そうめん流し!」, 但馬牧場公園, 新温泉町, 主担当.
- 2019.8. 「あいな里山公園でむしむしたいけん」, あいな里山公園, 神戸市北区, 主担当.
- 2019.9. 「昆虫大捜査線 in 丹波並木道中央公園」, 兵庫県公園園芸協会, 丹波並木道中央公園, 丹波篠山市, 主担当.
- 2019.9. 「昆虫大捜査線 in 赤穂海浜公園」, 兵庫県公園園芸協会, 赤穂海浜公園, 赤穂市, 主担当.

協力事業

- 2019.7-10. 「マウレ昆虫ランド」, 株式会社碧雲堂ホテル&リゾート, マウレ・メモリアル・ミュージアム, 北海道遠軽町, 主担当.

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

- NPO 法人人と自然の会, 主担当 (協働)
- run♪run♪ plaza, 主担当 (協働)
- テネラル, 主担当 (協働)
- 鳴く虫研究会きんひばり, 主担当 (協働)
- 猪名川流域ひめぼたるネットワーク, 主担当 (協働)
- 地域研究員: 吉田浩史, 主担当 (協働)

■学校教育支援

学校団体対応

- 2019.5. 特注セミナー「兵庫のホタル」, 甲子園学院小学校低学年, 博物館. (36名)
- 2019.6. 「第3回エコスタディフェス『葉っぱの観察方法』」, 講師, 幼稚園・保育所等教員, 博物館・深田公園 (98名).
- 2019.7. 特注セミナー「むしとりペナントレース」, 三田市立弥生小学校, 深田公園. (33名)
- 2019.9. 特注セミナー「トンボとりペナントレース」, 稲美町立天満小学校, 深田公園. (129名)
- 2019.9. 特注セミナー「むしとりペナントレース」, 高砂市立荒井小学校, 深田公園. (150名)
- 2019.10. 特注セミナー「トンボとりペナントレース」, 稲美町立天満東小学校, 深田公園. (67

名)

2019.10. 特注セミナー「むしのはなし」, 稲美町立加古小学校, 博物館. (58名)

2019.10. 特注セミナー「むしとりペナントレース」, 明石市立藤江幼稚園, 深田公園. (129名)

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8 近畿大学1名, 京都造形芸術大学1名, 神戸芸術工科大学1名. (計3名)

■展示

2019.4-2019.12 「あいな昆虫2018」, あいな里山公園. 代表者.

2019.7-9, 「但馬牛のひみつと牧場公園の自然」, 博物館, 分担者.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「棚倉町里山プロジェクト事業業務」, 福島県棚倉町, 分担者. (105万円).

「三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営業務」, 三田市, 代表者. (1,977.5万円)

■行政等支援

委員会等 (計7件)

2015-, 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局.

2015-, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県自然環境課.

2015-, 生物多様性神戸プラン2020推進委員会, 委員, 神戸市環境局.

2017-, 有馬富士公園運営計画協議会, 委員, 兵庫県立有馬富士公園

2017-, 地域の核となる博物館実行委員会, 委員, 南相馬市博物館

2018-, 乳幼児期の環境学習あり方検討会, 委員. 兵庫県環境政策課.

2019-, 地球アトリエ構想検討委員会, 委員. 兵庫県公園緑地課.

相談・指導助言

来訪・電話・メール, 30件.

■学会開催等支援

2020.2, こどもひかりプロジェクト研究交流会 in SENDAI 2020, 事務局. 地底の森ミュージアム (仙台市富沢遺跡保存館).

三谷 雅純 MITANI, Masazumi

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授

昭和29年香川県生。京都大学大学院動物学研究科博士
後期課程修了。理学博士。日本福祉のまちづくり学
会、日本霊長類学会、International Primatological Society、
日本コミュニケーション障害学会、日本熱帯生態学
会、日本アフリカ学会、全日本博物館学会、日本生態
学会などに所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究シンクタンク推進室

研究紀要「人と自然 (Humans and Nature)」編集委員
長

2. プロジェクト

言語音がわかりにくい高次脳機能障害者とともに作
る生涯学習施設の放送音声。代表者

アフリカ中央部 (カメルーン、コンゴ共和国など)
の既存収集品の整理。代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 人間行動科学から見たヒトのコミュニケーション行動の研究
2. インクルーシブ・デザインから見た生涯学習のあり方の研究
3. 失認のある高次脳機能障害者に理解しやすい公共放送の研究

■共同研究

1. Indonesia, Java 島の Pangandaran NR におけるシルバールトン (霊長類) 個体群の長期調査と森林動態。

■論文・著書

Yamato Tsuji, Masazumi Mitani, Kanthi Arum Widayati, Bambang Suryobroto, Kunio Watanabe (2019) Dietary habits of wild Javan lutungs (*Trachypithecus auratus*) in a secondary-plantation mixed forest: Effects of vegetation composition and phenology. *Mammalian Biology* 98: 80-90

[<https://www.sciencedirect.com/science/article/abs/pii/S1616504718303410?via%3Dihub>]

三谷雅純 (2019) 聴覚失認者に認知しやすいチャイム音は存在するか——視覚刺激と数値計算の負荷による検討——。福祉のまちづくり研究 21: 13-23

渡邊邦夫・三谷雅純 (2019) 日本列島にみる人とニホンザルの関係史—近年の急激な分布拡大と農作物被害をもたらした歴史的要因—。人と自

然 30: 49-68

[<https://www.hitohaku.jp/publication/r-bulletin/2019-004-2.pdf>].

■その他著作

三谷雅純 (2019) ヒトの進化とスペクトラム。シリーズ「人と自然、地域と向き合う一人博の多様な調査・研究活動の歩み」、人と向きあう。人と自然の博物館

[<https://www.hitohaku.jp/publication/p-about/30thanniv-humanevolution&spectrum.pdf>]

三谷雅純 (2019) 森の奥の人生。想像文化研究組織機関紙「想文研だより」 10: 6-7

[http://ici.webcrow.jp/pdf/soubunken_2019_6.pdf]

三谷雅純 (2019) 聴覚失認のある高次脳機能障がい者に適した災害チャイム。ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成成果報告書 12: 9-19

[http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfyjyosei/2018/bfyjyosei_2018result_181-1.html]

三谷雅純 (2019) ひとはく研究員だより 言語の進化史。神戸新聞 9月15日

三谷雅純 (2019) 言語の進化史 巻頭特集 生命の起源。切り抜き速報 科学と環境版 408: 12

三谷雅純 (2019) さまざまな人を包み込むには。ひとはく通信 (ハーモニー) 107: 4

三谷雅純 (2019) 三谷雅純の『風に聞く』①「河合雅雄さんのこと」。西宮想像文化フォーラム機関紙「フォーラムだより」 1: 3

[http://ici.webcrow.jp/pdf/soubunken_2019_12.pdf]

三谷雅純 (2019) 研究紀要「人と自然 Humans and Nature」編集後記。

[<https://www.hitohaku.jp/publication/r-bulletin/2019-013.pdf>]

三谷雅純 (2020) 聴覚失認者にはどんなチャイムが注意喚起になるのだろう。ミニ企画展「ひとはく研究員展 2020」コミュニケーション・デザイン研究グループ。

[https://www.hitohaku.jp/exhibition/planning/6-2_2020-mitani.pdf]

三谷雅純 (2020) 多感覚統合を利用した聴覚失認者にも分かりやすい緊急災害情報の放送法。

ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成完了報告書、交通エコロジー・モビリティ財団。

■ブログへの情報提供

3件

三谷雅純 (2019) 「研究報告『聴覚失認者に認知しやすい緊急災害時のチャイム音』を探る視聴覚実験を行いました。

[https://www.hitohaku.jp/shizenken/news/2019/11/15/Study_Report_2019.pdf]

三谷雅純 (2019) 「聴覚失認者に認知しやすい緊急災害時のチャイム音」に関する論文の出版について。 [<https://www.hitohaku.jp/research/h-research/2019-11-mitani.html>]

三谷雅純 (2019) ひとほく研究員の発表論文紹介
「聴覚失認者に認知しやすいチャイム音は存在するか？」. [https://www.hitohaku.jp/research/h-research/2019.html#2019-11-mitani]

■学会役員等

日本福祉のまちづくり学会 (関西支部), 幹事
人と自然 Humans and Nature, 編集委員長
人と自然 Humans and Nature, 査読者

■助成を受けた研究

言語音の認知が難しい高次脳機能障がい者もそうでない人も共に分かる放送方法の研究. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) (基盤研究(C)), 日本学術振興会, 研究代表者 (130万円/377万円)
多感覚統合を利用した聴覚失認者にも分かりやすい緊急災害情報の放送法. 2019年度 ECOMO 交通バリアフリー研究・活動助成, 研究代表者 (95万円)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三谷雅純 2019.5 一般セミナー「霊長類学 頭の体操 2019年版」, 博物館 (5名).
三谷雅純 2019.6 一般セミナー「<こころ>と<ことば>を科学する 2019年版」, 博物館 (6名).
三谷雅純 2019.7 教職員・指導者セミナー「『障害』のある子どもたちが感じていること」, 博物館. (29名)
三谷雅純 2019.9 特注セミナー「道具を使うチンパンジー」, 兵庫県立芦屋国際中等教育学校, 博物館. (89名)
三谷雅純 2019.11 兵庫県立有馬高等学校連携講座: 霊長類学が描くヒトの姿—〈ことば〉の不思議—, 博物館. (34名)
三谷雅純 2019.12 一般セミナー「多様な人と地域で暮らす」, 博物館. (12名)

館外講演

三谷雅純 2019.9 青少年育成事業団キャンプ活動リーダー講習「自閉症の子どもが感じていること」, 関西テレビ (70名)
三谷雅純 2020.2 「高齢者の人類学 ”異民族” としての障がい者」, 甲南大学西宮キャンパス CUBE, 西宮想像文化フォーラム (80名)

兵庫県立大学・大学院教育

2019.6-7 令和元年度西地区共通教育科目「人と自然の共生」(霊長類学の立場から), 姫路書写キャンパス, (全3回, のべ120名)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

市民団体「サイエンス・サロン」(主催)

■学校教育支援

学校団体対応

2019.9, 兵庫県立芦屋国際中等教育学校, 89名.
2019.11, 兵庫県立有馬高等学校, 34名.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計2件)

2019.4-2020.3, Primate Specialist Group and Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).

2019.4-2020.3, 青少年育成事業団, 理事, (財)関西テレビ青少年育成事業団.

相談・指導助言

来訪者10件, 30名. メール200件.

2019.4- 高次脳機能障がい者のアクティビティについて.

2019.4- 障がい児のキャンプを中心とした野外活動について.

2019.4- 高齢者を中心とした生涯学習・地域活動のあり方について

小館 誓治 KODATE, Seiji

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門
講師。

昭和37年福岡県生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。学術博士。森林立地学会、植生学会、日本ペドロロジー学会、全日本博物館学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. Kids タスクフォース。

リーダー

2. プロジェクト

Kids サンデープロジェクト。代表者

「深田公園植物情報」展示等による演示プログラムの試行プロジェクト。代表者

年配者と地域の子どもをつなぐプロジェクト。代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 博物館教育に関する研究

■論文・著書

小館誓治・高瀬優子・古谷 裕・八木 剛・高橋 晃 (2019) 自然系博物館における小さな子ども向けの日「Kids サンデー」の設定とその初期成果。博物館学雑誌, 44(2), 83-86. 全日本博物館学会。

黒田有寿茂・小館誓治 (2019) 兵庫県南東部のアカマツ・コナラ二次林におけるカキノハグサの生育立地特性。植生学会誌, 36(1), 1-16.

佐伯岳春・小館誓治 (2020) 博物館と保育者養成校における連携の在り方と有効性に関する一考察—学生の実践における「不安」に着目して—。湊川短期大学紀要, 56, 1-11.

■その他著作

小館誓治 (2019) 紅葉するモミジバフウ。Town Life, 341:2.

小館誓治 (2020) 自然環境や生きものに関する小さな子どもへの学びの支援。ひとはく通信ハーモニー, 108:2-3.

小館誓治 (2020) 木の葉っぱ7カード「エコロコレクション～身近な自然と遊ぶ体験アイデア集～」。兵庫県環境政策課, 13-14.

小館誓治 (2020) ひとはく研究員だより「土壌を分析し、森林保全に役立ってる」3月23日掲載。神戸新聞。

■研究発表

小館誓治・八木 剛・大平和弘・高橋 晃 (2019)

自然系博物館における学習支援 ～Kids キャラバンにおける幼稚園教員等に対する事前学習の実施と反応。全日本博物館学会第45回研究大会, 新潟県立歴史博物館。

小館誓治・高瀬優子 (2019) エコロコ・しぜんたいけんミニ！。ひょうごユース eco フォーラム, デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)。

小館誓治 (2020) なぜ子どもなのか？小さな子どもとその家族向け「ひとはく Kid サンデー」の成果と波及効果。こどもひかりプロジェクト研究交流会, 仙台市富沢遺跡保存館。

■ブログへの情報提供

11件

■学会役員等

投稿原稿の査読：人と自然

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.3, 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集, 神戸市・芦屋市など。

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

小館誓治, 2019.4, 「芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る(春)」, 芦屋市 (6名)。

小館誓治, 2019.5, オープンセミナー「春のお花を見つけよう」, 博物館・深田公園 (62名)。

小館誓治, 2019.5, オープンセミナー「葉っぱぐるぐるをつくろう！」, 博物館 (70名)。

小館誓治, 2019.5, 「六甲山『森の植物』観察会(春)」, 神戸市・六甲山 (9名)。

小館誓治, 2019.6, オープンセミナー「ツバメ型の紙ヒコーキをつくろう！」, 博物館 (60名)。

小館誓治, 2019.6, 「太山寺周辺の樹林で多様性を知る」, 神戸市・太山寺 (9名)。

小館誓治, 2019.7, オープンセミナー「3つの小さな葉の植物を観察しよう」, 博物館 (8名)。

小館誓治, 2019.7, オープンセミナー「はねる生きもののおもちゃをつくろう！」, 博物館 (86名)。

小館誓治, 2019.7, 「森と土の観察会(再度山編)」, 神戸市・再度山 (7名)。

小館誓治, 2019.7, 教職員・指導者セミナー「小さな子どもの指導者向け 身近な植物の観察の仕方」, 博物館・深田公園 (14名)。

小館誓治, 2019.8, オープンセミナー「くるくるまわるタネのもけいをつくろう！」, 博物館 (61名)。

小館誓治, 2019.7-8, 博物館(館園)実習「自然素材

を使った親子向けプログラムの企画・実施に関する実習」, 博物館. (4名)

小舘誓治, 2019.8, 教職員・指導者セミナー「森の土の基礎を学ぶ」, 博物館・深田公園 (6名).

小舘誓治, 2019.9, オープンセミナー「キラキラなムシのかざりをつくろう!」, 博物館・深田公園 (85名).

小舘誓治, 2019.10, オープンセミナー「ひつつきむしでかおをつくろう!」, 博物館・深田公園 (40名).

小舘誓治, 2019.11, オープンセミナー「葉っぱぐるぐるをつくろう!」, 博物館 (77名).

小舘誓治, 2019.11, 「六甲山『森の植物』観察会(秋)」, 神戸市・六甲山 (7名).

小舘誓治, 2019.11, 「芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る(晩秋)」, 芦屋市 (7名).

小舘誓治, 2019.12, オープンセミナー「赤い葉っぱをさがそう!」, 博物館・深田公園 (36名).

小舘誓治, 2019.12, オープンセミナー「タネであそぼう!」, 博物館 (84名).

小舘誓治, 2020.1, オープンセミナー「マツボックリでけん玉をつくってあそぼう!」, 博物館 (69名).

小舘誓治, 2019.5-2020.3, フレミラ宝塚しぜんクラブ定例「小さな子どもの指導者 向け講座」(全5回), 宝塚市 (56名)

館外講演

小舘誓治, 2019.4, 「六甲山の植物観察とその手法を学ぶ」, 六甲山自然案内人の会, 講師, 神戸市. (62名).

小舘誓治, 2019.5, 「プロジェクト学習」, 兵庫県立大学附属中学校 (1年生), 講師, 博物館. (70名).

小舘誓治, 2019.6, 明石公園をしょくぶつ博士とたんけんしよう!」, 兵庫県立図書館, 講師, 明石市. (21名).

小舘誓治, 2019.6, 「武田尾駅周辺の自然観察 (2年生)」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市. (9名).

小舘誓治, 2019.6, 「武田尾駅周辺の自然観察 (1年生)」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市. (14名).

小舘誓治, 2019.6, 地域の自然を学ぶI「地域の植生・植物を知る (自然の見方)」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚市. (31名).

小舘誓治, 2019.7, 地域の自然を学ぶII「地域の植生・植物を知る (生育環境, 遷移)」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚市. (31名).

小舘誓治, 2019.8, 「三田市の植物」, さんだ生涯学習カレッジ (1年生), 講師, 三田市. (10名).

小舘誓治, 2019.9, 現地調査II『地域の自然を知

る』「里山林の自然観察」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 三田市. (22名).

小舘誓治, 2019.11, 「中山寺周辺で植物の見分け方実習」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市. (17名).

小舘誓治, 2019.11, 「植物の観察方法 (役に立つ植物と怖い植物)」, 宝塚市立老人福祉センター, 講師, 宝塚市. (28名)

非常勤講師

2019.6, 「幼児教育表現論」, 兵庫教育大学.

2019.7-11, 「造形概論」, 湊川短期大学.

2019.6-2020.3, 「森林土壌・森林地質学」, 兵庫県立森林大学校.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.5, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 幼保連携型認定こども園あおい宙, 神戸市. 主担当

2019.5, ひとほく Kids キャラバン「第3回にこここまつり」, 三木市健康福祉部子育て支援課, 三木市 (吉川総合公園). 分担者

2019.5, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 道場保育園, 神戸市. 主担当

2019.6, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 加古保育園, 加古郡. 主担当

2019.6, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 日岡保育園, 加古川市. 主担当

2019.6, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 上郡町立高田幼稚園, 赤穂郡. 主担当

2019.6, ひとほく Kids キャラバン, 加古川市立泉幼稚園, 加古川市. 分担者

2019.7, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 明石市立王子保育所, 明石市. 主担当

2019.7, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 書写認定こども園, 姫路市. 主担当

2019.7, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 神戸市立魚崎幼稚園, 神戸市. 主担当

2019.9, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 西宮市立南甲子園幼稚園, 西宮市. 主担当

2019.9, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 広英保育園, 姫路市. 主担当

2019.10, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, あわが保育園, 朝来市. 主担当

2019.10, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, たつの市立河内幼稚園, たつの市. 主担当

2019.10, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 丹波篠山市立城南幼稚園, 丹波篠山市. 主担当

2019.10, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, すぐり保育園, 伊丹市. 主担当

2019.11, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 景福寺瑞松学院, 姫路市. 主担当

2019.11, ひとほく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 景福寺瑞松学院, 姫路市. 主担当

2019.11, ひとつはく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 夢の園保育園, 尼崎市. 主担当
2019.11, ひとつはく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 須磨みどり幼稚園, 神戸市. 主担当
2019.11, ひとつはく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 宝塚市立西谷認定こども園, 宝塚市. 主担当
2019.11, ひとつはく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 願成寺保育園, 加古川市. 主担当
2019.12, ひとつはく Kids キャラバン「しぜんたいけん」, 岩園保育所, 芦屋市. 分担者
2019.4-2020.3, ひとつはく Kids キャラバン in ふらっと, 三田市多世代交流館, 三田市. 責任者

■連携事業

共催事業

2019.4-2020.3, 「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他, 主担当
2019.5-2020.3, 「フレミラ しぜんクラブへの活動支援事業」. 宝塚市立老人福祉センター (フレミラ宝塚), 宝塚市他, 主担当.

■担い手成長支援事業

北播磨自然観察サポーターチーム「おおばこの会」, 主担当 (指導)
フレミラ宝塚「しぜんクラブ」(アドバイザー)
増井啓治 (地域研究員アドバイザー副担当) 地域一郎, 副担当 (指導)

成果発表

佐藤孝介. 2020.2 「あなたのまちの松は2本葉? 3本葉? それとも... (身近に見られる松の種類と葉について)」。共生のひろば. 兵庫県立人と自然の博物館 (指導)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2019.11, 神戸市立有野北中学校. 1名, 神戸市立有野中学校. 1名, 神戸市立鈴蘭台中学校. 1名.

学校団体対応

2019.4, 大阪府立泉北高等学校1年生1組 (40名).
2019.4, 大阪府立泉北高等学校1年生2組 (40名).
2019.4, 大阪府立泉北高等学校1年生3組 (40名).
2019.4, 兵庫県立大学附属中学校1年生 (70名).
2019.6, 神戸市立朝霧小学校3年生 (131名).
2019.10, 丹波市立西小学校3年生 (35名).
2019.11, 三田市立すずかけ台小学校3年生 (79名).
2019.12, 兵庫県立加古川東高等学校1年生 (42名).
2020.2, 丹波篠山市立城南幼稚園・年中 (53名).

講師派遣

2019.5, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 認定こども園あおい宙教員, 神戸市. (12名).
2019.5, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 道場保育園教員, 神戸市. (3名).
2019.5, 「森林土壌の基礎を学ぶ」, 講師, 兵庫県立森林大学校 (2年生), 三田市 (19名).
2019.6, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 加古保育園教員, 加古郡. (3名).
2019.6, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 日岡保育園教員, 加古川市. (4名).
2019.6, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 書写認定こども園教員, 姫路市. (5名).
2019.6, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 上郡町立高田幼稚園教員, 赤穂郡. (3名).
2019.6, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 明石市立王子保育所教員, 明石市. (3名).
2019.6, 「森林土壌の断面調査の方法を学ぶ」, 講師, 兵庫県立森林大学校 (2年生), 三田市 (19名).
2019.6, 「第3回エコスタディフェス『葉っぱの観察方法』」, 講師, 幼稚園・保育所等教員. 博物館・深田公園 (98名).
2019.7, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 神戸市立魚崎幼稚園教員, 神戸市. (7名).
2019.8, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 西宮市立南甲子園幼稚園教員, 西宮市. (3名).
2019.8, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 広英保育園教員, 姫路市. (3名).
2019.9, 「身近な植物の観察方法」, 講師, あわが保育園教員, 朝来市. (3名).
2019.9, 「身近な植物の観察方法」, 講師, たつの市立河内幼稚園の教員, たつの市. (3名).
2019.9, 「身近な植物の観察方法」, 講師, すぐり保育園の教員, 伊丹市. (4名).
2019.9, 「校庭の植物の観察方法」, 講師, 尼崎市立武庫東小学校の教員 (3年生担当), 尼崎市. (5名).
2019.9, 「土壌調査の方法」, 講師, 兵庫県立北条高等学校の教員と生徒, 三田市. (3名).
2019.10, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 丹波篠山市立城南幼稚園教員, 丹波篠山市. (7名).
2019.11, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 景福寺瑞松学院教員, 姫路市. (3名).
2019.11, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 須磨みどり幼稚園教員, 神戸市. (5名).
2019.11, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 夢の園保育園教員, 尼崎市. (3名).
2019.11, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 願成寺保育園教員, 加古川市. (2名).
2019.11, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 宝塚市立西谷夢の園保育園教員, 宝塚市. (6名).
2019.12, 「身近な植物の観察方法」, 講師, 兵庫教育大学附属幼稚園教員, 加東市. (9名).

■研修生等の受入

博物館実習

2019.7.29-8.7, 佛教大学4年生1名, 甲南大学4年生1名、琉球大学4年生1名, 関西学院大学3年生1名。(計4名)

■展示

2019.4-2020.3, 展示「深田公園植物情報」(責任者).

2019.4-2020.3, ひとつはく Kids サンデー (全10回)
(責任者).

2020.2-4, 展示「研究員展 2020」(分担者).

2. シンクタンク事業

■受託研究

「三田市有馬富士自然学習センタープログラム運営業務」, 三田市, 分担者. (1,977.5万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 1 回, 3 名.

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2019.4 乳幼児期の環境学習あり方検討会委員, 兵庫県農政環境部環境創造局環境政策課.

相談・指導助言

電話・FAX・メール等 40 件.

鈴木 武 SUZUKI, Takeshi

自然・環境再生研究部

コミュニケーション・デザイン研究グループ/生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師.

昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 日本土壌動物学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 生涯学習推進室

副室長, アウトリーチ担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究
2. 兵庫県を中心としたシダ植物の研究

■研究発表

鈴木武・木村進・狩山俊悟・小川誠(2020) タンポポ調査・西日本2020について. 日本植物分類学会第19回大会, 岐阜大学, 岐阜.

■学会役員等

兵庫県生物学会, 事務局長.
兵庫植物誌研究会, 理事

■助成を受けた研究

近畿・中国・四国での市民参加型タンポポ調査. 西日本自然史ネットワーク日比基金. 代表者(10万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2019.4-2020.11, 兵庫県内のシダ植物の収集, 神戸市・丹波市など.

2018.4-2019.3, 兵庫県内外のタンポポ類の収集, 新温泉町・岐阜県など.

■整理同定担当資料

シダ植物

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2019.4, オープンセミナー「タンポポを研究しよう」, 博物館. (17名)

鈴木武, 2019.4-6, 一般セミナー「タンポポ調査と分布図づくり」, 博物館・神戸市北区. (全3回, 4名)

鈴木武, 2019.6, 一般セミナー「神戸市東灘区岡本のシダを見る」, 神戸市東灘区. (21名)

鈴木武, 2019.6, オープンセミナー「でんでん虫の観察」, 博物館. (50名)

鈴木武, 2019.7, 一般セミナー「ダンゴムシを育てよう」, 博物館・深田公園 (4名)

鈴木武, 2019.7, オープンセミナー「いろいろなダンゴムシ」, 博物館. (92名)

鈴木武, 2019.7, 教職員・指導者セミナー「デンデムシとダンゴムシ」, 博物館. (23名)

鈴木武, 2019.9-10, 一般セミナー「シダの標本づくりと分布図」, 博物館・丹波篠山市. (全4回, 1名)

鈴木武, 2019.10, オープンセミナー「ダンゴムシとなかまたち」, 博物館. (61名)

鈴木武, 2019.10, 一般セミナー「ネズミ類の捕獲と計測」, 博物館・神戸市灘区. (全2回, 6名)

鈴木武, 2019.11, オープンセミナー『いろいろなダンゴムシ』, 博物館. (60名)

鈴木武, 2019.12, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 兵庫県立大学アカデミック・ツーリズムプログラム 博物館. (21名)

館外講演

鈴木武, 2019.4, 「タンポポ教室」, 亀岡生き物大学特別講座, 亀岡市地球環境こども村. (19名)

鈴木武, 2019.4, 「綾部のタンポポ不思議発見教室」, 綾部市天文館パオ講座, 綾部市天文館パオおよび綾部市内. (30名)

鈴木武, 2019.6, 「シダ植物観察」, 宝塚フレミラ講座, 宝塚市最明寺滝周辺. (30名)

鈴木武, 2019.6, 「宝塚市のシダ植物」, 宝塚フレミラ講座, 宝塚フレミラ. (30名)

鈴木武, 2019.6, 「六甲山の生き物」, 六甲山自然案内人の会入門講座, 六甲山地域福祉センター. (40名)

鈴木武, 2019.7, 「箕面のシダ植物」, 大阪シニア自然大学講座, 箕面市. (40名)

鈴木武・恩地実, 2019.8, 「六甲山の生き物を知ろう」, 神戸市立森林植物園夏休み講座, 神戸市立森林植物園. (19名)

鈴木武, 2019.10, 「箕面のシダ植物」, 大阪シニア自然大学講座, 箕面市 大阪シニア自然大学. (30名)

鈴木武, 2019.10, 「鐘ヶ坂公園のシダ観察」, 青垣生きものふれあいの里野外観察会, 丹波市柏原町. (15名)

鈴木武, 2019.11, 「レッドデータブック～生物種の現状分布を調べる～」, ひょうごの生物多様性保全プロジェクト活動発表会, ラッセホール. (126名)

鈴木武, 2019.12, 「目からうろこ! タンポポの本当のはなし」, 鳥取県生物学会総会, 鳥取県立博物館. (48名)

鈴木武, 2020.2, 「宝塚の身近な生き物～たんぽぽ・カタツムリ・だんごむし～」, 宝塚いきいきシ

ニアゼミナール, 宝塚フレミラ.(60名)
鈴木武, 2020.2, 「宝塚の身近な生き物～たんぼぼ・カタツムリ・だんごむし～」, 宝塚いきいきニアゼミナール, 宝塚フレミラ.(60名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

非常勤講師

2019.4-6 「変貌する風土と自然」, 関西大学.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2019.5, うれしの春のフェスティバル 2019, 嬉野台生涯教育センター, 加東市, 主担当.

2019.6, 小学校キャラバン, 尼崎市立園田東小学校, 尼崎市, 副担当.

2019.7, としょかんまつり 2019, 朝来市立和田山図書館, 朝来市, 主担当.

2019.7, 植物園であそぼう!, 尼崎市都市緑化植物園, 尼崎市, 主担当.

2019.8, さんふらわあ夏休みクルーズ, フェリーさんふらわあ, 神戸市東灘区, 主担当.

2019.8, 夏期特別展示, 吹田市立博物館, 吹田市, 主担当.

2019.8, 図書館夏祭り, 兵庫県立図書館, 明石市, 主担当.

2019.9, 山陰三ツ星マーケット with 鳥取大丸リニューアルオープン, 鳥取駅前, 鳥取市, 主担当.

2019.10, ポートアイランドフェスティバル, 神戸市立青少年科学館, 神戸市, 主担当.

2019.10, 武庫まつり, 西武庫公園, 尼崎市, 副担当.

2019.11, ひめじ花と緑のガーデンフェア, 姫路市大手前公園, 姫路市, 副担当.

2019.11, 小学校キャラバン, 三木市立緑が丘東小学校, 三木市, 副担当.

2019.12, 小学校キャラバン, 神戸市立浜山小学校, 神戸市兵庫区, 副担当.

2019.12, 兵庫のネズミ大集合!, 県庁前駅ショーウインド, 神戸市中央区 中央区

2019.12, 小学校キャラバン, 神戸市立東灘小学校, 神戸市, 副担当.

2019.12, 小学校キャラバン, 淡路市立津名東小学校, 淡路市, 副担当.

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

希少山野草研究会, 主担当 (指導)

川東丈純, 担当 (指導・協働)

■学校教育支援

学校団体対応

2019.4, 兵庫県立宝塚北高等学校.

2019.9, 芦屋市立山手小学校.

2019.11, 芦屋市立朝日ヶ丘小学校.

2019.12, 兵庫県立明石高等学校.

2019.12, 兵庫県立豊岡高等学校.

講師派遣

横川忠司・鈴木武, 2019.5, 「高校周辺の生き物観

察」, 神戸市立六甲アイランド神戸サイエンス講座, 神戸市立六甲アイランド高.(18名)

鈴木武, 2019.6, 「いろいろな虫」, 六甲藤原台幼稚園特別授業六甲藤原台幼稚園.(120名)

鈴木武, 2019.9, 「六甲山の生き物」, 仁川学園小学校特別授業 仁川学園小学校3年.(30名)

鈴木武, 2019.9, 「ダンゴムシについて」, 神戸市立雲中小学校特別授業, 神戸市立雲中小学校1年.

(80名)

鈴木武, 2019.9, 「神戸の身近な生き物」, 県立長田高等学校特別授業, 県立長田高等学校1年.(40名)

■研修生等の受入

博物館実習

2019.8, 関西大・岡山理科大・兵庫県立森林大学校 (計3名)

■展示

2019.9-2020.1, 展示特別企画「ひょうごのレッドリスト展 ～哺乳類・爬虫類・両生類・魚類～」, 博物館, 分担者.

2020.3-2020.5, ミニ企画展「植物画展 美しき日本の野山の植物」, 博物館, 責任者.

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 2回, 85名

■行政等支援

委員会等 (計5件)

2011.7-, 神戸市立六甲アイランド高等学校 スーパーサイエンススクール運営指導委員会, 委員.

2011.10-, 神戸市生き物調査検討委員会, 委員.

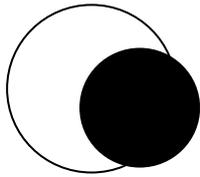
2012.4-, ささやまの森公園運営協議会, 委員.

2016.1-, マルバテイショウソウ野生復帰実施計画検討会, 委員.

2018.4-2020.3, 兵庫県貴重な野生生物等(植物)専門委員会委員.

相談・指導助言

来訪者 15件, 40名. 電話・FAX 15件, メール 20件.



博物館事業報告に関連する資料

開催したセミナーの一覧

実施日	講座名	講師	定員	参加者数
2019/4/7	早春の北摂の里山を観察しよう！	橋本佳延	25	17
2019/4/13	草花なんでも鑑定団～身近な植物を見分けよう①(全3回)	高野	10	5
2019/4/14	タンポポ調査と分布図づくり①(全3回)	鈴木	3	4
2019/4/14	化石発掘体験セミナー 10:00	恐竜技師チーム	25	19
2019/4/14	ユース昆虫研究室①(全3回)	八木	15	9
2019/4/14	石ころセミナー特別講演会	先山	50	27
2019/4/14	海岸の植物観察会(春)	藤井	20	6
2019/4/14	化石発掘体験セミナー 14:00	恐竜技師チーム	25	13
2019/4/20	芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る(春)	小舘	20	6
2019/4/20	地質巡検 ー西宮市仁川で‘ひょうごの150万年史’をさぐるー	佐藤	10	12
2019/4/21	タンポポ調査と分布図づくり②(全3回)	鈴木	3	3
2019/4/21	有馬温泉発！山頂経由東お多福山植生観察ハイキング	橋本佳延	25	11
2019/4/25	春の山野草～花の形・タネの形・成長の形	希少植物研究会	25	2
2019/4/27	絵図や古地図を片手にぶらり。今昔まち歩き【大阪／野田・福島】	福本	10	12
2019/4/28	化石発掘体験セミナー 10:00	池田	25	19
2019/4/28	化石発掘体験セミナー 14:00	池田	25	21
2019/5/3	化石発掘調査 アカデミックキャンプ	池田, 生野	20	24
2019/5/5	化石発掘体験セミナー	恐竜技師チーム	25	19
2019/5/5	化石発掘体験セミナー	恐竜技師チーム	25	18
2019/5/9	コケ植物観察講座 芦生研究林	秋山	15	16
2019/5/11	六甲山「森の植物」観察会(春)	小舘	20	9
2019/5/11	コケ植物観察講座(顕微鏡を使って観察)	秋山	12	5
2019/5/11	野生植物の域外保全～ジーンファーム見学～	黒田	20	4
2019/5/11	公園ゼミナール<現地視察編>①	福本	20	7
2019/5/12	ユース昆虫研究室②(全12回)	八木	15	9
2019/5/12	植物観察会(武田尾)	藤井	20	16
2019/5/12	石ころセミナー 2019①(全6回)	先山, 加藤	25	31
2019/5/12	霊長類学 頭の体操 2019	三谷	10	5
2019/5/18	コケ植物観察講座 コケに棲むクマムシを探す	秋山	12	11
2019/5/24	アフリカ・タンガニイカ湖の魚たち	高橋鉄美	10	36

2019/5/25	音水溪谷植物ハイキング	高野	20	14
2019/5/25	家族で蜂蜜しぼり 5 月	アピス同好会	20	17
2019/5/25	脊椎動物の出現～初期の多様性について～	池田	30	8
2019/5/28	「山野草の栽培」(講義)と「寄せ植え」(実習)	希少植物研究会	20	7
2019/6/1	タンポポ調査と分布図つくり③(全 3 回)	鈴木	3	4
2019/6/1	初夏の里山で植物を観察しよう	石田	20	20
2019/6/2	石ころセミナー 2019②(全 6 回)	石を観る会	25	30
2019/6/2	奈良公園の植物観察会	藤井	20	5
2019/6/5	カラスのごみ被害を解決しよう!	布野	30	6
2019/6/7	三田の里山で見られる植物の多様性	橋本佳延	10	38
2019/6/8	タンガニイカ湖のシクリッド調査とその成果	高橋鉄美	20	2
2019/6/8	太山寺周辺の樹林で多様性を知る	小舘	20	9
2019/6/8	公園ゼミナール<現地視察編>②	大平	20	7
2019/6/9	ユース昆虫研究室③(全 12 回)	八木	15	10
2019/6/12	神戸市東灘区岡本のシダを見る	鈴木	20	21
2019/6/15	化石の宝庫! 篠山層群。	池田	30	8
2019/6/15	東お多福山ススキ草原 初夏の植物観察会	橋本佳延	25	0
2019/6/15	湿地の自然再生実習①(全 2 回)	三橋	15	0
2019/6/16	湿地の自然再生実習②(全 2 回)	三橋	15	0
2019/6/16	化石発掘体験セミナー 10:00	池田, 恐竜技師チーム	25	24
2019/6/16	はじめての恐竜	久保田	30	7
2019/6/16	<こころ>と<ことば>を科学する 2019	三谷	10	6
2019/6/16	化石発掘体験セミナー 14:00	池田	25	15
2019/6/18	挿し木で増やす希少植物	希少植物研究会	20	3
2019/6/21	農業と外来生物 ―ヒアリを例に	橋本佳明	10	37
2019/6/22	家族で蜂蜜しぼり 6 月	アピス同好会	20	25
2019/6/29	チョウを観察しよう	櫻井	10	5
2019/6/29	キノコの観察 1 梅雨時のキノコ	秋山	15	17
2019/6/29	淡路島の特色ある地形と地質	加藤	30	0
2019/6/30	木材の化石を調べよう	半田	10	9
2019/7/6	両生類の体を見よう	太田	20	11
2019/7/7	爬虫類の体を見よう	太田	20	8
2019/7/13	森と土の観察会(再度山編)	小舘	20	7
2019/7/13	ユース昆虫研究室④(全 12 回)	八木	15	9
2019/7/13	テナガエビをつかまえよう	三橋	50	0
2019/7/14	おなかの中を見よう(解剖実習)	三枝, 安田	8	6
2019/7/14	化石発掘体験セミナー 10:00	池田	25	25
2019/7/14	化石発掘体験セミナー 14:00	池田	25	29

2019/7/15	瀬戸内海の2万年 ～人と自然の環境史をさぐる～	佐藤	30	24
2019/7/20	草花なんでも鑑定団～身近な植物を見分けよう②(全3回)	高野	10	2
2019/7/21	雑木林の植物観察会(有馬富士)	藤井	20	14
2019/7/21	魚の透明標本をつくる①(全3回)	高橋	10	11
2019/7/21	知ればなるほど! アンモナイトのウソ・ホント	生野	30	6
2019/7/21	石ころセミナー 2019③(全6回)	石を観る会	25	22
2019/7/23	夏の山野草～花の形・タネの形・成長の形	希少植物研究会	25	5
2019/7/27	ダンゴムシを育てよう	鈴木	10	4
2019/7/27	見て、掘って、作って、恐竜と化石を満喫しよう!	久保田	15	13
2019/7/27	魚の透明標本をつくる②(全3回)	高橋鉄美	10	10
2019/7/28	魚の透明標本をつくる③(全3回)	高橋鉄美	10	11
2019/7/28	月のクレーターも見える天体望遠鏡の工作	人と自然の会	15	12
2019/7/29	小さな子どもの指導者向け 身近な植物観察の仕方	小舘	20	14
2019/7/29	石ころから学ぼう!	古谷	15	17
2019/7/29	外来種問題を正しく理解し教えるためのポイント	太田	30	23
2019/7/30	ともに考える里山林を活かした教育カリキュラム	橋本佳延	20	12
2019/7/30	ひょうごの森と身近な樹木ー講義と観察ー	黒田	30	20
2019/7/30	デンデンムシとダンゴムシ	鈴木	20	23
2019/7/31	動物進化の物語 ～進化を扱う授業の工夫～	高橋鉄美, 松島 (地域研究員)	30	31
2019/7/31	地理情報システムの使い方	三橋	20	11
2019/7/31	障がいのある子どもが感じていること	三谷	30	29
2019/8/1	森の土の基礎を学ぶ	小舘	10	6
2019/8/1	身近な自然の観察	野生生物を調査 研究する会	25	16
2019/8/1	ヒアリを学ぶー外来生物問題の生物学	橋本佳明	30	12
2019/8/2	ピカピカ泥だんごの作り方	赤澤	50	35
2019/8/2	水中の小さな世界を知る	野生生物を調査 研究する会	20	14
2019/8/2	河川の水生昆虫観察会(住吉川編)	三橋	50	30
2019/8/2	石の見分け方を学ぶ	野生生物を調査 研究する会	20	15
2019/8/2	地層・化石の勉強と化石発掘体験	久保田	40	27
2019/8/3	海浜の植物・植生と環境	黒田	30	1
2019/8/3	藍の生葉染め	人と自然の会	20	14
2019/8/4	化石発掘体験セミナー 10:00	池田	25	22
2019/8/4	化石発掘体験セミナー 14:00	池田	25	20
2019/8/5	ユース昆虫研究室⑤(全12回)	八木	15	9
2019/8/5	火山灰を調べる	加藤	20	20
2019/8/6	但馬牛のみみつ	渡邊(但馬牛博物 館長)	30	14
2019/8/6	ユース昆虫研究室⑤(全12回)	八木	15	9

2019/8/7	ユース昆虫研究室⑤(全 12 回)	八木	15	9
2019/8/8	ユース昆虫研究室⑤(全 12 回)	八木	15	9
2019/8/11	化石発掘体験セミナー 10:00	池田	25	23
2019/8/11	化石発掘体験セミナー 14:00	池田	25	26
2019/8/17	ジオラマをつくろう	大平	20	17
2019/8/18	アンモナイトの化石を観察しよう	生野	20	20
2019/8/25	湿地植物観察会(加西市)	藤井	20	9
2019/8/31	日本の色を染める	吉岡	20	81
2019/9/1	恐竜の色はどうやって復元するのか	三枝	20	33
2019/9/1	石ころセミナー 2019④(全 6 回)	石を観る会	25	27
2019/9/7	近未来の南海トラフ巨大地震を考える	加藤	30	19
2019/9/7	陣羽織の羽根は誰のもの？	齊藤	20	15
2019/9/7	秋の鳴く虫観察会	鳴く虫研究会 「きんひばり」	30	13
2019/9/8	ユース昆虫研究室⑥(全 12 回)	八木	15	8
2019/9/8	花粉の形を観察しよう	半田	8	4
2019/9/8	タヌキマメ観察会	藤井	20	6
2019/9/8	公園ゼミナール<現地視察編>③/尼崎の森中央緑地	赤澤	20	7
2019/9/13	象と恐竜を比べてみよう	三枝	10	38
2019/9/14	野生植物の域外保全～ジーンファーム見学～	黒田	20	2
2019/9/14	みどりとミドリ	岩槻	20	36
2019/9/14	南あわじで自然体験① 7000 万年前の地層を見てみよう	生野	20	31
2019/9/14	草花なんでも鑑定団～身近な植物を見分けよう③(全 3 回)	高野	10	1
2019/9/14	南あわじで自然観察② ウミホタルをつかまえよう	大平	20	24
2019/9/15	化石発掘体験セミナー 10:00	恐竜技師チーム	25	17
2019/9/15	化石発掘体験セミナー 14:00	恐竜技師チーム	25	22
2019/9/21	芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る(初秋)	小館	20	0
2019/9/21	秋の里山で植物を観察しよう	石田	20	0
2019/9/22	シダの標本づくりと分布図①(全 4 回)	鈴木	3	1
2019/9/23	シダの標本づくりと分布図②(全 4 回)	鈴木	3	1
2019/9/25	「タカの渡り」観察会	布野	15	9
2019/10/2	ハチ北セミナー 秋のキノコと木の実観察	秋山	12	6
2019/10/4	公園をデザインしよう	大平	10	34
2019/10/5	秋の山野草～花の形・タネの形・成長の形	希少植物観察会	25	0
2019/10/5	葉の化石を調べよう:フウとカエデのなかま	半田	10	4
2019/10/5	長期的気候変動と動物の進化	三枝	30	15
2019/10/5	石を使って水辺の生き物の隠れ家をつくろう～第 8 回みんなで 取り組む武庫川づくり交流会～	三橋	50	28
2019/10/5	公園ゼミナール<現地視察編>④歴史も自然もカフェもある明 石公園	藤本	20	16
2019/10/6	石ころセミナー 2019⑤(全 6 回)	石を観る会	25	29

2019/10/12	宍粟市山崎町のシダを見る	鈴木	20	0
2019/10/13	化石発掘体験セミナー 10:00	池田	25	0
2019/10/13	化石発掘体験セミナー 14:00	池田	25	0
2019/10/19	ネズミ類の捕獲と計測①(全2回)	鈴木	10	6
2019/10/20	ネズミ類の捕獲と計測②(全2回)	鈴木	10	6
2019/10/20	ユース昆虫研究室⑦(全12回)	八木	15	7
2019/10/20	溜池の植物観察会(鴨池)	藤井	20	9
2019/10/20	プラスチック封入標本をつくろう	三橋	20	27
2019/10/23	シダの標本づくりと分布図③(全4回)	鈴木	3	1
2019/10/26	キノコの観察 2 秋のキノコ	秋山	15	11
2019/10/27	シダの標本づくりと分布図④(全4回)	鈴木	3	1
2019/10/27	外来アリのはなし その1ーヒアリとアカカミアリ, オオハリアリ	橋本佳明	20	9
2019/10/31	動物たちのだまし術	櫻井	30	3
2019/11/1	生物多様性ーなぜ大事なのか, どうすればいいのー	太田	10	6
2019/11/9	極めよう! コンデジ	フィールド	30	6
2019/11/16	六甲山「森の植物」観察会(秋)	小館	20	7
2019/11/17	ユース昆虫研究室⑧(全12回)	八木	15	9
2019/11/17	海岸の植物観察会(秋)	藤井	20	9
2019/11/17	外来アリのはなし その2ーアルゼンチンアリとアシナガキアリ, ヒゲナガアメイロアリ, ツヤオオズアリ	橋本佳明	20	5
2019/11/21	昆虫の色から学ぶ適応と進化	櫻井	20	7
2019/11/23	芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る(晩秋)	小館	20	7
2019/11/23	絵図や古地図を片手にぶらり。今昔まち歩き【川西／平野・多田】	福本	10	8
2019/11/24	石ころセミナー 2019⑥(全6回)	石を観る会	25	26
2019/11/29	霊長類学が描くヒトの姿ー〈ことば〉の不思議ー	三谷	10	34
2019/12/1	極めよう! コンデジ	フィールド	30	2
2019/12/7	カヤツリグサ科勉強会	藤井	20	9
2019/12/8	ユース昆虫研究室⑨(全12回)	八木	15	9
2019/12/8	多様な人と地域で暮らす	三谷	10	12
2019/12/8	外来アリのはなし その3ーこれからやって来るアリ達, コカミアリとハヤトゲフシアリ	橋本佳明	20	13
2019/12/15	石ころセミナー 2019(総括)	石を観る会	25	20
2019/12/21	ひょうご五国の植生	黒田	30	5
2020/1/10	公園利用者とすすめるパークマネジメント(入門編)	藤本	なし	33
2020/1/12	ユース昆虫研究室⑩(全12回)	八木	15	9
2020/2/9	ユース昆虫研究室⑪(全12回)	八木	15	8
2020/2/15	身近な植物の生存戦略	石田	50	11
2020/2/19	極めよう! コンデジ	フィールド	30	5
2020/2/24	レガシー事業	三橋	220	127
2020/2/29	塩湿地・海崖の植物・植生と環境	黒田	30	0

2020/3/7	黒豆豆腐づくり	人と自然の会	20	0
2020/3/22	化石発掘体験セミナー 10:00	池田	25	0
2020/3/22	ユース昆虫研究室⑫(全 12 回)	八木	15	8
2020/3/22	化石発掘体験セミナー 14:00	池田	25	0

※計画 185 講座のうち、実施は 170 講座、未実施は 15 講座

企画展等一覧(平成31年度／令和元年度)

下記の特別企画、ミニ企画展、緊急速報展などを2階企画展示室・3階オープンギャラリー・4階ひとはくサロンなどで開催しました。

【特別企画】

期間	タイトル	展示場所	担当者
2019.7.13～2019.9.29	コレクション展「石ころズラリ ～美しい鉱物から珍しい岩石まで～」	2階企画展示室、エントランスホール	生野賢司
2019.8.30～2019.9.16	館外企画展「Where Culture Meets Nature ～日本文化を育んだ自然～」	京都市花洛庵野口家住宅	三橋弘宗
2019.10.12～2020.1.5	展示特別企画「ひょうごのレッドリスト展 ～哺乳類・爬虫類・両生類・魚類～」	2階企画展示室	高橋鉄美

【ミニ企画展(臨時に企画される小規模な展示)等】

期間	タイトル	展示場所	担当者
2019.4.27～2019.6.2	緊急速報展「篠山層群恐竜・鳥類卵化石発掘調査の成果報告」	3階展示室	池田忠広
2019.5.12	標本のミカタ「スマイルの世界」	4階大セミナー室	高野温子
2019.6.9	標本のミカタ「川虫の世界」	4階大セミナー室	三橋弘宗
2019.7.13～2019.9.1	ミニ企画展「但馬牛のひみつと牧場公園の自然」	4階ひとはくサロン	半田久美子
2019.7.14	標本のミカタ「干潟のカニ大集合」	4階大セミナー室	三橋弘宗
2019.8.12	標本のミカタ「地球のカケラから何がわかる？ ～岩石・鉱物の科学～」	4階大セミナー室	生野賢司
2019.9.8	標本のミカタ「化石レプリカでたどる象の進化」	4階大セミナー室	三枝春生
2019.9.21～2019.10.8	三田市小中学校 理科自由研究作品展	4階ひとはくサロン、3階オープンギャラリー	生涯学習課
2019.10.27	標本のミカタ「いろんなキノコとコケを見てみよう」	4階大セミナー室	秋山弘之
2019.11.2～2019.12.15	ミニ企画展「知ろう！ 学ぼう！ 総合治水展」	4階ひとはくサロン	三橋弘宗
2019.11.2～2020.1.5	ミニ企画展「『化石の日』制定1周年記念展示 アワジの名がついたエビ類化石」	3階展示室	生野賢司
2019.11.10	標本のミカタ「タンガニイカ湖シクリッドの世界」	4階大セミナー室	高橋鉄美
2019.12.7～2020.1.5	ミニ企画展「植物シモバシラが魅せる氷の世界 ー多様な形のふしぎー」	4階ひとはくサロン	藤井俊夫
2019.12.8	標本のミカタ「古地図ですごろく」	4階大セミナー室	福本優
2020.2.8～2020.4.19※	ミニ企画展「ひとはく研究員展2020」	4階ひとはくサロン	秋山弘之
2020.2.11～2020.5.30※	ミニ企画展「六甲山のキノコ展2020 ～野生のキノコの不思議な魅力～」	2階企画展示室	三橋弘宗
2020.2.12～2020.4.5※	ミニ企画展「異常巻アンモナイト、ノストセラス大集合」	3階展示室	生野賢司
2020.3.20～2020.5.17※	ミニ企画展「植物画展 美しき日本の植物」	3階オープンギャラリー	鈴木武

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため期間変更または中止

生徒・学生等の受け入れ状況

【トライやる・ウィーク】

期 間	学 校 名	人数	担当研究部課室名
5月28日～ 5月31日 (春前期)	三田市立上野台中学校 三田市立狭間中学校 三田市立けやき台中学校 三田市立藍中学校	2 2 2 2	地球科学 生態 環境計画 生涯学習課
6月4日～ 6月7日 (春後期)	三田市立長坂中学校 三田市立八景中学校 三田市立富士中学校 三田市立ゆりのき台中学校 宝塚市立南ひばりガ丘中学校 神戸市立有馬中学校	1 2 2 3 2 2	系統分類 生態 生物資源 生涯学習課
11月12日～ 11月15日 (秋期)	神戸市立有野中学校 神戸市立有野北中学校 神戸市立北神戸中学校 神戸市立鈴蘭台中学校	2 2 2 2	地球科学 系統分類 生態 環境計画 コミュニケーション・デザイン 生涯学習課

【県庁インターンシップ】

期 間	学 校 名	人数	担当研究部課室名
8月19日～23日	仁川学院高等学校 宝塚高等学校 伊丹北高等学校 三田祥雲館高等学校 篠山鳳鳴高等学校	1 1 1 1 2	生物資源、系統分類 生涯学習課、総務課

【博物館実習】

7月27日(土)～8月18日(日)の内10日間

甲南大学	2名	佛教大学	1名
琉球大学	1名	神戸芸術工科大学	2名
近畿大学	4名	京都造形芸術大学	1名
甲南女子大学	1名	岡山理科大学	1名
神戸女子大学	1名		
岩手大学大学院	1名		
関西学院大学	2名	(以上12大学18名)	
京都先端科学大学	1名		

学校教育支援プログラム

【教職員・指導者セミナー】

月/日 (曜)	講座名	講師	参加者数
7/29(月)	小さな子どもの指導者向け 身近な植物観察の仕方	小舘 誓治	14
	石ころから学ぼう！	古谷 裕	17
	外来種問題を正しく理解し教えるためのポイント	太田 英利	23
7/30(火)	ともに考える里山林を活かした教育カリキュラム	橋本 佳延	12
	ひょうごの森と身近な樹木ー講義と観察ー	黒田 有寿茂	20
	デンデムシとダンゴムシ	鈴木 武	23
7/31(水)	地理情報システムの使い方	三橋 弘宗	11
	動物進化の物語 ～進化を扱う授業の工夫～	高橋 鉄美 松島 修 (地域研究員)	31
	障がいのある子どもが感じていること	三谷 雅純	29
8/1(木)	身近な自然の観察	NPO 法人 野生生物を 調査研究する会	16
	森の土の基礎を学ぶ	小舘 誓治	6
	ヒアリを学ぶー外来生物問題の生物学	橋本 佳明	12
8/2(金)	ピカピカ泥だんごの作り方	赤澤 宏樹	35
	水中の小さな世界を知る	NPO 法人 野生生物を 調査研究する会	14
	石の見分け方を学ぶ	NPO 法人 野生生物を 調査研究する会	15
	地層・化石の勉強と化石発掘体験	久保田 克博	27
8/5(月)	火山灰を調べる	加藤 茂弘	20

※ 全 17 講座を実施し、325 名が参加した。

来館一般団体一覧

県内からの来館:231 団体

県外からの来館: 68 団体

合計 299 団体

団体名	所在市町	見野東子ども会 (川西市)	川西市
■■県内■■231 件		沢池児童クラブ (明石放課後児童クラブ)	明石市
ひよこ組	神戸市	放課後等デイサービス おーじやん 三木加佐	三木市
児童デイサービスぴのつきお	川西市	放課後等デイサービス みらいポケットにしわき	西脇市
放課後デイサービス Ohana	神戸市	北摂YMC A	猪名川町
放課後デイサービスキッズサポート	西宮市	もみじ会	豊岡市
ココステージ伊丹	伊丹市	三田生涯学習カレッジ	三田市
ボーイスカウト神戸第8団カブ隊	神戸市	兵庫文化教育研究会理科教育部会	神戸市
姫路大学教育学部 博物館施設見学	姫路市	放課後等デイサービス シリウス神戸	神戸市
マックススポーツ武庫川	尼崎市	キウイ English school	三田市
西河原子ども会	加古川市	すずかけ台児童クラブ	三田市
税理士法人岩井会計	神戸市	ぼぼデイ名塩駅前	西宮市
上万願寺シニアクラブ	加西市	三田わくわく村	三田市
ランバス記念幼稚園	神戸市	児童デイサービスぴのつきお	川西市
(株)ネクステ ネクステハウジング	丹波市	NPO 法人ベンチマークぷらす	小野市
わんぱくクラブ	加古川市	ゆう介護サービス	神戸市
放課後デイサービスよつばハーモニー	神戸市	勝友会	神戸市
放課後等デイサービス IPPO	神戸市	武庫川流域環境保全協議会	宝塚市
放課後等デイサービスそら	明石市	ボーイスカウト三木2団ビーバースカウト隊	三木市
神戸実業学院	神戸市	皿池湿地	三田市
放課後等デイサービスアニマート川西	川西市	赤穂こどもエコクラブ	赤穂市
放課後等デイサービス はっぴい西宮北口	西宮市	放課後児童クラブ キッズガーデン	豊岡市
医療福祉センター さくら	三田市	こどもアカデミー宇宙 (そら)	神戸市
医療福祉センター さくら	三田市	放課後等デイサービス ポラリス神戸	神戸市
放課後等デイサービス西宮、武庫川	西宮市	ひがし会	稲美町
生田社会福祉協会	尼崎市	三田生涯学習カレッジ	三田市
神戸医療生活協同組合西舞子支部	神戸市	勝原区大谷子ども会	姫路市
歩こう会 (芦屋市)	芦屋市	手話サークル礎	三田市
いなみの学園	加古川市	有馬病院デイケア	西宮市
須磨区肢体障害者福祉協会	神戸市	医療福祉センター さくら	三田市
兵庫県私立中学高等学校理科教育研究会	神戸市	年金者組合山歩きの会	神戸市
NPO 法人はっち	神戸市	阪神シニアカレッジ	宝塚市
広沢子ども会	三田市	宝塚育成事業所	宝塚市
社会福祉法人 にこにこハウス	神戸市	ライフらんど加西	加西市

ユニバーサルカレッジ	三田市	北摂ネイチャークラブ	川西市
きしゃぼっぼ西宮	西宮市	放課後等デイサービス あんずキッズ	宝塚市
サンサンプレイスおばやし	宝塚市	放課後等デイサービス ヤシノキ	尼崎市
平成台子ども会	西宮市	放課後等デイサービスすまいる	伊丹市
さんだワイズメンズクラブ	三田市	リンクケア あゆみ	西宮市
新お宝さがしヘルスクラブ	神戸市	YSE インターナショナルスクール	三田市
医療福祉センター さくら	三田市	ラッコの会	三田市
社会福祉法人 にこにこハウス	神戸市	老人ホーム オーキッド	三田市
教正寺	加東市	野口公民館	加古川市
けやき坂ゆめくらぶ歩こう会	川西市	ケアステーション ヴィヴィ	宝塚市
NPO 法人相生いきいきネット	相生市	元気会	神戸市
ライフらんど加西	加西市	宝塚市立老人福祉センター・フレミラ	宝塚市
児童デイサービスたんぼぼ	たつの市	繁昌ハイツ子ども会	加西市
北摂里山大学	宝塚市	きしゃぼっぼ宝塚	宝塚市
尼崎厚生はすの会	尼崎市	社会福祉法人 陽気会	神戸市
マリアーノ六甲道	神戸市	はっち上ヶ原	西宮市
なんじゃそら会	伊丹市	放課後等デイサービス くるみ	川西市
神戸市シルバーカレッジ	神戸市	みらいばな	川西市
稲門塾	西宮市	県立ひょうご環境体験館	佐用町
こもれび	三木市	洲本市理科学研究会	洲本市
神戸市シルバーカレッジ	神戸市	洲本実業高校 PTA	洲本市
特別養護老人ホーム ゼフィール三田	三田市	社会福祉法人 陽気会	神戸市
エコスタディフェス	神戸市	NPO 法人 Cielo Misola	加東市
さくらこどもセンター	三田市	弥富実行委員会	三田市
放課後等デイサービス ウイズ・ユー恵比須	三木市	NPO 法人あんさんぶる	伊丹市
放課後等デイサービス ウキウキはなさく 伊丹中野西	伊丹市	JICA	神戸市
放課後等デイサービス ガリレオ	神戸市	宝塚市立川面保育所保護者会	宝塚市
医療福祉センター さくら	三田市	離宮ハイツ	神戸市
シバタ工業労働組合	明石市	JICA	神戸市
下町沖田子ども会	丹波市	放課後等デイサービス紅葉	神戸市
住友精化労働組合 姫路支部	姫路市	芦屋山手ナーサリー	芦屋市
浜の宮北隊	加古川市	社会福祉法人すいせいワークス垂水	神戸市
放課後等デイサービスあおぞら	神戸市	レンゴー労働組合三田支部	三田市
ユウカリ福祉会 猪名川園	猪名川町	リテラシティ自治会	伊丹市
学童保育所 住吉ピノキオクラブ	神戸市	心の集い	神戸市
相生子ども里海クラブ	相生市	ふれあいサロン	小野市
放課後等デイサービス にじ	宝塚市	誉田公民館	たつの市
たけのこくらぶ	西宮市	いざなぎ学園高齢者大学	南あわじ市
ふるさと寮 (社会福祉法人養徳会)	多可町	神戸市立大沢児童館	神戸市
放課後等デイサービス アムジャス	神戸市	灘区視覚障がい者福祉協会	神戸市
放課後等デイサービス ココスステージ宝塚	宝塚市	井ノロ子ども会 姫路市	姫路市

放課後等デイサービスあんずキッズ	宝塚市	兵庫県 SSH	三田市
田中	宝塚市	ひょうご北摂ライフ 体験モニターバスツアーB	三田市
ライフらんど加西	加西市	デイサービスセンター 和	三田市
JA 兵庫六甲 小田支店	尼崎市	デイサービスセンターいろどり	三木市
放課後デイサービスキッズサポート	西宮市	甲東文化財保存会	西宮市
放課後等デイサービス あんずキッズ	宝塚市	尼崎地区地球温暖化防止活動推進室	尼崎市
くろーば たからづか	宝塚市	三田市小学校理科担当者研修会	三田市
シニア自然大学 「はばたき」	三田市	いなほの会	小野市
魚住児童クラブ	明石市	デイサービスセンター 和	三田市
三田わくわく村	三田市	放課後等デイサービス どんぐり	神戸市
三輪児童クラブ・三輪第2児童クラブ	三田市	唐櫃村	神戸市
西宮学童保育 深津育成センター	西宮市	伊丹環境ネットワーク	伊丹市
宝塚市立逆瀬台小学校地域児童育成会	宝塚市	荻野保育所のびのびクラブ	伊丹市
児童デイサービスぴのっきお	川西市	ライフらんど加西	加西市
宝塚西山ホークス	宝塚市	伊丹昆虫館友の会	伊丹市
ぽぽデイ名塩駅前	西宮市	越木岩コミュニティ協議会	尼崎市
三田生涯学習カレッジ	三田市	兵庫県立大学アカデミックツーリズムプログラム	兵庫県
西宮市留守家庭学童育成苦楽園育成センター	西宮市	NPO 法人 美園ホーム	川西市
西宮中央教会日曜学校	西宮市	ROOT プログラムひとはく特別週末セッション	神戸市
ぽぽデイ名塩駅前	西宮市	上野丘学園	神戸市
西宮市立香櫨園育成センター	西宮市	西日本電気テック株式会社	姫路市
アシャキンダーハウス	芦屋市	福崎町自然保護審議会	福崎町
マリアーノ六甲道	神戸市	放課後等デイサービスあおぞら	神戸市
加古川市立平岡公民館シニア OB 会	加古川市	丹波篠山市立丹南児童館	篠山市
三木市立別所町公民館	三木市	NPO 法人はっち	神戸市
子ども発達支援センターさんだ	三田市	ライフらんど加西	加西市
丹有地区校長会	三田市	児童デイサービスぴのっきお	川西市
ぽぽデイ名塩駅前	西宮市	有野台児童館	神戸市
放課後等デイサービス ふれんど	太子町	武庫小学校放課後子ども教室	三田市
狭間児童クラブ	三田市	こどもアカデミー宇宙 (そら)	神戸市
高等学校教頭会阪神支部	宝塚市	(財)ひょうご環境創造協会	神戸市
放課後等デイサービス スポがくひろば パレット	尼崎市	子どもみらいサポート あくしす	神戸市
弥生児童クラブ	三田市	社福いたみ杉の子シーズゆう	伊丹市
アークアカデミー英会話教室	三田市	放課後等デイサービス あおぞら伊川谷	神戸市
三田児童クラブ	三田市	認定こども園 ミライズそら	丹波市
放課後などデイサービス ビリーブ	神戸市	まめの木 (フリースクール)	篠山市
放課後等デイサービス みらい	神戸市	西神中央 FC	神戸市
NPO 法人あんさんぶる	伊丹市	日本技術士会兵庫県支部	神戸市
放課後等デイサービス おーじやん 三木加佐	三木市	K2 会	西宮市
加西市環境課	加西市	放課後等デーサービス ジョイ	神戸市
富士児童クラブ・富士第2児童クラブ	三田市	サポート ハピネス	川西市

ライフらんど加西

加西市

■■県外■■68件

マックススポーツ緑地公園	大阪府	大正コミセン	大阪府
七寿会	大阪府	放課後等デイサービス第2わとと	大阪府
マックススポーツ緑地公園	大阪府	放課後等デイサービス第2わとと	大阪府
ムクタ工業	高知県	社会福祉法人 和	大阪府
フローラ	大阪府	放課後等デイサービス ココステージ帝塚山玉出	大阪府
亀岡市地球環境子ども村	京都府	放課後等デイサービス第2わとと	大阪府
和光純薬労働組合	大阪府	無心会	京都府
森九長寿会	大阪府	北大阪商工会議所	大阪府
浄生会	大阪府	綾部作業所	京都府
京都市身体障害児者父母の会連合会	京都府	風神会計事務所	大阪府
有限会社 ネスト	和歌山県	NPO 法人シニア自然大学校	大阪府
堺市立美原西中学校	大阪府	堤町二三町会	大阪府
靱保青壮年	岡山県	丹波篠山と秋の味覚！！黒豆枝豆狩り体験	大阪府
淀川区老人クラブ連合会	大阪府	高槻市勤労者互助会	大阪府
三谷産業（株）	広島県	株式会社 ボンアミー	大阪府
花園中学校 PTA	大阪府	社会福祉法人 風の森	大阪府
左京三四会	滋賀県	あんずの会	大阪府
英風保育園	大阪府	清明学院高等学校 PTA	大阪府
豊中のぞみ会	大阪府	郡実行組合	大阪府
左京三四会	滋賀県	マックススポーツ緑地公園	大阪府
宇宙少年団備後ローズスター分団	広島県	化石研究会例会	滋賀県
岡電ぽっとまむツアー	岡山県	亀岡市立亀岡中学校 PTA	京都府
公益財団法人千里リサイクルプラザ	大阪府	(有) 松研社	滋賀県
守口市教育研究会理科担当者会	大阪府	王寺町 GET 元気 21	奈良県
鉱物クラブ（吹田市）	大阪府	福知山学園	京都府
南先生	大阪府	門真市立第三中学校 PTA	大阪府
良風寺 薫化会	大阪府	大阪シニア自然カレッジ	大阪府
池田エイフ	大阪府	放課後等デイサービス第2わとと	大阪府
神田八坂会	大阪府	NPO 法人シニア自然大学校	大阪府
ヘルパーステーション優	大阪府	自然環境保全京都府ネットワーク	京都府
Link	大阪府	藤野ハウス	大阪府
中村自治会	滋賀県	外院 日向ヶ丘自治会	大阪府
一般社団法人 福祉心話会	大阪府	放課後等デイサービス第2わとと	大阪府
五条クラブ	大阪府	放課後等デイサービス ココステージ帝塚山玉出	大阪府

来館学校団体一覧

■■ 県内 ■■

(保育園・幼稚園 等) 53 件

成晃ひかり保育園	神戸市	下東条西保育園	小野市
太陽の子保育園	神戸市	はなみずき保育園	宝塚市
ふじ幼稚園	三田市	若草保育園	三田市
緑台幼稚園	川西市	光の子保育園	三田市
宝塚市立中山五月台幼稚園	宝塚市	わかばのもり保育園	宝塚市
宝塚市立安倉幼稚園	宝塚市	段上保育園	西宮市
丸山小羊幼稚園	神戸市	川西けやき坂保育園	川西市
西舞子幼稚園	神戸市	認定こども園 ななほし保育園	神戸市
平野幼稚園	川西市	なかよしキッズ	神戸市
母智幼稚園	尼崎市	夢の森保育園	神戸市
加茂こども会	加東市	園田愛児園	尼崎市
東山幼稚園	西宮市	伊丹市立こぼと保育所・ひかり保育所・荻野保育所	伊丹市
自由ヶ丘認定こども園	三木市	新甲東保育園	西宮市
明石市立藤江幼稚園	明石市	伊丹市立中央保育所	伊丹市
正英幼稚園	神戸市	伊丹市立北保育所	伊丹市
宝塚南口幼稚園	宝塚市	仁川ウエル保育園	西宮市
北摂第一幼稚園	三田市	加古保育園	加古郡
学校法人ルンビニ学園幼稚園	宝塚市	西宮市立北夙川保育所	西宮市
宝塚市立宝塚幼稚園	宝塚市	キッズポート保育園	三田市
宝塚市立良元幼稚園	宝塚市	三田市立三田保育所	三田市
あさひ若草ナースリー	三田市	(小学校) 111 件	
社会福祉法人日野ひかりの森こども園	西宮市	神戸市立有野小学校	神戸市
新清和台幼稚園	川西市	宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市
さんだのもり保育園	三田市	宝塚市立長尾南小学校	宝塚市
社会福祉法人黒田庄子ども園	西脇市	伊丹市立桜台小学校	伊丹市
幼保連携型認定子ども園心の森	神戸市	甲子園学院小学校	西宮市
道場保育園	神戸市	伊丹市立池尻小学校	伊丹市
<small>キンダーキッズインターナショナルスクール神戸シーサイド校</small>	神戸市	猪名川町立白金小学校	猪名川町
北摂学園幼稚園	三田市	宝塚市立西山小学校	宝塚市
北摂中央幼稚園	三田市	稲美町立天満東小学校	稲美町
宝塚市立未成幼稚園	宝塚市	宝塚市立長尾小学校	宝塚市
やよい幼稚園	三田市	神戸市立道場小学校	神戸市
城南幼稚園	篠山市	川西市立牧の台小学校	川西市
		伊丹市立神津小学校	伊丹市
		神戸市立花山小学校	神戸市

芦屋市立宮川小学校	芦屋市	川西市立桜が丘小学校	川西市
伊丹市立南小学校	伊丹市	洲本市立大野小学校	洲本市
伊丹市立稲野小学校	伊丹市	宝塚市立仁川小学校	宝塚市
伊丹市立鈴原小学校	伊丹市	小野市立来住小学校	小野市
神戸市立妙法寺小学校	神戸市	西宮市立北六甲台小学校	西宮市
神戸市立いぶき明生支援学校	神戸市	三木市立三樹小学校	三木市
伊丹市立鴻池小学校	伊丹市	西宮市立神原小学校	西宮市
伊丹市立昆陽里小学校	伊丹市	丹波市立西小学校	丹波市
西宮市立名塩小学校	西宮市	宝塚市立山手台小学校	宝塚市
加東市立滝野南小学校	加東市	尼崎市立園田小学校	尼崎市
伊丹市立花里小学校	伊丹市	明石市立大観小学校	明石市
伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市	三田市立ゆりのき台小学校	三田市
三木市立平田小学校	三木市	三田市立母子小学校	三田市
明石市立朝霧小学校	明石市	三田市立弥生小学校	三田市
伊丹市立笹原小学校	伊丹市	たつの市立揖保小学校	たつの市
加東市立三草小学校	加東市	芦屋市立朝日ヶ丘小学校	芦屋市
三田市立富士小学校	三田市	三田市立ゆりのき台小学校	三田市
尼崎市立浜小学校	尼崎市	丹波市立上久下小学校	丹波市
伊丹市立摂陽小学校	伊丹市	三田市立すずかけ台小学校	三田市
伊丹市立伊丹小学校	伊丹市	高砂市立伊保小学校	高砂市
伊丹市立緑丘小学校	伊丹市	小野市立来住小学校	小野市
神戸市立いぶき明生支援学校	神戸市	川西市立緑台小学校	川西市
伊丹市立天神川小学校	伊丹市	明石市立大久保南小学校	明石市
神戸市立大池小学校	神戸市	三田市立三田小学校	三田市
尼崎市立明城小学校	尼崎市	伊丹市立笹原小学校	伊丹市
加東市立滝野東小学校	加東市	神戸市立月が丘小学校	神戸市
西脇市立芳田小学校	西脇市	神戸市立東須磨小学校	神戸市
三田市立弥生小学校	三田市	加古川市立鳩里小学校	加古川市
伊丹市立笹原小学校	伊丹市	たつの市立新宮小学校	たつの市
芦屋市立山手小学校	芦屋市	三田市立けやき台小学校	三田市
三田市立すずかけ台小学校	三田市	小野市立市場小学校	小野市
三田市立弥生小学校	三田市	明石市立江井島小学校	明石市
芦屋市立潮見小学校	芦屋市	加古川市立野口南小学校	加古川市
播磨町立播磨南小学校	播磨町	高砂市立阿弥陀小学校	高砂市
播磨町立蓮池小学校	播磨町	高砂市立荒井小学校	高砂市
豊岡市立八代小学校	豊岡市	神戸市立伊吹東小学校	神戸市
明石市立松が丘小学校	明石市	神戸市立西山小学校	神戸市

稲美町立天満小学校	稲美町	姫路市立大的中学校	姫路市
高砂市立米田小学校	高砂市	香美町立香住第一中学校	香美町
高砂市立米田西小学校	高砂市	朝来市立生野中学校	朝来市
神戸中華同文学校	神戸市	香美町立香住第二中学校	香美町
川西市立多田小学校	川西市	朝来市立梁瀬中学校	朝来市
稲美町立加古小学校	稲美町	朝来市立和田山中学校	朝来市
三木市立自由が丘小学校	三木市	神戸市立大原中学校	神戸市
猪名川町立楊津小学校	猪名川町	福崎町立福崎東中学校	福崎町
弥生小学校	三田市	たつの市立新宮中学校	たつの市
神戸市立神出小学校	神戸市	稲美町立稲美中学校	加古郡
宝塚市立山手台小学校	宝塚市	篠山市立篠山東中学校	篠山市
神戸市立小東山小学校	神戸市	神戸市立長峰中学校	神戸市
西宮市立高木小学校	西宮市	丹波市立柏原中学校	丹波市
Ascot International School Japan	神戸市	丹波市立和田中学校	丹波市
神戸市立西山小学校	神戸市	猪名川町立猪名川中学校	猪名川町
神戸市立花山小学校	神戸市	神戸市立長坂中学校	神戸市
神戸市立広陵小学校	神戸市	西脇市立黒田庄中学校	西脇市
神戸市立八多小学校	神戸市	西脇市立西脇南中学校	西脇市
福崎町立八千種小学校	福崎町	神戸市立櫛谷中学校	神戸市
神戸市立本多聞小学校	神戸市	姫路市立菅野中学校	姫路市
小野市立下東条小学校	小野市	(高等学校) 23 件	
神戸市立星和台小学校	神戸市	兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市
三木市立志染小学校	三木市	県立西宮高等学校	西宮市
(中学校) 33 件		クラーク記念国際高等学校三田分室	三田市
甲陽学院中学校	西宮市	兵庫県立三木北高等学校	三木市
兵庫県立大学附属中学	姫路市	県立神出学園	神戸市
神戸市立神戸生田中学校	神戸市	兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市
神戸市立鷹匠中学校	神戸市	西宮市立西宮養護学校	西宮市
たつの市立龍野東中学校	たつの市	兵庫県立三田祥雲館高等学校	三田市
神戸市立白川台中学校	神戸市	クラーク記念国際高等学校三田分室	三田市
神戸市立御影中学校	神戸市	相生学院高等学校 三田校	三田市
神戸市立高倉中学校	神戸市	相生学院高等学校 三田校	三田市
三木市立緑が丘中学校	三木市	兵庫県立尼崎北高等学校	尼崎市
親和中学校	神戸市	兵庫県立北摂三田高等学校	三田市
兵庫県立大学附属中学校	上郡町	東洋大学附属姫路高等学校	姫路市
芦屋国際中等教育学校	芦屋市	神戸市立六甲アイランド高等学校	神戸市
豊岡市立港中学校	豊岡市	県立西宮今津高等学校	西宮市

県立舞子高等学校	神戸市	高槻市立北清水小学校	大阪府
クラーク記念国際高等学校三田分室	三田市	大阪府吹田市立桃山台小学校	大阪府
三田松聖高等学校	三田市	寝屋川市立点野小学校	大阪府
兵庫県立加古川東高等学校	加古川市	大阪府豊中市立桜井谷小学校	大阪府
兵庫県立豊岡高等学校	豊岡市	大阪府 豊中市立千成小学校	大阪府
兵庫県立明石高等学校	明石市	箕面市立萱野北小学校	大阪府
クラーク記念国際高等学校三田分室 (特別支援学校) 3 件	三田市	吹田市立吹田第三小学校 (中学校) 1 件	大阪府
三田市立ひまわり特別支援学校	三田市	同志社香里中学校 (高等学校) 9 件	大阪府
兵庫県立のじぎく特別支援学校中学部	神戸市	京都府立桃山高等学校	京都府
神戸市立友生支援学校 (大学校) 8 件	神戸市	大阪府立泉北高等学校	大阪府
関西学院大学理工学部	三田市	京都府立農芸高等学校	京都府
関西学院大学	三田市	大阪府立生野高等学校	大阪府
兵庫森林大学校	宍粟市	香川県立観音寺第一高等学校	香川県
兵庫森林大学校	宍粟市	大阪高等学校	大阪府
兵庫教育大学	加東市	京都府立福知山高等学校	京都府
甲南大学	神戸市	京都府立綾部高等学校	京都府
関西学院大学	三田市	愛媛県立松山南高等学校 (大学校) 7 件	愛媛県
関西学院大学総合政策学部 (専門学校) 2 件	三田市	関西大学	大阪府
兵庫栄養調理製菓専門学校	西宮市	東北学院大学	宮城県
神戸動植物環境専門学校	神戸市	広島大学理学部地球惑星システム学科	広島県
■■ 県外 ■■		関西大学	大阪府
(保育園・幼稚園 等) 4 件		関西大学	大阪府
さくらづか保育園	大阪府	大阪府立大学	大阪府
福知山市立下六人部保育園	京都府	岡山理科大学	岡山県
おおわだ保育園	大阪府		
箕面保育園 (小学校) 13 件	大阪府		
追手門学院小学校	大阪府		
大阪府茨木市立彩都西小学校	大阪府		
大阪府高槻市立南平台小学校	大阪府		
茨木市立春日小学校	大阪府		
高槻市立南大冠小学校	大阪府		
高槻市立奥坂小学校	大阪府		

連携事業等

1. 主催アウトリーチ事業

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数	
1	ありまふじフェスティバル 19春	有馬富士公園	三田市	2019/4/21	600	
2	うれしの春のフェスティバル2019	嬉野台生涯教育センター	加東市	2019/5/4	800	
3	吉川児童館 第3回にこにこまつり	吉川総合公園	三木市	2019/5/18	150	
4	やちよつながらる七夕まつり	八千代交流広場推進協議会	多可町	2019/7/6	200	
5	としょかんまつり2019	朝来市立和田山図書館	朝来市	2019/7/20	300	
6	ひとはく夏休み特別展示2019	淡路ハイウェイオアシス	淡路市	2019/7/20	~2019/8/31	195,060
7	ひとはく夏休み特別イベント2019	淡路ハイウェイオアシス	淡路市	2019/8/17	186	
8	植物園であそぼう!	尼崎市都市緑化植物園	尼崎市	2019/7/21	380	
9	さんふらわあ夏休みクルーズ	さんふらわあ(神戸市東灘区)	神戸市東灘区	2019/8/3	400	
10	三田サイエンスフェスティバル	キッピーモール	三田市	2019/8/3	250	
11	夏期特別展示	吹田市立博物館	大阪府	2019/8/9	200	
12	ブイブイみつけてん	あかし市民図書館	明石市	2019/8/12	~2019/8/19	800
13	図書館夏祭り	兵庫県立図書館	明石市	2019/8/18	300	
14	ブイブイみつけてん	兵庫県立図書館	明石市	2019/8/21	~2019/9/18	1,400
15	山陰三ツ星マーケット with 鳥取大丸リニューアルオープン	鳥取駅前	鳥取県鳥取市	2019/9/14	400	
16	ポートアイランドフェスティバル	神戸市立青少年科学館	神戸市中央区	2019/10/13	~2019/10/14	1,378
17	武庫まつり	西武庫公園	尼崎市	2019/10/26	400	
18	丹波の森フェスティバル	県立丹波の森公苑	丹波市	2019/10/27	100	
19	ミュージアムキッズ全国フェア	国立淡路青少年交流の家	南あわじ市	2019/11/9	~2019/11/10	600
20	ひょうご五国展	毎日放送前	大阪市	2019/11/16	~2019/11/17	1,100
21	たんぱっ子! 学びフェスタ	丹波篠山市立四季の森生涯学習センター	丹波篠山市	2019/11/23	120	
22	ロハスミーツ	明石公園	明石市	2019/12/7	589	
23	兵庫のネズミ大集合!	県庁前駅ショーウィンド	神戸市中央区	2019/12/16	~2019/12/26	12,340
					218,053	

2. キッズキャラバン

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	Kidsキャラバン	聖マリアの園幼稚園	神戸市垂水区	2019/4/23	210
2	ECOLOCO(しぜんたいけん)	姫路市立中寺幼稚園	姫路市	2019/5/9	26
3	ECOLOCO(しぜんたいけん)	認定こども園あおい宙	神戸市東灘区	2019/5/9	12
4	ECOLOCO(しぜんたいけん)	道場保育園	神戸市北区	2019/5/14	3
5	ECOLOCO(しぜんたいけん)	伊丹市立ありおか幼稚園	伊丹市	2019/5/14	25
6	ECOLOCO(しぜんたいけん)	伊丹市立神津こども園	伊丹市	2019/5/15	104
7	ECOLOCO(しぜんたいけん)	認定こども園あおい宙	神戸市東灘区	2019/5/16	53
8	ECOLOCO(しぜんたいけん)	加東市立米田こども園	加東市	2019/5/16	30
9	ECOLOCO(しぜんたいけん)	湊川短期大学附属神陵台幼稚園	神戸市垂水区	2019/5/17	67
10	ECOLOCO(しぜんたいけん)	道場保育園	神戸市北区	2019/5/29	40
11	Kidsキャラバン	プリスクールべふ保育園	加古川市	2019/5/30	71
12	ECOLOCO(しぜんたいけん)	加古保育園	加古郡	2019/6/3	3
13	Kidsキャラバン	加西市立泉幼児園	加西市	2019/6/4	74
14	Kidsキャラバン	三木市立緑ヶ丘東幼稚園	三木市	2019/6/5	24
15	ECOLOCO(しぜんたいけん)	高岡育児園	加東市	2019/6/11	37
16	ECOLOCO(しぜんたいけん)	加古保育園	加古郡	2019/6/11	36
17	ECOLOCO(しぜんたいけん)	日岡保育園	加古川市	2019/6/11	4
18	ECOLOCO(しぜんたいけん)	丹波篠山市立大山幼稚園	丹波篠山市	2019/6/12	27

19 ECOLOCO(しぜんたいけん)	洲本市立大野幼稚園	洲本市	2019/6/13	15
20 ECOLOCO(しぜんたいけん)	神戸市立高倉台保育所	神戸市垂水区	2019/6/18	32
21 ECOLOCO(しぜんたいけん)	西宮市立甲東北保育所	西宮市	2019/6/19	38
22 ECOLOCO(しぜんたいけん)	神戸市立宮本保育所	神戸市中央区	2019/6/20	51
23 ECOLOCO(しぜんたいけん)	書写認定こども園	姫路市	2019/6/20	5
24 ECOLOCO(しぜんたいけん)	上郡町立高田幼稚園	赤穂郡上郡町	2019/6/20	12
25 ECOLOCO(しぜんたいけん)	明石市立松が丘保育所	明石市	2019/6/25	85
26 ECOLOCO(しぜんたいけん)	日岡保育園	加古川市	2019/6/26	36
27 ECOLOCO(しぜんたいけん)	明石市立王子保育所	明石市	2019/6/26	3
28 ECOLOCO(しぜんたいけん)	上郡町立高田幼稚園	赤穂郡上郡町	2019/6/27	12
29 ECOLOCO(しぜんたいけん)	仁川ウエル保育園	宝塚市	2019/7/2	103
30 ECOLOCO(しぜんたいけん)	明石市立王子保育所	明石市	2019/7/3	38
31 ECOLOCO(しぜんたいけん)	たちえ幼稚園	神戸市兵庫区	2019/7/4	23
32 ECOLOCO(しぜんたいけん)	神戸市立魚崎幼稚園	神戸市東灘区	2019/7/4	7
33 ECOLOCO(しぜんたいけん)	書写認定こども園	姫路市	2019/7/9	54
34 ECOLOCO(しぜんたいけん)	神戸市立魚崎幼稚園	神戸市灘区	2019/7/11	99
35 ECOLOCO(しぜんたいけん)	西宮市立南甲子園幼稚園	西宮市	2019/9/3	39
36 ECOLOCO(しぜんたいけん)	広英保育園	姫路市	2019/9/5	38
37 ECOLOCO(しぜんたいけん)	山本南保育園	宝塚市	2019/9/10	64
38 ECOLOCO(しぜんたいけん)	緑台幼稚園	川西市	2019/9/11	174
39 ECOLOCO(しぜんたいけん)	たつの市立神岡幼稚園	たつの市	2019/9/12	18
40 Kidsキャラバン	川面ちどり保育園	宝塚市	2019/10/2	66
41 ECOLOCO(しぜんえんそく)	たつの市立西栗栖こども園(赤穂海浜公園)	赤穂市	2019/10/3	33
42 ECOLOCO(しぜんえんそく)	たつの市立御津北こども園(赤穂海浜公園)	赤穂市	2019/10/4	67
43 ECOLOCO(しぜんえんそく)	三恵城山こども園(赤穂海浜公園)	赤穂市	2019/10/11	83
44 Kidsキャラバン	高砂市立阿弥陀こども園	高砂市	2019/10/9	154
45 ECOLOCO(しぜんたいけん)	あわが保育園	朝来市	2019/10/16	12
46 ECOLOCO(しぜんえんそく)	太子町立斑鳩幼稚園・加古川市立平岡東幼稚園(ひょうご環境体験館)	佐用町	2019/10/16	129
47 ECOLOCO(しぜんたいけん)	たつの市立河内幼稚園	たつの市	2019/10/17	7
48 ECOLOCO(しぜんたいけん)	林神社保育園	明石市	2019/10/23	58
49 ECOLOCO(しぜんたいけん)	丹波篠山市立城南幼稚園	丹波篠山市	2019/10/23	49
50 ECOLOCO(しぜんえんそく)	みどりヶ丘幼児園[姫路市](播磨中央公園)	加東市	2019/10/23	111
51 ECOLOCO(しぜんたいけん)	すぐり保育園	伊丹市	2019/10/24	75
52 ECOLOCO(しぜんたいけん)	淡路市立釜口保育所	淡路市	2019/10/24	19
53 Kidsキャラバン	エミールこども園	加古川市	2019/10/29	147
54 Kidsキャラバン	加東市立加東みらいこども園	加東市	2019/10/30	170
55 ECOLOCO(しぜんえんそく)	あさかこども園(中町)・高岡育児園(播磨中央公園)	加東市	2019/10/30	123
56 ECOLOCO(しぜんえんそく)	やぐら保育園(姫路市)・宇佐崎保育園(姫路市)(播磨中央公園)	加東市	2019/10/31	125
57 Kidsキャラバン	みやま保育園	小野市	2019/10/31	36
58 ECOLOCO(しぜんえんそく)	伊丹市立笹原幼稚園(有馬富士公園)	三田市	2019/11/1	20
59 Kidsキャラバン	みどり園保育所	西宮市	2019/11/5	60
60 ECOLOCO(しぜんえんそく)	田能っ子保育園(尼崎市)・清和台めぐみ幼稚園(川西市)(有馬富士公園休養ゾーン)	三田市	2019/11/5	98
61 Kidsキャラバン	伊丹市立せつよう幼稚園	伊丹市	2019/11/6	45

62 ECOLOCO(しぜんえんそく)	蓮美幼児学園芦屋山手 ナーサリー・神戸親和女 子大学附属親和幼稚園 (三田市)(有馬富士公 園休養ゾーン)	三田市	2019/11/6	86
63 Kidsキャラバン	三木市立上の丸保育所	三木市	2019/11/7	40
64 ECOLOCO(しぜんえんそく)	宝塚COCORO保育園・ 認定こども園 正英幼稚 園(北区)(有馬富士公 園休養ゾーン)	三田市	2019/11/7	115
65 Kidsキャラバン	名塩保育園	西宮市	2019/11/12	30
66 ECOLOCO(しぜんえんそく)	六甲藤原台幼稚園・三 田保育所(有馬富士公 園休養ゾーン)	三田市	2019/11/12	126
67 Kidsキャラバン	あさひ若草ナーズリー	三田市	2019/11/13	45
68 Kidsキャラバン	ありの藤原幼稚園	神戸市	2019/11/14	312
69 ECOLOCO(しぜんたいけん)	景福寺 瑞松学院	姫路市	2019/11/19	50
70 ECOLOCO(しぜんたいけん)	夢の園保育園	尼崎市	2019/11/21	52
71 ECOLOCO(しぜんたいけん)	須磨みどり幼稚園	神戸市須磨 区	2019/11/26	37
72 ECOLOCO(しぜんたいけん)	宝塚市立西谷認定こども 園	宝塚市	2019/11/27	40
73 ECOLOCO(しぜんたいけん)	願成寺保育園	加古川市	2019/11/28	48
74 ECOLOCO(しぜんたいけん)	岩園幼稚園	芦屋市	2019/12/17	36
75 Kidsキャラバン	川西北保育所	川西市	2020/2/18	78
76 Kidsキャラバン	相生市立矢野川幼稚園	相生市	2020/2/19	18
77 Kidsキャラバン	洲本市立洲本幼稚園	洲本市	2020/2/26	75
78 Kidsキャラバン	北条保育園	加西市	2020/2/27	111
				4,778

3. 学校キャラバン

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	小学校キャラバン	尼崎市立園田東小学校	尼崎市	2019/6/18	304
2	小学校キャラバン	三木市立緑が丘東小学 校	三木市	2019/11/21	480
3	小学校キャラバン	神戸市立浜山小学校	神戸市兵庫 区	2019/12/13	254
4	小学校キャラバン	神戸市立東灘小学校	神戸市東灘 区	2019/12/19	604
5	小学校キャラバン	淡路市立津名東小学校	淡路市	2019/12/20	258
					1,900

【共催・協力・後援事業等】

実施主体	事業名	内容	実施場所	実施日・期間	参加者数	連携形態
1 播磨中央公園管理事務所	昆虫大捜査線inはりちゅう(播磨中央公園)	昆虫採集と観察	播磨中央公園	平成31.4/27	423	共催
2 神戸市教育委員会	神戸市埋蔵文化財センター平成31年度春季企画展示「海を見つめて～コウベの海と考古学」	発掘した遺物の展示	神戸市教育委員会事務局	平成31.4/13-令和1.5/26	7294	協力
3 六甲山を活用する会	平成31年度六甲山環境整備協議会運営、および「まちっ子の森」の景観整備・環境調査等の指導者派遣(平成31年4月から平成32年3月31日の不定期)	六甲山での活動支援	六甲山周辺	平成31年度		協力
4 六甲山を活用する会	2019年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」	六甲山の子供向け観察指導	六甲山周辺	令和1.8/18	25	協力
5 六甲山を活用する会	2020年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」	六甲山の子供向け観察指導	六甲山周辺	令和1.1/19	17	協力
6 人と自然の会	めだかの学校	子供向けワークショップ	博物館	平成31.4/1, 令和1.6/3, 8/5, 10/7, 12/2	577	共催
7 人と自然の会	パネルシアター	子供向けデジタル紙芝居	博物館	平成31.4/1, 令和1.5/6, 7/1, 8/5, 10/7, 11/4, 12/2, 令和2.3/3	297	共催
8 人と自然の会	ドリームスタジオ	親子向きのワークショップ	博物館	平成31.4/15, 令和1.5/20, 6/17, 7/15, 8/19, 9/16, 10/21, 11/18, 12/16, 令和2.2/17, 3/17	748	共催
9 人と自然の会	花工房	押し花で作るしおり作り	博物館	平成31.4/15, 令和1.5/20, 6/17, 7/15, 8/19, 9/16, 10/21, 12/16, 令和2.2/17, 3/17	1087	共催
10 石を見る会	石ころセミナー特別講演会	岩石に関する勉強会	博物館	平成31.4/14	75	共催
11 希少植物研究会	春の山野草～花の形・タネの形・成長の形	挿し木実習	博物館	平成31.4/25	2	共催
12 NPO法人北播磨市民活動支援センター	「NPO法人北播磨市民活動支援センター 自然観察サポーターチーム活動への支援事業」	北播磨地域での自然観察	小野市	平成31.4-令和2.3	93	共催
13 洲本市教育委員会	昆虫大捜査線～ひとく昆虫博士・八木剛からの挑戦状～	昆虫採集と観察	五色県民健康村	令和1.5/4, 11	850	共催
14 社団法人ROOT	「化石発掘調査」アカデミックキャンプ	化石発掘に関する講義と実習	山南町下滝	令和1.5/3-5	24	協力
15 人と自然の会	夏鳥を探そう	野鳥観察会	博物館	令和1.5/19	66	共催
16 石を見る会	石ころセミナー2019	岩石に関する勉強会	博物館	令和1.5/12, 6/2, 7/21, 9/1, 10/6, 11/24	181	共催
17 アピス同好会	家族で蜂蜜しばり5月	蜂蜜絞りの実習	博物館	令和1.5/25	17	共催
18 希少植物研究会	「山野草の栽培」(講義)と「寄せ植え」(実習)	山野草の講義と実習	博物館	令和1.5/28	7	共催
19 宝塚市高齢者大学	「フレミラしぜんクラブ」への活動支援	宝塚老人大学への活動支援	宝塚	令和1.5-2.3	56	共催
20 県立図書館	展示関連講座「明石公園をしょくぶつ博士とたんけんしよう！」	植物観察会	明石公園	令和1.6/16	21	協力
21 北摂里山博物館運営協議会	北摂里山大学第3回講座	里山に関する講義	皿池湿原	令和1.6/15	45	協力
22 人と自然の会	「七夕のおはなし」「万華鏡づくり」	七夕に関する講義と、実習	西宮阪急「星の会」	令和1.6/1	82	共催
23 人と自然の会	「コケ玉を作ってみよう！」	コケ玉つくりの実習	博物館	令和1.6/8	48	共催

実施主体	事業名	内容	実施場所	実施日・期間	参加者数	連携形態
24	朝来市教育委員会 朝来市埋蔵文化財センター 2019年度特別展「池田古墳出土品重要文化財指定記念プレ展示「但馬のいきものと神様たち～粟食むシカからコウノトリまで～」	但馬の生物に関する展示	朝来市埋蔵文化財センター	令和1.6/22-9/29	1033	協力
25	丹波市 神戸市教育委員会 神戸市埋蔵文化財センター 令和元年度夏季企画展示『木を視て森を観る～植物利用の考古学～』	恐竜の卵の展示	ちーたんの館	令和1.7/20-9/1	18294	共催
26	丹波の森公苑 バンドー神戸青少年科学館 夏の特別展「だます？かくれる！モノマネいきもの展ーいきものたちの生存戦略ー」	遺跡発掘に関する展示	神戸市埋蔵文化財センター	令和1.7/13-9/23	4046	協力
27	丹波の森公苑 バンドー神戸青少年科学館	丹波の生き物に関する展示	丹波の森公苑	令和1.7/14-15	500	共催
28	バンドー神戸青少年科学館	擬態に関する展示	バンドー神戸青少年科学館	令和1.7/20-9/1		協賛
29	碧雲堂ホテル&リゾート マウレ昆虫ランド	昆虫の展示	マウレ・メモリアル・ミュージアム	令和1.7/13-10/20	1776	協力
30	明石海峡公園 南あわじ地学の会	昆虫の展示と観察会	明石海峡公園	令和1.7/13-9/1	24120	協力
31	南あわじ地学の会 株式会社サンテレビジョン	淡路島の化石の展示	三原ショッピングプラザ	令和1.7/23-8/6	10000	協力
32	株式会社サンテレビジョン ひょうご！とくしま！うずしお調査団！	うずしおに関する展示	うずしお科学館科学館・大鳴門橋	令和1.7/30-31, 9/22	116	協力
33	赤穂市立海洋科学館 人と自然の会	昆虫の展示	赤穂市立海洋科学館	令和1.7/20-9/1	5897	共催
34	人と自然の会	勾玉づくりの実習	博物館	令和1.7/21	52	共催
35	陶芸美術館	卵の殻で、ペンダントづくり	陶芸美術館	令和1.7/21	413	共催
36	アカシア台ボランティア	組みひもづくりの実習	三田市	令和1.7/23	10	共催
37	イオンモール神戸北	標本展示会	神戸市	令和1.8/3-4	242	共催
38	国際花と緑の博覧会協会	自然観察会	奥猪名健康の里	令和1.8/17-18	31	共催
39	西播磨県民局	水生生物の観察会	兵庫環境体験館	令和1.8/8	33	共催
40	明石文化国際創生財団	珍言才の絵画展	アスピア明石	令和1.8/3-31	5800	協力
41	三田市里山のまちづくり課	湿地観察会	三田市	令和1.8/25	60	協力
42	人と自然の会	星座に関する講座	博物館	令和1.8/11	112	共催
43	人と自然の会	藍を使った染色の実習	博物館	令和1.8/3	14	共催
44	人と自然の会	生き物の観察会	博物館	令和1.8/3	154	共催
45	人と自然の会	水鉄砲づくり実習	博物館	令和1.8/3	110	共催
46	岐阜県博物館	岐阜県の生物地理などに関する展示	岐阜県博物館	令和1.9/20-11/17	12510	協力
47	赤穂海浜公園	昆虫採集と観察	赤穂海浜公園	令和1.9/28-29	150	共催
48	人と自然の会	ヘロンの噴水づくり実習	博物館	令和1.9/15	59	共催
49	津名高校	本に関する展示	津名高校	令和1.10/25-2.3/31	1445	共催
50	人と自然の会	風車の作成実習	淡路青少年の家	令和1.11/9	85	共催
51	大観小学校	ポスター展示	大観小学校	令和1.11/15	300	協力
52	丹波市役所	丹波竜の展示	ちーたんの館	令和1.12/1	3500	共催
53	明石海峡公園	淡路の生物標本の展示	明石海峡公園	令和1.12/7-1/13	9640	協力

実施主体	事業名	内容	実施場所	実施日・期間	参加者数	連携形態
54 丹波市役所	冬季特別展「若きティラノサウルス ジェーン」	恐竜の展示	ちーたんの館	令和1.12/21-2.3/1	8272	共催
55 日本雪氷学会・関東以西支部	写真展示 植物シモバシラが見せる氷の世界ー多様な形のふしぎ？ー	シモバシラの写真展	博物館	令和1.12/7-2.1/5	1245	共催
56 兵庫県	ひょうごユースecoフォーラム	ボランティア団体のフォーラム	デザインクリエイティブセンターこうべ	令和1.12/21-2.3/1	370	協力
57 ユーアイアソシエーション	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）犠牲者追悼のつどい第25回あなたの思いを灯してください～失った命の数をロウソクの灯に込めて～	犠牲者追悼のつどい	昆陽池	令和2.1/17	2400	協力
58 人と自然の会	お正月遊び、凧づくり	正月遊びの体験	博物館	令和2.1/2	184	共催
59 北淡国際活断層シンポジウム実行委員会	北淡国際活断層シンポジウム2020	地震に関するシンポジウム	北淡震災記念公園	令和2.1/14-17	102	共催
60 伊丹市昆虫館	企画展「伊丹の自然」	伊丹の自然に関する展示	伊丹市昆虫館	令和2.1/4-4/6	18228	協力
61 伊丹市昆虫館	企画展「アルマス～ファーブル先生のひみつ基地～」講談とクイズで学ぶファーブル昆虫記	ファーブル昆虫記に関する展示	伊丹市昆虫館	令和2.1/11	184	協力
62 人と自然の会	ひとはくのお正月「凧作り」「羽根つき」「いろいろな駒回し」他	正月遊びに関するワークショップ	博物館	令和2.1/3	0	共催
63 人と自然の会	冬鳥と遊ぼう！	鳥の観察会	博物館	令和2.2/16	81	共催
64 NPO法人フィールド	極めよう！コンデジ	コンパクトデジタルカメラに関する実習	博物館	令和2.2/19	4	共催
65 人と自然の会	冬の三角形の星のお話	星座の話	博物館	令和2.2/16	64	共催
66 丹波市	川代トンネル建設工事発生土に係る石割調査	化石発掘実習	丹波市	令和2.2/22-28	114	協力
67 うずしおエコロジー推進協議会	未来へつなぐ南あわじのエコと自然	淡路島の自然に関する展示	大鳴門橋記念館うずしお科学館	令和2.2/19-5/31	3902	共催
68 人と自然の会	黒豆とうふづくり	黒豆を使った豆腐作り実習（中止）	博物館	令和2.3/7	0	共催

168871

フロアサービス実績一覧

デジタル紙芝居(295回 のべ 13,925人)

たんぽぽレストラン (418)
丹波の恐竜タンタンものがたり (1,473)
丹波の恐竜たんたんのひとはくナイトミュージアム (955)
アンモナイト物語 (1,397) スミスネズミと 100年の森 (1,083)
ぷくぷくあわわ～森から川へのくりもの (860) ころころだんちゃん (895)
コウちゃんの 60日間 (385) オランとウーたんのジャングル探検記 (1,387)
ぼこぼこぼこ～森をつなぐ～ (347) タヨウ星人メリメリの冒険 (430)
くるりんひらりん空のたび (682) アリマキのドロップ (129)
ゆめのつづき (358) ススキ草原のオーケストラ (352) 六甲のうりんぼ (1,632)
ヤマモモの長い旅 (638) ちいさなバッタ ゴロー (477)

展示室ツアー(218回 のべ 3,144人)

ボルネオジャングル探検ツアー (1,012) ひょうごの自然じまんツアー (200)
海の仲間たちツアー(830) ひょうごのどうぶつ(442) ひとはく不思議発見ツアー(23)
3階展示室ダイジェストツアー (544) 丹波の恐竜化石 (93)

フロアスタッフとあそぼう(65回 のべ 2,866人)

ヒラヒラちょう (18) ころころダンゴムシ (58) 川でさかなつり (153)
ひとはく〇×クイズ大会 (46) はばたけおおきな鳥 (411) ティラノ・ハット (122)
モールで工作～恐竜をつくろう！～ (70) くるくるとぶタネ (48)
万華鏡づくり～海の仲間たち～ (66) アクアリウムをつくろう (68)
ササ舟ウォータースライダー (36) きょうりゅう骨パズル (53) 画はくの日 (647)
昆虫のハンコではがきをつくろう (115) ひとはく宝さがしラリー (135)
きのこのモビール (76) ちょうちょの万華鏡づくり (72) おひなさまづくり (18)
けんちくかの日～村からまちへ～ (67) ひとはくスノードーム (46)
新春！ひとはくおみくじ (471) おひなさまポップアップカード (35)
古代のサイ アミノドンをつくろう！ (35)

ワークショップ(33回 のべ 9,149人)

昆虫はんこペーパーバッグ (284) とっても簡単！化石のレプリカづくり (6,839)
昆虫ポップアップカード (110) ピロピロ・アケボノゾウをつくろう！ (104)
プラ板づくり (155) 妖怪缶バッジづくり (549) シカのツノをつくろう！ (197)
恐竜・鉱物ストラップづくり (246) 深海たてばんこをつくろう！ (83)
ペーパークイリング (103) 丹波竜のはんこバッグをつくろう (158)
鳥の缶バッジづくり (321)

ひとはく探検隊(10回 のべ 450人)

チビクワガタをゲットしよう (232) ドングリの赤ちゃんをさがそう (20)
きのこ GET だぜ! (35) 石や化石をさがそう (26) 水辺のいきものを捕ろう! (33)
チョウの赤ちゃんをさがそう (28) ダンゴムシをさがそう (22) アリをさがそう (21)
初夏の鳥を観察しよう! (14) 「さとやま」の中を歩こう (19)

はかせと学ぼう(18回 のべ 1,172人)

アンモナイト石けんをつくろう (269) ろ過実験コンテスト (25) さわってアンモ (387)
イヌワシ紙飛行機を飛ばそう! (205) けんちくかの日 (37) 化石を掘り出そう! (249)

特注(60回 のべ 2,488人)

2019/4/1～2020/3/31 699回 のべ 33,167人

外部資金導入状況

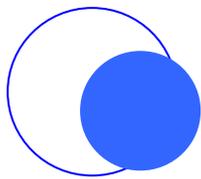
◆科研費等助成金

助成課題名	助成者	種別	代表者名(所属)	分担者名(館員)	助成金額(万円)
1 中期更新世初期の気候変動を探る—湖沼堆積物の高精度編年に基づく古環境総合解析	日本学術振興会	基盤研究 (A)	加藤茂弘 (主任研究員)		1,196
2 機械学習とOCRを用いた植物標本画像からのラベル情報自動取得プログラムの開発	日本学術振興会	基盤研究 (C)	高野温子 (主任研究員)		169
3 恐竜化石産出地域における生涯学習プログラムの開発と体制の構築	日本学術振興会	基盤研究 (C)	久保田克博 (研究員)	佐藤裕司・三枝春生・加藤茂弘・半田久美子・池田忠広・生野賢司	208
4 水辺の習俗行事にかかわる文化的景観の保護に向けた空間的・社会的変容パターンの解明	日本学術振興会	若手研究 (B)	大平和弘 (研究員)		50
5 適応放散の分子機構解明に向けたピクトリア湖沼生物ゲノムの多様性の網羅比較	日本学術振興会	基盤研究 (B)	高橋鉄美 (兵庫県立大学・教授)		350
6 官・民・市民協働による街路樹の多面的な価値創出と管理の可能性	日本学術振興会	基盤研究 (C)	赤澤宏樹 (兵庫県立大学・教授)		80
7 下部白亜系篠山層群カエル類遊離骨化石を対象とした分類学的研究	日本学術振興会	若手研究 (B)	池田忠広 (兵庫県立大学・准教授)		133
8 言語音の認知が難しい高次脳機能障がい者もそうでない人も共に分かる放送方法の研究	日本学術振興会	基盤研究 (C)	三谷雅純 (兵庫県立大学・准教授)		130
9 塩湿地の生物多様性保全に向けた絶滅惧植物数種における種子発芽・生育立地特性の解明	日本学術振興会	基盤研究 (C)	黒田有寿茂 (兵庫県立大学・講師)		91
10 自然史標本の汎用化と収蔵展示技法の体系構築	日本学術振興会	基盤研究 (B)	三橋弘宗 (兵庫県立大学・講師)	高野温子	260
11 博物館標本の遺伝情報に基づいた絶滅危惧種の保全単位の設定	日本学術振興会	若手研究 (B)	中濱直之 (兵庫県立大学・講師)		104
12 人類とアフリカ類人猿の出現過程の解明—チョロラピテクスの進化形態学的研究	日本学術振興会	基盤研究 (A)	諏訪 元 (東京大学総合研究博物館・教授)	加藤茂弘	156
13 稲作の衰退が生物多様性を減少させる落水後の溜池に特有な植物群落の現状とその保全	日本学術振興会	基盤研究 (B)	牧雅之 (東北大学・教授)	藤井俊夫	15
14 マダガスカルでの遺伝子水平伝播パンデミックとヘビによる世界的な伝播因子拡散の実証	日本学術振興会	基盤研究 (B)	倉林敦 (長浜バイオ大・准教授)	太田英利	39
15 国内外来爬虫類が分布拡大の最前線に在来生態系に与える影響	日本学術振興会	基盤研究 (C)	本多正尚 (筑波大・教授)	太田英利	26
16 適応放散の分子機構解明に向けたピクトリア湖沼生物ゲノムの多様性の網羅比較	日本学術振興会	基盤研究 (B)	二階堂雅人 (東工大・准教授)	高橋鉄美	42
17 脊椎動物の社会進化モデルとしてのカワスズメ科魚類の婚姻形態および社会構造の解明	日本学術振興会	基盤研究 (B)	幸田正典 (大阪市大・教授)	高橋鉄美	13
18 現在種分化を起こしつつあるアキギリ属の集団遺伝解析	市村清新技術財団		高野温子 (主任研究員)		122

19	市民の自由な活動の場としての公園マネジメント	都市計画学会 関西支部	福本 優 (研究員)	10
20	琉球列島更新統産爬虫両棲類化石の分類学的研究	兵庫県立大学部局特殊化推進費	池田忠広 (兵庫県立大学・准教授)	16
21	多感覚統合を利用した聴覚失認者にも分かりやすい緊急災害情報の放送法	交通エコロジー・モビリティ財団	三谷雅純 (兵庫県立大学・准教授)	95
22	里山に生育する絶滅危惧植物サギソウにおける遺伝的攪乱の検出	公立大学法人兵庫県立大学特別研究助成金	中濱直之 (兵庫県立大学・講師)	20
23	近畿・中国・四国での市民参加型タンポポ調査	西日本自然史ネット 日比基金	鈴木 武 (兵庫県立大学・講師)	10
合計				3,335

◆受託研究等

件名	委託元	受託者	分担者名 (館員)	金額 (万円)
1 平成31年度 株式会社竹中工務店における生物多様性対応関連業務	株式会社竹中工務店	橋本佳延		108.00
2 2019年度Daigasグループ等における生物多様性対応関連業務	大阪ガス株式会社 CSR・環境部	橋本佳延	石田弘明・黒田有寿茂	134.24
3 コーディネーターの育成業務	兵庫県園芸・公園協会	福本 優		100.00
4 野島断層の保存と活用に関する研究	淡路市教育委員会	加藤茂弘	生野賢司	30.00
5 棚倉町里山プロジェクト事業業務	棚倉町	石田弘明	八木 剛・黒田有寿茂・大平和弘	105.00
6 三田市有馬富士自然学習センター プログラム運営業務	三田市	八木 剛	石田弘明・小館誓治	1,977.50
7 ブイブイの森 (南公園) 里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務	三田市	橋本佳延	黒田有寿茂・中濱直之	60.00
8 ミツカンよかわビオトープの自然環境資源を発掘・活用する手法に関する研究	株式会社Mizkan Partners	藤本真里		75.00
9 六甲最高峰トイレ再整備に伴う生物多様性保全に資する育苗支援業務2	神戸市建設局公園部 森林整備事務所	橋本佳延		15.91
10 再度山永久植生保存地調査業務 (第10回)	神戸市建設局	橋本佳延	黒田有寿茂・中濱直之	209.56
11 バンドー神戸青少年科学館夏特別展 展示監修等委託	公益財団法人科学技術広報財団	櫻井麗華	橋本佳明・鈴木 武	20.00
12 北播磨地域の魅力発見・魅力発信に関する調査研究	北播磨県民局	福本 優	奥井かおり	40.43
13 鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた提出文書における地形地質・景観の価値証明に関する技術支援業務	株式会社プレック研究所大阪事務所	大平和弘	加藤茂弘・生野賢司	45.00
14 うずしお科学館利活用および機能強化に関する技術支援業務	株式会社 ヘッズ	大平和弘	生野賢司	68.04
15 令和元年度上山高原自然再生事業動物モニタリング調査	公益財団法人ひょうご環境創造協会	布野隆之		10.50
16 篠山層群産化石データ作成業務委託	丹波市	久保田克博	三枝春生・池田忠広	396.90
17 慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務	兵庫県立淡路景観園芸学校	黒田有寿茂		24.15
18 地域計画策定支援に関わるコーディネーターのあり方に関する研究	三田市	赤澤宏樹	藤本真理・大平和弘・福本 優	30.00
19 六甲最高峰トイレ再整備に伴う生物多様性保全に資する育苗支援業務3	神戸市建設局公園部 森林整備事務所	橋本佳延		15.91
20 博物館実習に係る業務	神戸大学大学院理学研究科	佐藤裕司	半田久美子	17.40
21 六甲北の畦畔を再現する屋上緑化に関する共同研究	エスペック株式会社	橋本佳延	黒田有寿茂・中濱直之	35.80
合計				3,519



利用案内

■開館時間

10時～17時（入館は16時30分まで）

■休館日

月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）

年末年始・メンテナンスによる休館期間有

*夏休み及びゴールデンウィーク期間中は休まず開館します。

■観覧料（令和2年5月1日現在）

一般

区分	個人	団体（20人以上）
大人	200円	150円
大学生	150円	100円
70歳以上	100円	50円
高校生以下	無料	無料

障がい者割引

区分	個人	団体（20人以上）
大人	50円	30円
大学生	30円	20円

*障がい者1名につきその介護者1名は無料

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。（客席数500）

使用料（令和2年5月1日現在）

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
（土日祝）	5,800円	7,300円	13,100円
（平日）	4,600円	5,900円	10,500円

附属設備の料金については別に定めます。

■交通

電車：神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ

バス：神姫バスフラワータウンセンター下車すぐ

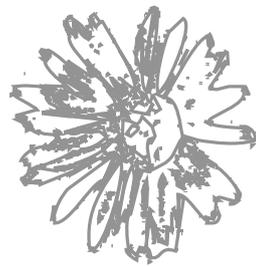
車：中国自動車道神戸三田インターより10分

■駐車場

バス 13台 無料（要予約）

普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください。





ANNUAL REPORT
of
Museum of Nature and Human Activities, Hyogo
For the Fiscal Year of 2019
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan